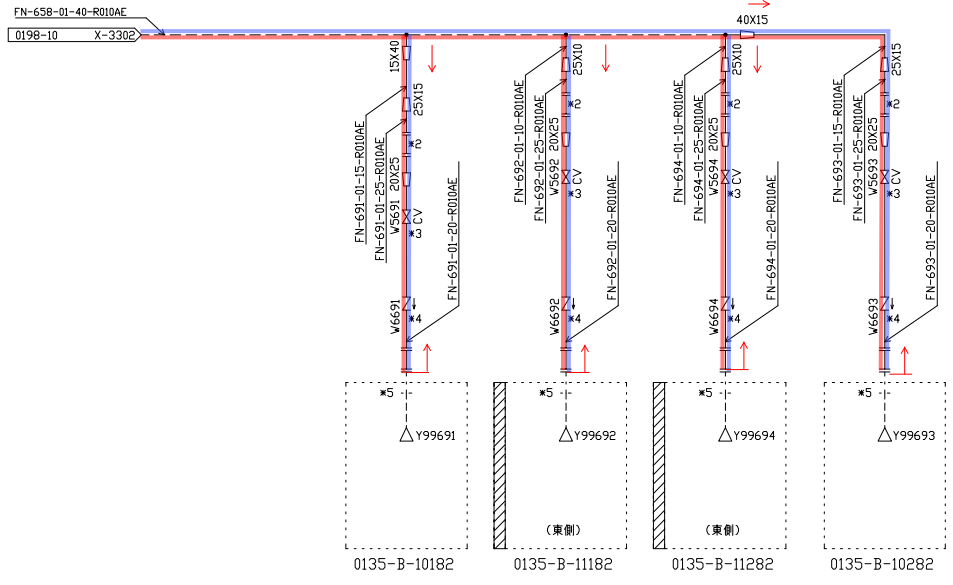
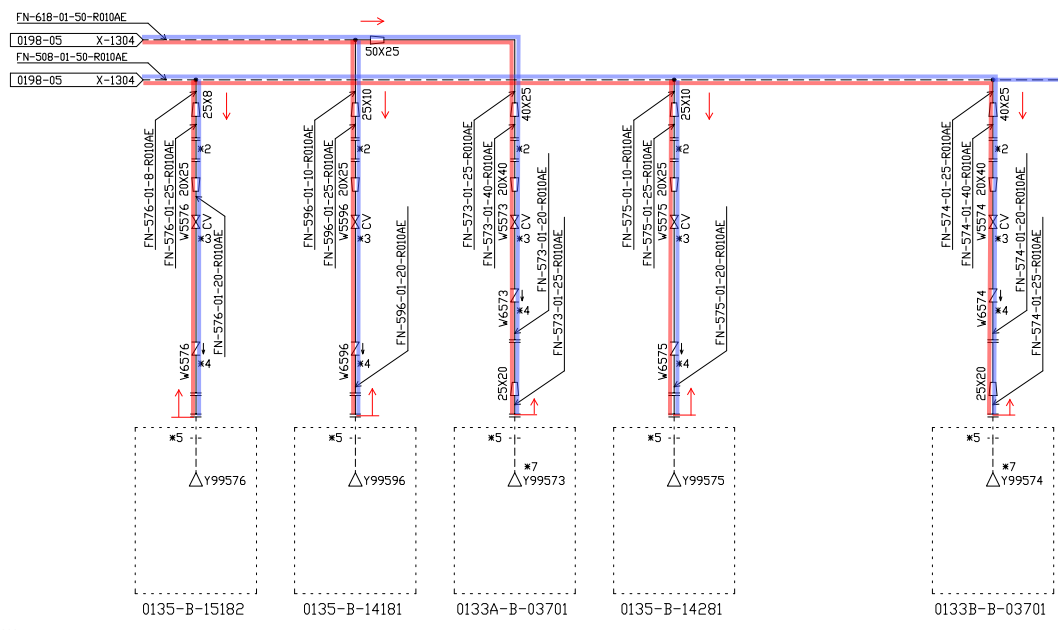
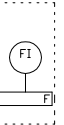
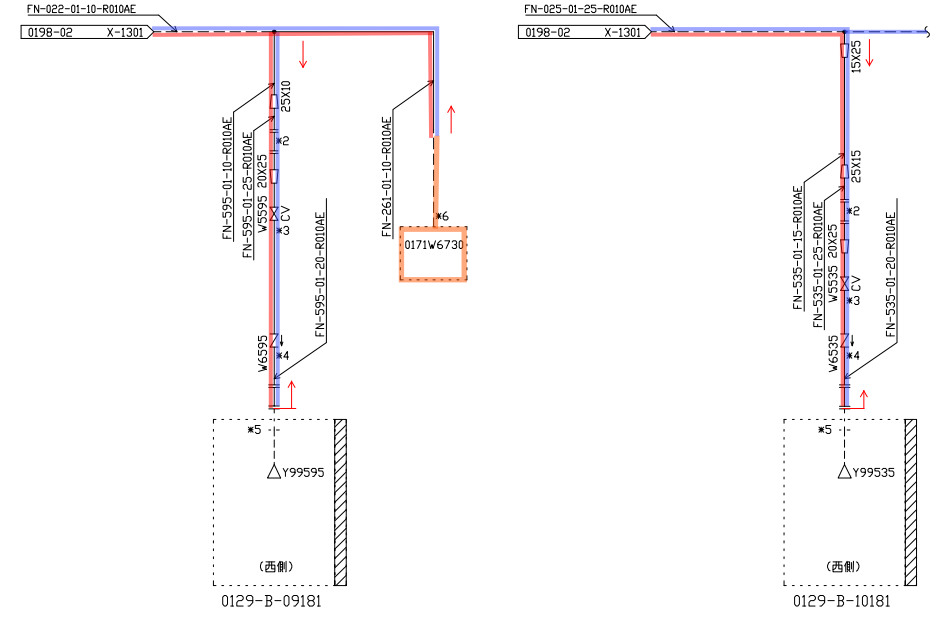
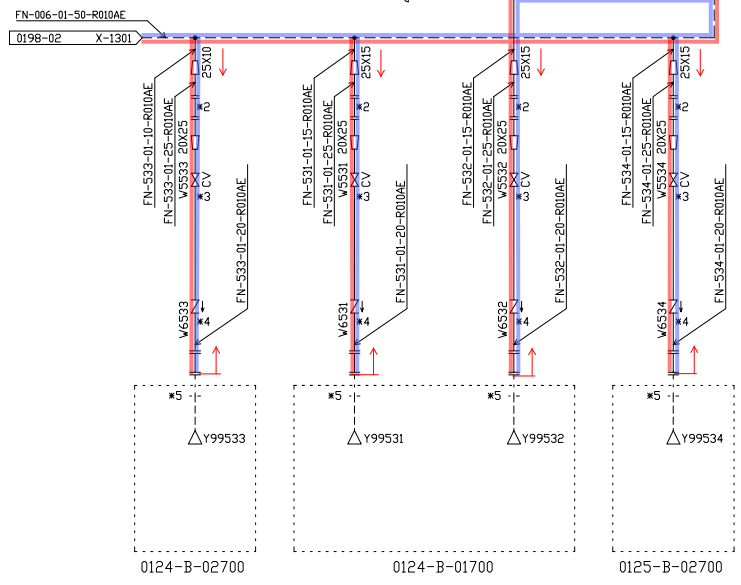


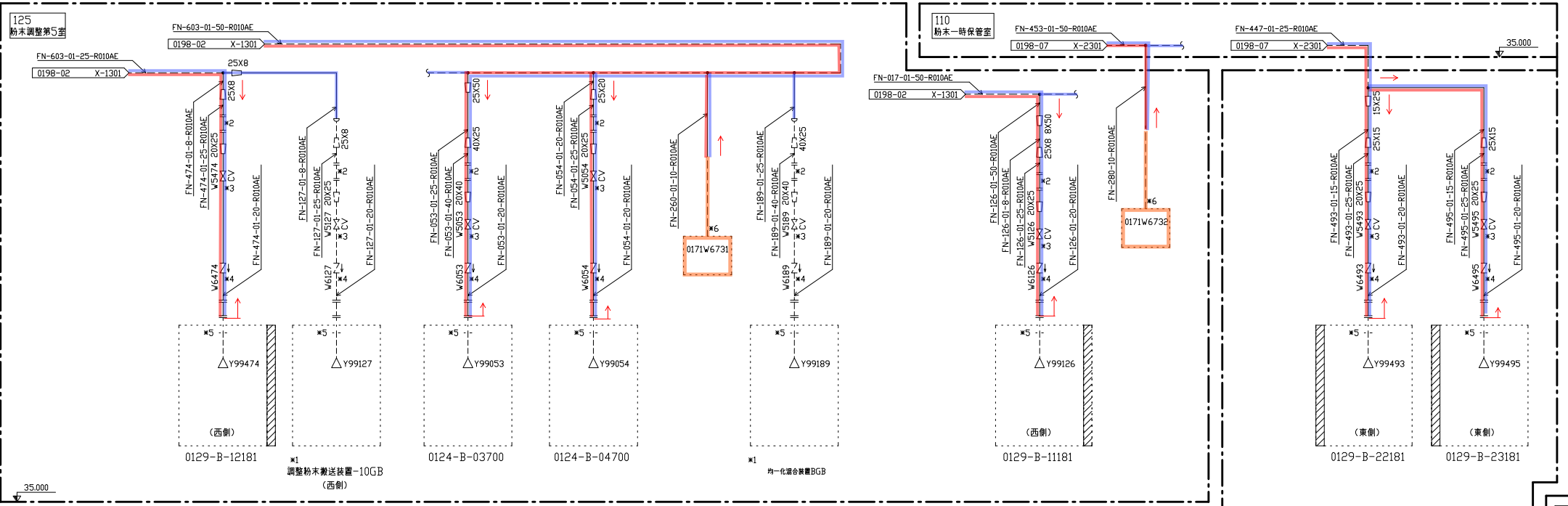
- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ビストンダンパ用導管。  
実線: SUS管(分岐部〜PD近傍の末端部まで)  
破線: 銅管(PD近傍の末端部〜PD取り合い部まで)
  - \*7 20Aの噴射ヘッドを設置する。



**【凡例】**  
 赤線：主となる経路  
 青色：安全上重要な施設の範囲  
 橙色：火災防護設備 ビストンダンパ  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , . . . )



図名	燃料加工種番 (PA)		
内容	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 防火装置		
作成	エンジニアリングフロー		
工程	0198 (GB) (20/31)		
図番	PM-0198-4421-020	改訂	12

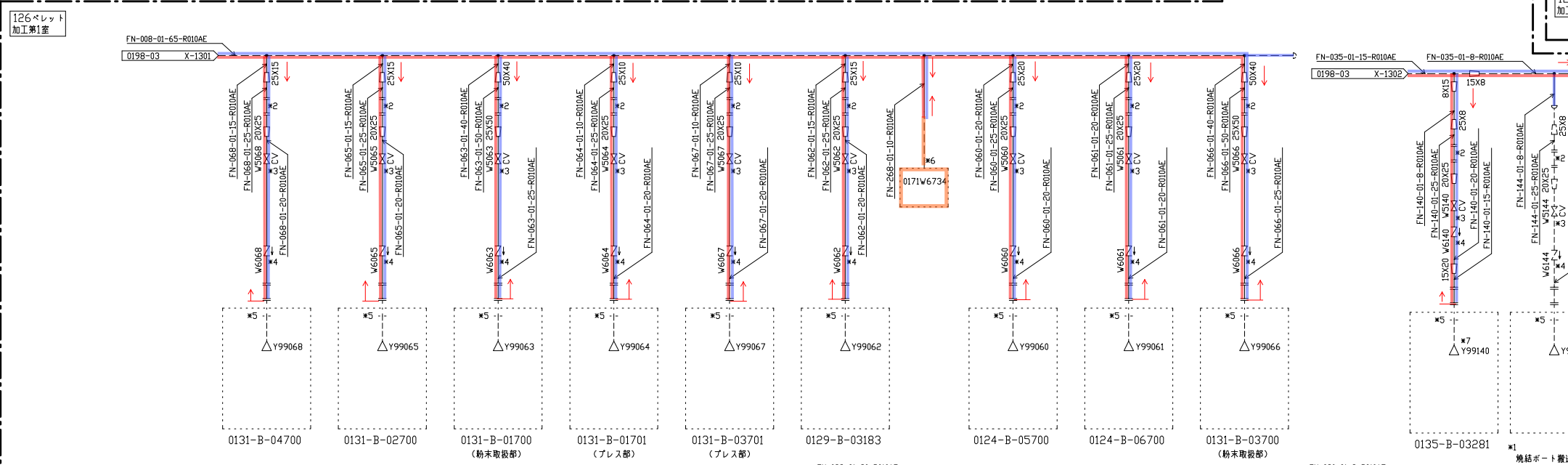


注記

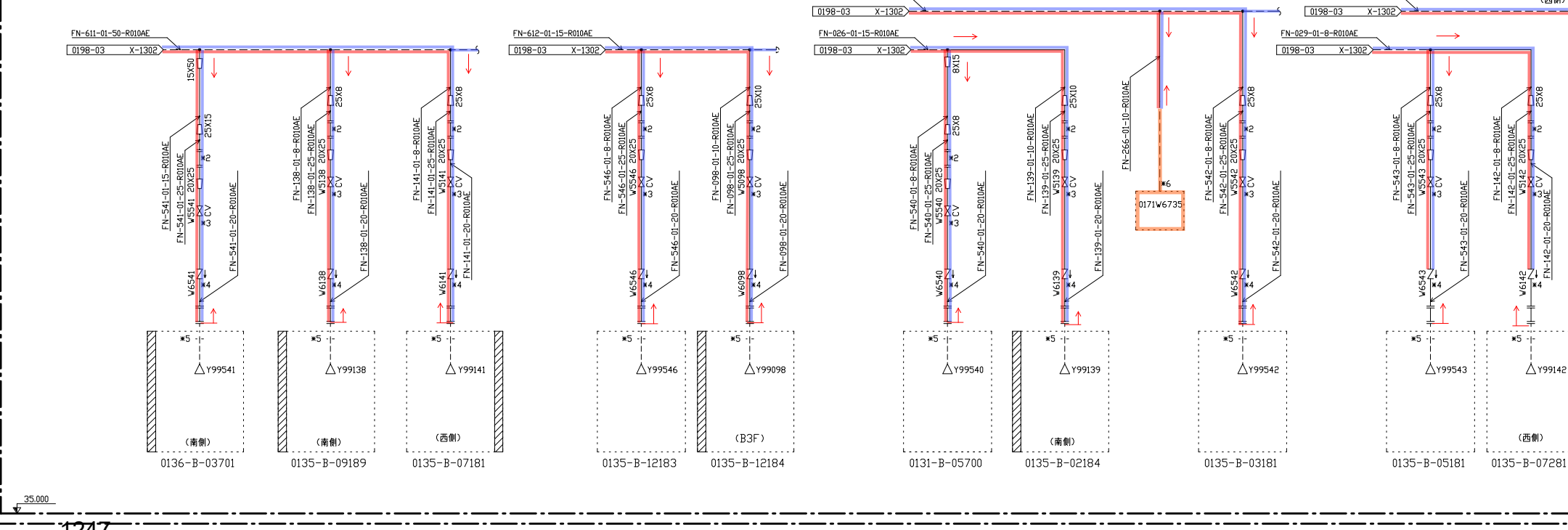
- \*1 将来設置
- \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りUG近傍に設置すること。
- \*5 GB給気口の近傍に設置する。
- \*6 ピストンダンパ用圧降管。実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）  
破線：鋼管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
- \*7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

【凡例】

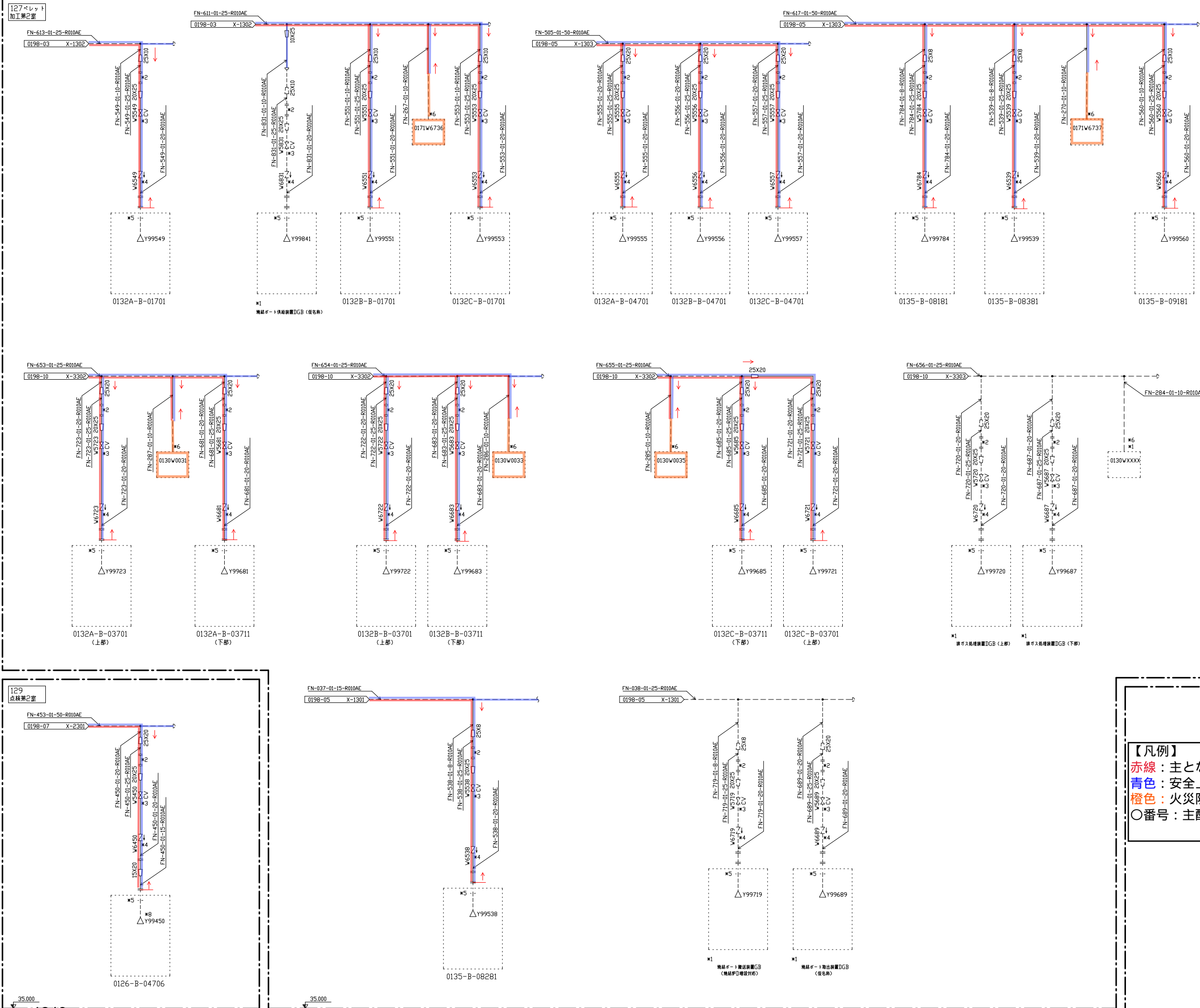
赤線：主となる経路  
 青色：安全上重要な施設の範囲  
 橙色：火災防護設備 ピストンダンパ  
 ○番号：主配管との紐付け番号  
 ( , , , , , )



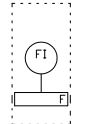
127ベレット加工第2室



焼結ボート搬送装置 (西側)



- 注記
- \*1 符表設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）  
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
  - \*7 短管部。
  - \*8 20Aの噴射ヘッドを設置する。



**【凡例】**

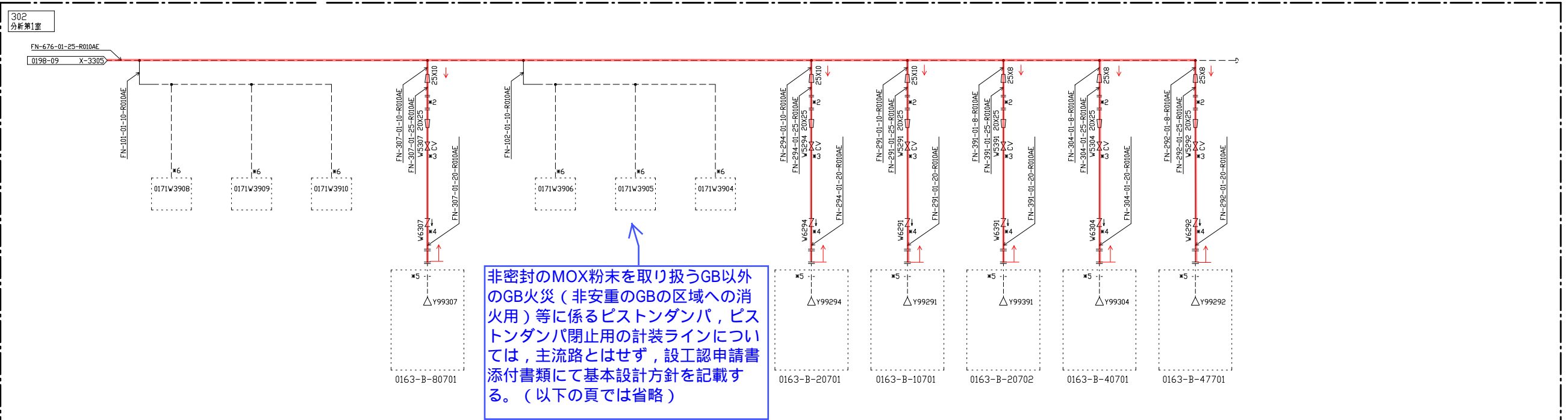
- 赤線：主となる経路
- 青色：安全上重要な施設の範囲
- 橙色：火災防護設備 ピストンダンパ
- 番号：主配管との紐付け番号（ , , …… ）

図名	燃料加工棟屋（PA） ユーティリティ設備（Q） 消防設備（GB） エンジニアリングフロー図 工程：0198（GB）（22/31）
図面番号	PM-0198-4421-022
表訂	13

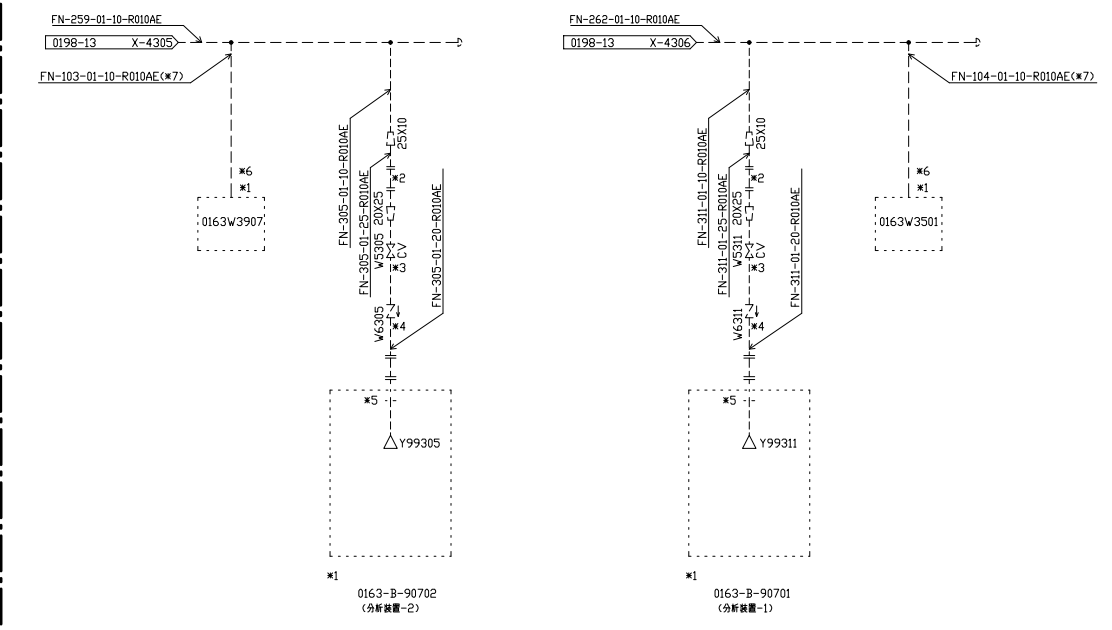
129  
点検室

1248

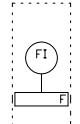




非密封のMOX粉末を取り扱うGB以外のGB火災（非安重のGBの区域への消火用）等に係るピストンダンパ、ピストンダンパ閉止用の計装ラインについては、主流路とはせず、設工認申請書添付書類にて基本設計方針を記載する。（以下の頁では省略）

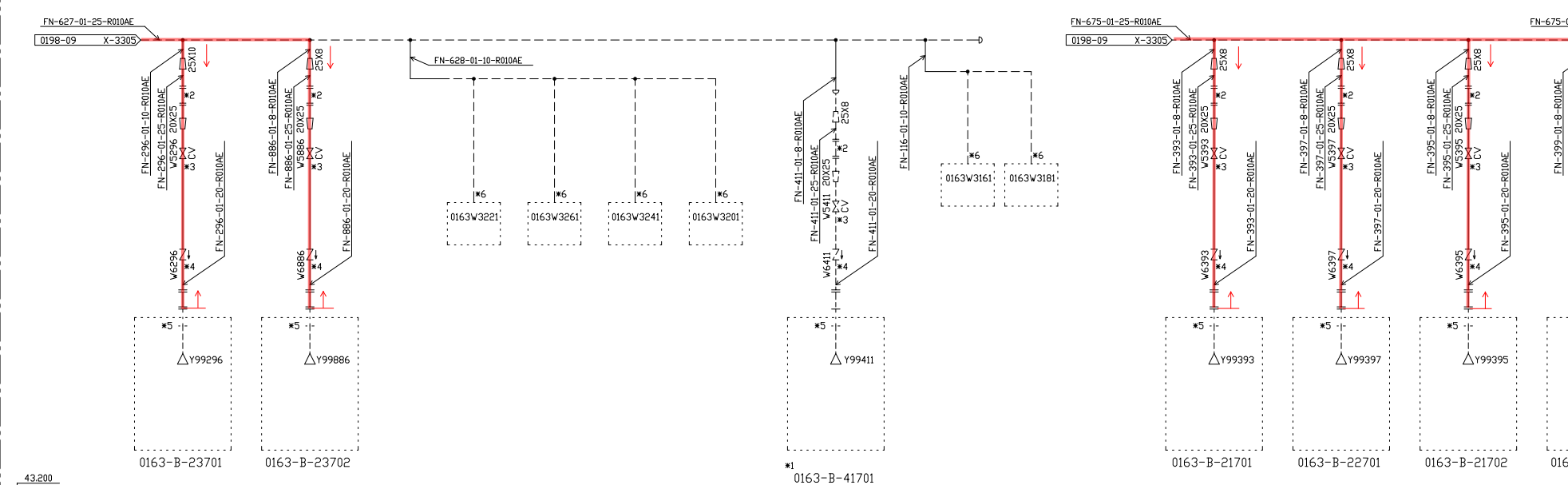
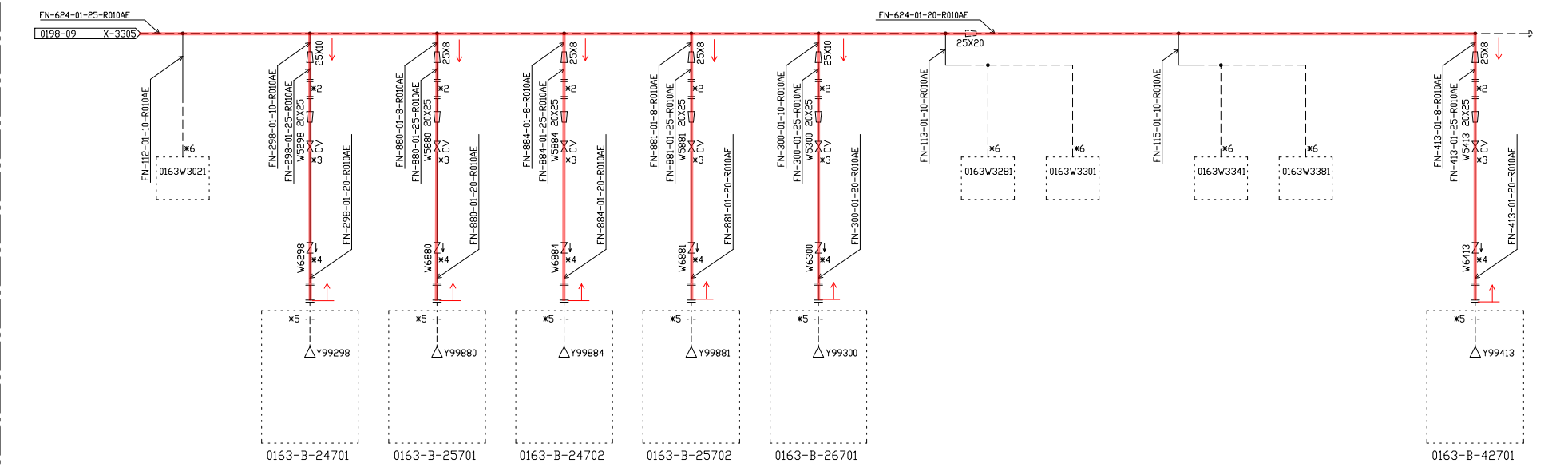
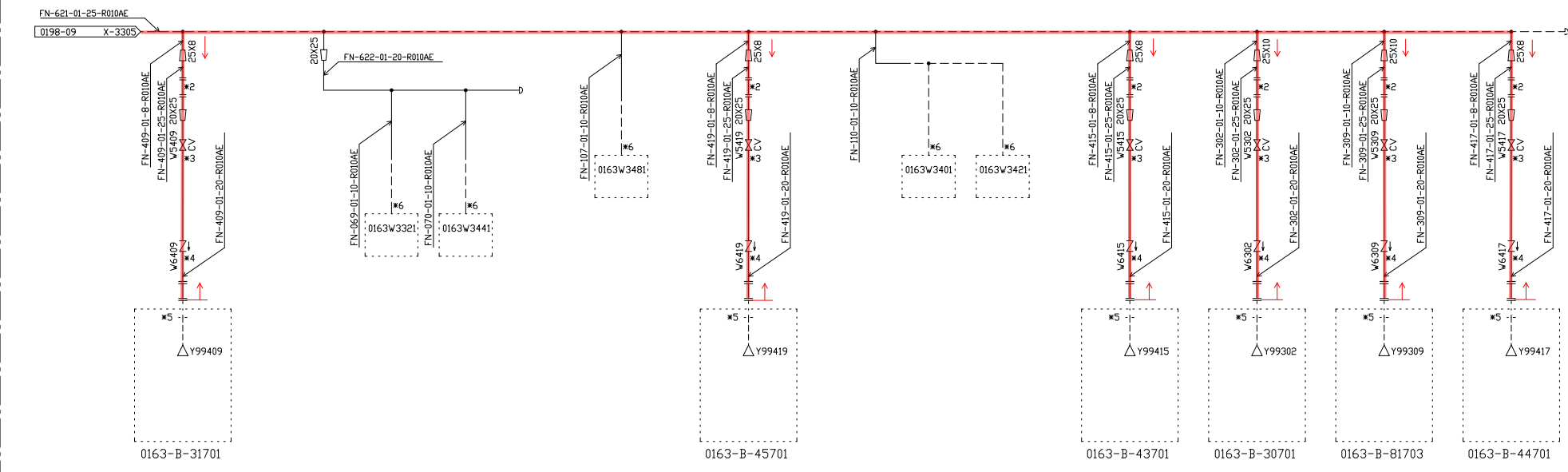


- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンダンパ用専任管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～P.D取り合い部まで）
  - \*7 短管部。



【凡例】  
 赤線：主となる経路  
 ○番号：主管管との紐付け番号（ , , . . . . . ）

図書名称	燃料加工種屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (23/31)		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-023	改訂	10

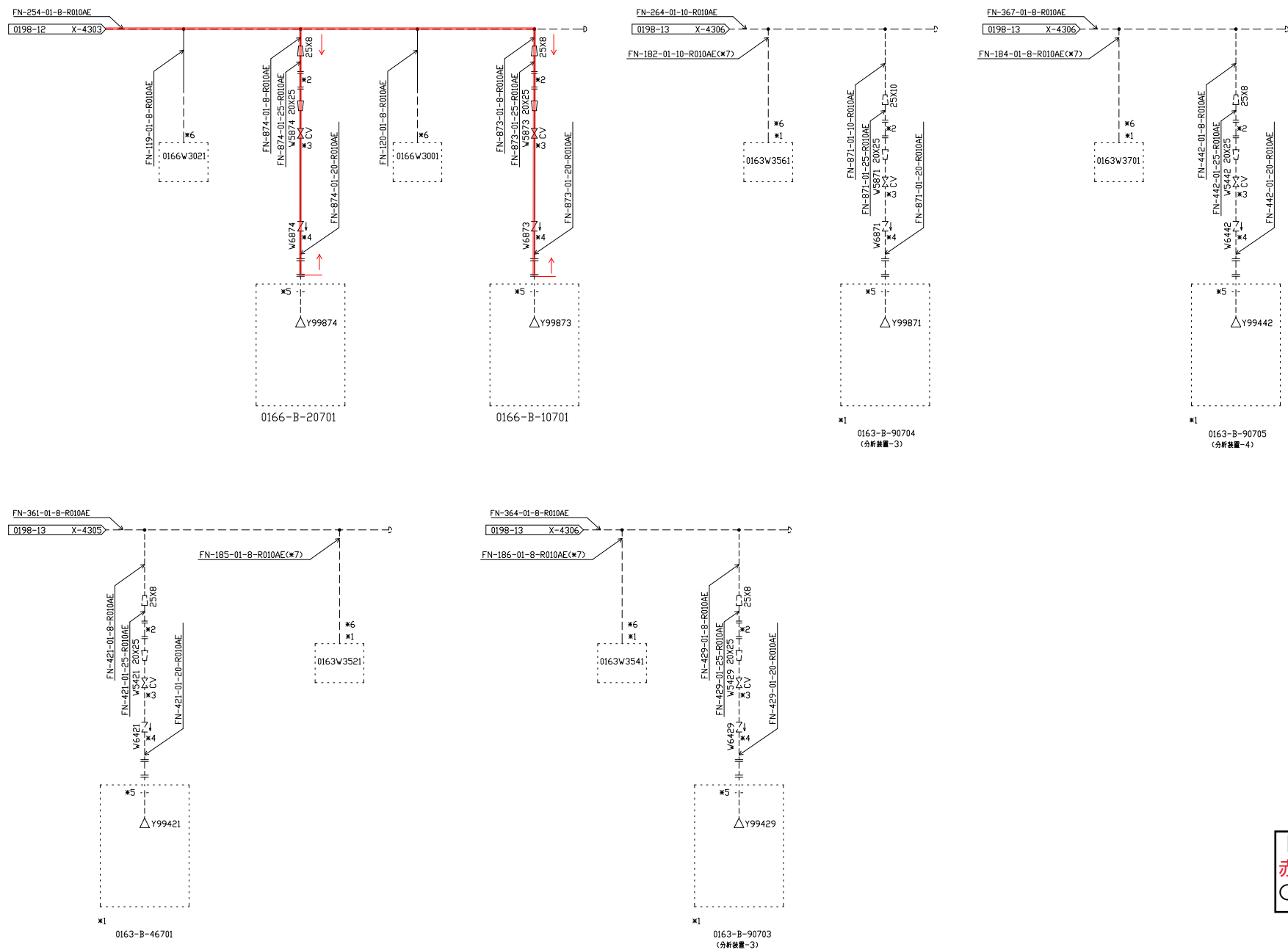


**【凡例】**  
 赤線：主となる経路  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . . )

- 注記
- \*1 符表設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ビストンダンプ用専圧管。  
 実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
 破線：銅管（短管の末端部〜PD取り合い部まで）

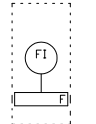
図番名称	燃料加工棟屋（PA） ユーティリティ設備（Q） 防火消火設備（GB消火装置） エンジニアリングフロー図 工程：0198（GB）（24/31）
発行図番番号	PM-0198-4421-024
表訂	13

302  
分析第1室



注記

- \*1 符表設置
- \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。



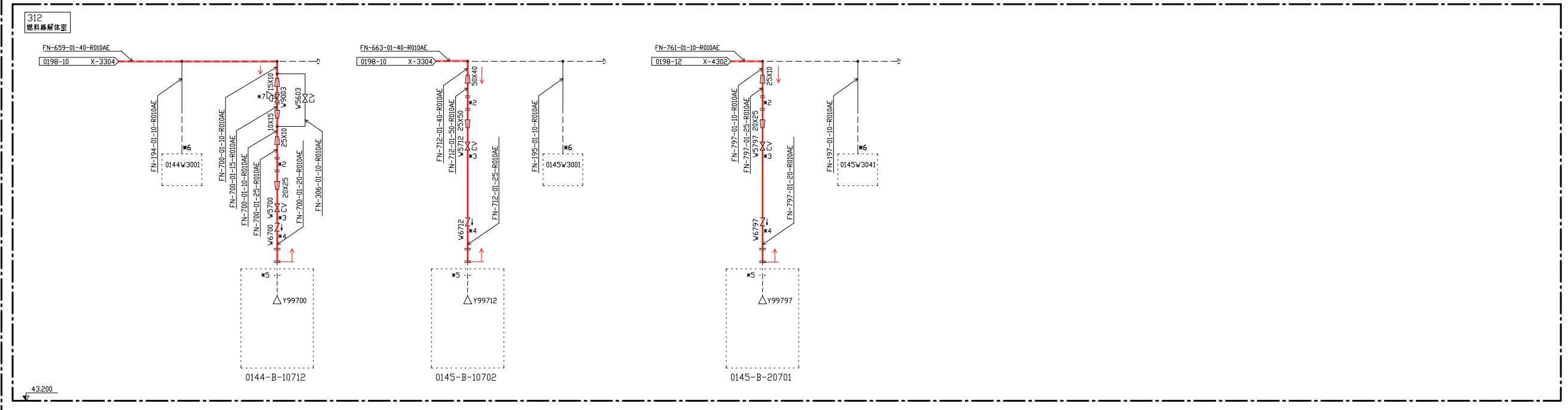
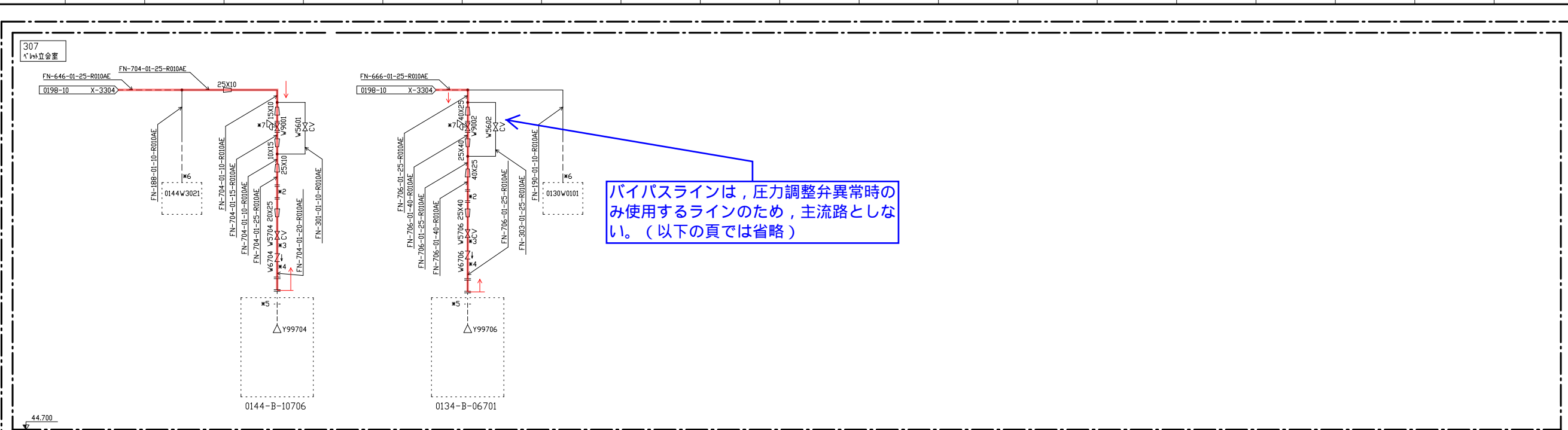
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- \*5 GB給気口の近傍に設置する。
- \*6 ビストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
- \*7 短管部。

【凡例】  
 赤線：主となる経路  
 ○番号：主配管との紐付け番号（ , , . . . . . ）

43,200

1251

図番名称	燃料加工建屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB)	防火装置
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (25/31)		
図面番号	PM-0198-4421-025	改訂	11



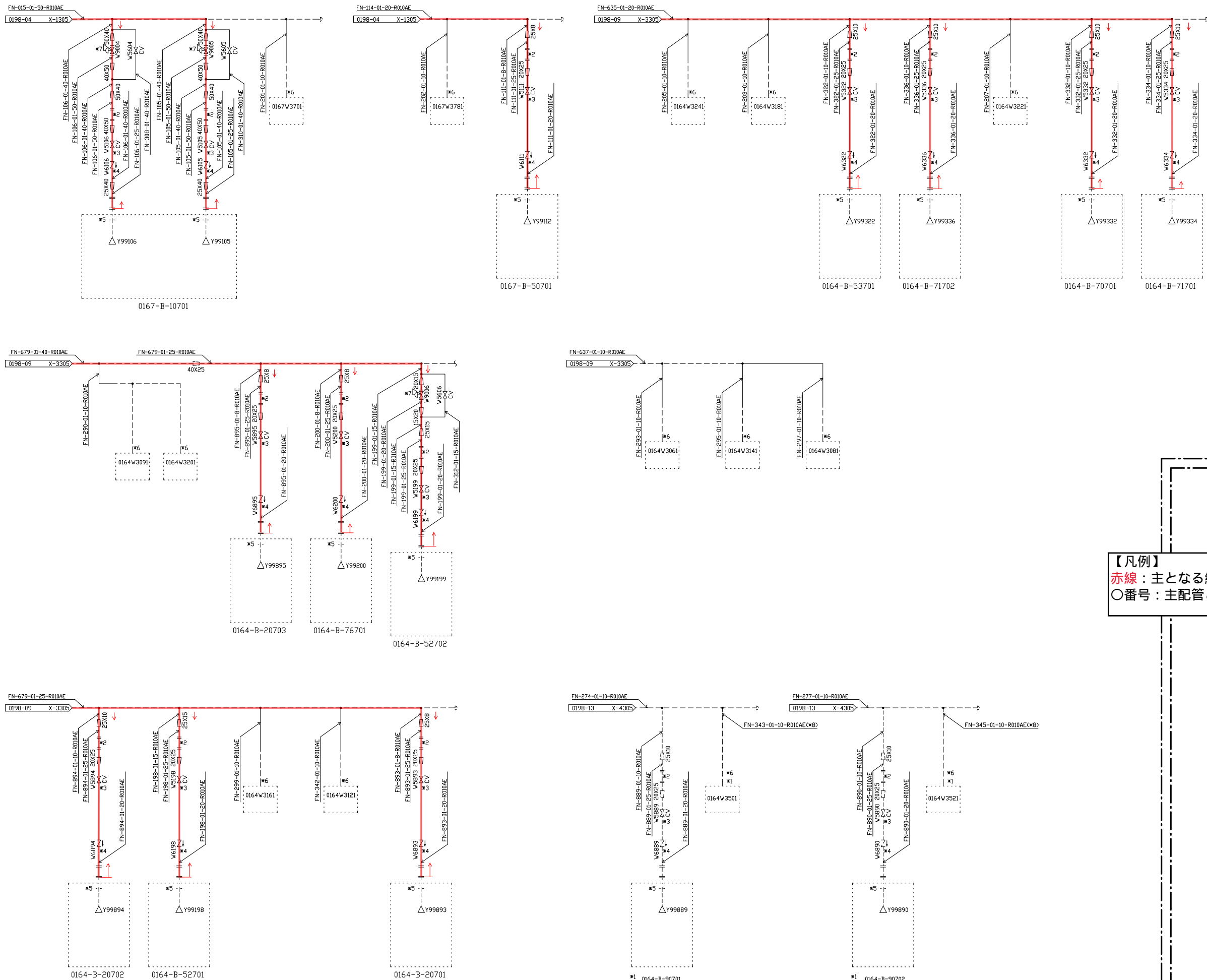
- 注記
- \*1 符表設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレジュース（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレジュース（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ビストンガン用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
  - \*7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。


バイパスラインは、圧力調整弁異常時のみ使用するラインのため、主流路としない。(以下の頁では省略)

【凡例】  
 赤線：主となる経路  
 ○番号：主配管との紐付け番号（ , , . . . . . ）  
 青引き出し線：主流路としない考え方の補足

図書名称	燃料加工建屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB 消火装置)		
	エンジニアリングタワー		
	工程: 0198 (GB) (26/31)		
図面番号	PM-0198-4421-026	改訂	14



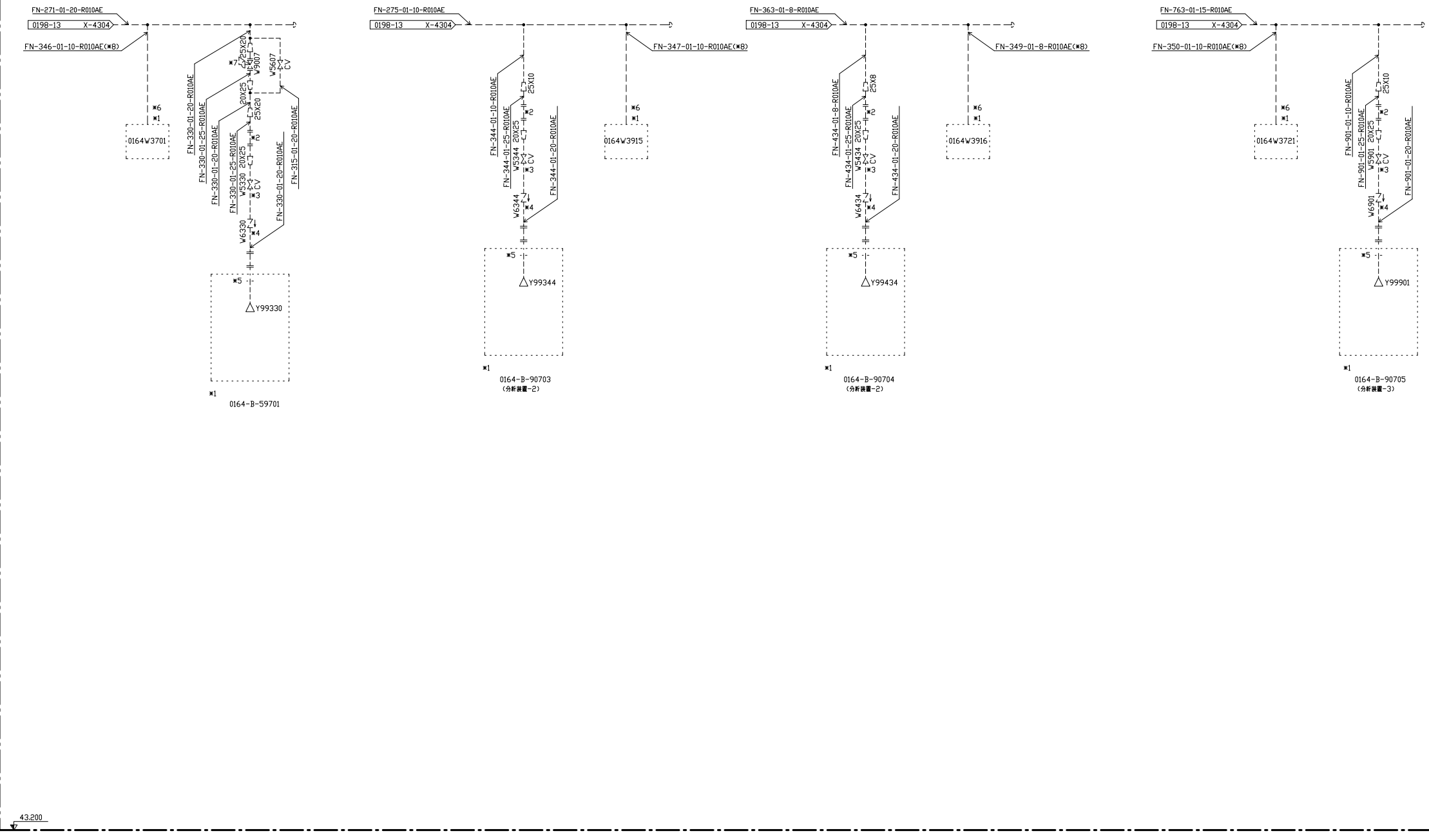


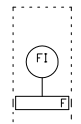
- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け、通常時は流量計を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンガン用専任管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り付け部まで）
  - \*7 非安重GBでGB排気系ファ、ルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
  - \*8 短管部。

【凡例】  
 赤線：主となる経路  
 ○番号：主配管との紐付け番号（ , , . . . ）

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置 エンジニアリングフロア 工程: 0198 (GB) (27/31)		
※先頭図番	PM-0198-4421-027	改訂	13

313  
分析装置

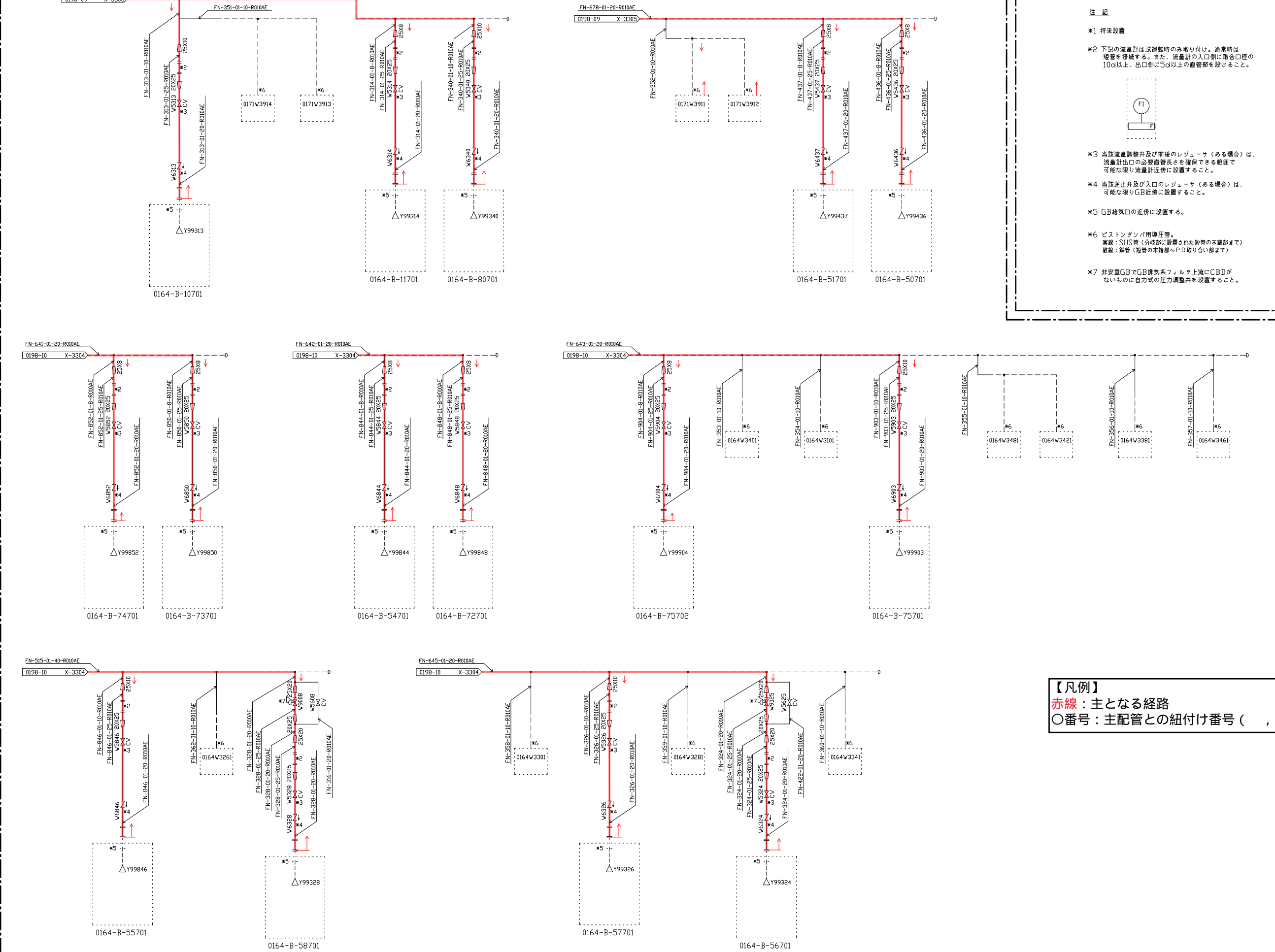


- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンポンプ用導圧管。  
銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
  - \*7 非安置GBでGB排気系フィルク上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
  - \*8 短管部。  
SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）

43.200

図書名称		燃料加工建屋 (PA)	
		エーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置)	
		エンジニアリングタワー	
		工程: 0198 (GB) (28/31)	
客先図番	PM-0198-4421-028	改訂	12

313  
分析第2室

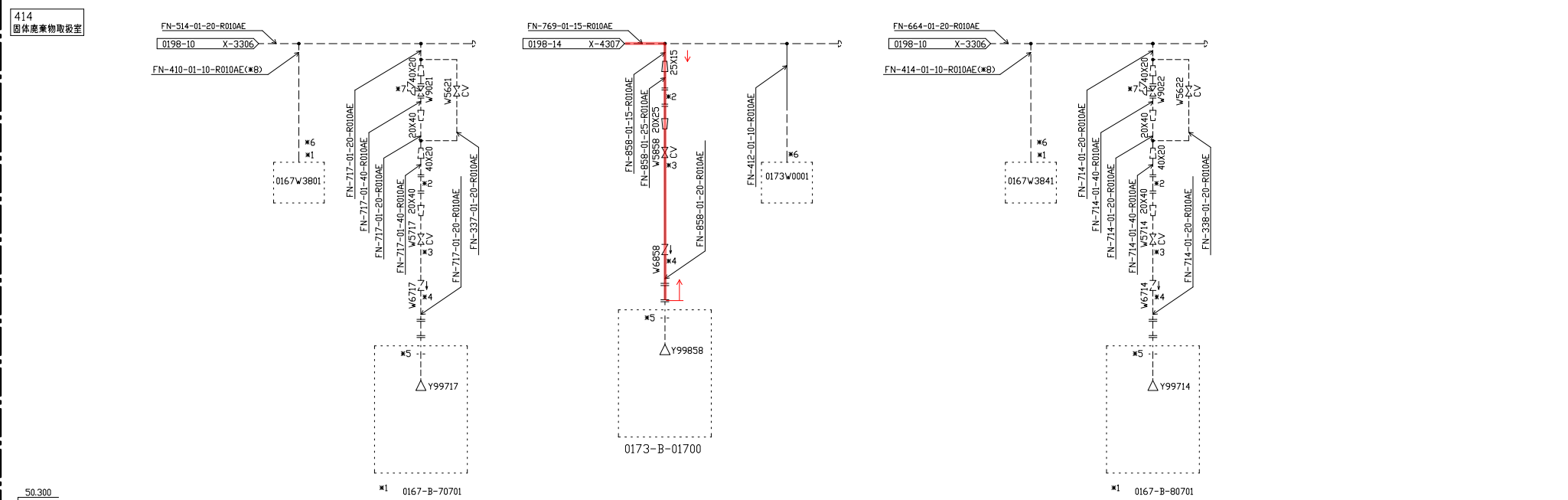


- 注記
- ※1 将来設置
  - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10以上、出口側に5以上の直管部を設けること。
  - ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
  - ※6 ピストンガン用専圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の本端部まで）  
破線：銅管（短管の本端部～PD取り合い部まで）
  - ※7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。

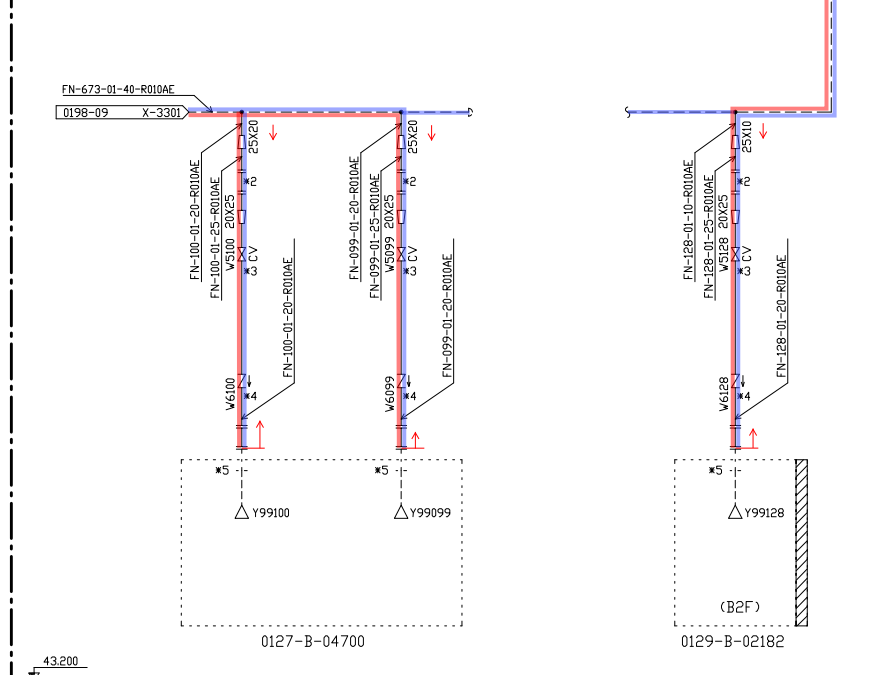
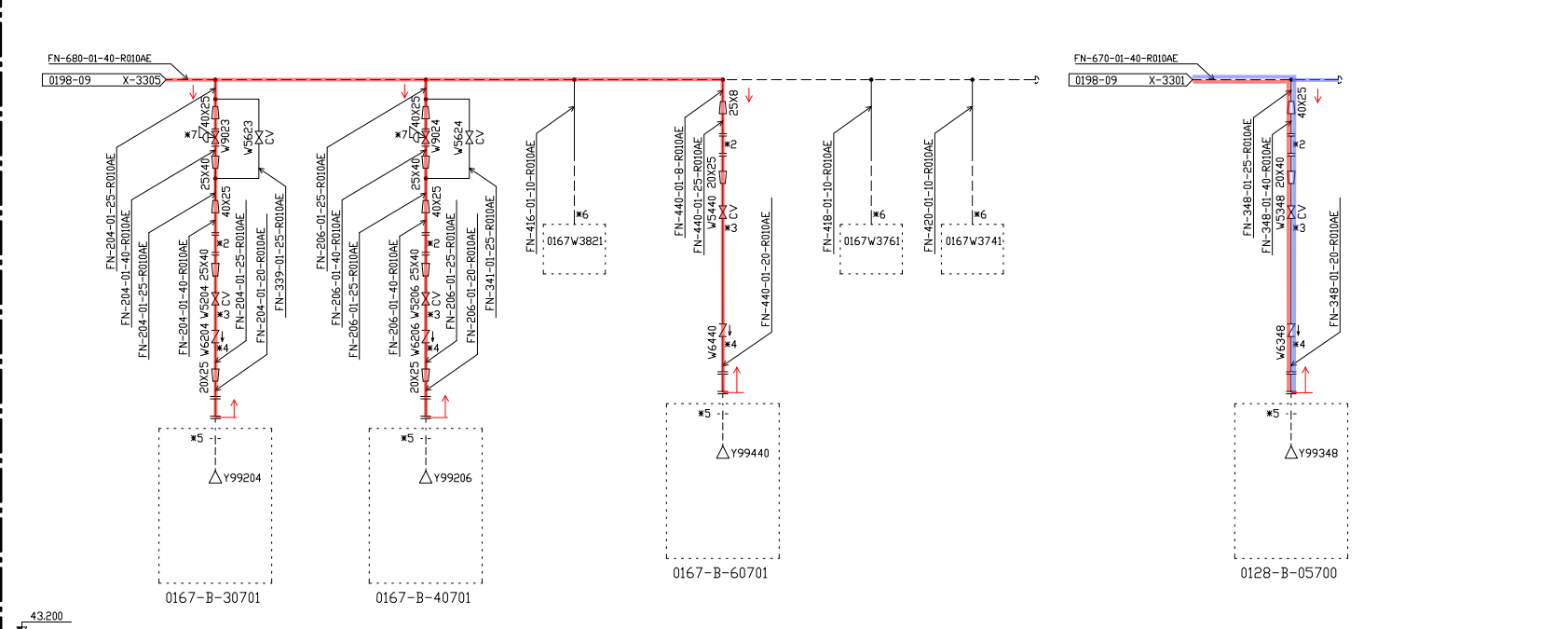
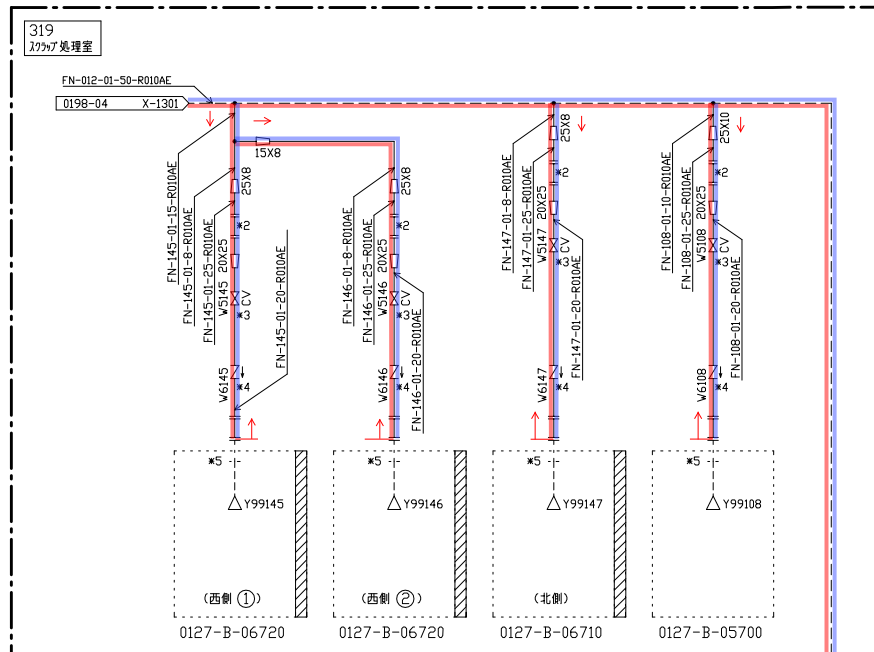
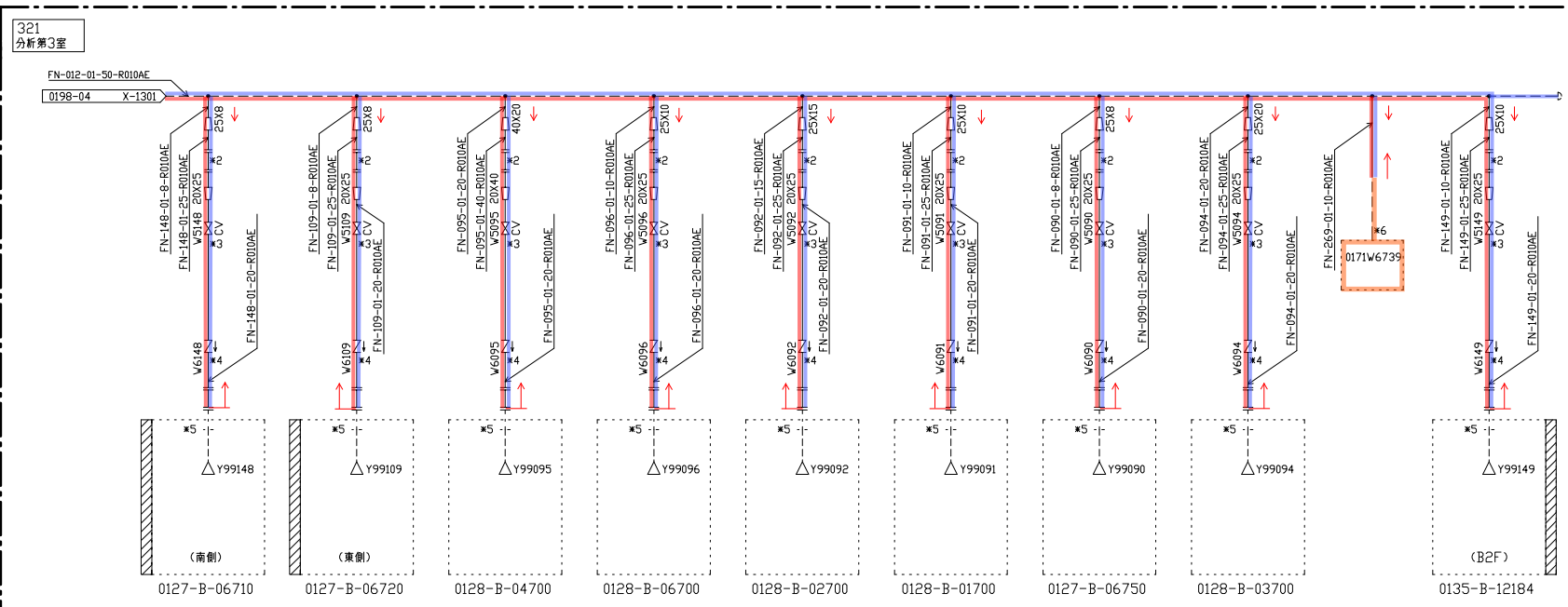
【凡例】  
 赤線：主となる経路  
 ○番号：主配管との紐付け番号（ , , . . . . . ）







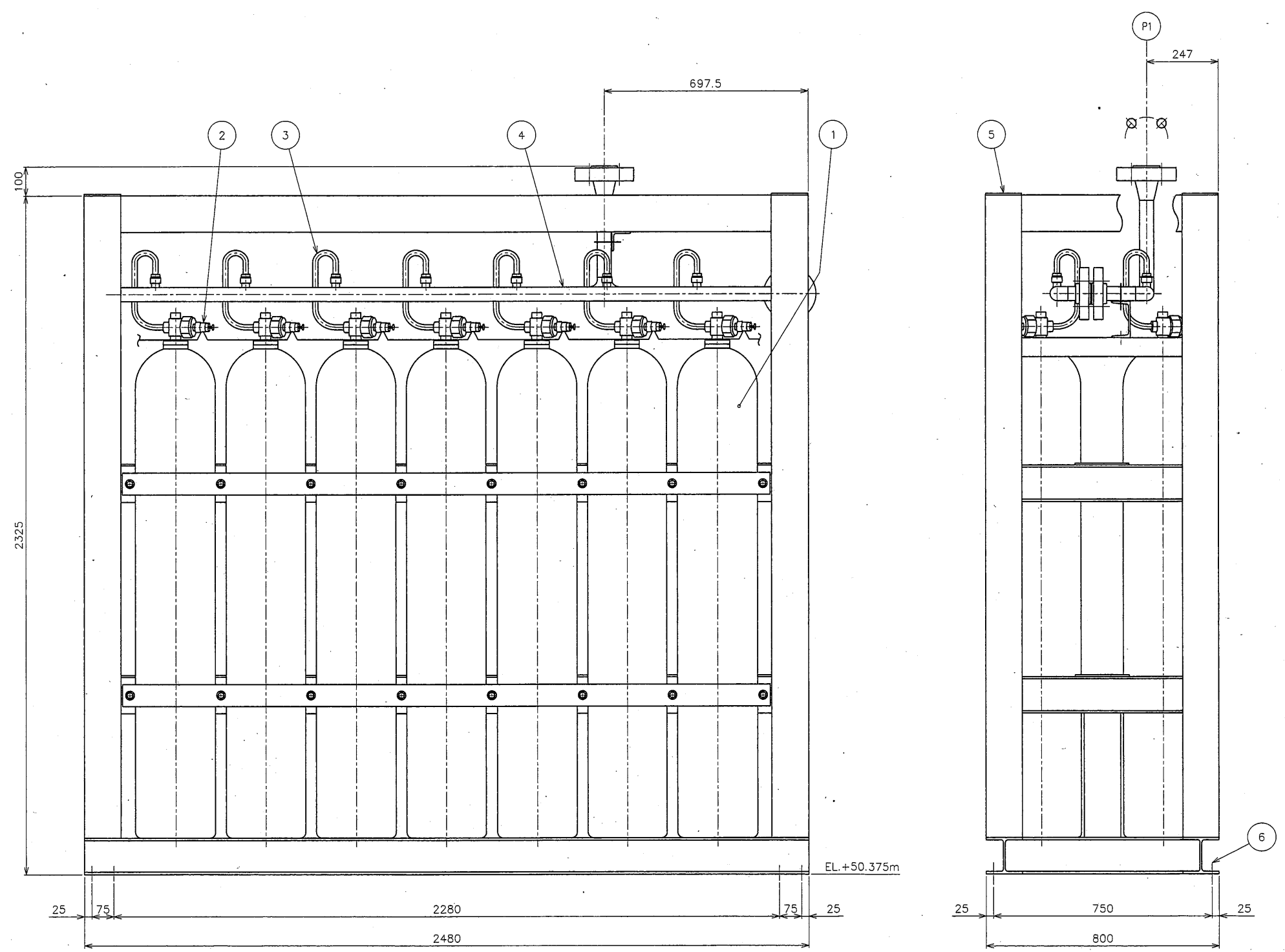
- 注記
- ※1 将来設置
  - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
  - ※6 ビストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管(分岐部に設置された短管の末端部まで)  
破線：銅管(短管の末端部〜PD取り合い部まで)
  - ※7 非防爆GBでGB非気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
  - ※8 短管部。



【凡例】

赤線：主となる経路  
 青色：安全上重要な施設の範囲  
 橙色：火災防護設備 ビストンダンパ  
 ○番号：主配管との紐付け番号  
 ( , , , , )

図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置
エンジニアリングフロー図	工程：0198 (GB) (31/31)
図面番号	PM-0198-4421-031
改訂	13



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分		PA
設置場所		室内
適用法規		高圧ガス保安法
基数		1

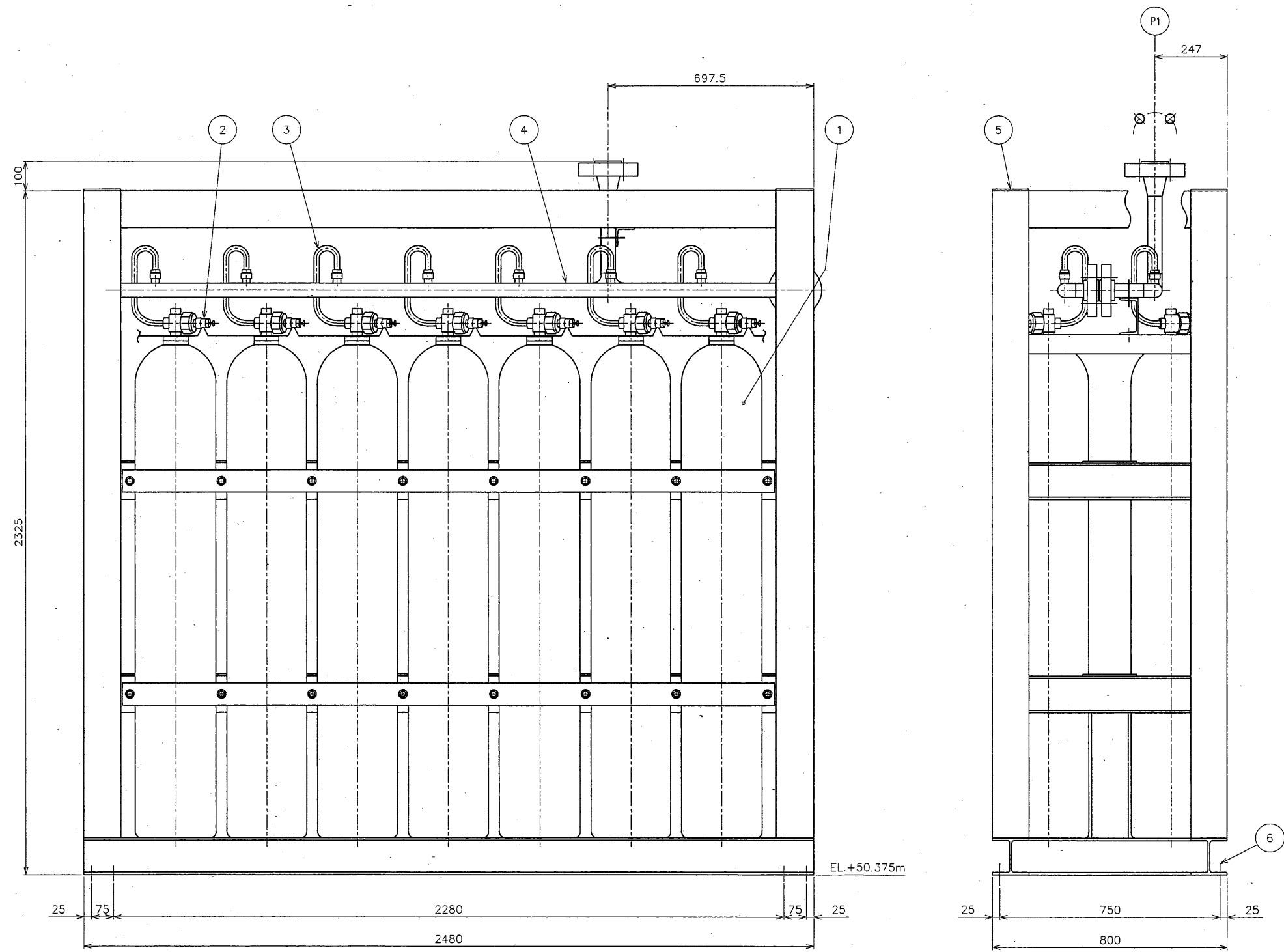
注 記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

品番	名称	材料	数量	単位	重量(kg)	備考
6	腕付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管	C1220T	14			
2	容器弁開放装置	C3771	14			
1	窒素ガス貯蔵容器	クドムリアチン鋼	14			

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1外形図  
 (0198-GU-111)



最高使用圧力	MPa	15.0	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	官庁申請用	-	S
品質要求度クラス	-	-	1
流体の種類	-	-	窒素
質量	kg	-	約 3230
建屋区分	-	-	PA
設置場所	-	-	蓋
適用法規	-	-	高圧ガス保安法
基数	-	-	基 1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

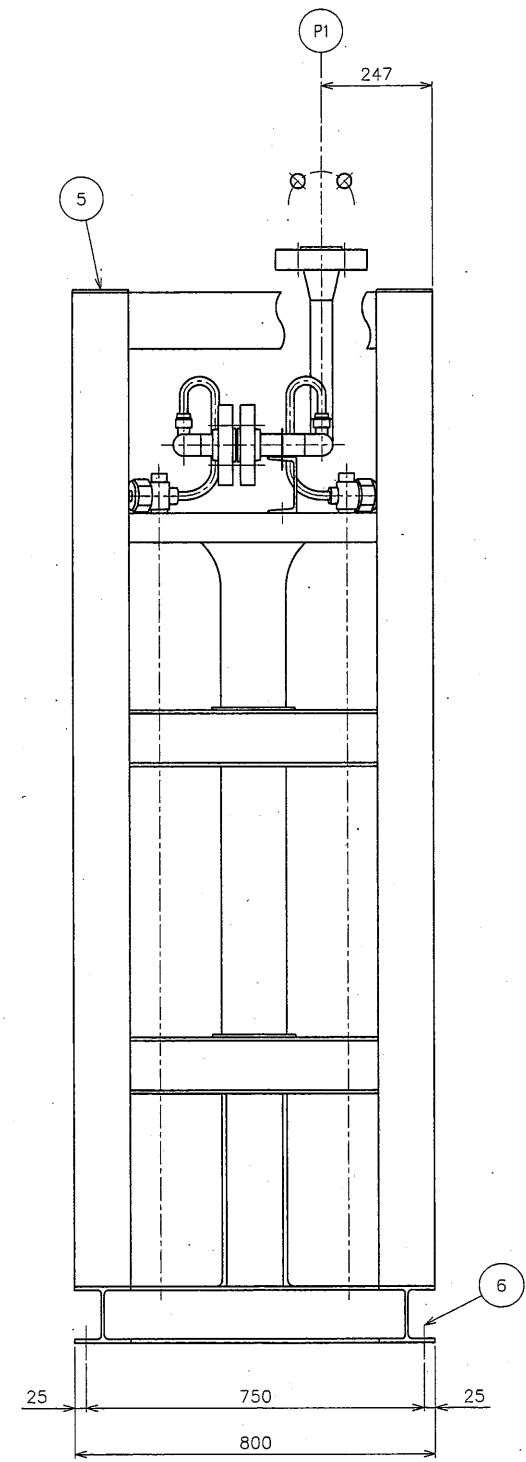
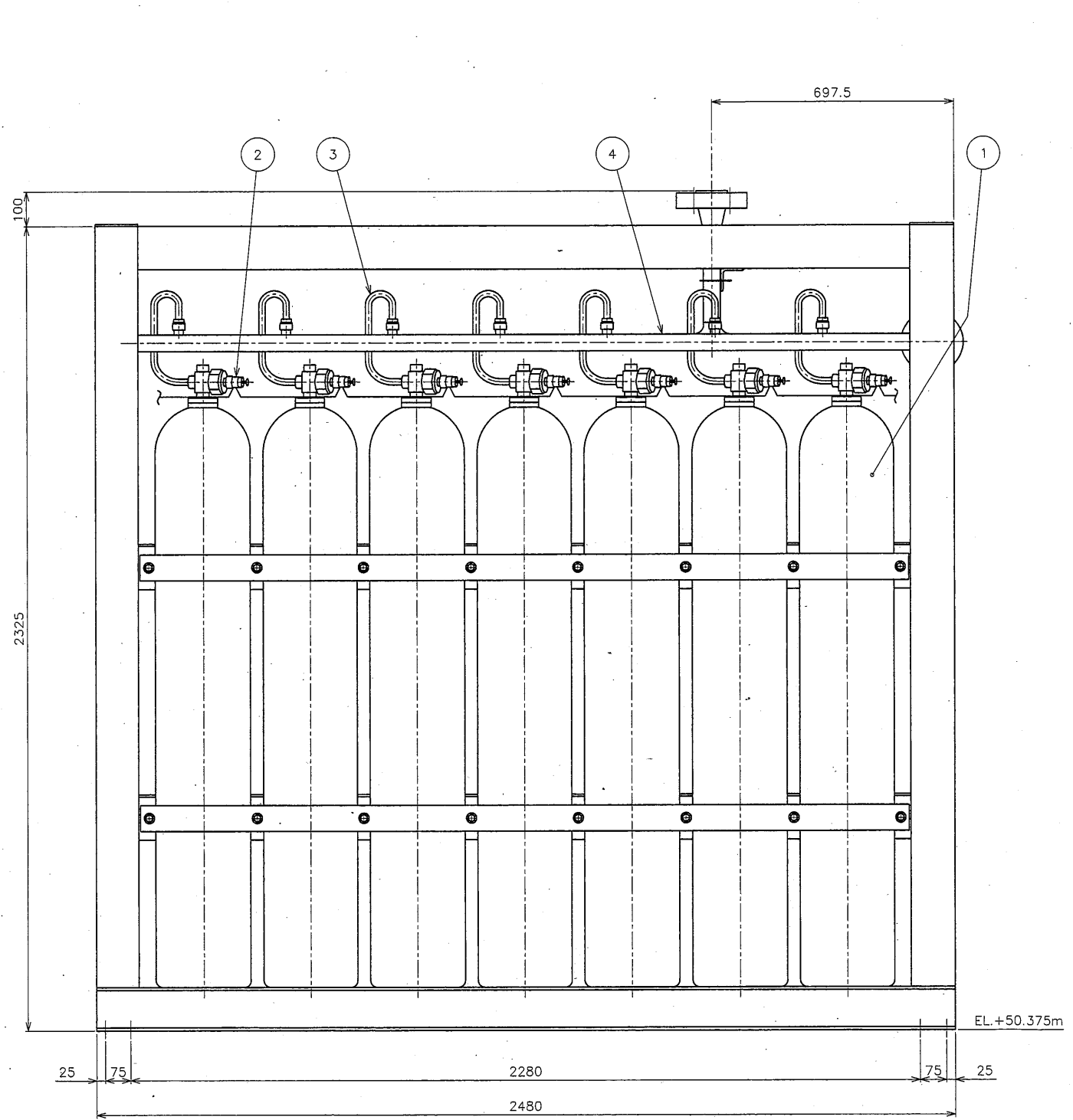
・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

予備	標準	数量	名称	材料	仕様	単位	1個当たりの重量(kg)	備考
		8	取付ボルト・ナットM16	SS400		組		
		1	組棒	SS400 STKR400		組		
		1	集合管	SUS304TP		組		
		14	連結管	C1220T		本		
		14	容器弁開放装置	C3771		本		
		14	窒素ガス貯蔵容器	コロムビア		本		

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防消火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2外形図  
 (0193-GU-112)







要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理度クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	室	428
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

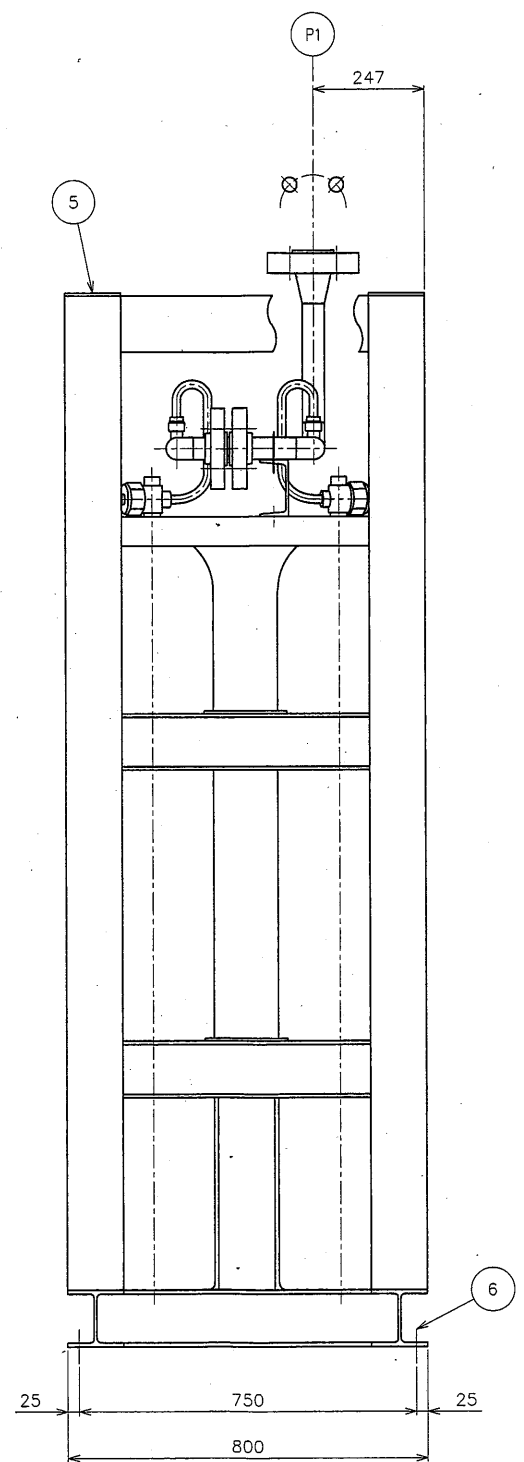
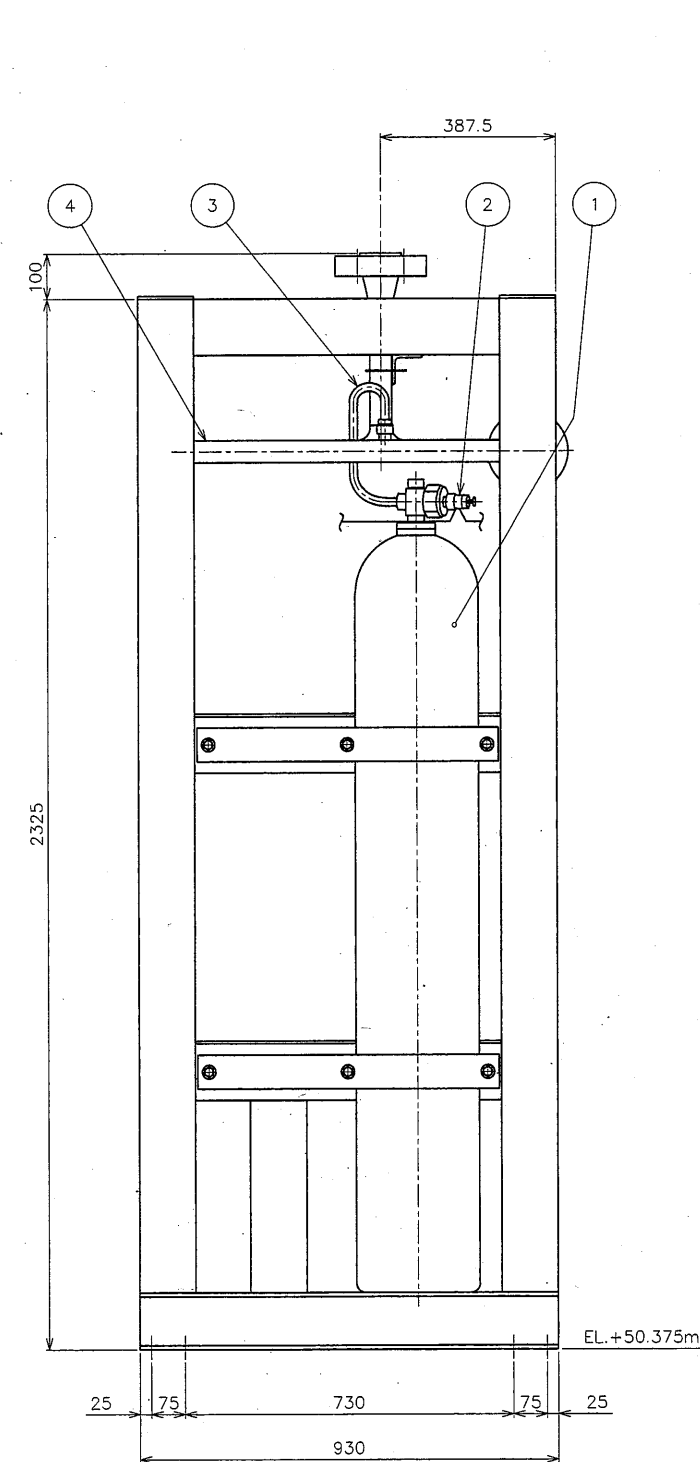
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

予	予	番	名	材	材	試	予	1	設	記	事
分	分	号	称	料	料	験	予	個	計	事	事
						片	1	数	画		
							基	分	分		
							数	数	数		
							量	量	(kg)		
		6	密付ボルト・ナットM16	SS400			8	組			
		5	組件	SS400 STKR400			1	組			
		4	集合管	SUS304TP			1	組			
		3	連結管	C1220T			14				
		2	容器弁開放装置	C3771			14				
		1	窒素ガス貯蔵容器	70Lモノブレン			14				

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4外形図  
 (0198-GU-114)



管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1350
建屋区分		PA
設置場所		室 428
適用法規		高圧ガス保安法
基数	基	1

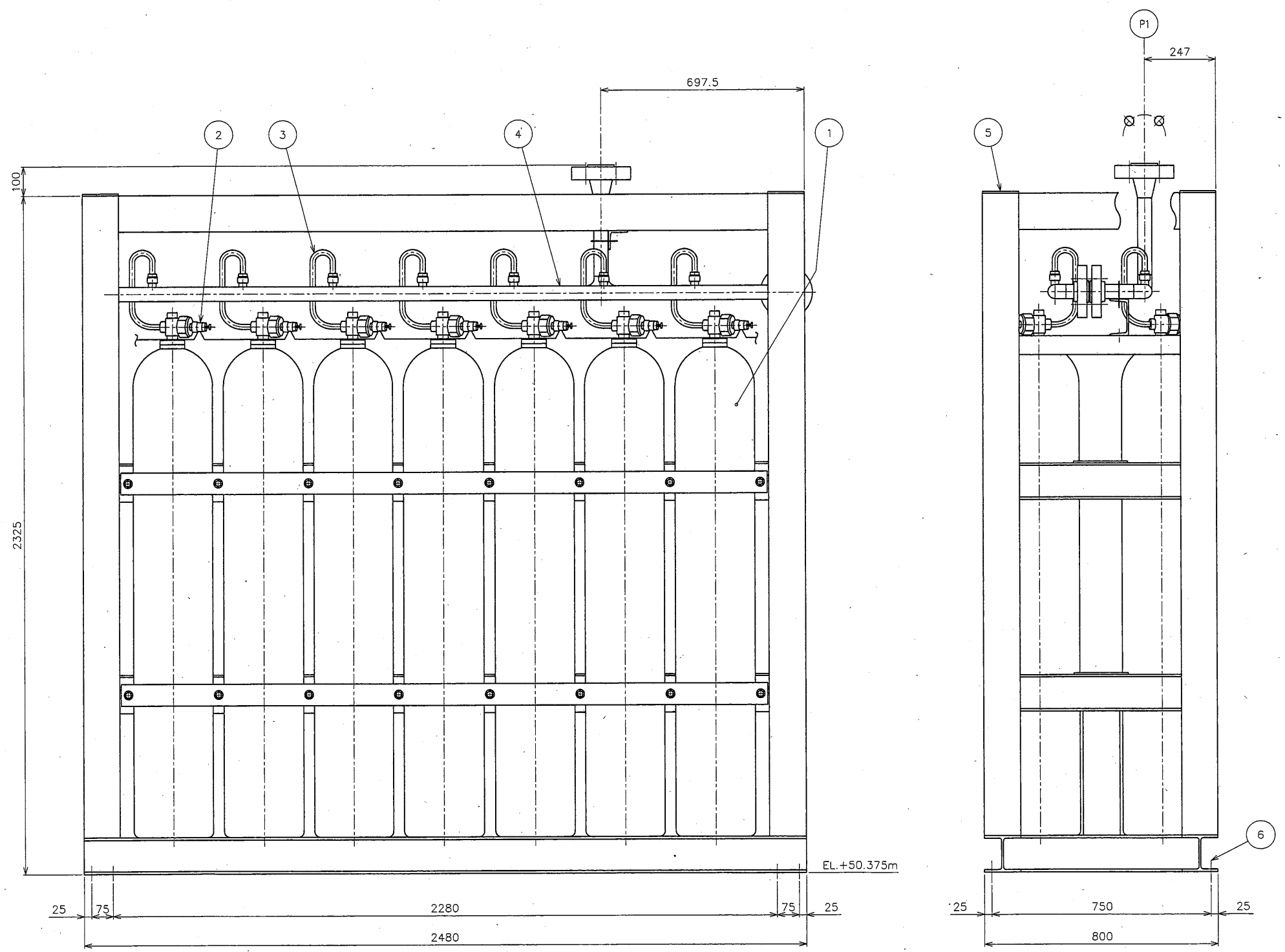
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

部品番号	名称	材料	数量	単位	備考
6	継手ボルト・ナットM16	SS400	8	組	
5	組件	SS400 STKR400	1	組	
4	集合管	SUS304TP	1	組	
3	連結管	C1220T	2		
2	容器弁開放装置	C3771	2		
1	窒素ガス貯蔵容器	70Lモリブデン鋼	2		

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5外形図  
 (0198-GU-115)





要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3230
積層区分		PA
設置場所		428
適用法規		高圧ガス保安法
画数	基	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

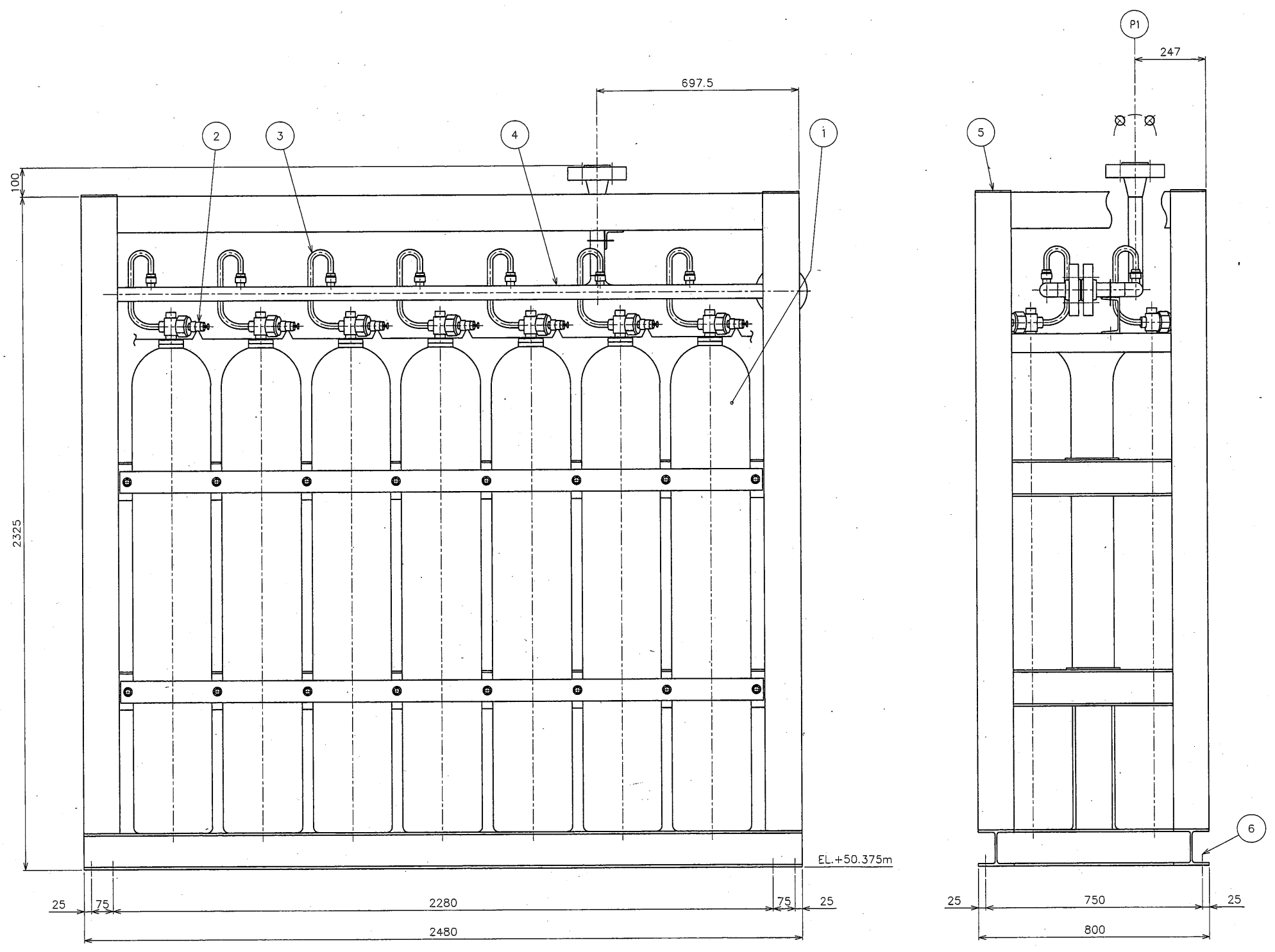
管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

子番号	子番号	番号	名称	材料	取替片	標準	1個	合計	単位	重量(kg)	記	事
	6		配付ボルト・ナットM16	SS400		8組						
	5		組棒	SS400 STKR400		1組						
	4		集合管	SUS304TP		1組						
	3		連結管	C1220T		14						
	2		容器弁開放装置	C3771		14						
	7		窒素ガス貯蔵容器	クオモリブタン		14						

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2外形図  
 (0198-GU-122)





最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
積層区分	-	PA
設置場所	-	42B
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

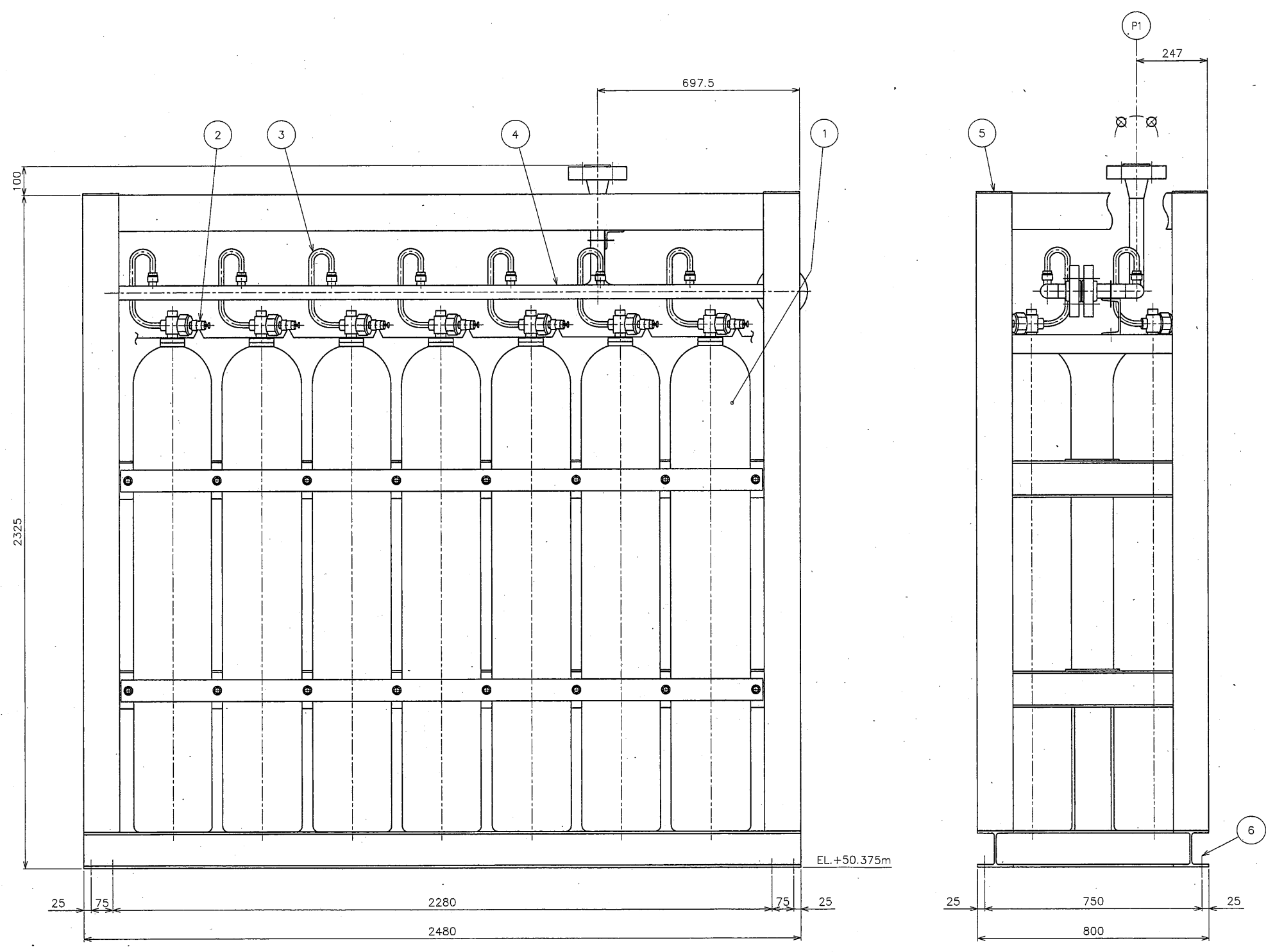
注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

番号	名称	材料	数量	単位	重量(kg)	備考
6	取付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管	C1220T	14	本		
2	容器弁開放装置	C3771	14	本		
1	窒素ガス貯蔵容器	クハムリブチン鋼	14	本		

日本原燃株式会社  
MOX燃料工場  
防火設備(Q)  
GB消火装置  
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3外形図  
(0198-GU-123)



最高使用圧力	M P a	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	M P a 14.7
	最大	M P a 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	-	428
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	-	1

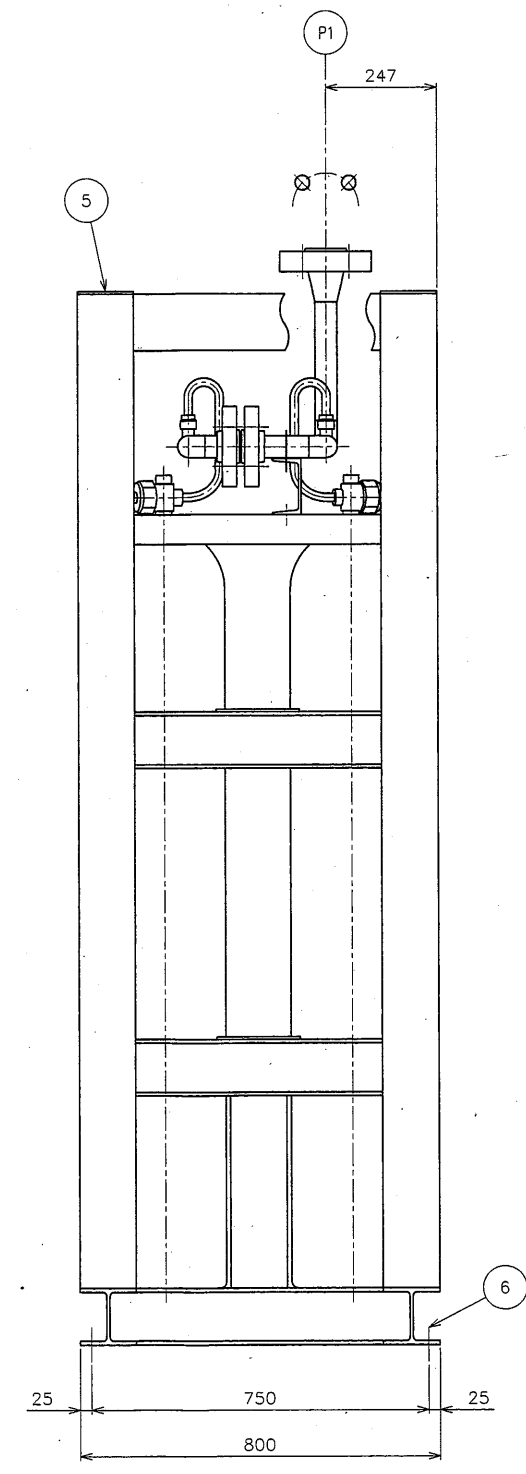
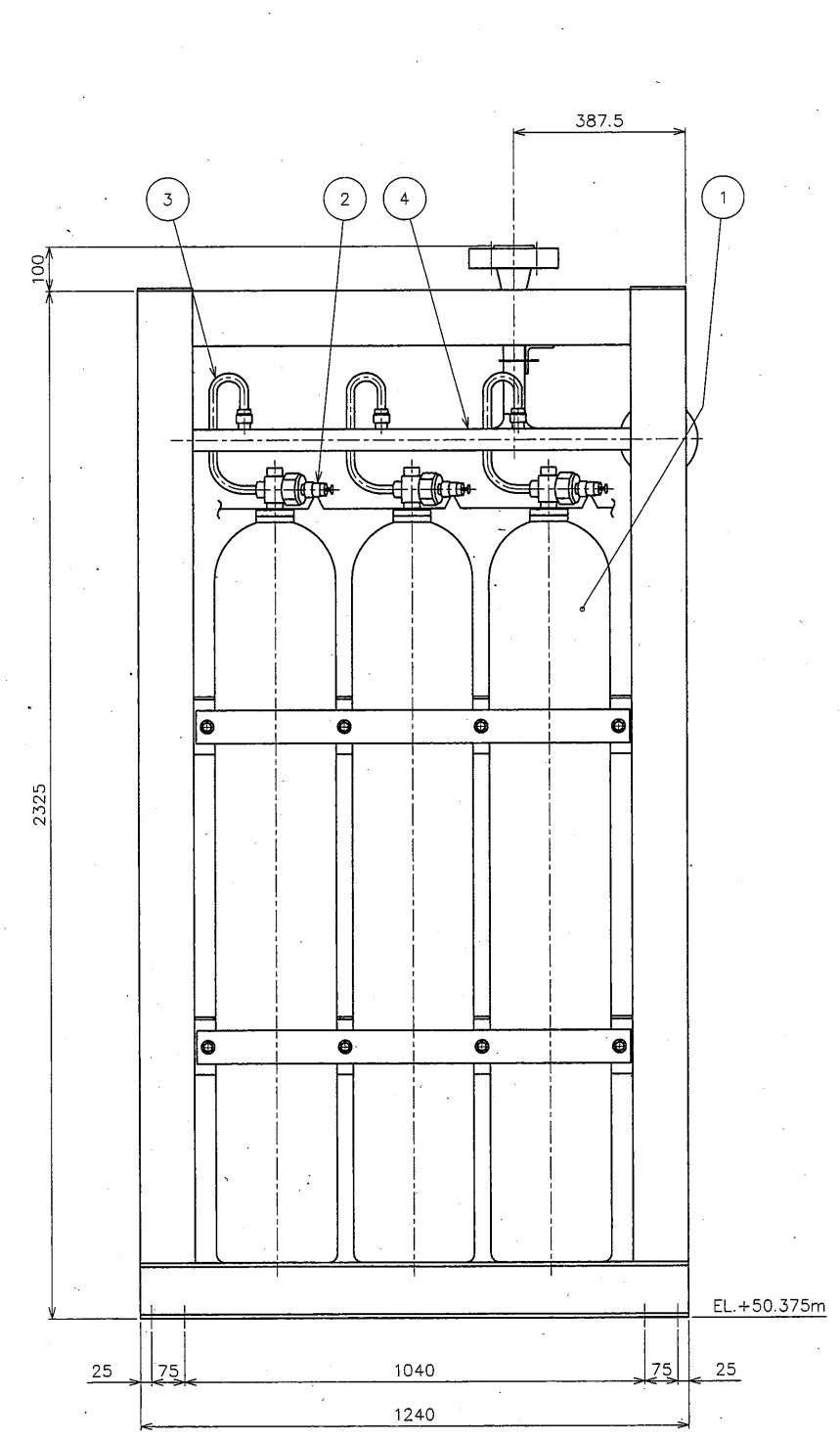
注 記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

部	品	名	材	材	数	重	備
号	名	称	料	料	量	量 (kg)	考
6	継手ボルト・ナットM16	SS400	8組				
5	継手	SS400 STKR400	1組				
4	集合管	SUS304TP	1組				
3	連結管	C1220T	14				
2	容器弁開放装置	C3771	14				
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムコバルト鋼	14				

日本原燃株式会社  
MOX燃料工場  
防火設備(Q)  
GB消火装置  
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4外形図  
(0198-GU-124)



要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質重要度クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1910
設置区分		PA
設置場所		室内
適用法規		高圧ガス保安法
基効		1

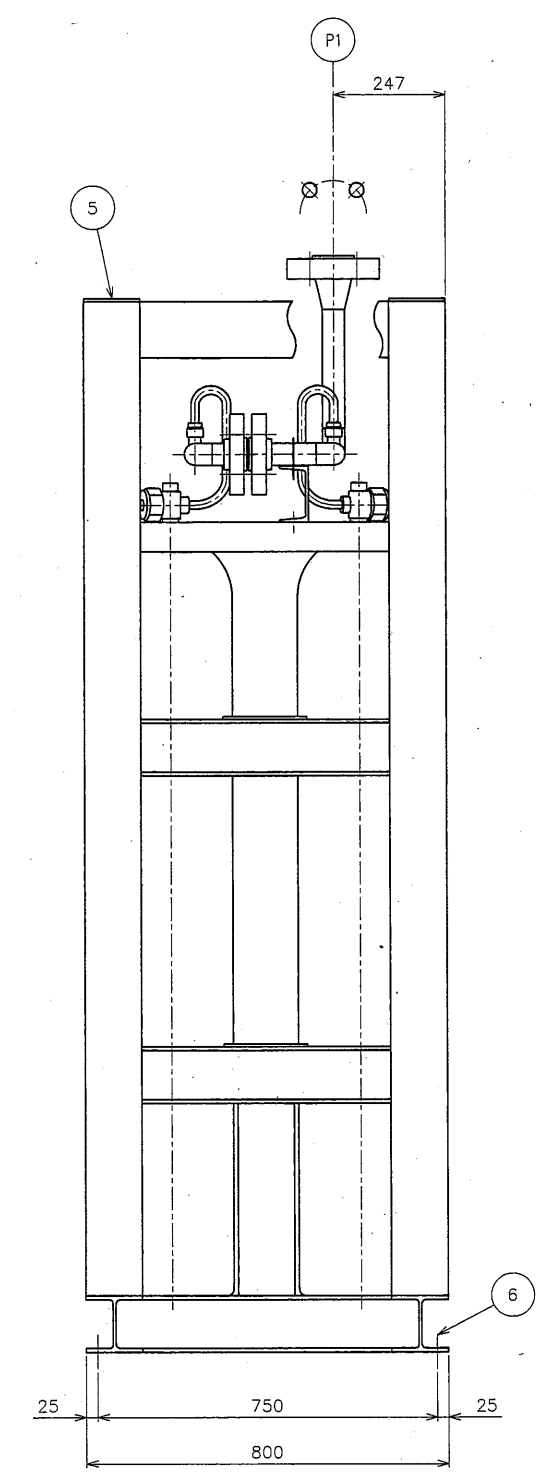
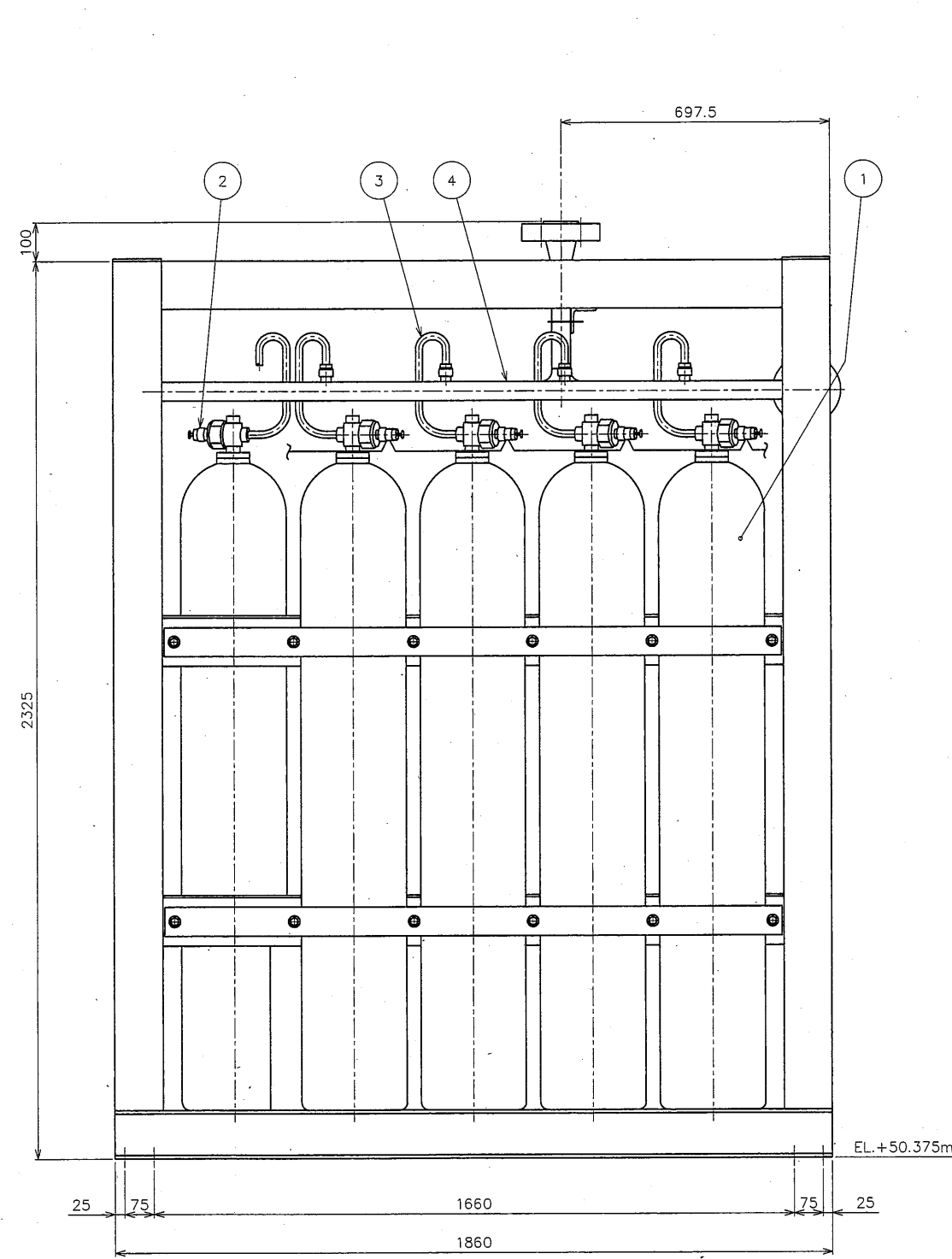
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

数量	名称	材料	仕様	単位	数量	重量 (kg)	備考
6	配付ボルト・ナットM16	SS400		8組			
5	組棒	SS400-STKR400		1組			
4	集合管	SUS304TP		1組			
3	連結管	C1220T		6			
2	容器弁開放装置	C3771		6			
10	窒素ガス貯蔵容器	カラムリブチン鋼		6			

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5外形図  
 (0198-GU-125)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 2450
建屋区分		PA
設置場所		室 428
適用法規		-
基数	基	1

注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

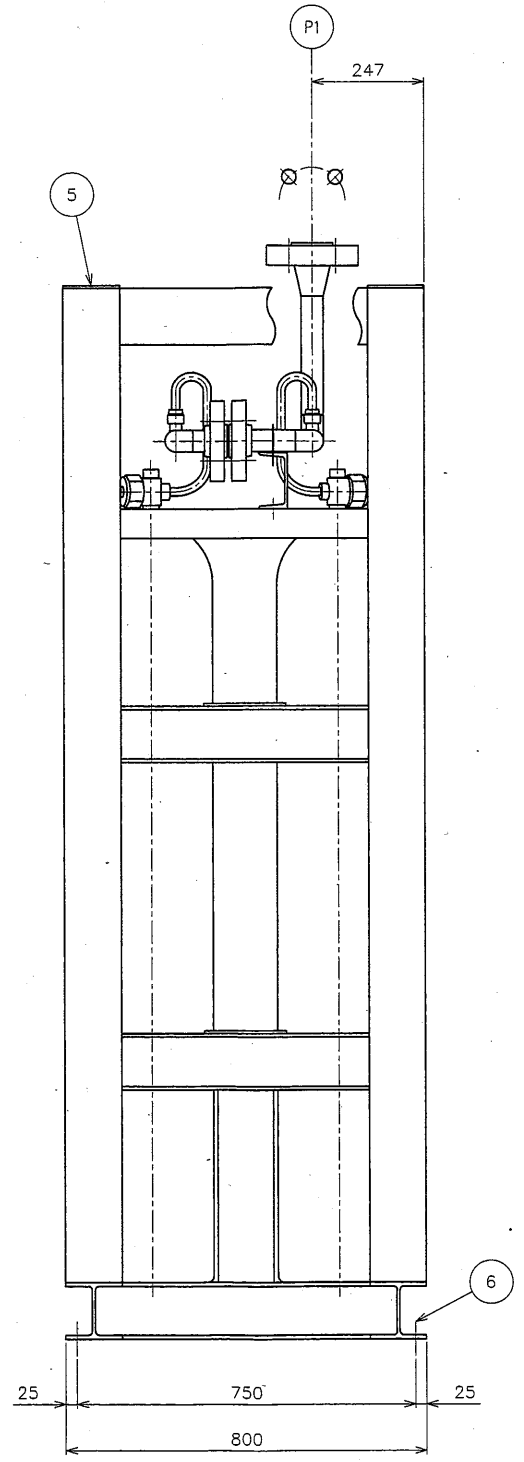
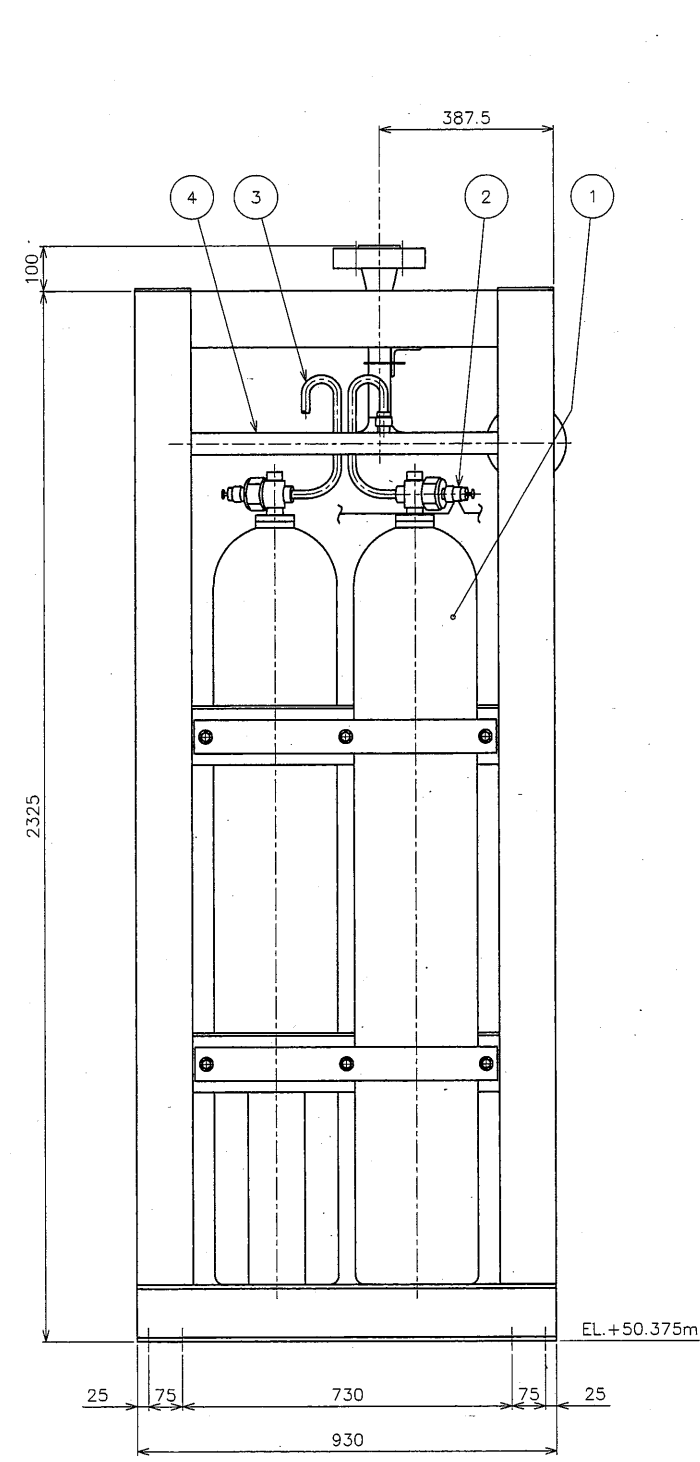
管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

区分	番号	名称	材料	仕様	数量	重量 (kg)	備考
	6	緩付ボルト・ナットM16	SS400		8組		
	5	組棒	SS400 STKR400		1組		
	4	集合管	SUS304TP		1組		
	3	連結管	C1220T		9		
	2	容器弁開放装置	C3771		9		
	1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼		9		

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場  
防火設備(Q)  
GB消火装置  
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3外形図  
(0198-GU-131)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1470
建屋区分		PA
設置場所		釜
適用法規		-
基数		1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

品番	品名	材料	数量	単位	重量(kg)	備考
6	器具ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管	C1220T	3			
2	容器弁開放装置	C3771	3			
1	窒素ガス貯蔵容器	クオモリボン	3			

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4外形図  
 (0198-GU-141)

### 設計図書の記載に係る留意事項

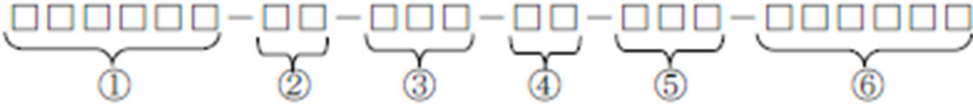
1. 配管番号
2. 機器番号
3. 設計図書の記載に係る留意事項
4. 系統図に用いるポンプ等の凡例
5. 計装関係記号
6. 主配管の名称の付け方の例



1. 配管番号

配管番号は以下のルールに従い、設定している。

なお、設計図書の系統図においては、系統番号は明確であるため、②の流体記号から記載している。



番号	種別	説明
①	系統番号	各設備に系統番号を設定する。PA○○○○
②	流体記号	第1表参照
③	配管連番	②の流体ごとに001~999の連番とする。機器，合流点及び分岐点を経るごとに番号を進める。ただし母管については合流点及び合流点で必ずしも番号を進める必要はない。
④	セクション番号	③の配管連番ごとに01~99の連番とし，以下の場合に附番する。 a. 配管の途中で配管クラスが変わるとき。 ただし，建屋・施設間にまたがる配管については，その限りではない。 b. 配管がいくつかのGBまたは装置を経由して元のGB又は装置に戻るとき。 c. 配管途中で配管口径が変わるときは必要に応じ附番してよい。
⑤	配管口径	呼び径，JIS(A)表記とする。ただし“A”は記載不要
⑥	配管クラス	配管クラスは以下の表記とする。 <div style="text-align: center;"> </div> A：配管材質（第2表），B：呼び圧力（第3表），C：配管厚さ及び仕様による区分， D：配管区分（第4表）

1. 配管番号

第1表 流体記号

記号	種類	参考
PR	プロセスの流れ (核燃料物質を含む流れ)	<u>P</u> rocess <u>F</u> luid
AV	ベント (放射性)	<u>A</u> ctive <u>V</u> ent
VE	ベント (非放射性)	<u>N</u> on-active <u>V</u> ent
DF	除染液 (供給)	<u>D</u> econtamination <u>F</u> luid
TW	工業用水	<u>T</u> reated <u>W</u> ater
DW	飲料水	<u>D</u> rinking <u>W</u> ater
DM	純水	<u>D</u> emineralized <u>W</u> ater
CW	冷却水	<u>C</u> ooling <u>W</u> ater
HW	温水	<u>H</u> ot <u>W</u> ater
SH	過熱水	<u>S</u> uper <u>H</u> eated <u>W</u> ater
CH	冷水	<u>C</u> hilled <u>W</u> ater
FW	消火水	<u>F</u> ire <u>S</u> ervice <u>W</u> ater
SC	凝縮水	<u>S</u> team <u>C</u> ondensation
AS	蒸気	<u>A</u> uxiliary <u>S</u> team
HF	熱媒 (除 AS, SH)	<u>H</u> eating <u>F</u> luid
CL	冷媒	<u>C</u> oolant
SA	雑用圧縮空気	<u>S</u> ervice <u>A</u> ir
IA	計装用圧縮空気	<u>I</u> nstrumentation <u>A</u> ir
OA	制御用空気 (油潤滑)	<u>O</u> iled <u>C</u> ontrol <u>A</u> ir
BA	呼吸用圧縮空気	<u>B</u> reathing <u>A</u> ir
GA	空気一般 (エアスニファ、排気 モニタのサンプリング空気)	
FN	N <sub>2</sub> 消火	
FC	CO <sub>2</sub> 消火	
VM	真空	<u>V</u> acuum
WH	水圧系	<u>W</u> ater in <u>H</u> ydraulic <u>C</u> ircuit
OH	油圧系	<u>O</u> il in <u>H</u> ydraulic <u>C</u> ircuit

記号	種類	参考
FO	燃料油	<u>F</u> uel <u>O</u> il
FG	燃料ガス	<u>F</u> uel <u>G</u> as
HV	換気空調 (除プロセス換気:AV または VE)	<u>H</u> eating and <u>V</u> entilation
MA	中放射性廃液	<u>M</u> edium <u>A</u> ctive <u>L</u> iquid <u>W</u> aste
LA	低放射性廃液	<u>L</u> ow <u>A</u> ctive <u>L</u> iquid <u>W</u> aste
VA	極低放射性廃液	<u>V</u> ery <u>L</u> ow <u>A</u> ctive <u>L</u> iquid <u>W</u> aste
VV	極々低放射性廃液	<u>V</u> ery <u>V</u> ery <u>L</u> ow <u>A</u> ctive <u>L</u> iquid <u>W</u> aste
IW	非放射性廃液	<u>I</u> n-active <u>L</u> iquid <u>W</u> aste
RD	雨水	<u>R</u> ain <u>W</u> ater <u>D</u> rain
RE	試薬 (ガスを含む) *	<u>R</u> eagent
GW	湧水	<u>G</u> rounding <u>W</u> ater
ED	機器ドレン (非放射性)	<u>N</u> on-active <u>E</u> quipment <u>D</u> rain
FD	床ドレン (非放射性)	<u>N</u> on-active <u>F</u> loor <u>D</u> rain
SD	衛生 (生活) 排水	<u>S</u> anitary <u>D</u> rain
WW	一般排水	<u>G</u> eneral <u>W</u> aste <u>W</u> ater
SS	試料採取	<u>S</u> ampling <u>S</u> ystem <u>P</u> iping
PV	気送用空気供給/排気	<u>P</u> neumatic <u>V</u> entilation
PT	気送	<u>P</u> neumatic <u>T</u> ransport
GP	検出端挿入	<u>G</u> uide <u>P</u> ipe (サーモカップル, 中性 子検出器用等, 含予備挿入管)
FH	消火用ハロゲン化物	<u>F</u> ire <u>S</u> ervice <u>H</u> alides
WP	予備プロセス 将来設置/増設用の 予備的措置	<u>W</u> aiting <u>P</u> ipe
XX	その他 (二重管配管を含む)	

(\* ) 試薬系の主ラインについては、その化学記号 (HNO<sub>3</sub>, N<sub>2</sub>等) を当該ラインの両端等の主な配管番号の右余白に付記する。

(例) RE-○○○-○○-○○○-○○○○○○ (HNO<sub>3</sub>)

1. 配管番号

第2表 配管材質

記号	配管材質	記号	配管材質
G	SGP	Z	ジルコニウム
T	STPG & STPT	C	銅
X	上記以外の炭素鋼&STPA	P	PVC (塩化ビニール)
D	SUS316L	F	鋳鉄
S	SUS304L	B	コンクリート
K	R・SUS316 ULC	J	被覆鋼
L	R・SUS304 ULC	M	強化樹脂
H	SUS316	N	高密度ポリエチレン
R	SUS304	A	アルミニウム
U	ウラナス	E	鉛
V	高Cr高Moステンレス鋼	W	GNCF1
Y	テフロン		

第3表 呼び圧力

記号	呼び圧力	記号	呼び圧力
002	2K	030	30K
005	5K	040	40K
010	10K (含真空)	063	63K
016	16K	106	ANSI 1500 <sup>2</sup>
020	20K	176	ANSI 2500 <sup>2</sup>

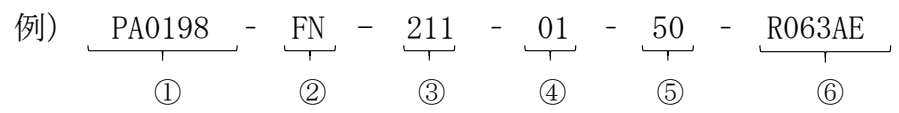
第4表 配管区分

記号	区分	定義	備考
A	加工第1種管	加工施設の化学処理施設、核燃料物質の貯蔵施設または放射性廃棄物の廃棄施設に属する管のうち、プルトニウムの放射能濃度が 37kBq/cm <sup>3</sup> 以上の液体（以下、プルトニウム溶液）を内包する管。	第一条の2 第一項
B	加工第2種管	加工施設に属する管のうち、加工第1種管および次項に規定する加工第3種管以外の管。	第一条の2 第四項
C	加工第3種管	加工施設に属する管のうち、次に掲げるもの。 イ プルトニウム溶液の漏えいの拡大防止のために設置されるドリフトレイその他の容器 ロ 六ふっ化ウランの加熱容器 ハ ダクト	第一条の2 第七項
D	放射性流体配管	加工施設に属する管のうち、放射性物質を内包する管をいう。（ただし、上記A～Cを除く。）	
E	非放射性流体配管	加工施設に属する管のうち、上記A～D以外の管をいう。	

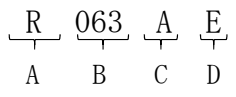
(注) 該当する溶接の技術基準の条項番号は備考欄に記載してある。

(「加工施設、再処理施設及び特定廃棄物管理施設の溶接の技術基準に関する規則」より)

1. 配管番号



- ① : 「PA0198」 ⇒ 系統番号「燃料加工建屋の工程番号0198 (ユーティリティ設備 防消火設備 (窒素消火装置))」
- ② : 「FN」 ⇒ 流体記号「FN : N<sub>2</sub>消火」 (第1表参照)
- ③ : 「211」 ⇒ 配管連番「004」
- ④ : 「01」 ⇒ セクション番号「02」
- ⑤ : 「50」 ⇒ 配管口径「50A」
- ⑥ : 「R063AE」

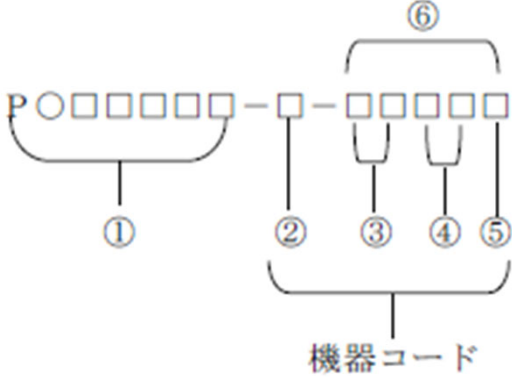


- A : “R” ⇒ 配管材質「SUS304」 (第2表参照)
- B : “063” ⇒ 呼び圧力「63K」 (第3表参照)
- C : “A” ⇒ 配管厚さ及び仕様による区分 (配管材質, 呼び圧力で複数同様のスペックがある場合に使用する)
- D : “E” ⇒ 配管区分「非放射性流体配管」 (第4表参照)

2. 機器番号

機器番号は以下のルールに従い、設定する。

なお、設計図書の系統図においては、系統番号は明確であるため、②の流体記号から記載している。



番号	種別	説明
①	系統番号	各設備に系統番号を設定する。
②	識別番号	第5表参照
③	主要機器番号	系統番号ごとに主要機器の番号を設定。並列機器等を考慮して設定する。
④	付属機器番号	主要機器ごとに付属機器の番号を設定。
⑤	追番	分析設備に関して、グローブボックス、分析機種ごとに追番を取る。
⑥	弁・アクセサリ等の番号	弁・アクセサリがある場合に使用する。

2. 機器番号

第5表 機器識別番号

記号	機器	備考
A		
B	グローブボックス, フード, オープンポートボックス	
C	冷却装置・冷凍機	
D	除湿器, 空気分離器, ミスト・セパレータ, 分配器	
E		
F	フィルタ	
G		
H	熱交換器, 加熱装置	
I	-	使用しない
J		
K	圧縮機, 排風機, 送風機	
L		
M	機械装置一般	
N		
O	-	使用しない
P	ポンプ	含真空ポンプ
Q	消火栓	
R		
S	ID読取装置	
T	秤量装置	
U		
V	槽類, 空調機器全般	C, D, F, H, K, W および X を除く
W	弁・ダンパ等	全形式, 機能(*1)
X	その他	
Y	配管アクセサリ	トラップ, ストレーナ, オリフ イス, クイックコネクタ等の配 管アクセサリ (計装用を除く) および床ドレンファンネル等 を含む。
Z		

(\*1)機能区分は弁・ダンパ等の番号によって行う。

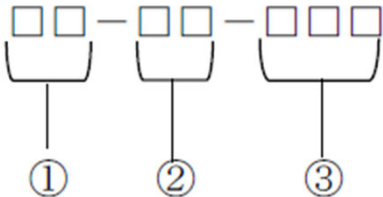
弁・ダンパ等の番号	機能区分
100番台 (または1000番台)	遠隔手動調節弁・遠隔手動調節ダンパ
300番台 (または3000番台)	遠隔オン・オフ弁・遠隔オン・オフダンパ
500番台 (または5000番台)	手動弁 (現場操作弁・現場操作ダンパ, 含逆止弁)
700番台 (または7000番台)	
800番台 (または8000番台)	安全弁, 逃がし弁 (含真空破壊弁)
900番台 (または9000番台)	その他の弁およびダンパ (含自力式調整弁)

なお、遠隔自動調整弁・遠隔自動調整ダンパについては、付属書-3 計装  
関係記号表示・番号設定基準によるものとする。



2. 機器番号

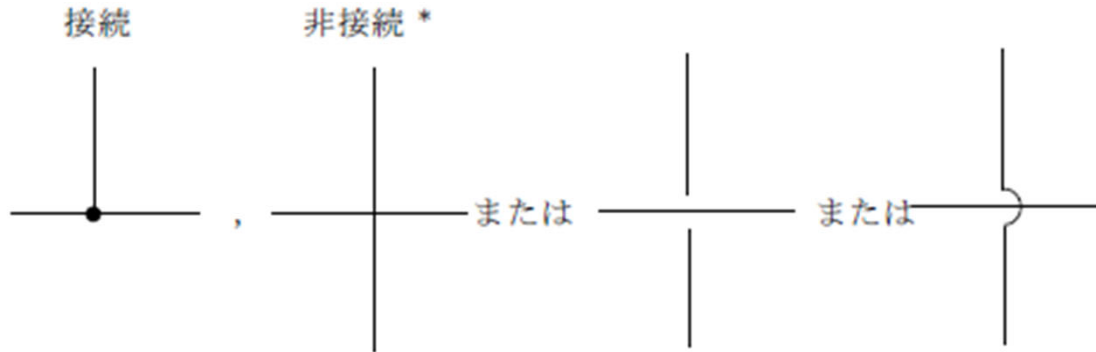
消火ガスの貯蔵容器ユニット番号については、以下のとおりとする。  
 当該図書で設置する建物は明確であるため、設計図書上は②からの記載となる。



番号	種別	説明
①	建屋記号	燃料加工建屋“PA”となる。
②	識別番号	“GU”とする。
③	連番号	当該設備の連番号となる。

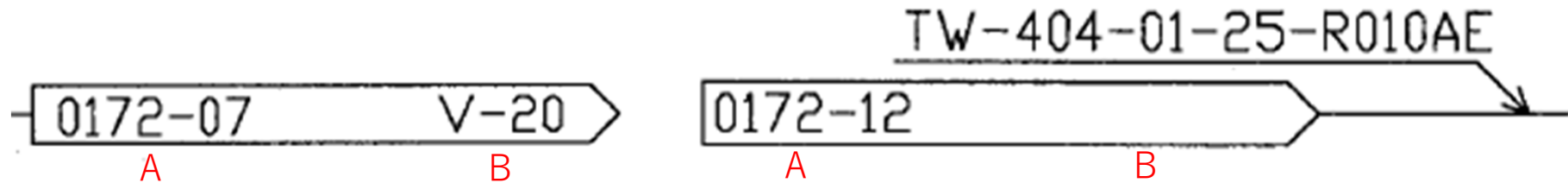
3. 設計図書の記載に係る留意事項

① 配管等の接続有無については以下のとおり記載する。



\*いずれかを混用せず用いる。

② 系統図の矢羽根の記載は以下の通り。



A：送り元，送り先の工程番号とその系統番号の系統図のシート番号を示す。「(系統番号) - (系統番号の系統図のシート番号)」  
 例示の場合は，工程番号0172の系統図の7シート目を指す。


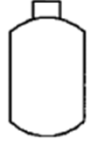
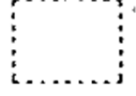



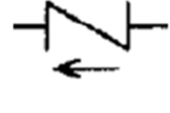



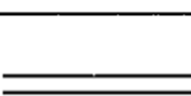
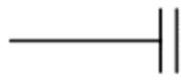







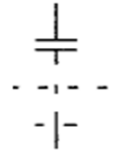

なお，同一シート内で矢羽根で送り元，送り先を示す場合は，系統番号を省略する場合がある。

B：送り元，送り先のタンク等を特定しないと識別が難しい系統に対して機器番号等を示す。

なお，工業用水（TW）等の一般ユーティリティからの送り元の場合は，機器番号を省略する。

また，送り元又は送り先でシートが複数ある場合は，配管番号で識別する。

4. 系統図に用いるポンプ等の凡例

1. 機器							
							
高圧ポンプ	起動用ガス容器	防火ダンパ	クローブボックス、 オープンボートボックス、フ loat				
2. 弁類							
							
二方弁一般	CV弁	逆止弁	安全弁、逃し弁	遠隔操作(弁)一般	自力式減圧弁		
3. 配管アクセサリ							
							
配管	閉止フランジ	フランジ接続	ネジ込みキャップ	クイックコネクタ	レジュース	溶接キャップ	噴射ヘッド
							
配管勾配	貫通口						
4. 建物関係							
							
セル、室、洞道 及び建屋境界							

5. 計装関係記号

計装関係の記号は以下の通り。

計装品記号表

記号			区分
一般	コンピュータまたは コンピュータ入出力	CRTまたは マルチループコントローラ	
			中央監視室設置計装品
LOC	LOC	LOC	個別制御室設置計装品
			現場盤設置計装品 (計装ラック内設置計装品含む)
			現場設置計装品 (現場圧力計・現場温度計等 現場直付計装品を示す)

例) 差圧指示であれば以下のとおり。



計装品記号中の余白に計器番号を、上部に計器記号，下部に測定または制御対象機器番号，ループ連番および機器識別番号と分けて記入する。温度等の「高」又は「低」などの機能修飾がある場合は，記号の右上に機能修飾に該当する文字を記載する。差圧などの変量を計測する計器の場合は，被計測変量の後に続けて用いる。

5. 計装関係記号

計器記号表

	第1記号		第2記号	
	被計測変量	変量修飾	計測機能	機能修飾
A	分析	—	警報	—
B	予備	—	—	—
C	電導度	—	調節	閉
D	密度	差	—	—
E	電圧	—	検出器	—
F	流量	—	—	—
G	寸法	—	ガラスサイトフ ローまたはガラス	—
H	手動	—	—	高
I	電流	—	指示	—
J	電力	—	表示灯	—
K	時間	—	—	—
L	液位	—	—	低
M	湿度	境界	—	—
N	振動	—	試料採取点または 測定点	—
O	濁度	—	—	開
P	圧力	—	保護系作動	—
Q	濃度	—	積算	—
R	放射能濃度	—	記録	起動
S	速度	—	接点または指令	停止
T	温度	—	発信	—
U	多種の変量	—	多機能計器	—
V	粘度	—	バルブ・ダンパ等 の調節部	—
W	重量, 力	—	注意報	—
X	不特定の変量	—	その他の機能	—
Y	トルク	—	演算器, 変換器, リレー	—
Z	位置	—	—	—

## 6. 主配管の名称の付け方の例

主配管、ダクトは、用途（機能）、使用範囲等を明確にするため、設計基準対象施設のための境界、重大事故等対処設備のための境界、兼用設備の境界等がわかるように色塗り等を行い、主配管の名称を設定する。

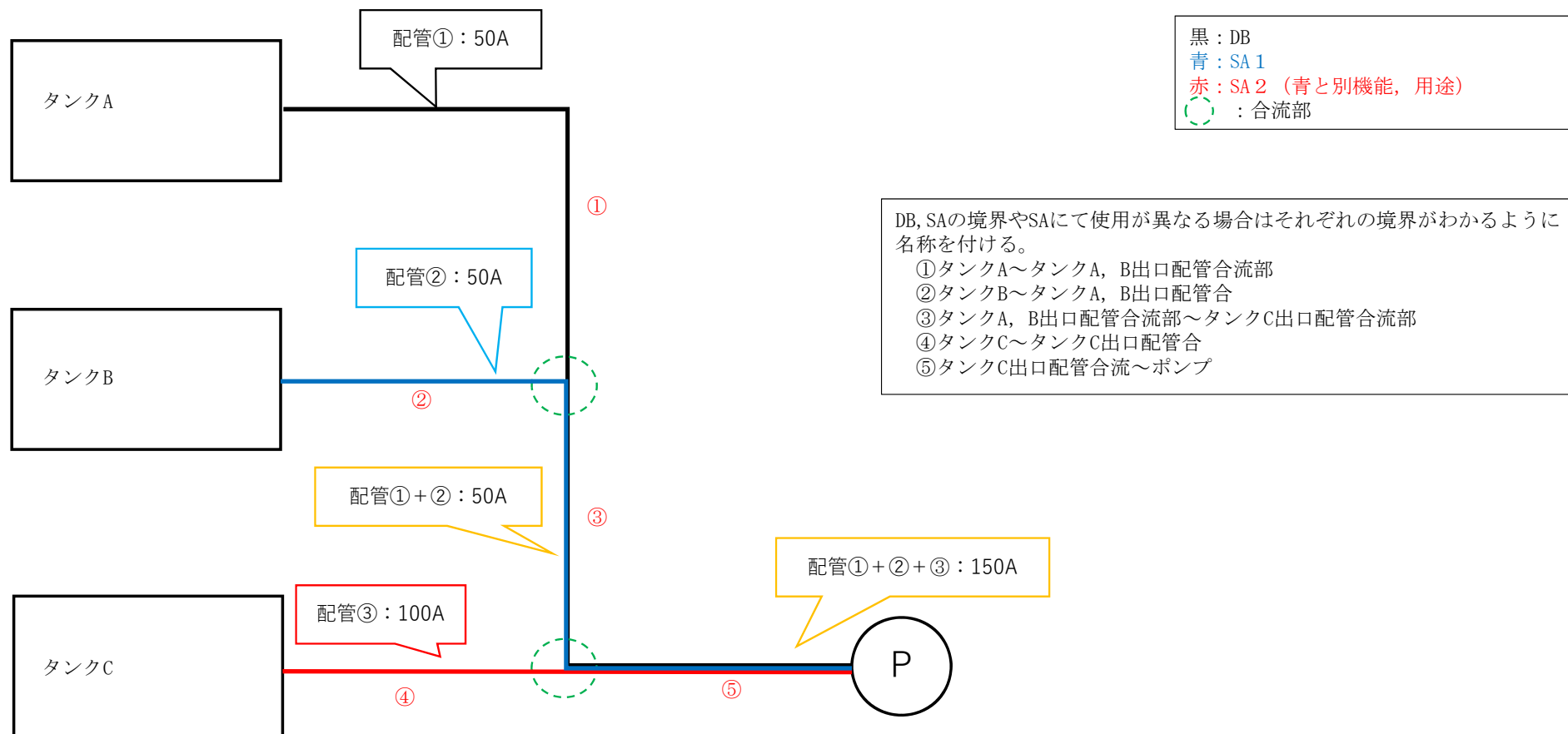
### [用途、仕様範囲等に係る境界]

- a. 設計基準対象施設のための境界
- b. 重大事故等対処設備のための境界
- c. 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がない境界
- d. 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がある境界
- e. 兼用設備の境界
- f. 安全上重要な施設の境界
- g. 耐震重要度分類 S クラスの境界, 1.2Ssの境界
- h. 主配管と非主配管の境界



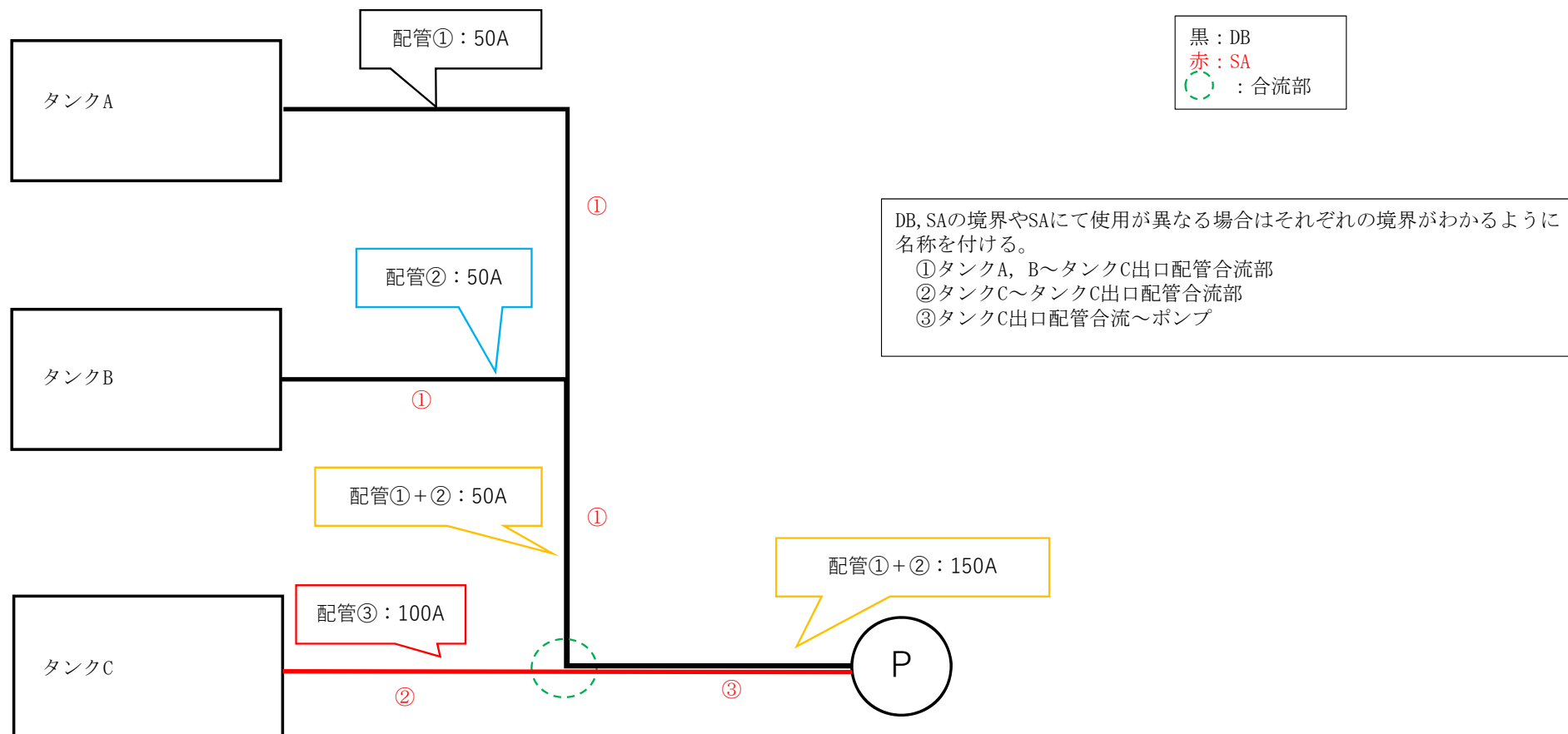
## 6. 主配管の名称の付け方の例

例1) 主配管等の名称の設定 (それぞれに境界が設定されている場合)



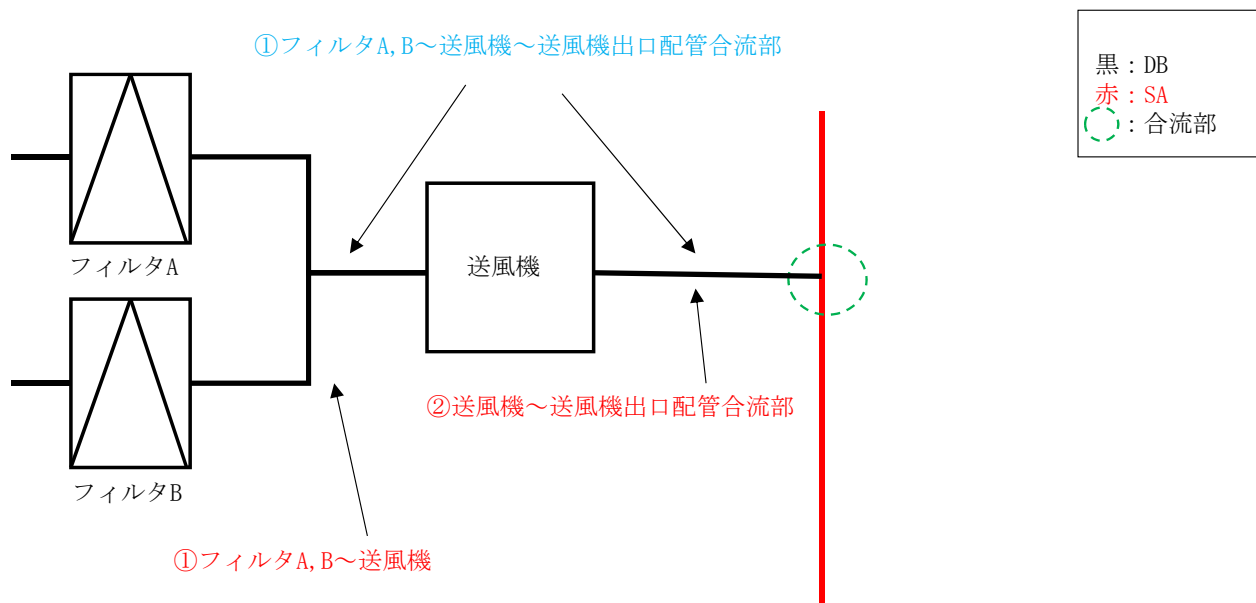
## 6. 主配管の名称の付け方の例

例2) 主配管等の名称の設定 (使用用途等が同一の場合)



## 6. 主配管の名称の付け方の例

例3) 主配管等の名称の設定 (使用用途等が同一の場合で機器を跨ぐ場合)



「フィルタA, B～送風機」及び「送風機～送風機出口配管合流部」において、仕様等が同様であれば、○○装置～△△装置～□□合流部などまとめることも可とする。

① フィルタA, B～送風機～送風機出口配管合流部

or

① フィルタA, B～送風機      ② 送風機～送風機出口配管合流部

別紙 2-2-3 系統として機能、性能を  
達成する設備  
(廃棄施設 (気体廃棄物の廃棄設備))

## 目 次

1. 概要	1
2. 要求される機能、性能と主流路設定、機器抽出の考え方	1
(1) 要求される機能、性能について	1
a. 設計基準対象の施設に係る機能、性能	1
(2) 廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）に係る主流路、機器抽出の考え方	3
a. 建屋排気設備	3
b. 工程室排気設備（外部放出抑制設備と一部兼用）	3
c. グローブボックス排気設備（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と一部兼用）	4
d. 窒素循環設備	5
(3) 主流路範囲の設定の考え方	14
(4) 主流路として設定しない範囲及びその考え方	14
a. グローブボックス排気閉止ダンパ及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ並びに工程室排気閉止ダンパ及び工程室排風機入口手動ダンパ	14
b. 空調バランス用のカウンタバランスダンパ等	16
3. 要求される耐震クラスの考え方	17
(1) 耐震クラスの設定	17
a. 建屋排気設備	17
b. 工程室排気設備（外部放出抑制設備と兼用範囲含む）	17
c. グローブボックス排気設備（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と兼用範囲含む）	18
d. 窒素循環設備	19
(2) 下位クラス接続等の留意すべき設備	27
4. 抽出結果	27

添付1：別紙2 機能要求②抜粋(廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）)

- (1) 10条：閉じ込めの機能
- (2) 11条29条：火災等による損傷の防止
- (3) 20条：廃棄施設
- (4) 23条：換気設備
- (5) 33条：閉じ込める機能の喪失に対処するための設備

添付2：申請対象設備リスト(廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）)

添付3：申請対象設備抽出結果(廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）)

- (1) 建屋排気設備
- (2) 工程室排気設備（外部放出抑制設備と兼用範囲含む）
- (3) グローブボックス排気設備  
（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と兼用範囲含む）
- (4) 窒素循環設備

参考：設計図書の記載に係る留意事項



## 1. 概要

本資料は、共通09 補足説明資料 別紙「各条における申請対象設備」にて整理した系統として機能、性能を達成する設備について、設計図書等に対して色塗りを行い、安全機能に関する対象範囲や対象機器を抽出したプロセス及び抽出結果を示すものである。

## 2. 要求される機能、性能と主流路設定、機器抽出の考え方

### (1) 要求される機能、性能について

廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）に要求される機能、性能のうち、系統として達成する機能、性能は、以下のとおりであり、要求される機能、性能を踏まえて、廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の設計図書等の系統図を色塗りし、機能が要求される対象範囲や対象機器を抽出する。

廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）に係る機能要求②が要求される条文の別紙2 抜粋版を添付1に示す。

#### a. 設計基準対象の施設に係る機能、性能

条文	系統機能名	基本設計方針	対象設備
第10条 閉じ込めの機能	グローブボックス等の負圧維持及び面速維持に係る機能	10条-3 10条-4	・グローブボックス排気設備 ・窒素循環設備
	オープンポートボックス及びフードの面速維持に係る機能	10条-3	・グローブボックス排気設備
	核燃料物質等の漏えい拡大防止に係る換気設備の排気機能	10条-8 10条-13	・建屋排気設備 ・工程室排気設備 ・グローブボックス排気設備 ・窒素循環設備
第11条 火災等による損傷の防止	グローブボックス内の消火機能	11条29条-128 11条29条-132 11条29条-133	・ピストンダンパ ・延焼防止ダンパ
第20条 廃棄施設	気体廃棄物の廃棄機能	20条-6 20条-7 20条-8	・グローブボックス排気設備 ・建屋排気設備
	フィルタによる核燃料物質等の捕集機能	20条-6 20条-8	・工程室排気設備
第23条 換気設備	換気設備の換気機能	23条-6	・グローブボックス排気設備 ・建屋排気設備

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程室排気設備</li> <li>・ 窒素循環設備</li> </ul>
	フィルタによる核燃料物質等の捕集機能	23条-10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローブボックス排気設備</li> </ul>

b. 重大事故等対処設備に係る機能、性能

条文	系統機能名	基本設計方針	対象設備
第33条 閉じ込める機能 の喪失に対処する ための設備	重大事故時における核燃料物質の外部への放出の遮断機能	33条-14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部放出抑制設備</li> </ul>
	フィルタによる核燃料物質等の捕集機能	33条-13 33条-42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部放出抑制設備</li> <li>・ 代替グローブボックス排気設備</li> </ul>
	重大事故時におけるグローブボックスの代替の排気機能	33条-43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替グローブボックス排気設備</li> </ul>

上記の機能を踏まえ、建屋排気設備、工程室排気設備、グローブボックス排気設備、窒素循環設備に関して設計図書の色塗りにより、対象範囲及び対象機器を抽出する。

グローブボックス排気設備は重大事故等対処設備である外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と、工程室排気設備は重大事故等対処設備である外部放出抑制設備と一部兼用していることから、兼用範囲を踏まえて、設計図書の色塗りを行い、対象範囲及び対象機器を抽出する。

なお、代替グローブボックス排気設備のうち、グローブボックス排気設備と兼用する常設重大事故等対処設備の範囲を対象として抽出することとし、設計中である可搬型グローブボックス排風機等の可搬型重大事故等対処設備による系統については、当該設備を申請する回次までに設計図書等の色塗りを行い、対象範囲及び対象機器を抽出する。

また、第33条の要求事項が達成されることの確認として、重大事故時における核燃料物質の外部への放出の遮断を確認するため、可搬型ダンパ出口風速計をグローブボックス排気ダクト、工程室排気ダクトに接続する。計測器を計測箇所を設置するものであることから、可搬型ダンパ出口風速計の検出部に関しては主流路とはせず、設工認申請書において系統図にて接続口がわかるよう記載することとする。

第11条「火災等による損傷の防止」のグローブボックス内の消火において、グロ

ープボックス内を負圧に維持しながら消火を行うため、消火の際には、グローブボックス給気側に設置されたピストンダンパを閉止し、グローブボックスへの給気量を低減することにより負圧を維持する設計としている。このため、ピストンダンパはグローブボックス内の消火機能を果たすために必要な設備として抽出する。ピストンダンパの抽出については、グローブボックス排気設備の系統に設置されることから、グローブボックス排気設備における申請対象設備の抽出に合わせて実施する。

グローブボックス内の消火の際、グローブボックス排気設備の系統上に設置された延焼防止ダンパは、グローブボックス内に消火ガスを可能な限り留めるため、消火ガスの放出完了後に閉止する設計としている。このため、延焼防止ダンパはグローブボックス内の消火機能を支援する設備として抽出する。ピストンダンパと同様に延焼防止ダンパにおいてもグローブボックス排気設備の系統に設置されることから、グローブボックス排気設備における申請対象設備の抽出に合わせて実施する。

なお、第37条「監視測定設備」において、重大事故時に大気中へ放出される放射性物質の濃度を監視及び測定するために、「放射線監視施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 放射線監視設備 屋外モニタリング設備 排気モニタリング設備」として、工程室排気閉止ダンパ以降の工程室排気の経路及びグローブボックス排気閉止ダンパ以降のグローブボックス排気の経路を設計基準対象施設と兼用している。これは監視測定する場所としての兼用であり、系統として排気の機能、性能を達成するものではないことから、主流路に設定しない。

## (2) 廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）に係る主流路、機器抽出の考え方

基本設計方針の要求を踏まえ、以下の考え方にに基づき、廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の主流路を抽出する。

### a. 建屋排気設備

- (a) 「濃度限度以下になるよう加工施設において発生する放射性廃棄物を廃棄する能力」を担保するために必要となるフィルタユニットから排風機、排気筒までの範囲（フィルタ、排風機、主ダクト）を主流路とする。

### b. 工程室排気設備（外部放出抑制設備と一部兼用）

- (a) 「濃度限度以下になるよう加工施設において発生する放射性廃棄物を廃棄する能力」を担保するために必要となるフィルタユニットから排風機、排気筒までの範囲を主流路とする。
- (b) 設計基準事故時に公衆の被ばくの防止の機能として必要な範囲として、安全上重要な施設の範囲を主流路とする。（静的閉じ込めであるが、漏えいした

MOX粉末を閉じ込めることから重要な機能として設定)

- (c) 重大事故等対処設備として、外部放出抑制設備の機能を担保するために必要な範囲として、重大事故の発生を仮定するグローブボックスの設置する室から工程室排気フィルタユニット、工程室排風機入口手動ダンパ、工程室排気閉止ダンパ、可搬型ダンパ出口風速計接続分岐部までの範囲を主流路とする。なお、事業変更許可申請において、外部放出抑制設備は、工程室排気閉止ダンパまでの範囲と整理していたが、ダンパ閉止後の風速の確認まで一連の作業となることから外部放出抑制設備の範囲を可搬型ダンパ出口風速計の接続分岐部までの範囲に見直す。
  - (d) 「放射線監視施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 放射線監視設備 屋外モニタリング設備 排気モニタリング設備」としての設計基準対象施設との兼用範囲は、外部放出抑制設備の境界から排気筒までとする。
- c. グローブボックス排気設備（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と一部兼用）
- (a) 「濃度限度以下になるよう加工施設において発生する放射性廃棄物を廃棄する能力」を担保するために必要となるフィルタから排風機、排気筒までの範囲を主流路とする。
  - (b) 「グローブボックス等の負圧維持」、「オープンポートボックス、フードの面速維持」を担保するために必要となるグローブボックス、フード、オープンポートボックスに係る換気系統を主流路とする。
  - (c) 重大事故等対処設備として、外部放出抑制設備の機能を担保するために必要な範囲として、重大事故の発生を仮定するグローブボックスの給気フィルタから排気フィルタ、グローブボックス排気フィルタユニット、グローブボックス排風機入口手動ダンパ、グローブボックス排気閉止ダンパ、可搬型ダンパ出口風速計接続分岐部までの範囲を主流路とする。なお、事業変更許可申請において、外部放出抑制設備は、グローブボックス排気閉止ダンパまでの範囲と整理していたが、ダンパ閉止後の風速の確認まで一連の作業となることから外部放出抑制設備の範囲を可搬型ダンパ出口風速計の接続分岐部までの範囲に見直す。
  - (d) 重大事故等対処設備として、代替グローブボックス排気設備の機能を担保するために必要な範囲として、重大事故の発生を仮定するグローブボックスの給気フィルタから排気フィルタ、可搬型排風機入口接続口までの範囲を主流路とする。
  - (e) グローブボックス内の火災の消火機能を果たすために必要となるピストンダンパ及び消火機能を支援する設備となる延焼防止ダンパを主要弁として、抽

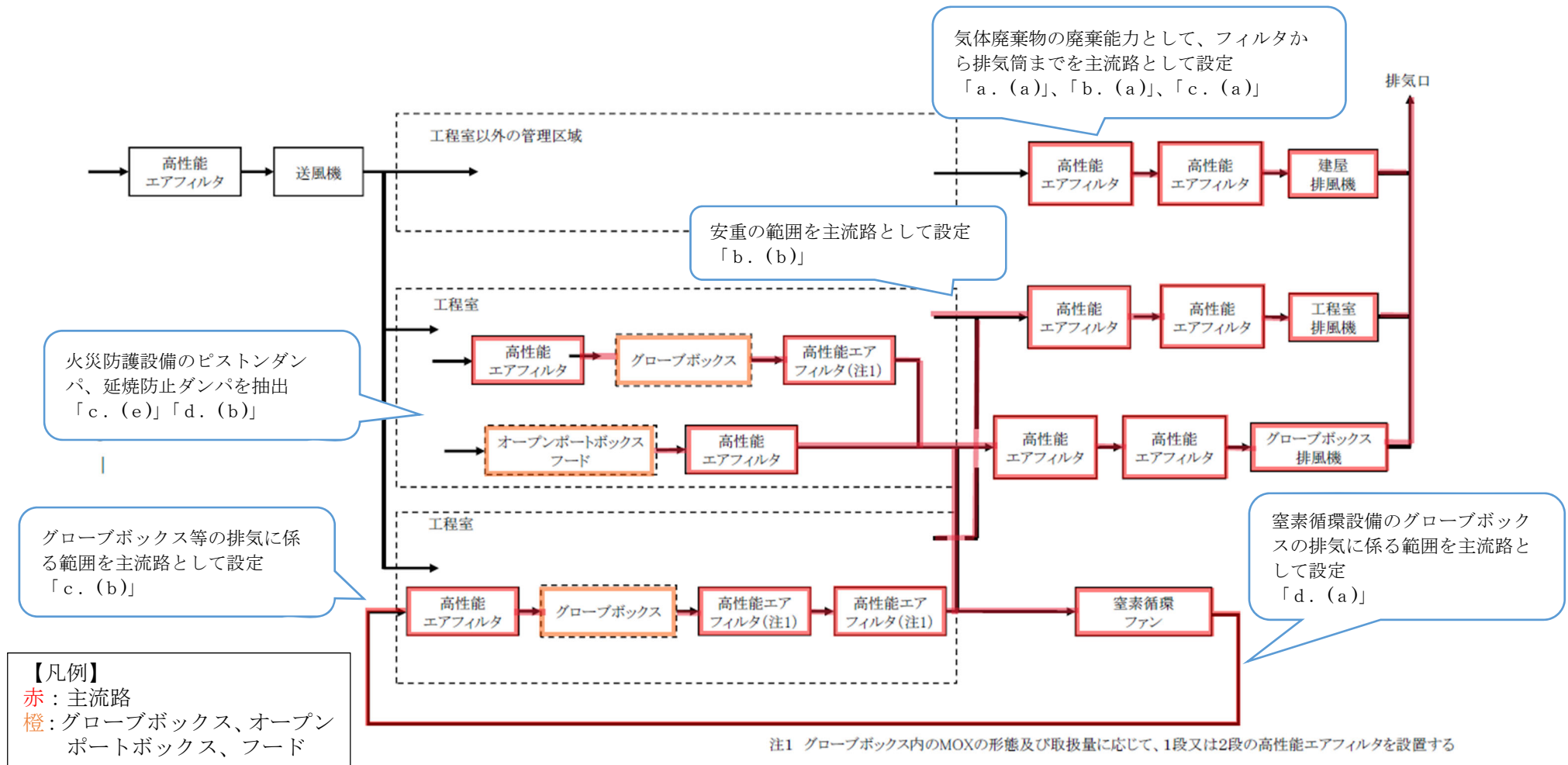
出する。

- (f) 「放射線監視施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 放射線監視設備 屋外モニタリング設備 排気モニタリング設備」としての設計基準対象施設との兼用範囲は、外部放出抑制設備の境界から排気筒までとする。

d. 窒素循環設備

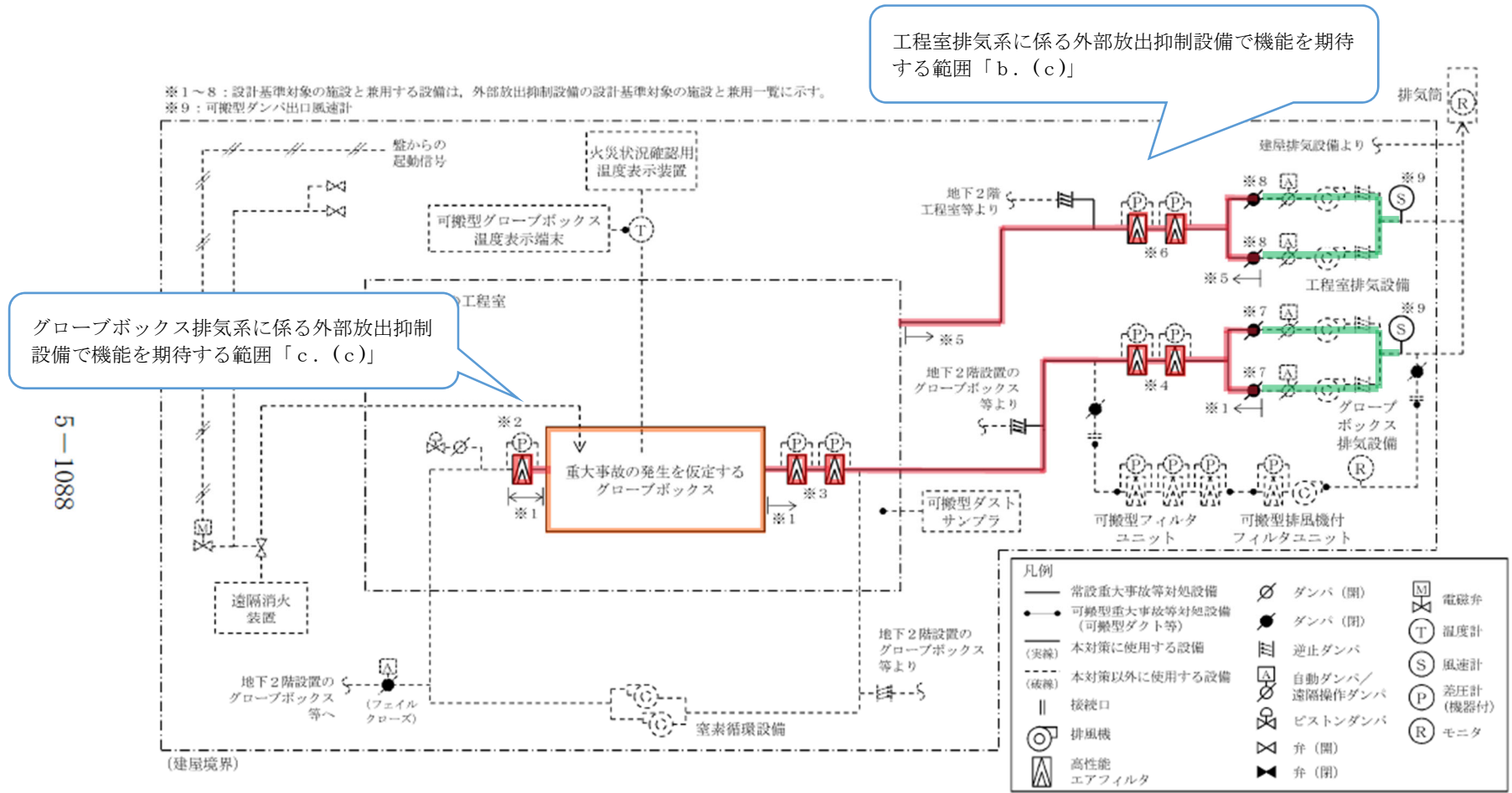
- (a) グローブボックス排気設備とともにグローブボックスを負圧に維持しており、グローブボックスの排気に必要となる範囲を主流路とする。
- (b) グローブボックス内の火災の消火機能を支援する設備となる延焼防止ダンパを主要弁として、抽出する。

事業変更許可申請書における廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の系統図を用いて、対象となる範囲を示す。



第1図 事業変更許可申請書 本文  
 「第10図 気体廃棄物の廃棄設備の系統概要図」





工程室排気系に係る外部放出抑制設備で機能を期待する範囲「b. (c)」

グローブボックス排気系に係る外部放出抑制設備で機能を期待する範囲「c. (c)」

第2図(1) 事業変更許可申請書 添付書類5 「添5第39図(1)外部放出抑制設備の系統概要図(外的事象の対処時)(その1)」

【凡例】  
 赤：主流路  
 緑：見直した範囲  
 橙：グローブボックス、オープンポートボックス、フード

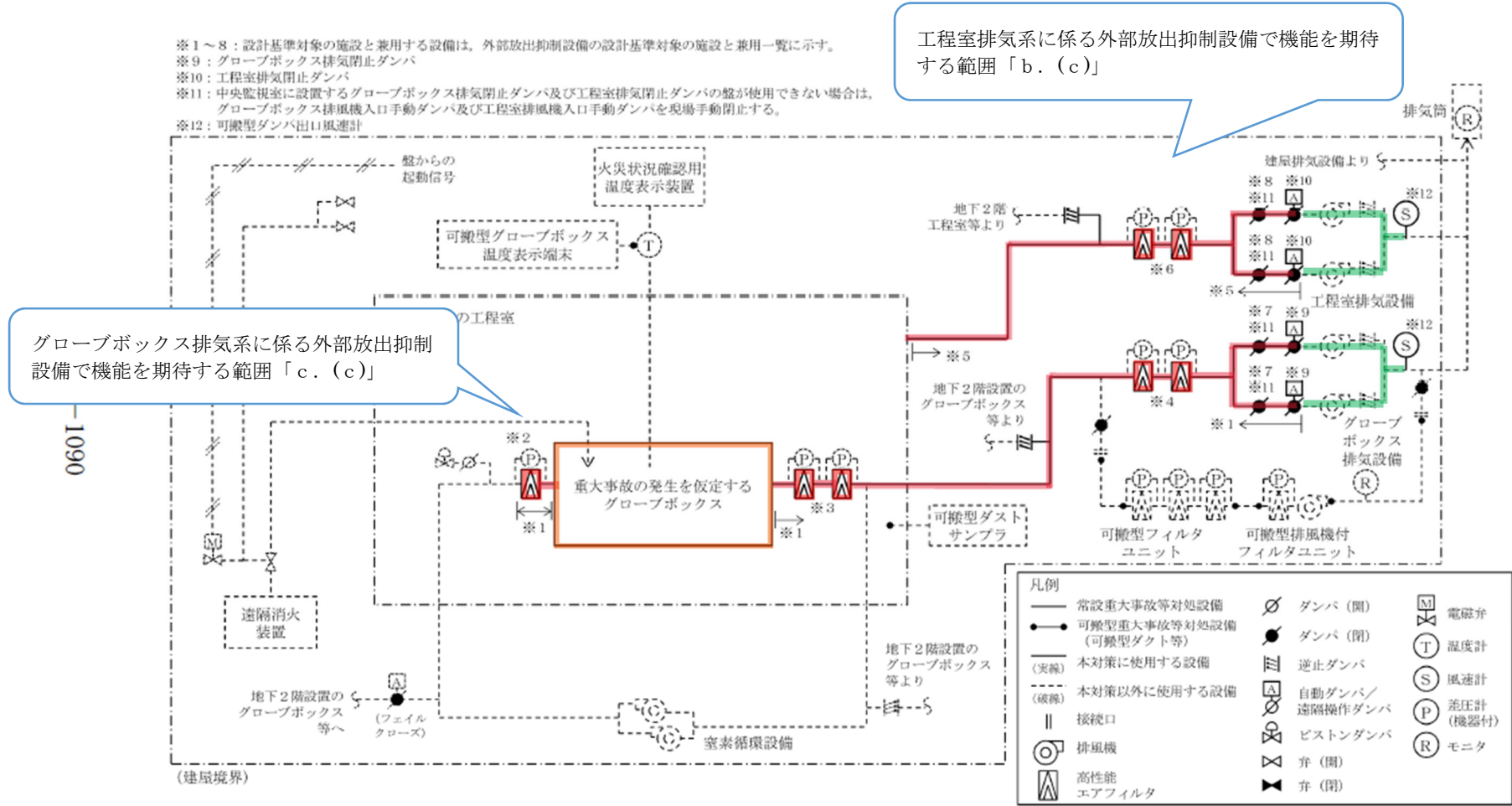
外部放出抑制設備の設計基準対象の施設と兼用一覧

機器名	兼用する設計基準対象の施設
※1 グローブボックス排気ダクト <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタから重大事故の発生を仮定するグローブボックス及び重大事故の発生を仮定するグローブボックスからグローブボックス排風機入口手動ダンパまでの流路)
※2 グローブボックス給気フィルタ	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタ)
※3 グローブボックス排気フィルタ	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス排気フィルタ)
※4 グローブボックス排気フィルタユニット	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備
※5 工程室排気ダクト <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスを設置する室から工程室排風機入口手動ダンパまでの流路)
※6 工程室排気フィルタユニット	気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備
※7 グローブボックス排風機入口手動ダンパ	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備
※8 工程室排風機入口手動ダンパ	気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備

注) 流路のみを設計基準対象の施設と兼用する。

第2図(2) 事業変更許可申請書 添付書類5

「添5第39図(1)外部放出抑制設備の系統概要図(外的事象の対処時)(その1)」



第3図(1) 事業変更許可申請書 添付書類5  
 「添5第40図(1)外部放出抑制設備の系統概要図(内的事象の対処時) (その1)」

【凡例】  
 赤：主流路  
 緑：見直した範囲  
 橙：グローブボックス、オープンポートボックス、フード

外部放出抑制設備の設計基準対象の施設と兼用一覧

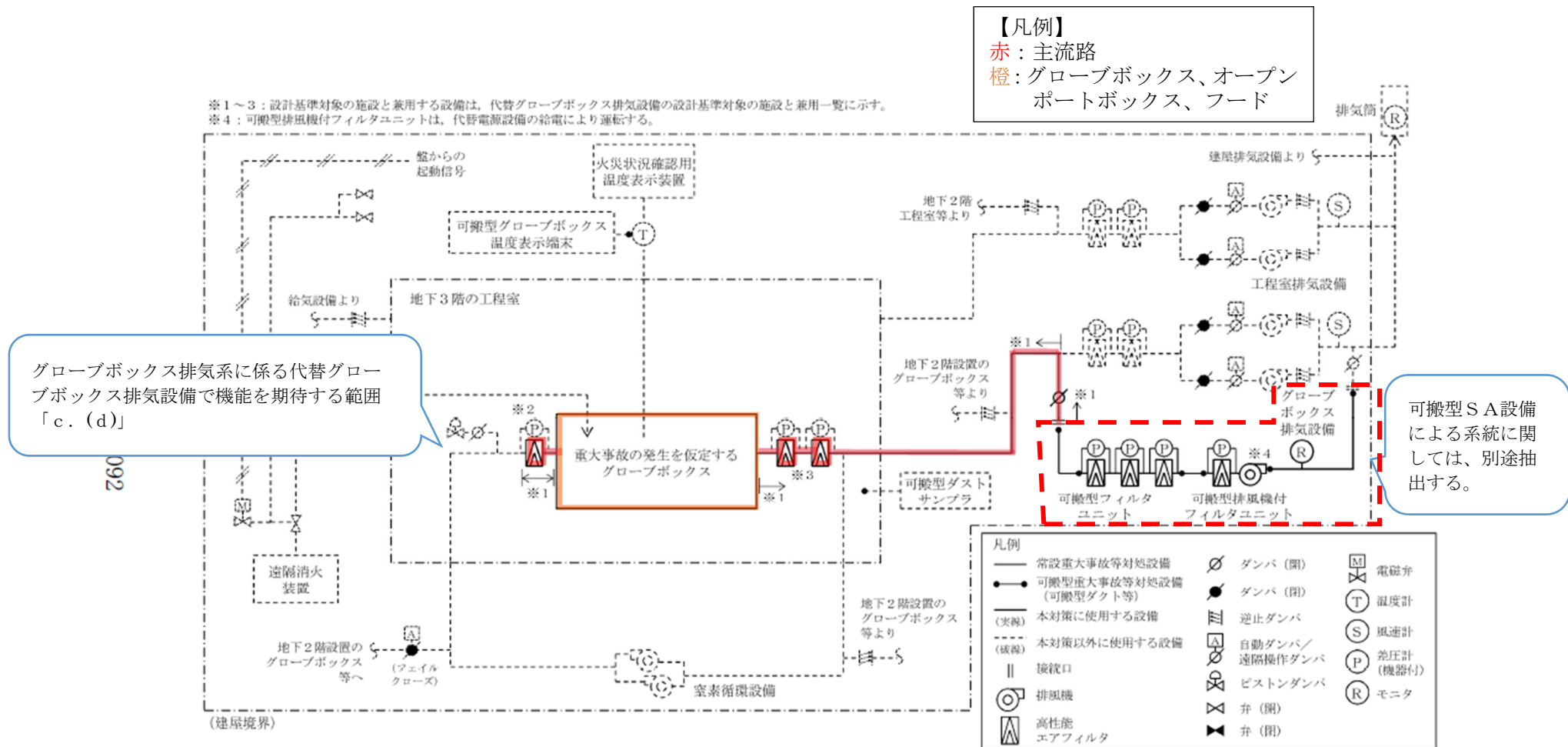
機器名	兼用する設計基準対象の施設
※1 グローブボックス排気ダクト <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタから重大事故の発生を仮定するグローブボックス及び重大事故の発生を仮定するグローブボックスからグローブボックス排気閉止ダンパまでの流路)
※2 グローブボックス給気フィルタ	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタ)
※3 グローブボックス排気フィルタ	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス排気フィルタ)
※4 グローブボックス排気フィルタユニット	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備
※5 工程室排気ダクト <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスを設置する室から工程室排気閉止ダンパまでの流路)
※6 工程室排気フィルタユニット	気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備
※7 グローブボックス排風機入口手動ダンパ	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備
※8 工程室排風機入口手動ダンパ	気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備

注) 流路のみを設計基準対象の施設と兼用する。

第3図(2) 事業変更許可申請書 添付書類5

「添5第40図(2)外部放出抑制設備の系統概要図(内的事象の対処時)(その2)」





第4図(1) 事業変更許可申請書 添付書類5  
 「添5第41図(1)代替グローブボックス排気設備の系統概要図(その1)」

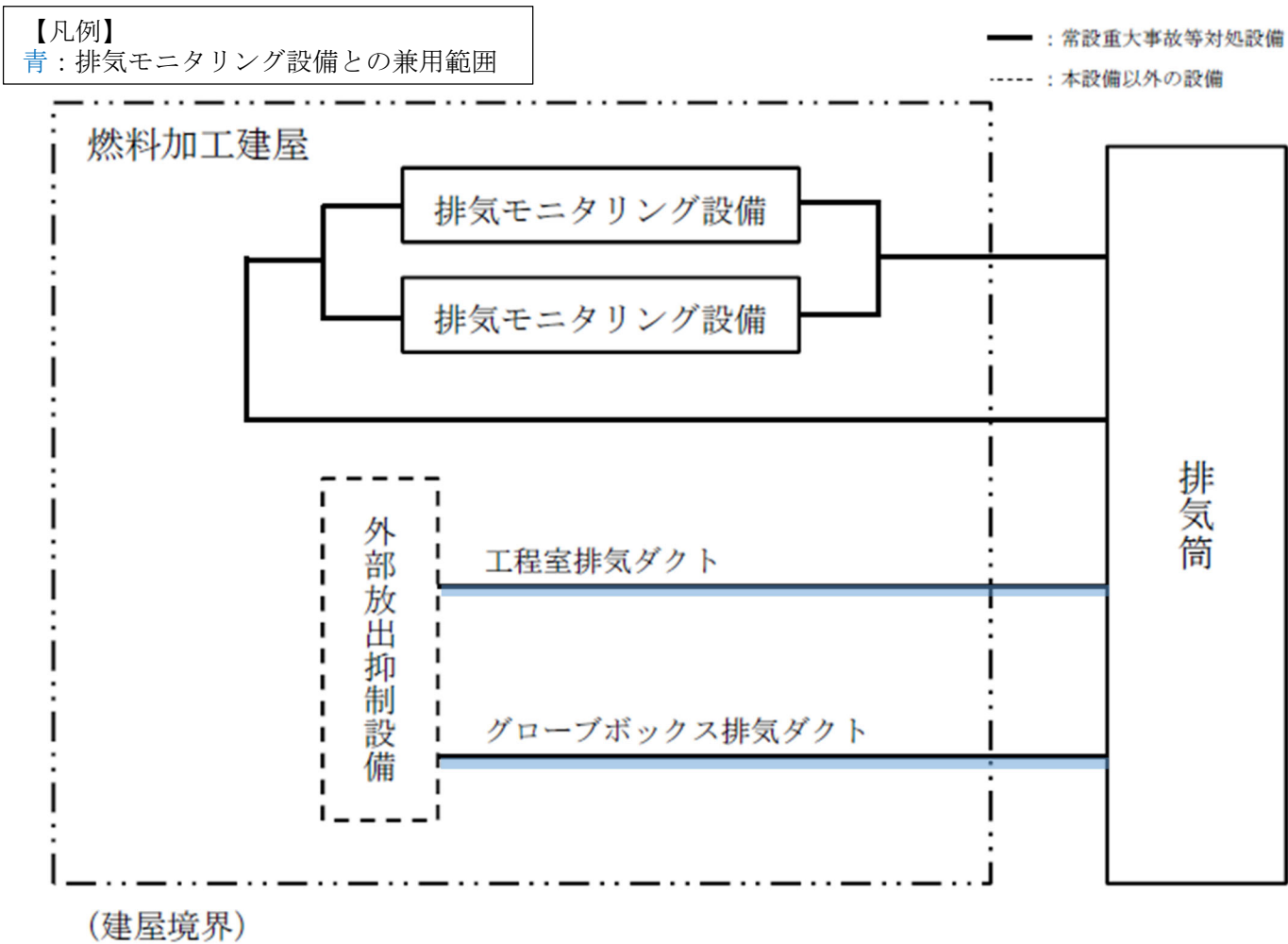
代替グローブボックス排気設備の設計基準対象の施設と兼用一覧

機器名	兼用する設計基準対象の施設
※1 グローブボックス排気ダクト <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタから重大事故の発生を仮定するグローブボックス及び重大事故の発生を仮定するグローブボックスから可搬型ダクトとの接続口までの流路)
※2 グローブボックス給気フィルタ <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタ)
※3 グローブボックス排気フィルタ <sup>注)</sup>	気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備 (重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス排気フィルタ)

注) 流路のみを設計基準対象の施設と兼用する。

第4図(2) 事業変更許可申請書 添付書類5

「添5第41図(2)代替グローブボックス排気設備の系統概要図(その2)」



第5図 事業変更許可申請書 添付書類5  
 「添5第52図 放射線監視設備（排気モニタリング設備）の系統概要図」



### (3) 主流路範囲の設定の考え方

廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の主流路範囲を設定するにあたり、燃料加工建屋全域に排気ダクトが設置されており、経路が複雑であるとともに、安全上重要な施設や重大事故等対処設備として機能を期待している範囲が存在することから、これらを区別して明記できるよう主流路範囲を設定する。

個別のグローブボックスや各工程室から排気を導く流路が集合する母管を主配管と設定し、母管を起点として、個別のグローブボックスや各工程室からの排気を導く流路の主流路範囲を設定する。

主配管名称の付け方については、添付する「設計図書の記載に係る留意事項」に従い主配管名称を設定し、抽出リストに記載する。

#### 【主配管名称を設定する上で考慮する境界】

- ・設計基準対象施設のための境界
- ・重大事故等対処設備のための境界
- ・重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がない境界
- ・重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がある境界
- ・兼用設備の境界
- ・安全上重要な施設の境界
- ・耐震重要度分類Sクラスの境界、1.2Ssの境界
- ・主配管と非主配管の境界

### (4) 主流路として設定しない範囲及びその考え方

共通09本文に基づき、テストライン、バイパスライン、ベント・ドレンライン等については、主流路の対象としない。また、主流路上に設置される弁、フィルタ等についても、当該設備に要求される系統として機能、性能を達成するために必要な弁、フィルタ等については、主要機器として抽出し、それ以外の弁、フィルタ等については、主要機器としては抽出しない。

廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の特徴を踏まえた主流路を設定する上での主流路として設定しない範囲及びその考え方について、以下に示す。

- a. グローブボックス排気閉止ダンパ及びグローブボックス排風機入口手動ダンパ並びに工程室排気閉止ダンパ及び工程室排風機入口手動ダンパ

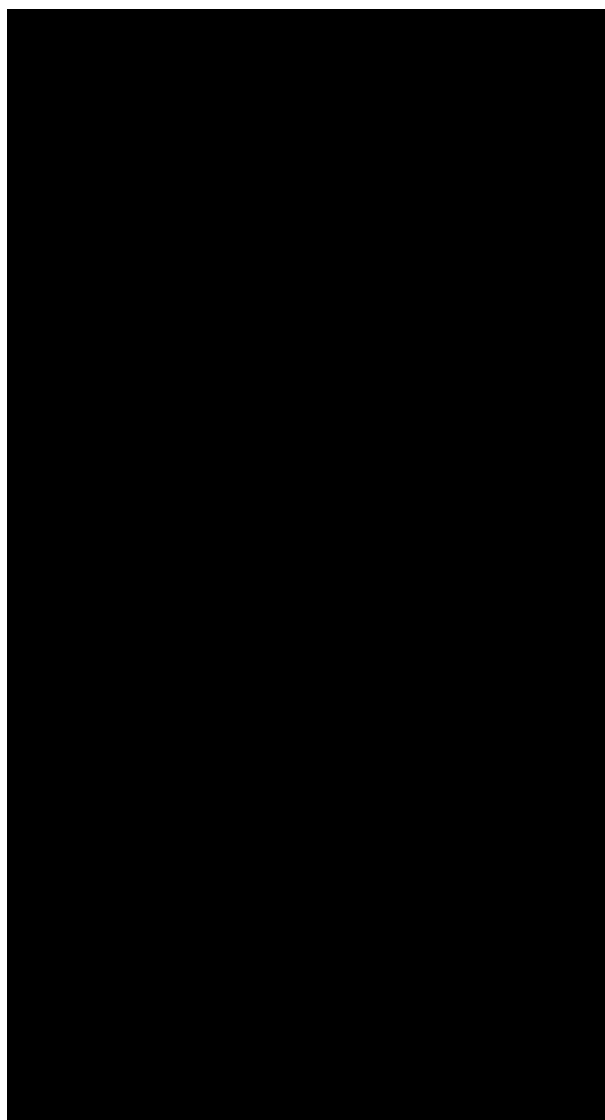
MOX燃料加工施設における重大事故は、露出した状態でMOX粉末を取り扱い、火災源となる潤滑油を保有しているグローブボックス（以下「重大事故の発

生を仮定するグローブボックス」という。) で火災が発生し、同時に火災の感知・消火のため機能が喪失し、火災が継続することにより設計基準事故を超えて外部に放射性物質が放出される事象である。

外部への放射性物質の放出を可能な限り防止するため、グローブボックス排風機入口手動ダンパ及び工程室排風機入口手動ダンパを手動操作で閉止する。

また、グローブボックス排気閉止ダンパ及び工程室排気閉止ダンパが内的事象にて使用可能な場合は、これらのダンパを閉止する。

本対処は、遠隔消火装置による消火により外部への放出源はなくなるが、念のための措置として実施する対処であることを踏まえ、これらのダンパは、仕様表対象設備とはせず、基本設計方針に個別名称を記載する設備として整理する。

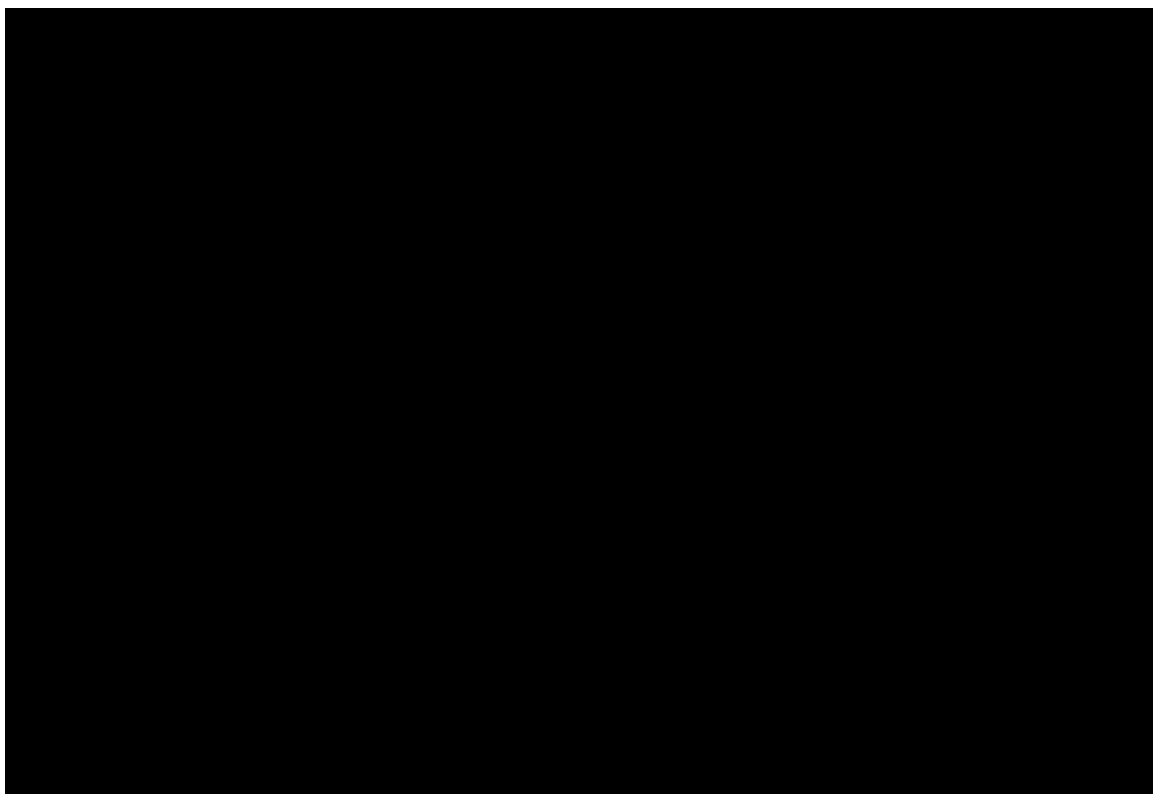


ATID :  
グローブボックス排風機入口手動ダンパ  
PD : グローブボックス排気閉止ダンパ

第6図 グローブボックス排風機入口手動ダンパ等の記載例

b. 空調バランス用のカウンタバランスダンパ等

カウンタバランスダンパ、リリーフ弁等は、空調バランス用を取るための弁であり、換気設備の支援機能と位置づけ、主要弁とはしない。



空調バランス用のカウンタバランスダンパ等は、換気設備の支援機能と位置づけ、主流路とはしない。  
主要弁となる延焼防止ダンパから主配管名称を設定する。

第7図 カウンタバランスダンパ等の記載例

### 3. 要求される耐震クラスの考え方

事業変更許可申請書にて要求される耐震クラスを踏まえ、廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の耐震クラスを整理する。要求される耐震クラスを整理するにあたって、事業変更許可申請書の「添付書類五 添5 第11表 クラス別施設」及び「添付書類五 添5 第12表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備区分」を踏まえて、対象範囲が明確になるよう、耐震クラスを整理する。

#### (1) 耐震クラスの設定

##### a. 建屋排気設備

建屋排気設備は、耐震Cクラスである。なお、建屋排気設備に重大事故等対処設備の要求はない。

##### b. 工程室排気設備（外部放出抑制設備と兼用範囲含む）

工程室排気設備のうち、安全上重要な施設のグローブボックス等が設置する工程室から工程室排気フィルタユニットまでの範囲を耐震Sクラス、それ以外の範囲は耐震Cクラスである。

工程室排気設備は、重大事故等対処設備である外部放出抑制設備と一部兼用している。兼用している範囲は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスを設置する室から可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの流路となる。

事業変更許可申請において、外部放出抑制設備のうち、地震を要因とした重大事故時に機能維持することを期待する範囲は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスを設置する室から工程室排風機入口手動ダンパまでと整理していたが、外部放出抑制設備の範囲を見直したことより、可搬型ダンパ出口風速計接続部までの範囲を、基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震力を考慮した際に機能維持できる設計とする。

なお、外部放出抑制設備の範囲ではないが可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部から燃料加工建屋境界となる排気筒との取り合いまでの範囲は、基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

また、「放射線監視施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 放射線監視設備 屋外モニタリング設備 排気モニタリング設備」と兼用する範囲は、代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度分類の耐震クラスに適用される地震力に対し十分に耐えることができることが要求されていることから、当該範囲は耐震Cクラスである。

c. グローブボックス排気設備（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と兼用範囲含む）

グローブボックス排気設備のうち、安全上重要な施設のグローブボックスからグローブボックス排風機までの範囲及び安全上重要な施設のグローブボックスの給気側のうち、グローブボックスの閉じ込め機能維持に必要な範囲が耐震Sクラスである。

グローブボックス排気設備のうち、耐震Bクラスのグローブボックスから耐震Sクラスのグローブボックス排気設備に接続するまでの範囲及び耐震Bクラスのグローブボックスの給気側のうち、フィルタまでの範囲が耐震Bクラスである。

また、耐震Bクラスのうち、共振のおそれのある場合は、弾性設計用地震動S<sub>d</sub>に2分の1を乗じたものによる地震力に対して耐震性を保持できる設計とする。（耐震クラスとして「B-1」と記載する。）

グローブボックス排気設備のうち、上記耐震Sクラス及びBクラス以外の範囲が耐震Cクラスである。

グローブボックス排気設備は、重大事故等対処設備である外部放出抑制設備と一部兼用している。兼用している範囲は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックスの給気フィルタから重大事故の発生を仮定するグローブボックス及び重大事故の発生を仮定するグローブボックスから可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの流路となる。事業変更許可申請において、外部放出抑制設備のうち、地震を要因とした重大事故時に機能維持することを期待する範囲は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックスの給気フィルタから重大事故の発生を仮定するグローブボックス及び重大事故の発生を仮定するグローブボックスからグローブボックス排風機入口手動ダンパまでと整理していたが、外部放出抑制設備の範囲を見直したことより、可搬型ダンパ出口風速計接続部までの範囲を、基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震力を考慮した際に機能維持できる設計とする。

なお、外部放出抑制設備の範囲ではないが可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部から燃料加工建屋境界となる排気筒との取り合いまでの範囲は、基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

グローブボックス排気設備は、重大事故等対処設備である代替グローブボックス排気設備と一部兼用している。兼用している範囲は、重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックスの給気フィルタから重大事故の発生を仮定するグローブボックス及び重大事故の発生を仮定するグローブボックスから可搬型ダクトとの接続口までの範囲である。代替グローブボックス排気設備は、地震を要因とした重大事故時に機能維持することを期待する設備であり、当該範囲については、基準地震動S<sub>s</sub>の1.2倍の地震力を考慮した際に機能維持でき

る設計とする。

また、グローブボックス排気設備の流路上に設置される火災防護設備である延焼防止ダンパ及びピストンダンパは耐震Sクラスである。なお、延焼防止ダンパ及びピストンダンパに重大事故等対処設備の要求はない。

ただし、重大事故等対処設備の経路上に設置される延焼防止ダンパ及びピストンダンパは、基準地震動 $S_s$ の1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

「放射線監視施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 放射線監視設備 屋外モニタリング設備 排気モニタリング設備」と兼用する範囲は、代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度分類の耐震クラスに適用される地震力に対し十分に耐えることができることが要求されていることから、当該範囲は耐震Cクラスである。

#### d. 窒素循環設備

窒素循環設備のうち、窒素雰囲気型グローブボックスを循環する流路が耐震Bクラスとなる。

ただし、Sクラスのグローブボックスを循環する流路については、基準地震動 $S_s$ による地震力に対して耐震性が確保される設計とする。（耐震クラスとして「B-4」と記載する。）

また、重大事故時に地下3階工程室を境界としてグローブボックス排気系及び工程室排気系の高性能エアフィルタを介した経路以外からの放出を防止する範囲において、基準地震動 $S_s$ の1.2倍の地震力にて、経路が維持できる設計とする。

（第10図 事業許可の整理資料「第22条：重大事故等の拡大の防止等」補足説明資料6-5（22条）参照）

上記以外の範囲が耐震Cクラスとなる。

添5第11表 クラス別施設 (3/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>(注1)</sup>			補助設備 <sup>(注2)</sup>		直接支持構造物 <sup>(注3)</sup>		間接支持構造物 <sup>(注4)</sup> (注5)		波及的影響を考慮すべき設備 <sup>(注6)</sup>
		施設名	適用範囲	耐震クラス <sup>(注7)</sup>	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	
S	1) MOXを非密封で取り扱う設備・機器を収納するグローブボックス及びグローブボックスと同等の閉じ込め機能が必要とする設備・機器であって、その破損による公衆への放射線の影響が大きい施設 (つづき)	その他加工設備の附属施設	小規模試験設備のグローブボックス	S			設備・機器の支持構造物	S	燃料加工建屋	小規模粉末混合装置 小規模プレス装置	
			小規模粉末混合装置グローブボックス	S							
	小規模プレス装置グローブボックス	S									
	小規模放射処理装置グローブボックス	S									
			小規模放射処理装置グローブボックス	S						小規模放射処理装置	
			小規模放射処理装置グローブボックス	S						放射線検査装置	
			小規模放射処理装置	S	非常用屋内電源設備 <sup>(注8)</sup>	S	設備・機器の支持構造物	S	燃料加工建屋	放射線検査装置	
			小規模放射処理装置	S							
	2) 上記1)に関連する設備・機器から放射性物質が漏えいした場合に、その影響の拡大を防止するための施設	-	安全上重要な施設として選定する構築物	S							
	3) 上記1)に関連する設備・機器で放射性物質の外部への放散を抑制するための設備・機器	放射性廃棄物の廃棄施設	グローブボックス排気設備	S	非常用屋内電源設備 <sup>(注8)</sup>	S	設備・機器の支持構造物	S	燃料加工建屋		
グローブボックス排風機 <sup>(注9)</sup>			S								
工程室排気設備			S								
工程室排気設備のうち、安全上重要な施設のグローブボックス等を設置する工程室から工程室排気フィルタユニットまでの範囲			S								
			工程室排気フィルタユニット	S							
			グローブボックス排気設備	S							
			グローブボックス排気設備のうち、安全上重要な施設のグローブボックスからグローブボックス排風機までの範囲及び安全上重要な施設のグローブボックスの給気側のうち、グローブボックスの閉じ込め機能維持に必要な範囲	S							
			グローブボックス排気フィルタ <sup>(注10)</sup>	S							
			グローブボックス排気フィルタユニット	S							

注13 安全上重要な施設のグローブボックスに付随するもの。

第8図 事業変更許可申請書 添5第11表抜粋(その1)

添5第11表 クラス別施設 (4/16)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>(注1)</sup>			補助設備 <sup>(注2)</sup>		直接支持構造物 <sup>(注3)</sup>		間接支持構造物 <sup>(注4)(注5)</sup>	波及的影響を考慮すべき 設備 <sup>(注6)</sup>
		施設名	適用範囲	耐震 クラス (注7)	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	適用範囲
S	4) その他の施設	その他加工設備の 附属施設	火災防除設備 グローブボックス温度監視装置 グローブボックス消火装置 <sup>(注10)</sup> 延焼防止ダンパ <sup>(注15)</sup> ピストンダンパ <sup>(注16)</sup> 水素・アルゴン混合ガス設備 <sup>(注17)</sup>	S S S S S	非常用所内電源設備 <sup>(注8)</sup>	S	設備・機器の支持構造物	S	燃料加工建屋	

注15 安全上重要な施設のグローブボックスの排気系に設置するもの。

注16 安全上重要な施設のグローブボックスの給気系に設置するもの。

添5第11表 クラス別施設 (11/16)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>(注1)</sup>			補助設備 <sup>(注2)</sup>		直接支持構造物 <sup>(注3)</sup>		間接支持構造物 <sup>(注4)(注5)</sup>	波及的影響を考慮すべき 設備 <sup>(注6)</sup>
		施設名	適用範囲	耐震 クラス (注7)	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	適用範囲
B	2) 放射性物質の外部への放散を抑制するための設備・機器であってSクラス以外の設備・機器	放射性廃棄物の廃棄施設	グローブボックス排気設備 グローブボックス排気設備のうち、BクラスのグローブボックスからSクラスのグローブボックス排気設備に接続するまでの範囲及びBクラスのグローブボックスの給気側のうち、フィルタまでの範囲 窒素循環設備 <sup>(注22)</sup> 窒素循環ダクトのうち、窒素循環気型グローブボックス(窒素循環型)を循環する経路 窒素循環ファン	B B B			設備・機器の支持構造物	B	燃料加工建屋	

注22 窒素循環設備のうち、Sクラスのグローブボックスを循環する経路については、基準地震動による地震力に対してその機能を保持する設計とする。

第8図 事業変更許可申請書 添5第11表抜粋(その2)



添5第11表 クラス別施設 (13/16)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 <sup>(注1)</sup>			補助設備 <sup>(注2)</sup>		直接支持構造物 <sup>(注3)</sup>		間接支持構造物 <sup>(注4)</sup>		波及的影響を考慮すべき 設備 <sup>(注5)</sup>
		施設名	適用範囲	耐震 クラス (注7)	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	適用範囲	
C	Sクラスに属する施設 及びBクラスに属する 施設以外の一般産業施 設又は公共施設と同等 の安全性が要求される 施設  (つづき)	貯蔵施設	ウラン貯蔵設備 ウラン粉末出入庫装置 燃料棒貯蔵設備 ウラン燃料棒収容装置 グローブボックス負圧・温度湿度監視設備	C C C C			設備・機器の支持構造 物	C	燃料加工建屋		
		放射線廃 棄物の廃 棄施設	建屋排気設備 工程室排気設備 工程室排気設備のうち、Sクラス以外の範囲 グローブボックス排気設備 グローブボックス排気設備のうち、Sクラス及びBク ラス以外の範囲 窒素循環設備 窒素循環ダクトのうち、Bクラス以外の範囲	C C C C C C			設備・機器の支持構造 物	C	燃料加工建屋		
		給気設備	排気筒 <sup>(注8)</sup>	C C							
		低レベル廃液処理設備のオープンポートボックス ろ過処理オープンポートボックス 吸着処理オープンポートボックス	C C C								
		低レベル廃液処理設備 検査槽 廃液貯槽 ろ過処理装置 吸着処理装置 グローブボックス負圧・温度湿度監視設備	C C C C C C								
		海洋放出管理系 放出前貯槽 第1放出前貯槽 第1海洋放出ポンプ 海洋放出管	C C C C					設備・機器の支持構造 物	C		
		低レベル固形廃棄物貯蔵設備 第2低レベル廃棄物貯蔵系	C					設備・機器の支持構造 物	C		

第8図 事業変更許可申請書 添5第11表抜粋 (その3)

添5第12表 重大事故等対応設備(主要設備)の設備分類

系統機能	設備		代替する機能を有する安全機能を有する施設 ( )内は、設計基準対象の設備を兼ねる設備 及びその耐震重要度分類		設備分類	直接支持構造物	間接支持構造物		建物・機器物		
	設備名称	構成する機器	設備	耐震重要度分類			分類	直接支持構造物		間接支持構造物	
										分類	建物・機器物
可燃物燃焼の原因となる火災の消火	代替消火設備	遠隔消火装置	火災防護設備 グローブボックス消火装置	S	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—	
	代替火災感知設備	火災状況確認用温度計	火災防護設備 グローブボックス温度監視装置	S	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—	
		火災状況確認用温度表示装置	グローブボックス負圧・温度監視設備	C	常設耐震重要度重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	燃料加工建屋	静的地震力	—	
外部放出抑制設備	グローブボックス排気ダクト	(気体汚染物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	グローブボックス給気フィルタ	(気体汚染物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	グローブボックス排気フィルタ	(気体汚染物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	グローブボックス排気フィルタユニット	(気体汚染物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	工程室排気ダクト	(気体汚染物の廃棄設備 工程室排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	工程室排気フィルタユニット	(気体汚染物の廃棄設備 工程室排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	グローブボックス排気吸入口手動ダンパ	(気体汚染物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	工程室排気吸入口手動ダンパ	(気体汚染物の廃棄設備 工程室排気設備)	(C)	常設耐震重要度重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	燃料加工建屋	静的地震力	—		
	グローブボックス排気閉止ダンパ	(気体汚染物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
	工程室排気閉止ダンパ	(気体汚染物の廃棄設備 工程室排気設備)	(C)	常設耐震重要度重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	燃料加工建屋	静的地震力	—		
	予備混合装置グローブボックス	(予備混合装置グローブボックス)	(S)	常設耐震重要度重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Sa	—		
均一化混合装置グローブボックス	(均一化混合装置グローブボックス)										
造粒装置グローブボックス	(造粒装置グローブボックス)										
回収粉末処理・混合装置グローブボックス	(回収粉末処理・混合装置グローブボックス)										
添加剤混合装置Aグローブボックス	(添加剤混合装置Aグローブボックス)										
プレス装置A(プレス部)グローブボックス	(プレス装置A(プレス部)グローブボックス)										
添加剤混合装置Bグローブボックス	(添加剤混合装置Bグローブボックス)										
プレス装置B(プレス部)グローブボックス	(プレス装置B(プレス部)グローブボックス)										

第9図 事業変更許可申請書 添5第12表抜粋(その1)

(つづき)

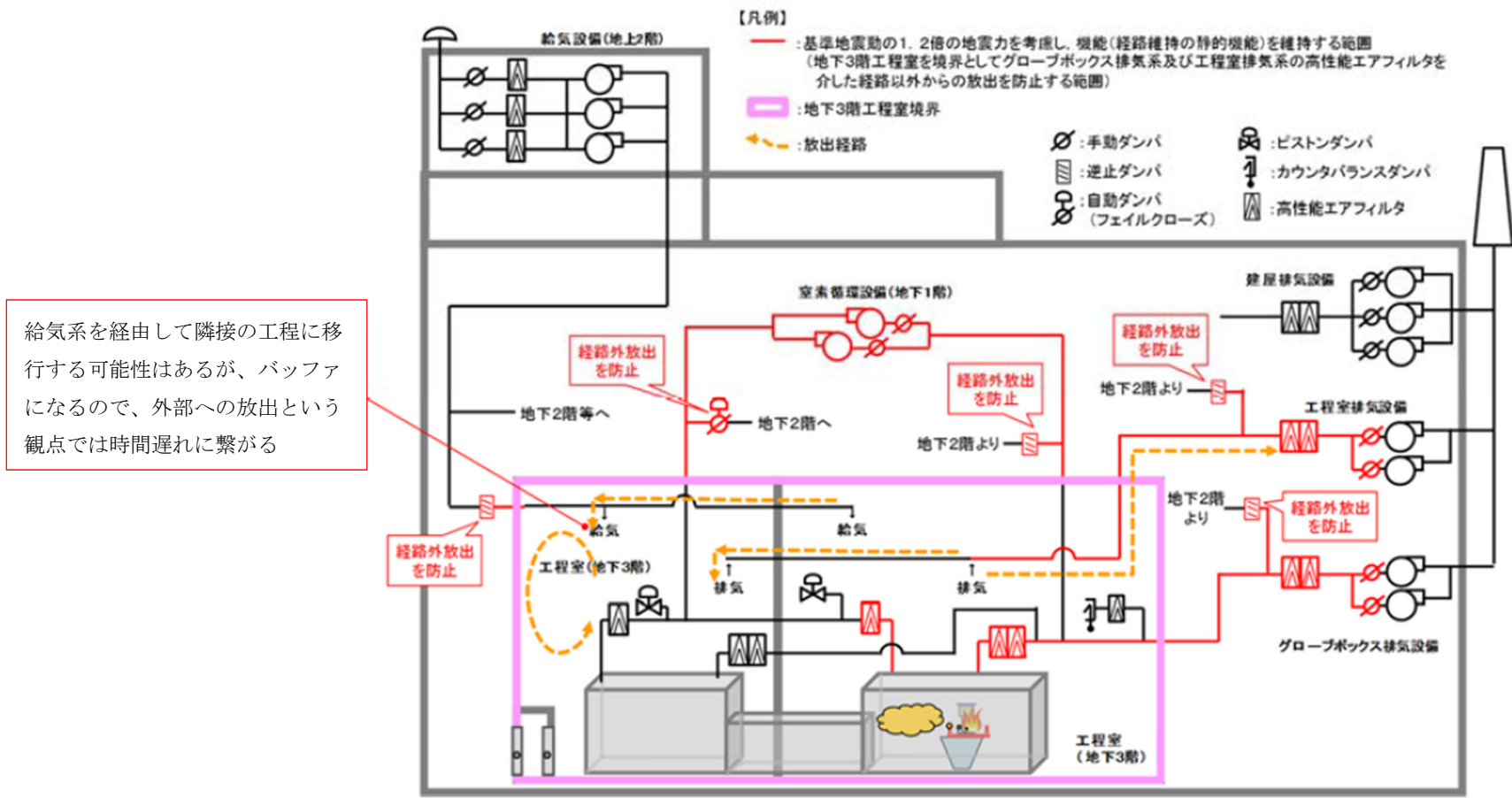
第29条 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備										
第29条 閉じ込める機能の喪失 原因となる火災の消火	代替グローブボックス 排気設備	グローブボックス排気ダクト	(気体汚染物の汚染設備 グローブボックス排気設 備)	(S)	常設耐震重要重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Se	—
		グローブボックス給気フィルタ	(気体汚染物の汚染設備 グローブボックス排気設 備)	(S)	常設耐震重要重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Se	—
		グローブボックス排気フィルタ	(気体汚染物の汚染設備 グローブボックス排気設 備)	(S)	常設耐震重要重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Se	—
	予備混合装置グローブボックス	(予備混合装置グローブ ボックス)	(S)	常設耐震重要重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備	燃料加工建屋	Se	—	
	均一化混合装置グローブボックス	(均一化混合装置グローブ ボックス)								
	造粒装置グローブボックス	(造粒装置グローブボッ クス)								
	回収粉末処理・混合装置グローブボックス	(回収粉末処理・混合装置 グローブボックス)								
	添加剤混合装置Aグローブボックス	(添加剤混合装置Aグロー ブボックス)								
	プレス装置A(プレス部)グローブボックス	(プレス装置A(プレス部)グ ローブボックス)								
	添加剤混合装置Bグローブボックス	(添加剤混合装置Bグロー ブボックス)								
プレス装置B(プレス部)グローブボックス	(プレス装置B(プレス部) グローブボックス)									

第9図 事業変更許可申請書 添5第12表抜粋(その2)

(つづき)

第33条 監視測定設備										
系統機能	設備		代替する機能を有する安全機能を有する施設 〔( )内は、設計基準対象の設備を兼ねる設備 及びその耐震重要度分類〕		設備分類	直接支持構造物		間接支持構造物		建物・構築物
	設備名称	構成する機器	設備	耐震重要度分類	分類					
放射性物質の濃度及び 線量の測定	放射線監視設備	排気モニタリング設備 排気モニタ	(放射線監視設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	—	—	—	—	—
		排気筒	(気体廃棄物の廃棄設備 排気筒)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	—	—	支持、基礎	静的地震力	—
		グローブボックス排気ダクト	(気体廃棄物の廃棄設備 グローブボックス排気設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	燃料加工建屋	静的地震力	—
		工程室排気ダクト	(気体廃棄物の廃棄設備 工程室排気設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	燃料加工建屋	静的地震力	—
		環境モニタリング設備 モニタリングポスト	(環境モニタリング設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	—	—	—	—	—
	環境モニタリング設備 ガストモニタ	(環境モニタリング設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	—	—	—	—	—	
	試料分析関係設備	放出管理分析設備 アルファ線用放射能測定装置	(試料分析関係設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	燃料加工建屋	静的地震力	—
放出管理分析設備 ベータ線用放射能測定装置	分析建屋									
環境試料測定設備 核種分析装置	分析建屋									
風向、風速その他の気 象条件の測定	環境管理設備	気象観測設備	(環境管理設備)	(C)	常設耐震重要重大事故等対応設備 以外の常設重大事故等対応設備	—	—	環境管理建屋	静的地震力	—

第9図 事業変更許可申請書 添5第12表抜粋 (その3)



第10図 事業許可の整理資料「第22条：重大事故等の拡大の防止等」補足説明資料6-5 (22条)

## (2) 下位クラス接続等の留意すべき設備

建屋排気設備、工程室排気設備、グローブボックス排気設備、窒素循環設備の特徴を踏まえた主流路の耐震設計範囲の留意事項（下位クラス設備との接続）について以下に示す。

- ・ 気体廃棄設備の耐震クラスの境界は、弁又はフィルタを境界とする。
- ・ 基準地震動  $S_s$  の1.2倍の地震力にて、機能を期待する設備の境界は、弁、フィルタ又は分岐部等の溶接点とする。

なお、重大事故時において、分岐部等の溶接点の境界で破損し、経路外放出したとしても、工程室からの経路外放出を防止する範囲（ダクト、弁）を基準地震動  $S_s$  の1.2倍の地震力において経路が維持できる設計としており、公衆への放射性物質の漏えいを抑制する設計としている。（第10図参照）

## 4. 抽出結果

色塗りにて抽出した機器等のリスト(抽出リスト)、色塗り結果を添付3に示す。抽出結果を反映した申請対象設備リストを添付2に示す。

設計図書等を確認するにあたり、設計図書の記載に係る留意事項を参考に示す。

設計図書等の色塗りについては、主流路となる部分が明確になるよう着色する。

グローブボックス排気設備は、外部放出抑制設備と代替グローブボックス排気設備と一部兼用することから、設備範囲がわかるよう、着色する。

なお、グローブボックス排気設備は、燃料加工建屋内で複雑な系統を形成しているため、色塗りをするにあたり以下に示す2種類の図書を用いて、申請対象設備を抽出する。

単線ダクトルート図：グローブボックス排気フィルタ（1段目、2段目）から燃料加工建屋境界（排気筒取り合い）までを建屋平面図で示した図面

エンジニアリングフローダイヤグラム

：グローブボックスからグローブボックス排気フィルタ（1段目、2段目）までの範囲を示したフロー図

### 【凡例】

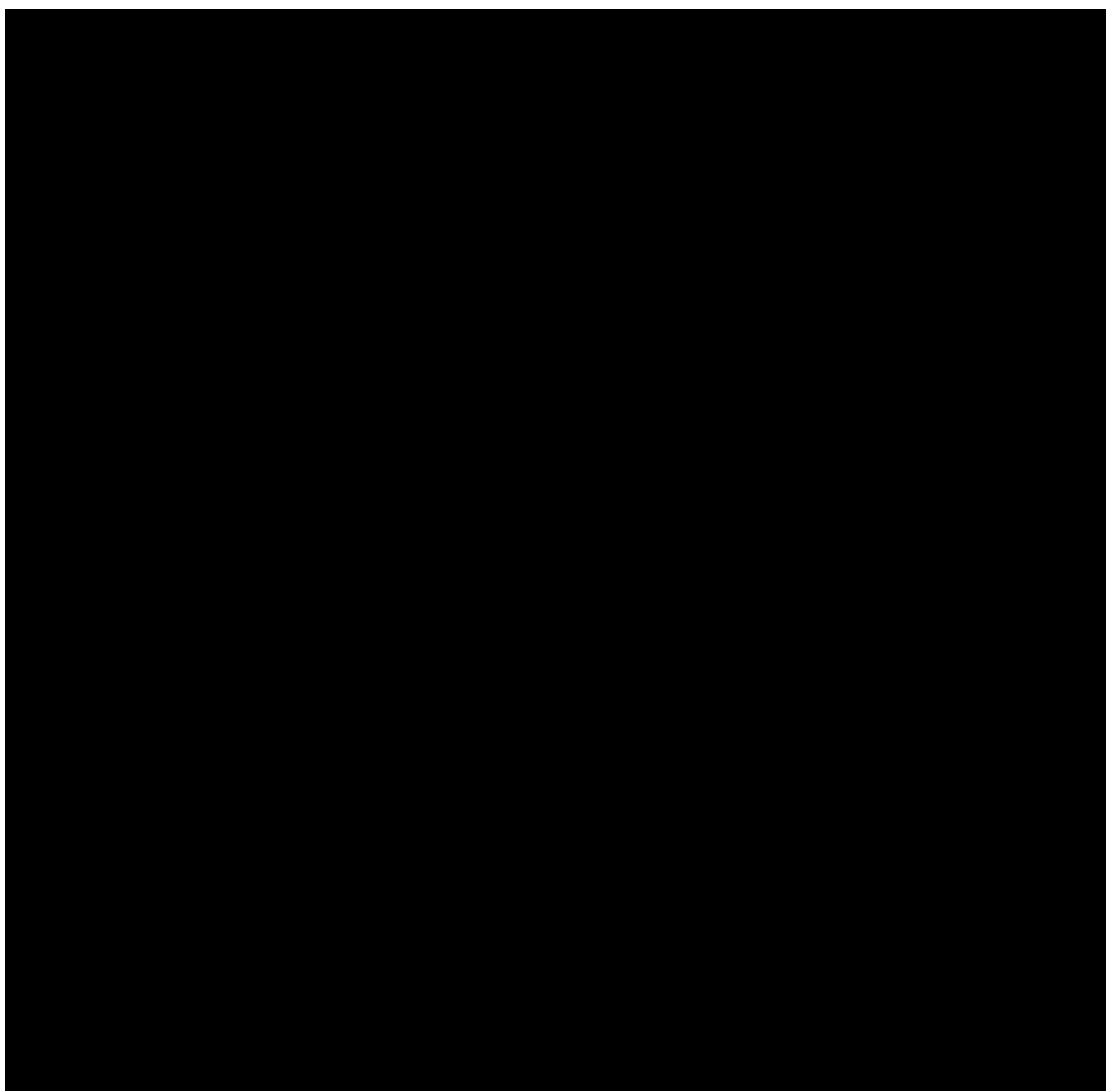
赤色線：主となる流路

青色線：安全上重要な施設

緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備の兼用）

黄色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備の兼用）

桃色線：重大事故等対処設備（代替グローブボックス排気設備の兼用）



第10図 設備境界等を示した色塗り系統図の記載例

添付 1

別紙 2 機能要求②抜粋

(廃棄施設 (気体廃棄物の廃棄設備))



(1) 10条：閉じ込めの機能

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表			
3	(2) グローブボックス等の閉じ込めに係る設計方針 グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。	機能要求① 機能要求② 評価要求	・基本方針 ・グローブボックス排気設備(グローブボックス排風機、グローブボックス排気ダクト) ・窒素循環設備(窒素循環ファン、窒素循環ダクト、窒素循環冷却機) ・グローブボックス ・オープンポートボックス ・フード ・焼結炉 ・スタック乾燥装置 ・小規模焼結処理装置	基本方針 設計方針(閉じ込め) 評価(閉じ込め)	○	基本方針	-	○	粉末一時保管装置GB ペレット一時保管装置GB スタック編成設備GB 等	グループボックス排気設備(グローブボックス排風機、グローブボックス排気ダクト) 窒素循環設備(窒素循環ファン、窒素循環ダクト、窒素循環冷却機) スタック乾燥装置 分析装置フード 低レベル廃液処理設備OPB 等	＜ファン＞ ・容量 ・原動機 ＜主配管＞ ・外径・厚さ ＜機械装置＞ ・主要寸法 ＜核物質等取扱ボックス＞ ・焼結・乾燥装置 ・漏れ率	○	予備混合装置GB 等	焼結炉 小規模焼結処理装置 均一化混合装置GB 外蓋着脱装置OPB 貯蔵容器受払装置OPB フード(放射能測定設備) 等	＜核物質等取扱ボックス＞ ・漏れ率 ・開口部風速 ＜焼結・乾燥装置＞ ・漏れ率	-	-	-	
4	また、グローブ1個が破損した場合でもグローブポートの開口部における空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。	機能要求① 機能要求② 評価要求	・基本方針 ・グローブボックス排気設備(グローブボックス排風機、グローブボックス排気ダクト) ・窒素循環設備(窒素循環ファン、窒素循環ダクト、窒素循環冷却機) ・グローブボックス	基本方針 設計方針(閉じ込め) 評価(閉じ込め)	○	基本方針	-	○	粉末一時保管装置GB ペレット一時保管装置GB スタック編成設備GB 等	グループボックス排気設備(グローブボックス排風機、グローブボックス排気ダクト) 窒素循環設備(窒素循環ファン、窒素循環ダクト、窒素循環冷却機) 分析装置GB 等	＜ファン＞ ・容量 ・原動機 ＜主配管＞ ・外径・厚さ ＜機械装置＞ ・主要寸法 ＜核物質等取扱ボックス＞ ・開口部風速	○	予備混合装置GB 等	均一化混合装置GB 等	＜核物質等取扱ボックス＞ ・開口部風速	-	-	-	
5	グローブボックスは、給気口及び排気口を除き密閉できる設計とする。	機能要求②	・基本方針 ・グローブボックス	基本方針 設計方針(閉じ込め)	○	基本方針	-	○	粉末一時保管装置GB ペレット一時保管装置GB スタック編成設備GB 等	分析装置GB 等	＜核物質等取扱ボックス＞ ・漏れ率	○	予備混合装置GB 等	均一化混合装置GB 等	＜核物質等取扱ボックス＞ ・漏れ率	-	-	-	
8	(3) 核燃料物質等の漏えいに対する措置等に係る設計方針 核燃料物質等を限定された区域に適切に閉じ込めるため、核燃料物質等の漏えいに対する措置等として、以下の設計を講じる。 (a) 核燃料物質等を取り扱う設備は、内包する物質の種類に応じて適切な腐食対策を講じる設計とする。	機能要求① 機能要求②	・基本方針 ・グローブボックス排気設備 <sup>※1</sup> ・窒素循環設備 ・グローブボックス ・オープンポートボックス ・フード ・焼結炉 ・スタック乾燥装置 ・小規模焼結処理装置 ・低レベル廃液処理設備 ・分析済液処理装置 ・混合酸化物貯蔵容器 ・火災防護設備(延焼防止ダンパ、ピストンダンパ) <sup>※2</sup>  ※1 グローブボックス排気設備のうち、グローブボックス排気フィルタユニットより下流の機器については、清浄化された空気を取り扱うことから対象外。 ※2 火災防護設備である延焼防止ダンパとピストンダンパは安全上重要な施設のグローブボックスの排気系に設置するものであるため、対象設備として選定。	基本方針 設計方針(閉じ込め)	○	基本方針	-	○	粉末一時保管装置GB ペレット一時保管装置GB スタック編成設備GB 等	グループボックス排気設備 <sup>※1</sup> 窒素循環設備 分析済液処理装置 低レベル廃液処理設備  【機能要求②】 グローブボックス排気設備(グローブボックス給気フィルタ、グローブボックス排気フィルタ、グローブボックス排気ダクト) <sup>※1</sup> 窒素循環設備(窒素循環ファン、窒素循環ダクト、窒素循環冷却機) スタック乾燥装置 分析装置GB 低レベル廃液処理設備OPB 分析装置フード 分析済液処理装置(ろ過処理供給槽、ろ過処理供給槽ポンプ、第1ろ過装置、主配管等) 低レベル廃液処理設備(ろ過処理前槽、ろ過処理前槽ポンプ、第1ろ過処理装置、主配管等) 火災防護設備(延焼防止ダンパ、ピストンダンパ) <sup>※2</sup> 等  ※1 グローブボックス排気設備のうち、グローブボックス排気フィルタユニットより下流の機器については、清浄化された空気を取り扱うことから対象外。 ※2 火災防護設備である延焼防止ダンパとピストンダンパは安全上重要な施設のグローブボックスの排気系に設置するものであるため、対象設備として選定。	＜ファン＞ ・主要材料 ＜フィルタ＞ ・主要材料 ＜主配管＞ ・主要材料 ＜機械装置＞ ・主要材料 ＜核物質等取扱ボックス＞ ・主要材料 ＜焼結・乾燥装置＞ ・主要材料 ＜ろ過装置＞ ・主要材料 ＜容器＞ ・主要材料 ＜ポンプ＞ ・主要材料 ＜弁弁＞ ・主要材料	○	予備混合装置GB 等	焼結炉 小規模焼結処理装置 均一化混合装置GB 外蓋着脱装置OPB 貯蔵容器受払装置OPB フード(放射能測定設備) 等	＜焼結・乾燥装置＞ ・主要材料 ＜核物質等取扱ボックス＞ ・主要材料	混合酸化物貯蔵容器	-	-	＜選搬・製品容器＞ ・主要材料
11	(4) 放射性物質を含む液体を取り扱うグローブボックス及びオープンポートボックスは、貯槽等から放射性物質を含む液体が漏えいした場合においても漏えい検知器により検知し、警報を発する設計とする。また、グローブボックス及びオープンポートボックス底部に漏えい検知器を設置することにより、グローブボックス及びオープンポートボックスに放射性物質を含む液体を閉じ込めることで、放射性物質を含む液体がグローブボックス及びオープンポートボックス外に漏えいし難い設計とする。	機能要求② 評価要求	・基本方針 ・グローブボックス(漏えい液受皿) ・オープンポートボックス(漏えい液受皿) ・低レベル廃液処理設備 漏えい液受皿液位 ・分析済液処理装置 漏えい液受皿液位	基本方針 設計方針(閉じ込め) 評価(閉じ込め)	○	基本方針	-	○	-	・グローブボックス(漏えい液受皿) ・オープンポートボックス(漏えい液受皿) ・低レベル廃液処理設備 漏えい液受皿液位 ・分析済液処理装置 漏えい液受皿液位	＜核物質等取扱ボックス(漏えい液受皿)＞ ・主要寸法 ・主要材料 ＜計測装置＞ ・検出器の種類 ・警報動作範囲	-	-	-	-	-	-		
13	工程室は工程室排気設備、燃料加工建屋は建屋排気設備にて排気し、燃料加工建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くすることで、核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とする。 なお、負圧維持の達成に必要な起動順序に係る設計方針については、第2章 個別項目の「5.2 換気設備」に示す。	機能要求① 機能要求②	・基本方針 ・グローブボックス排気設備 ・窒素循環設備 ・工程室排気設備(工程室排風機、工程室排気ダクト) ・建屋排気設備(建屋排風機、建屋排気ダクト)	基本方針 設計方針(漏えいの拡大防止)	○	基本方針	-	○	-	グループボックス排気設備 窒素循環設備  【機能要求②】 工程室排気設備(工程室排風機、工程室排気ダクト) 建屋排気設備(建屋排風機、建屋排気ダクト)	＜ファン＞ ・容量 ・原動機 ＜主配管＞ ・外径・厚さ	-	-	-	-	-	-		
17	液体廃棄物を内包する貯槽等から廃液が漏えいした場合、漏えい検知器により検知し、警報を発する設計とする。また、堰等により漏えいの拡大を防止する設計とする。	機能要求② 評価要求	・基本方針 ・低レベル廃液処理設備 サンプ液位 ・分析済液処理装置 サンプ液位 ・燃料加工建屋(堰)	基本方針 設計方針(漏えいの拡大防止) 評価(漏えいの拡大防止)	○	基本方針	-	○	-	・低レベル廃液処理設備 サンプ液位 ・分析済液処理装置 サンプ液位 ・燃料加工建屋(堰)	＜計測装置＞ ・検出器の種類 ・警報動作範囲 ＜施設外漏えい防止堰＞ ・主要寸法 ・主要材料 ・床面及び壁面の塗装の範囲	-	-	-	-	-	-		

凡例  
・「説明対象」について  
○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
△：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
-：当該申請回次で記載しない項目

(2) 11条29条：火災等による損傷の防止

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表			
28	(4) 燃料加工建屋内へ水素・アルゴン混合ガス受け入れ後も燃料加工建屋内で水素濃度を確保し、万一、水素濃度が水素最高濃度を超過する場合には、水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁により焼結炉等への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。	機能要求① 機能要求② 運用要求	基本方針 水素・アルゴン混合ガス設備 施設共通 基本設計方針	基本方針 (火災防護計画) 設計方針 (発生防止)	○	基本方針 施設共通 基本設計方針	-	○	施設共通 基本設計方針	施設共通 基本設計方針	-	○	施設共通 基本設計方針	水素・アルゴン混合ガス設備 施設共通 基本設計方針	施設共通 基本設計方針	施設共通 基本設計方針	施設共通 基本設計方針	-	
29	また、焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱的制限値を設定し、温度制御機器により焼結時の温度を制御するとともに、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計とする。	機能要求②	基本方針 焼結炉内部温度高による過加熱防止回路	設計方針 (発生防止)	○	基本方針	-	-	-	-	-	○	-	焼結炉内部温度高による過加熱防止回路	焼結炉内部温度高による過加熱防止回路	-	-	-	-
110	7.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物 火災区域は、第1章 共通項目の「5.1.1安全機能を有する施設」及び「5.1.2重大事故等対処施設」に示す耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する設計とする。 火災区画は、第1章 共通項目の「5.1.1安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁、隣隔距離及び系統分離状況に応じて火災区域を細分化する設計とする。	機能要求②	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	設計方針 (火災区域の設定) 設計方針 (影響軽減)	○	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-	○	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-	-	-	-	-
111	このうち、火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。	機能要求②	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	設計方針 (火災区域の設定) 設計方針 (影響軽減)	○	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-	○	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-	-	-	-	-
112	また、重大事故等対処施設を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。	機能要求②	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	設計方針 (火災区域の設定) 設計方針 (影響軽減)	○	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-	○	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-	-	-	火災区域構造物(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)	-
128	MOX燃料加工施設では、臨界管理の観点から可能な限り水を排除するために、工程室及びグローブボックスについては、自動又は現場での手動操作による固定式の水消火装置を設置することにより消火を行う設計とする。 さらに、火災の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難となる箇所として多量の可燃性物質を取り扱う火災区域又は火災区画(危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所)、可燃性物質を取扱い構造上消火活動が困難となる火災区域又は火災区画(中央監視室等の床下及び緊急時対策建屋の対策本部室の床下)及び電気品室等の火災区域又は火災区画については、自動又は現場での手動操作による固定式の水消火装置を設置することにより、消火活動を可能とする設計とする。 このうち、中央監視室等の床下に設置する固定式の水消火装置は、窒素消火装置を設置する設計とする。 燃料棒貯蔵室等の高線量区域は、通常運転時において人の立ち入りがなく、可燃性物質又は着火源になり得るものもないこと及び可燃性物質の持ち込み管理をすること並びに火災に至るおそれはないことから固定式の水消火装置を設置しない設計とする。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置 屋内消火栓 ハロゲン化物消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	○	-	消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置	<主配管> 外径、厚さ	○	-	消火設備 屋内消火栓	-	-	-	消火設備 ハロゲン化物消火設備	-
132	(1) 消火設備の消火剤の容量 消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置 等	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	○	-	消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置	<容器> ・容量 ・個数	○	-	-	-	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	-
133	ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、グローブボックスの給気量を下回るように消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とする。 また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガス放出単位を設定し、その放出単位の給気量の合計値を下回るように消火ガスを放出するとともに、火災を感知してから延焼防止ダンパを閉止するまでの時間で消火ガス放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置 ピストンダンパ、延焼防止ダンパ	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	○	-	消火設備 GB消火装置 ピストンダンパ 延焼防止ダンパ	<容器> ・容量 ・個数  <主要弁> 主要寸法	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 20条：廃棄施設

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表			
6	気体廃棄物の廃棄設備は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、放射性物質の濃度及び排気風量を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備 排気筒 放射線監視設備	設計方針(系統構成)	○	基本方針 (燃料加工建屋に係る基本方針)	基本方針	○	—	建屋排気設備 主配管(建屋排気系) 工程室排気設備 主配管(工程室排気系) グローブボックス排気設備 主配管(グローブボックス排気系) 排気筒 【機能要求②】 建屋排気設備 建屋排気フィルタユニット 建屋排風機 工程室排気設備 工程室排気フィルタユニット 工程室排風機 グローブボックス排気設備 グローブボックス排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタ グローブボックス排風機	(ファン) ・容量 ・原動機	○	—	排気モニタ	—	—	—		
7	放射性気体廃棄物の放出に当たっては、排気中の放射性物質の濃度の測定及び放射能レベルを監視することにより、排気口において排気中の放射性物質の濃度が濃度告示に定める周辺監視区域外の空気中の濃度限度以下となる設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備 排気筒 放射線監視設備	設計方針(系統構成)	○	基本方針 (燃料加工建屋に係る基本方針)	基本方針	○	—	建屋排気設備 主配管(建屋排気系) 工程室排気設備 主配管(工程室排気系) グローブボックス排気設備 主配管(グローブボックス排気系) 排気筒 【機能要求②】 建屋排気設備 建屋排風機 工程室排気設備 工程室排風機 グローブボックス排気設備 グローブボックス排風機	(ファン) ・容量 ・原動機	○	—	排気モニタ	—	—	—		
8	建屋排気設備、工程室排気設備及びグローブボックス排気設備の排気側には、核燃料物質等を除去するための設備・機器として、高性能エアフィルタを複数設け、核燃料物質等を除去する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針(系統構成)	○	基本方針 (燃料加工建屋に係る基本方針)	基本方針	○	—	建屋排気設備 建屋排気フィルタユニット 工程室排気設備 工程室排気フィルタユニット グローブボックス排気設備 グローブボックス排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタ	(フィルタ) ・効率	—	—	—	—	—	—		
23	低レベル廃液処理設備は、分析設備から発生する廃液、放出管理分析設備から発生する廃液、管理区域内で発生する空調機器ドレン水等を受け入れ、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い放射性物質の濃度が濃度告示に定められた周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを確認した後、排水口から排出する設計とする。	機能要求① 機能要求②	低レベル廃液処理設備	設計方針(系統構成) 設計方針(処理能力)	—	—	—	○	—	低レベル廃液処理設備 吸着処理オープンポートボックス ろ過処理オープンポートボックス 【機能要求②】 低レベル廃液処理設備 イオン系廃液検査槽 固体系廃液検査槽 固体系廃液検査槽ポンプ 吸着処理前槽 吸着処理後槽 吸着処理後槽ポンプ ろ過処理前槽 ろ過処理後槽ポンプ ろ過処理前槽 第1ろ過処理装置 第2ろ過処理装置 精ろ過装置 限外ろ過装置 ろ過処理後槽 ろ過処理後槽ポンプ 廃液貯槽 廃液貯槽ポンプ 主配管(低レベル廃液処理系)	(容器) ・容量 (ろ過装置) ・容量 (ポンプ) ・容量 ・吐出圧力 ・原動機 (主配管) ・外径・厚さ	—	—	—	—	—	—		
26	5.1.2.3 廃油保管室の廃油保管エリア 廃油保管エリアは、管理区域内において、機器の点検並びに交換及び装置の稼働に伴って発生する機械油又は分析作業に伴い発生する有機溶媒(以下「油類」という。)を油類廃棄物として保管廃棄するために必要な容量を確保する設計とする。 廃油保管室の廃油保管エリアは、燃料加工建屋の管理区域内で発生する再利用しない油類のうち、ドラム缶又は金属製容器に封入した油類を油類廃棄物として保管廃棄する設計とする。	機能要求②	廃油保管室の廃油保管エリア	設計方針(保管廃棄エリアの容量、設置場所)	—	—	—	○	—	基本方針	—	—	—	—	—	—	—	(保管・廃棄エリア) ・容量 ・主要寸法	
28	5.1.2.4 海洋放出管理系 海洋放出管理系は、MOX燃料加工施設の排水口から排出した排水を再処理施設の第1放出貯槽(再処理施設と共用(以下同じ。))及び第1海洋放出ポンプ(再処理施設と共用(以下同じ。))を経由して海洋放出管(再処理施設と共用(以下同じ。))の海洋放出口から海洋へ放出する設計とする。	機能要求① 機能要求②	海洋放出管理系 第1放出貯槽 第1海洋放出ポンプ 海洋放出管	設計方針(系統構成) 設計方針(経路維持) 設計方針(流量)	—	—	—	○	—	基本方針	—	—	—	—	—	—	—	(容器) ・容量 (ポンプ) ・容量 ・吐出圧力 ・原動機 (主配管) ・外径・厚さ	
30	5.1.3 固体廃棄物の廃棄設備 固体廃棄物の廃棄設備は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。	機能要求②	廃棄物保管設備 (廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリア) 再処理施設の第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系	基本方針 (保管廃棄施設の容量、設置場所)	○	基本方針 (燃料加工建屋に係る基本方針)	基本方針	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃棄物保管設備 (廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリア) 再処理施設の第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系

凡例  
・「説明対象」について  
○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目  
△：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
—：当該申請回次で記載しない項目

(4) 23条：換氣設備

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項要求①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項要求②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項要求③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項要求④)	仕様表	
9	グループボックス排気設備、工程室排気設備及び建屋排気設備の排気機は、グループボックス等並びに工程室及び燃料加工建屋の負圧維持に必要な換気能力を有する設計とする。	機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グループボックス排気設備 翼車排気設備	設計方針 (ファン容量)	-	-	-	○	-	建屋排気機 工程室排気機 グループボックス排気機 翼車排気ファン	(排気機) ・容量	-	-	-	-	-	-
10	グループボックスの給気口には、高性能エアフィルタを設置し、グループボックス内の可燃物物質等が室内に漏えいしにくい設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	グループボックス排気設備	設計方針 (系統構成) 設計方針 (フィルタ効率)	-	-	-	○	-	グループボックス給気フィルタ	(フィルタ) ・効率	-	-	-	-	-	-

凡例  
 ○：「説明対象」について  
 ○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追加する項目  
 △：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目  
 -：当該申請回次で記載しない項目



(5) 33条：閉じ込める機能の喪失に  
対処するための設備



## 添付 2

### 申請対象設備リスト

(廃棄施設 (気体廃棄物の廃棄設備) )

申請対象設備リスト（系統設備）（気体廃棄物の廃棄設備）  
(1/3)

番号	施設区分	設備区分	機器（許可）	機器	機種	基本設計方針 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	別紙番号	設置場所	数量	申請時期	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考						
454	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	—	建屋排気ダクト	主配管（常設）（建屋排気系）	主配管	10条-8 10条-13	系統_建屋排気設備_配管_1	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	
455	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	—	建屋排気フィルタユニット	C1区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	20条-6 20条-8	系統_建屋排気設備_機器_4 ～ 系統_建屋排気設備_機器_6	別紙2-2-3	燃料加工建屋	3	2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	
456	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	—	建屋排気フィルタユニット	C2区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	20条-6 20条-8	系統_建屋排気設備_機器_7 ～ 系統_建屋排気設備_機器_29	別紙2-2-3	燃料加工建屋	23	2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	
457	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	—	建屋排風機	建屋排風機	ファン	10条-8 10条-13 20条-6 20条-7 23条-6	系統_建屋排気設備_機器_1 ～ 系統_建屋排気設備_機器_3	別紙2-2-3	燃料加工建屋	3	2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	
458	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト	主配管（常設）（工程室排気系）	主配管	10条-8 10条-13 33条-13 33条-14	系統_工程室排気設備_配管_1 ～ 系統_工程室排気設備_配管_15	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss C/(C)※	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備 ※：重大事故等対処設備 排気モニタリング設備	—	—	※外部放出抑制設備の工程室排風機入口手動ダンパから燃料加工建屋境界までを基準地震動Ssの1.2倍の地震においても経路が維持できる設計とする。
459	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気フィルタユニット	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	20条-6 20条-8 33条-13 33条-14	系統_工程室排気設備_機器_3 ～ 系統_工程室排気設備_機器_13	別紙2-2-3	燃料加工建屋	11	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	—	—
460	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排風機	工程室排風機	ファン	10条-8 10条-13 20条-6 20条-8 23条-6	系統_工程室排気設備_機器_1 ～ 系統_工程室排気設備_機器_2	別紙2-2-3	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	C/—※	—	—	—	※基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
462	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グループボックス排気設備	—	—	グループボックス排気ダクト	主配管（常設）（グループボックス排気系）	主配管	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	系統_グループボックス排気設備_配管_1 ～ 系統_グループボックス排気設備_配管_88	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss S/(S)※ S/— B-1/— C/(C)※ C/—	主：グループボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ※：代替グループボックス排気設備 従：重大事故等対処設備 排気モニタリング設備	—	—	※外部放出抑制設備のグループボックス排風機入口手動ダンパから燃料加工建屋境界までを基準地震動Ssの1.2倍の地震においても経路が維持できる設計とする。
463	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グループボックス排気設備	—	—	グループボックス給気フィルタ	グループボックス給気フィルタ	フィルタ	23条-10 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	抽出リスト参照（グループボックス排気設備）（系統）	別紙2-2-3	燃料加工建屋	162	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss S/— B-1/— C/—	主：グループボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ※：代替グループボックス排気設備	—	—	—
464	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グループボックス排気設備	—	—	グループボックス排気フィルタ	グループボックス排気フィルタ	フィルタ	20条-6 20条-8 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	抽出リスト参照（グループボックス排気設備）	別紙2-2-3	燃料加工建屋	235	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss S/— B-1/— C/—	主：グループボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ※：代替グループボックス排気設備	—	—	—

申請対象設備リスト (系統設備) (気体廃棄物の廃棄設備)  
(2/3)

番号	施設区分	設備区分	機器 (許可)	機器	機種	基本設計方針 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	別紙番号	設置場所	数量	申請時期	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考					
465	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気フィルタユニット	グローブボックス排気フィルタユニット	フィルタ	20条-6 20条-8 33条-13 33条-14	系統_グローブボックス排気設備_機器_398 ~ 系統_グローブボックス排気設備_機器_406	別紙2-2-3	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備	—	—
466	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排風機	グローブボックス排風機	ファン	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13 20条-6 20条-7 23条-6	系統_グローブボックス排気設備_機器_407 系統_グローブボックス排気設備_機器_408	別紙2-2-3	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	S/—※	—	—	※基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
469	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ダクト	主配管 (窒素循環系)	主配管	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13	系統_窒素循環設備_配管_1 系統_窒素循環設備_配管_7	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	B-1, B-4 /—※	—	—	※建屋排気設備によって排気される室に設置する範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても経路が維持できる設計とする。
470	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン	窒素循環ファン	ファン	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13 23条-6	系統_窒素循環設備_機器_1 系統_窒素循環設備_機器_2	別紙2-2-3	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	B-4/—※	—	—	※基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
471	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機	窒素循環冷却機	機械装置	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13	系統_窒素循環設備_機器_3 系統_窒素循環設備_機器_4	別紙2-2-3	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	B-4/—※	—	—	※基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
473	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気ダクト	主配管 (常設) (外部放出抑制系 (グローブボックス))	主配管	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13 20条-6 20条-7 20条-13 33条-14 33条-42 33条-43	系統_グローブボックス排気設備_配管_4, 5, 6, 9, 31, 33, 35, 37	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss S/(S)※	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備	—	※グローブボックス排風機入口手動ダンパからグローブボックス排気閉止ダンパまでの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
474	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス給気フィルタ	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	23条-10 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	抽出リスト参照 (外部放出抑制設備)	別紙2-2-3	燃料加工建屋	8	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備	—	—

申請対象設備リスト（系統設備）（気体廃棄物の廃棄設備）  
(3/3)

番号	施設区分	設備区分	機器（許可）	機器	機種	基本設計方針 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	別紙番号	設置場所	数量	申請時期	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考						
475	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑 制設備	—	—	—	グループボックス排気フィルタ	グループボックス排気フィルタ	フィルタ	20条-7 20条-8 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	抽出リスト参照（外部放出抑制設備）	別紙2-2-3	燃料加工建屋	16	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	—
476	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑 制設備	—	—	—	グループボックス排気フィルタユニット	グループボックス排気フィルタユニット	フィルタ	20条-7 20条-8 33条-13 33条-14	系統_グループボックス排気設備_機器_398 ～ 系統_グループボックス排気設備_機器_406	別紙2-2-3	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—	—
477	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑 制設備	—	—	—	工程室排気ダクト	主配管（常設）（外部放出抑制系（工程室））	主配管	10条-8 10条-13 33条-13 33条-14	系統_工程室排気設備_配管_10 系統_工程室排気設備_配管_13 系統_工程室排気設備_配管_14	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss C/1.2Ss C/(C)※	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※工程室排気機入口手動ダンパから工程室排気閉止ダンパまでを基準地震動Ssの1.2倍の地震においても経路が維持できる設計とする。
478	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑 制設備	—	—	—	工程室排気フィルタユニット	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	20条-7 20条-8 33条-13 33条-14	系統_工程室排気設備_機器_3 ～ 系統_工程室排気設備_機器_13	別紙2-2-3	燃料加工建屋	11	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	—
490	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グロー ブボックス 排気設備	—	—	—	グループボックス排気ダクト	主配管（常設）（代替グローブボックス排気系）	主配管	10条-3 10条-4 10条-8 10条-13 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	系統_グループボックス排気設備_配管_4, 9, 31, 33, 35, 37, 89	別紙2-2-3	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重/非安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	—
491	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グロー ブボックス 排気設備	—	—	—	グループボックス給気フィルタ	グループボックス給気フィルタ	フィルタ	23条-10 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	抽出リスト参照（代替GB排気設備）	別紙2-2-3	燃料加工建屋	8	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	—
492	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グロー ブボックス 排気設備	—	—	—	グループボックス排気フィルタ	グループボックス排気フィルタ	フィルタ	20条-7 20条-8 33条-13 33条-14 33条-42 33条-43	抽出リスト参照（代替GB排気設備）	別紙2-2-3	燃料加工建屋	16	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	—
626	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	—	ピストンダンパ（安全上重要な施設のグループボックスの排気系に設置するもの）	ピストンダンパ（安全上重要な施設のグループボックスの排気系に設置するもの）	主要弁	10条-8 11条29条-133	系統_火災防護設備（延焼防止ダンパ、ピストンダンパ）_機器_136 ～ 系統_火災防護設備（延焼防止ダンパ、ピストンダンパ）_機器_163	別紙2-2-3	燃料加工建屋	28	2	新設	安重	—	S/—	—	—	—
630	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備	—	—	—	延焼防止ダンパ（ダンパ作動回路を含む。） （安全上重要な施設のグループボックスの排気系に設置するもの）	延焼防止ダンパ（ダンパ作動回路を含む。） （安全上重要な施設のグループボックスの排気系に設置するもの）	主要弁	10条-8 11条29条-133	系統_火災防護設備（延焼防止ダンパ、ピストンダンパ）_機器_1 ～ 系統_火災防護設備（延焼防止ダンパ、ピストンダンパ）_機器_135	別紙2-2-3	燃料加工建屋	135	2	新設	安重	—	S/—	—	—	—

添付 3

申請対象設備抽出結果(廃棄施設 (気体廃棄物の廃棄設備) )

## (1) 建屋排氣設備



抽出リスト (機器) (建屋排気設備)  
(1/2)

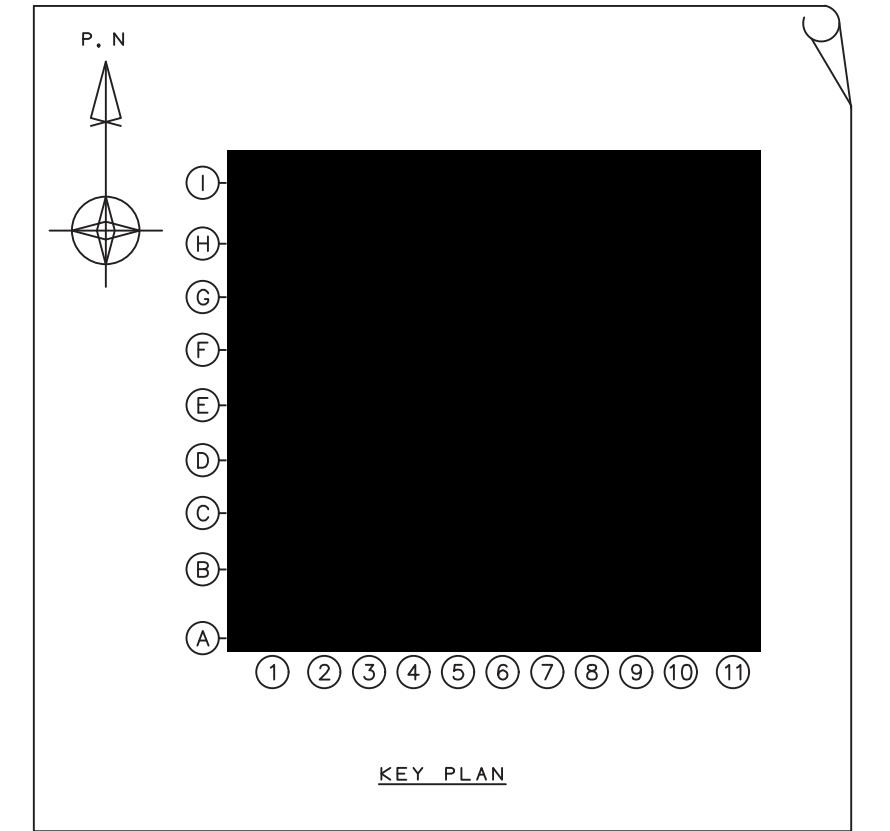
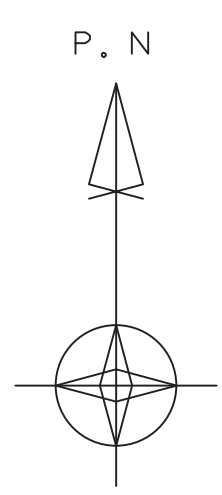
【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分				機器名称 (許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	建屋排風機	建屋排風機	ファン	燃料加工建屋	3	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	
2																			0171-K-112 (建屋排風機B)	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
3																			0171-K-113 (建屋排風機C)	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	建屋排気フィルタユニット	C1区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	3	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック	
5																			0171-F-125 (C1区域用建屋排気フィルタユニットB)	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック
6																			0171-F-126 (C1区域用建屋排気フィルタユニットC)	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック
7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	建屋排気フィルタユニット	C2区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	23	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック	
8																			0171-F-127 (C2区域用建屋排気フィルタユニットA)	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック
9																			0171-F-128 (C2区域用建屋排気フィルタユニットB)	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック
10																			0171-F-129 (C2区域用建屋排気フィルタユニットC)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
11																			0171-F-130 (C2区域用建屋排気フィルタユニットD)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
12																			0171-F-131 (C2区域用建屋排気フィルタユニットE)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
13																			0171-F-132 (C2区域用建屋排気フィルタユニットF)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
14																			0171-F-133 (C2区域用建屋排気フィルタユニットG)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
15																			0171-F-134 (C2区域用建屋排気フィルタユニットH)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
16																			0171-F-135 (C2区域用建屋排気フィルタユニットI)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
17																			0171-F-136 (C2区域用建屋排気フィルタユニットJ)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
18																			0171-F-137 (C2区域用建屋排気フィルタユニットK)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
19																			0171-F-138 (C2区域用建屋排気フィルタユニットL)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
20																			0171-F-139 (C2区域用建屋排気フィルタユニットM)	単線ダクトルート図 地下1階3ブロック
21																			0171-F-140 (C2区域用建屋排気フィルタユニットN)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
22																			0171-F-141 (C2区域用建屋排気フィルタユニットO)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
23																			0171-F-142 (C2区域用建屋排気フィルタユニットP)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
24	0171-F-143 (C2区域用建屋排気フィルタユニットQ)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		
25	0171-F-144 (C2区域用建屋排気フィルタユニットR)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		
26	0171-F-145 (C2区域用建屋排気フィルタユニットS)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		
27	0171-F-146 (C2区域用建屋排気フィルタユニットT)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		
28	0171-F-147 (C2区域用建屋排気フィルタユニットU)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		
29	0171-F-148 (C2区域用建屋排気フィルタユニットV)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		
	0171-F-149 (C2区域用建屋排気フィルタユニットW)	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		

抽出リスト（配管）（建屋排気設備）  
（2/2）

【主配管等の名称整理】

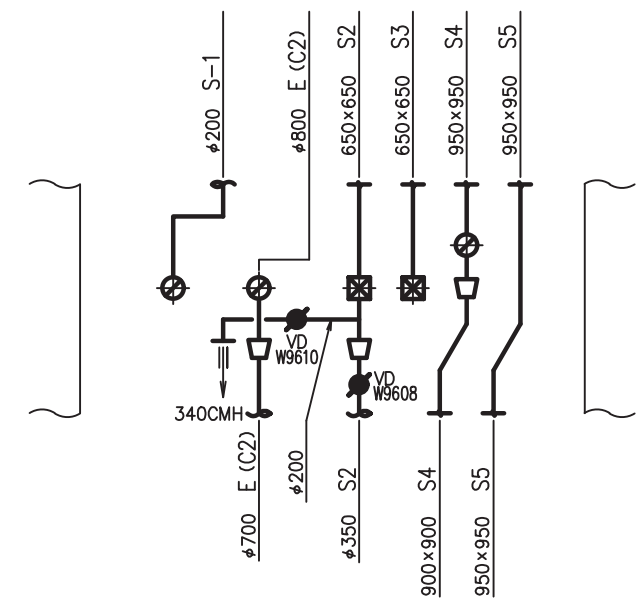
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考	
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	建屋排気設備	—	—	建屋排気ダクト	C1区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C, C2区域用建屋排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W ～ 建屋排風機A, B, C ～ 排気筒	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/—	—	—	



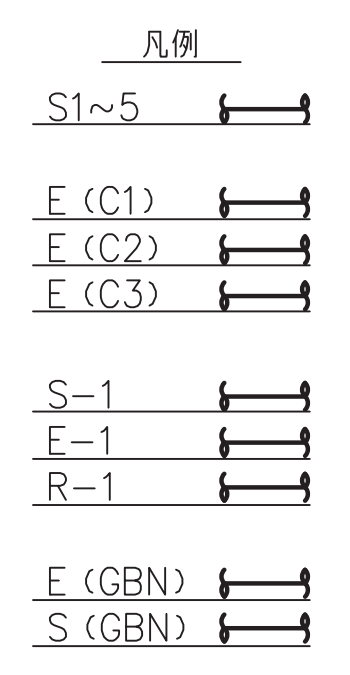
**【凡例】**  
 赤線：主となる経路  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ...)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ...)  
 <引き出し線>  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



下部平面図



A-A

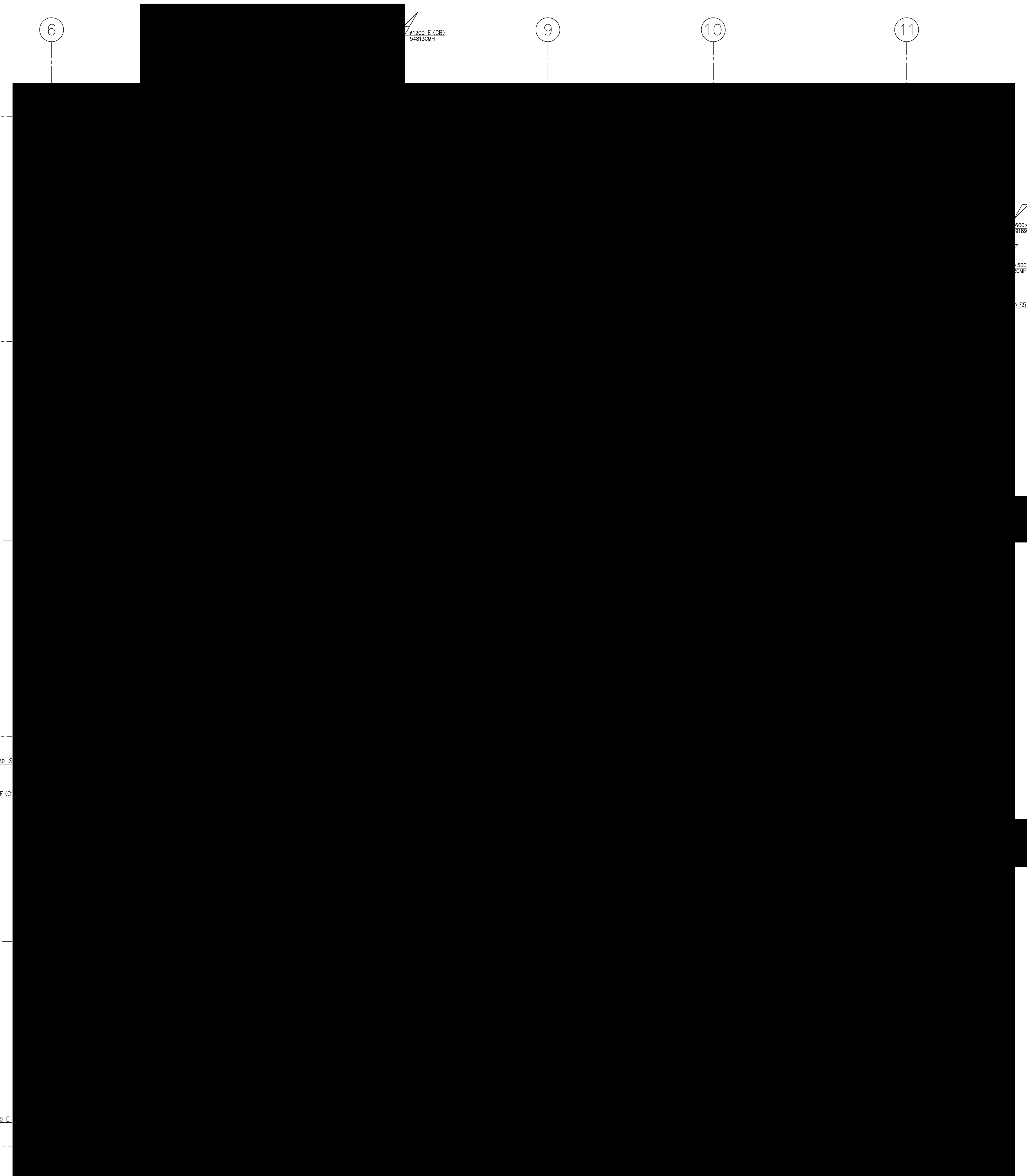
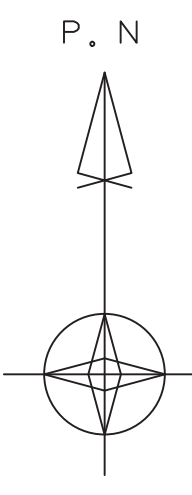


建屋排気設備は全て耐震「C/一」  
 (以下の頁では省略。)

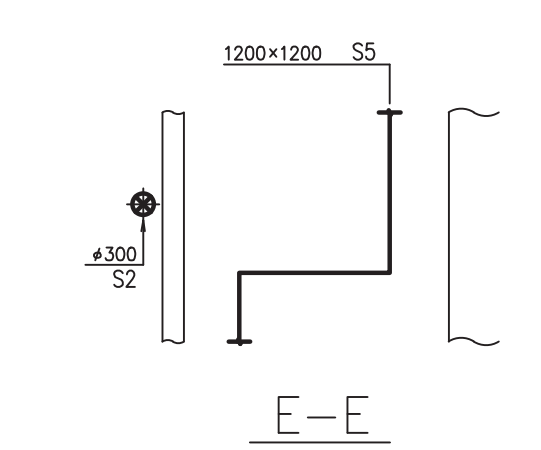
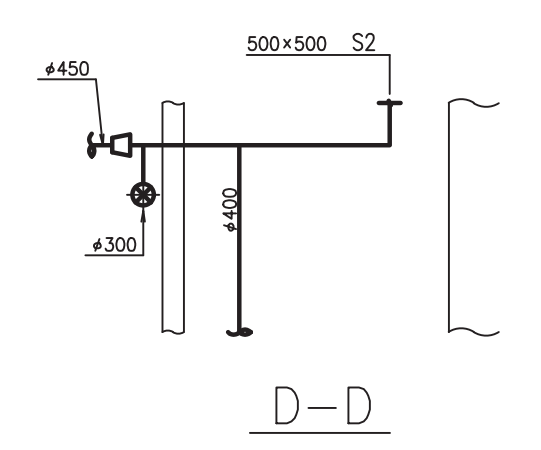
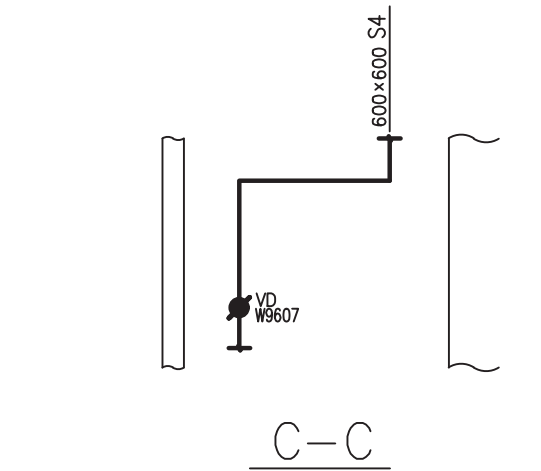
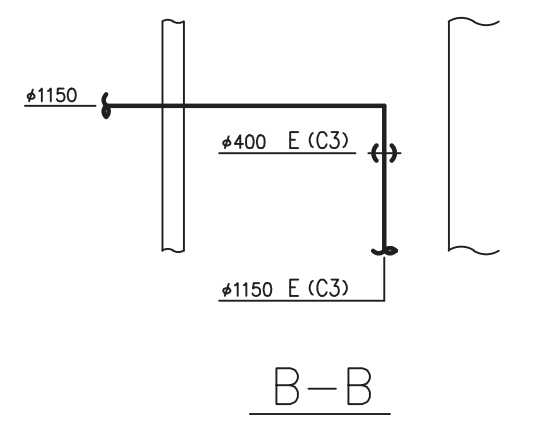
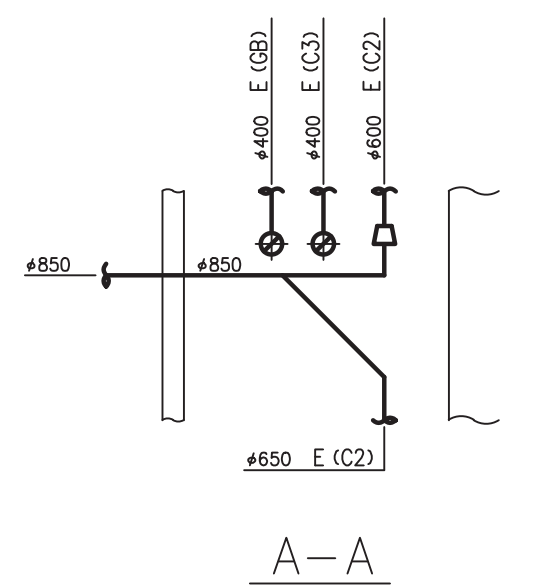
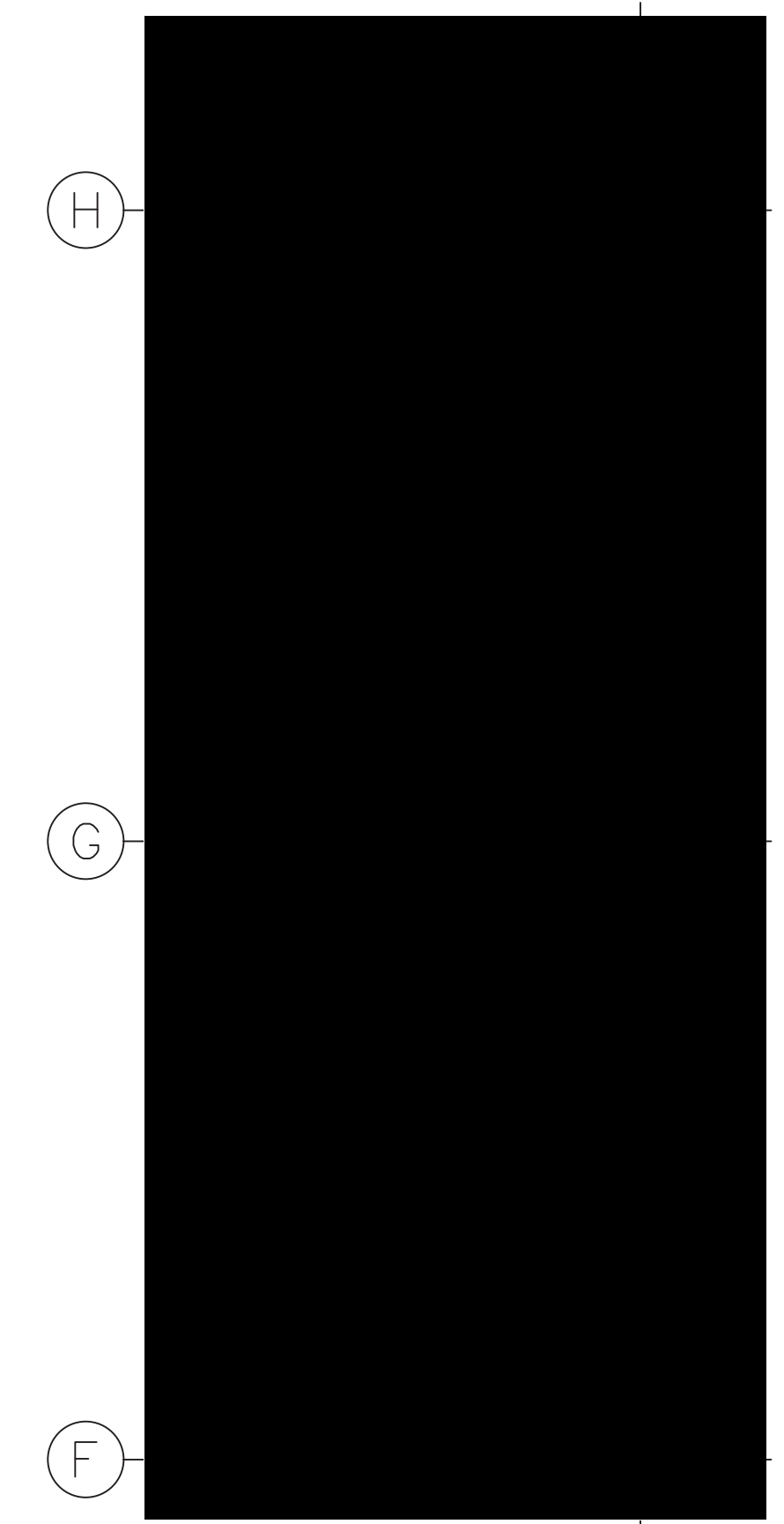
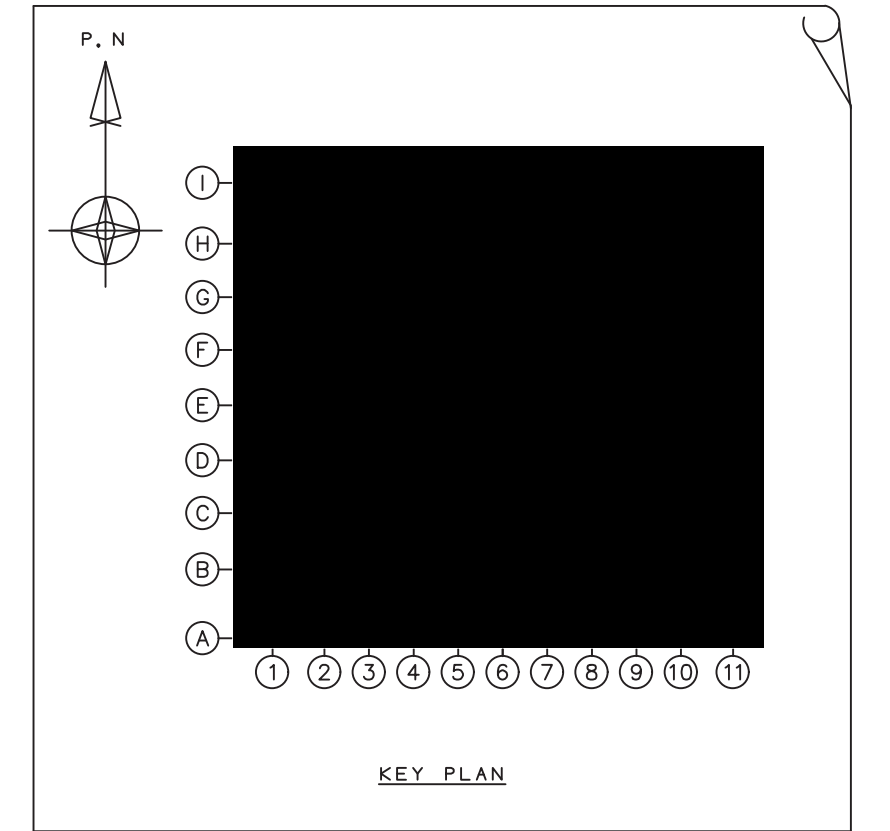
上部平面図

■ については核不拡散の観点から公開できません

材料	仕様	数量	単位	重量 (kg)	記事
日本原燃株式会社					
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下1階 1ブロック					



**【凡例】**  
 赤線：主となる経路  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 <引き出し線>  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

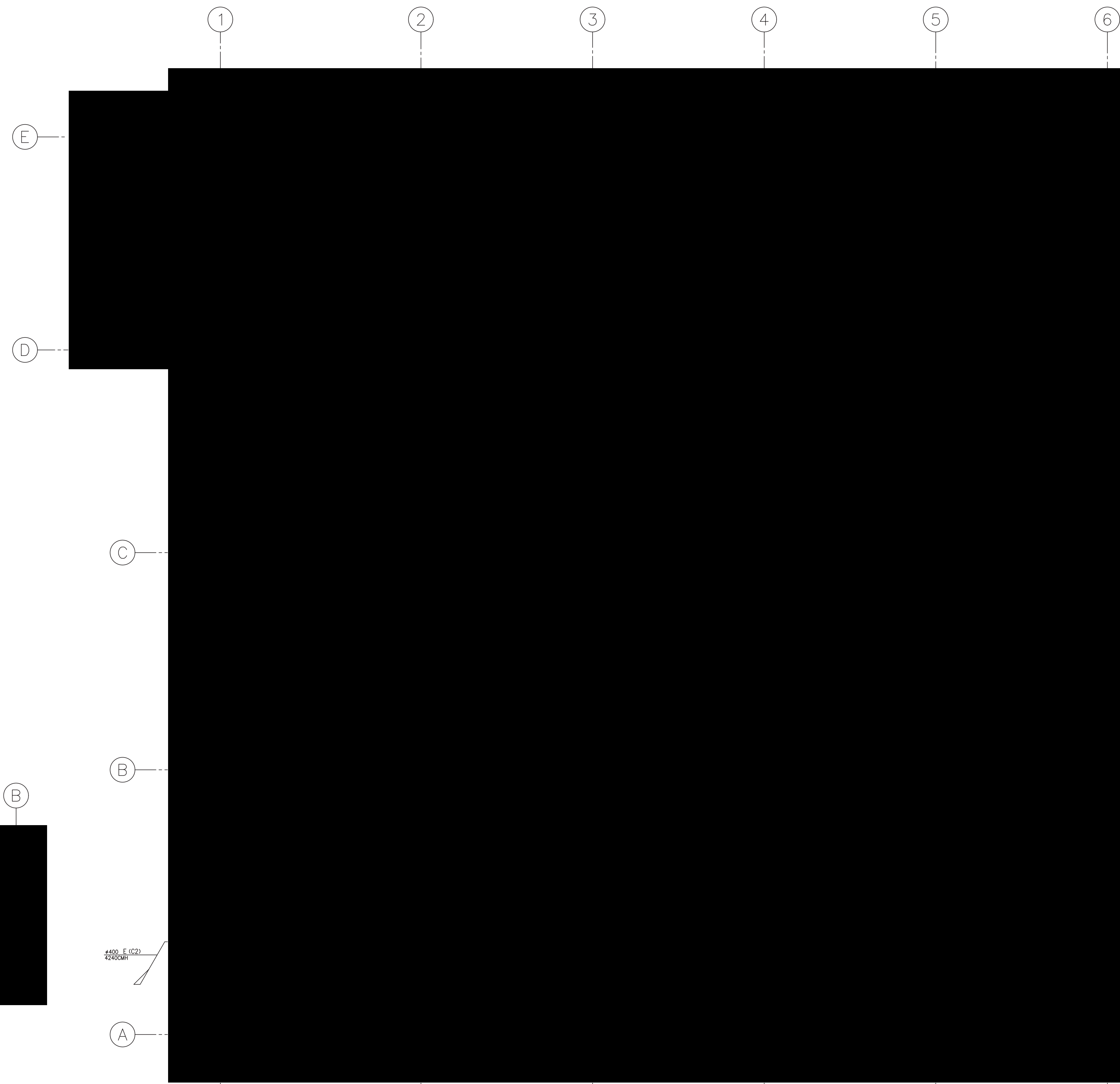
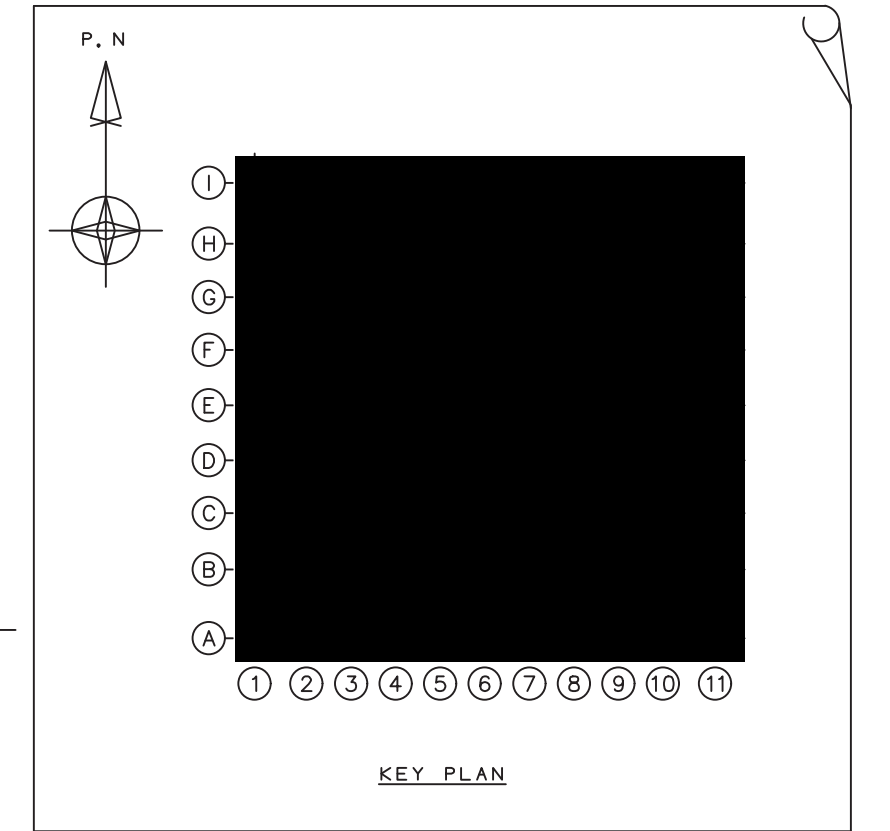
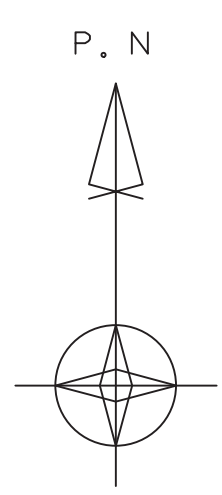


下部平面図

- 凡例
- S1~5
  - E (C1)
  - E (C2)
  - E (C3)
  - E (GB)

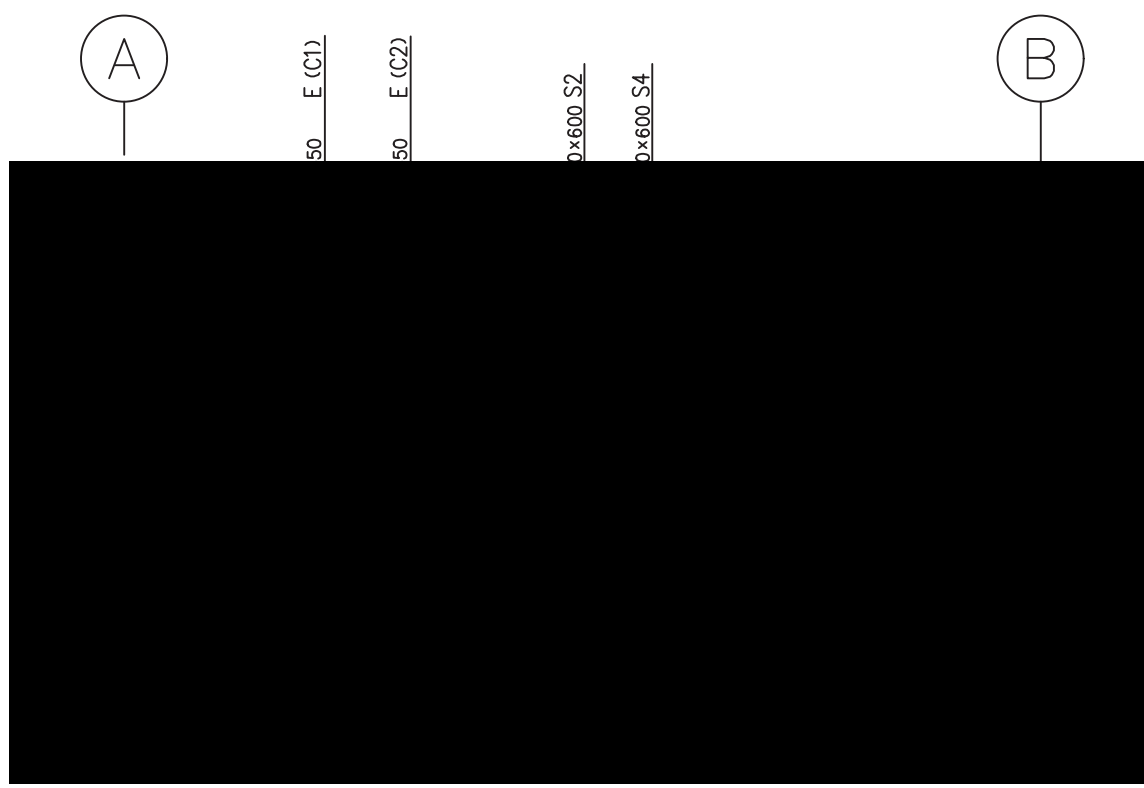
■ については核不拡散の観点から公開できません

材料	長さ	個数	質量	単位	質量 (kg)	記事
日本原燃株式会社						
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下1階 2ブロック						



**【凡例】**  
 赤線：主となる経路  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ...)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (1, 2, ...)

<引き出し線>  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



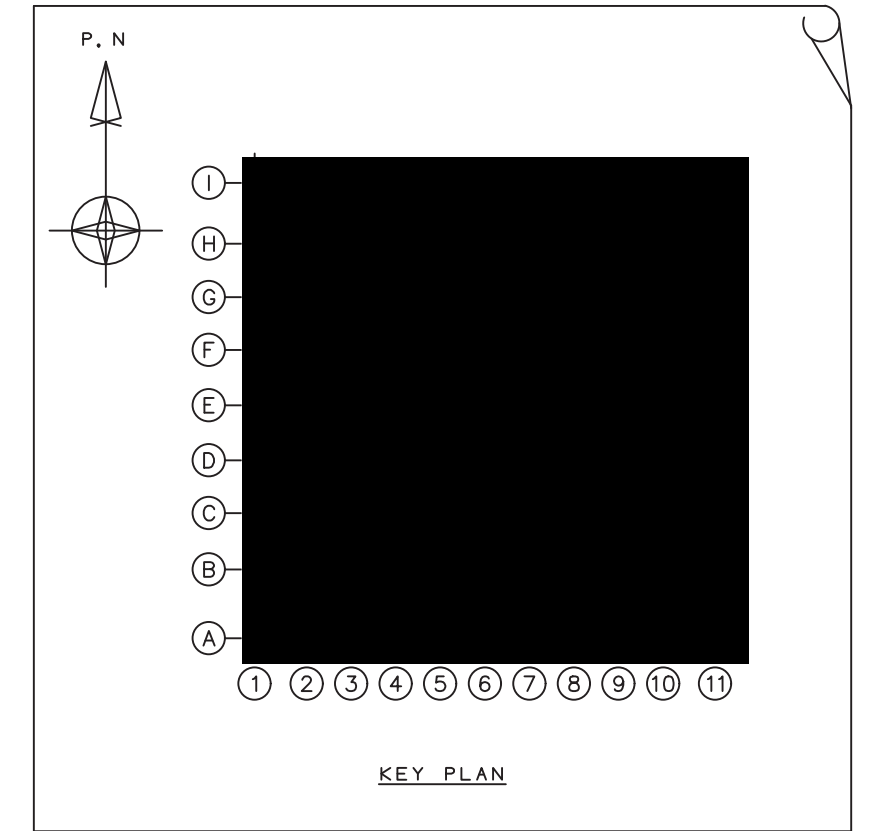
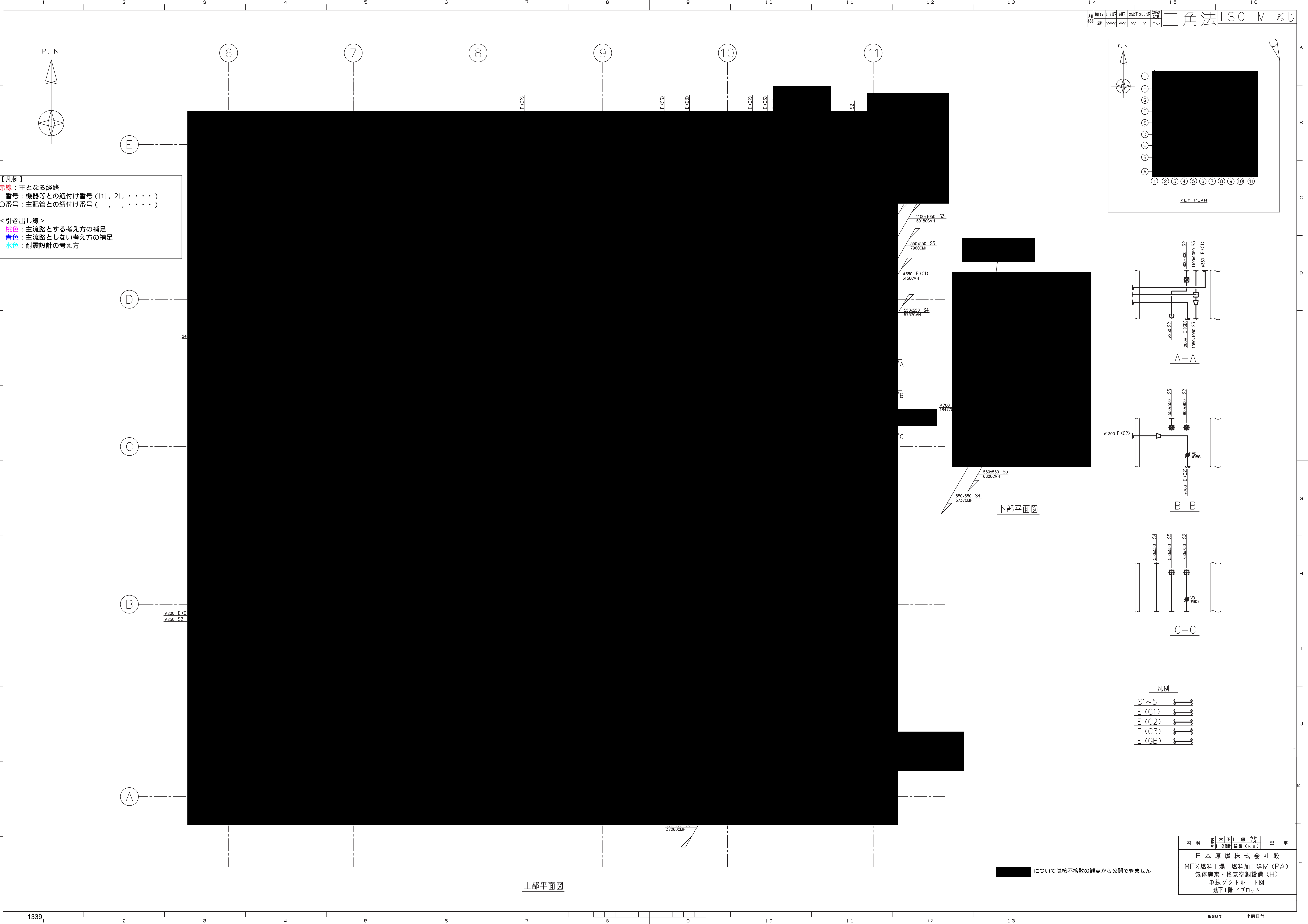
4400 E (C2)  
42400MP

凡例  
 S1~5  
 E (C1)  
 E (C2)

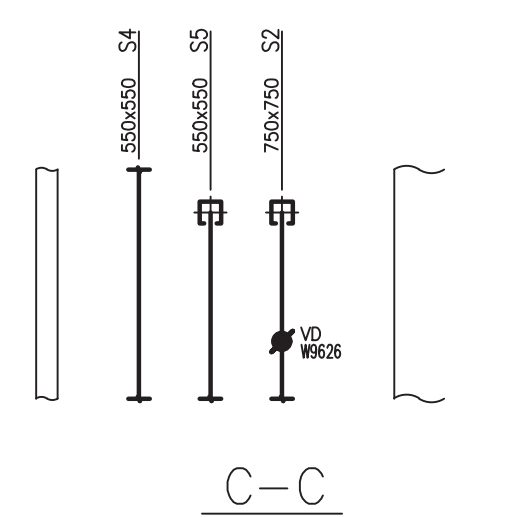
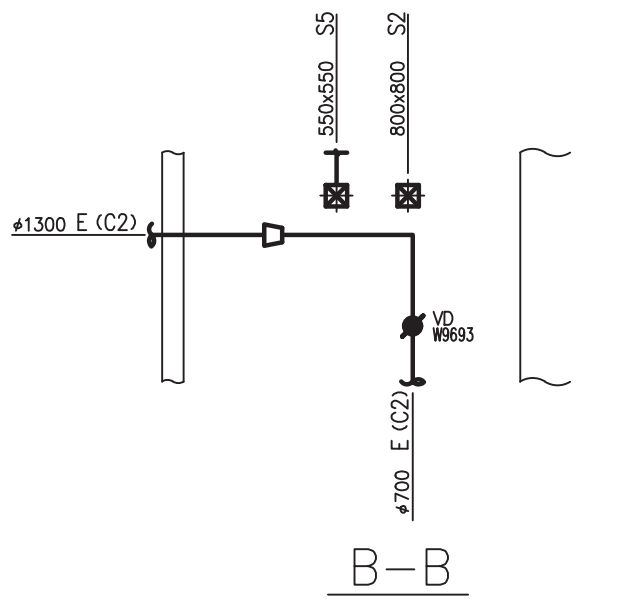
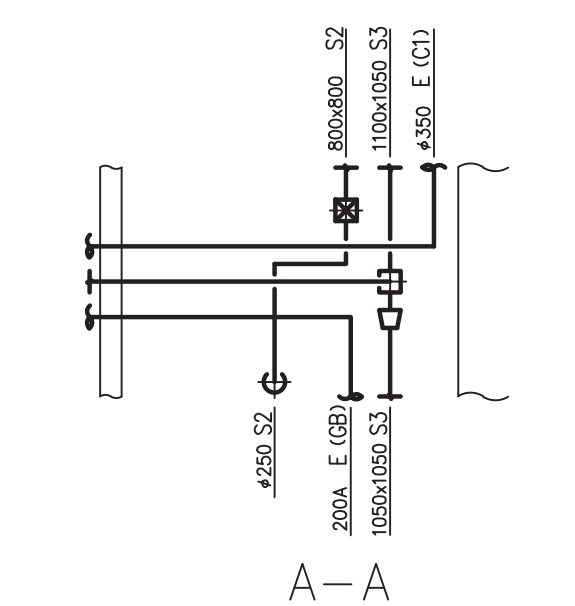
A - A

■については核不拡散の観点から公開できません

材料	種別	寸法	個数	質量 (kg)	記事
日本原燃株式会社 設					
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下1階 3ブロック					



**【凡例】**  
 赤線：主となる経路  
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 ( , , ……)  
 <引き出し線>  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



**凡例**  
 S1~5  
 E (C1)  
 E (C2)  
 E (C3)  
 E (GB)

については核不拡散の観点から公開できません

材料	標準	寸法	単位	質量	備考
日本原燃株式会社 製					
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下1階 4ブロック					

上部平面図

下部平面図

## (2) 工程室排気設備

(外部放出抑制設備と兼用範囲含む)

抽出リスト（機器）（工程室排気設備）  
(1/4)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器名称（許可）	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排風機	ファン	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	C/-*	—	—	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック ※経路外放出を防止する観点で、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	
2																				0171-K-302（工程室排風機B）
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	11	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック	
4																			0171-F-321（工程室排気フィルタユニットA）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
5																			0171-F-322（工程室排気フィルタユニットB）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
6																			0171-F-323（工程室排気フィルタユニットC）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
7																			0171-F-324（工程室排気フィルタユニットD）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
8																			0171-F-325（工程室排気フィルタユニットE）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
9																			0171-F-326（工程室排気フィルタユニットF）	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
10																			0171-F-327（工程室排気フィルタユニットG）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
11																			0171-F-328（工程室排気フィルタユニットH）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
12																			0171-F-329（工程室排気フィルタユニットI）	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
13																			0171-F-330（工程室排気フィルタユニットJ）	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
	0171-F-331（工程室排気フィルタユニットK）	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック																		



【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—														
1	系統_工程室排気設備_配管_1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5562, W5565, W5568) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
2	系統_工程室排気設備_配管_2	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5572) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点2	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
3	系統_工程室排気設備_配管_3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5584) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点3	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
4	系統_工程室排気設備_配管_4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5573) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点4	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
5	系統_工程室排気設備_配管_5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5582) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点5	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
6	系統_工程室排気設備_配管_6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W9099, W5775) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点6	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
7	系統_工程室排気設備_配管_7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5593, W5779, W9092), ベレット加工第2室吸込口 ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点7	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
8	系統_工程室排気設備_配管_8	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5596) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点8	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
9	系統_工程室排気設備_配管_9	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W9090, W9091) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点9	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
10	系統_工程室排気設備_配管_10	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5580, W5586, W5598, W5600) ～ 工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	
11	系統_工程室排気設備_配管_11	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5433, W5436) ～ 手動ダンパ(W5294)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
12	系統_工程室排気設備_配管_12	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 手動ダンパ(W5294) ～ 工程室排気フィルタユニット入口ライン合流点10	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-*	—	—	※経路外放出を防止する観点で、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
13	系統_工程室排気設備_配管_13	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K ～ 工程室排風機入口手動ダンパ (W5142, W5143)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	常設	C/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	
14	系統_工程室排気設備_配管_14	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 工程室排風機入口手動ダンパ (W5142, W5143) ～ 工程室排気閉止ダンパ(PD W3084, W3085) ～ 工程室排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	常設	C/(C)※	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※工程室排風機入口手動ダンパから可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
15	系統_工程室排気設備_配管_15	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	工程室排気設備	—	—	工程室排気ダクト 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部 ～ 排気筒	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/(C)*	主：工程室排気設備 従：重大事故等対処設備 排気モニタリング設備	—	※可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部から排気筒（燃料加工建屋境界）までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

抽出リスト (機器) (外部放出抑制設備)  
(3/4)

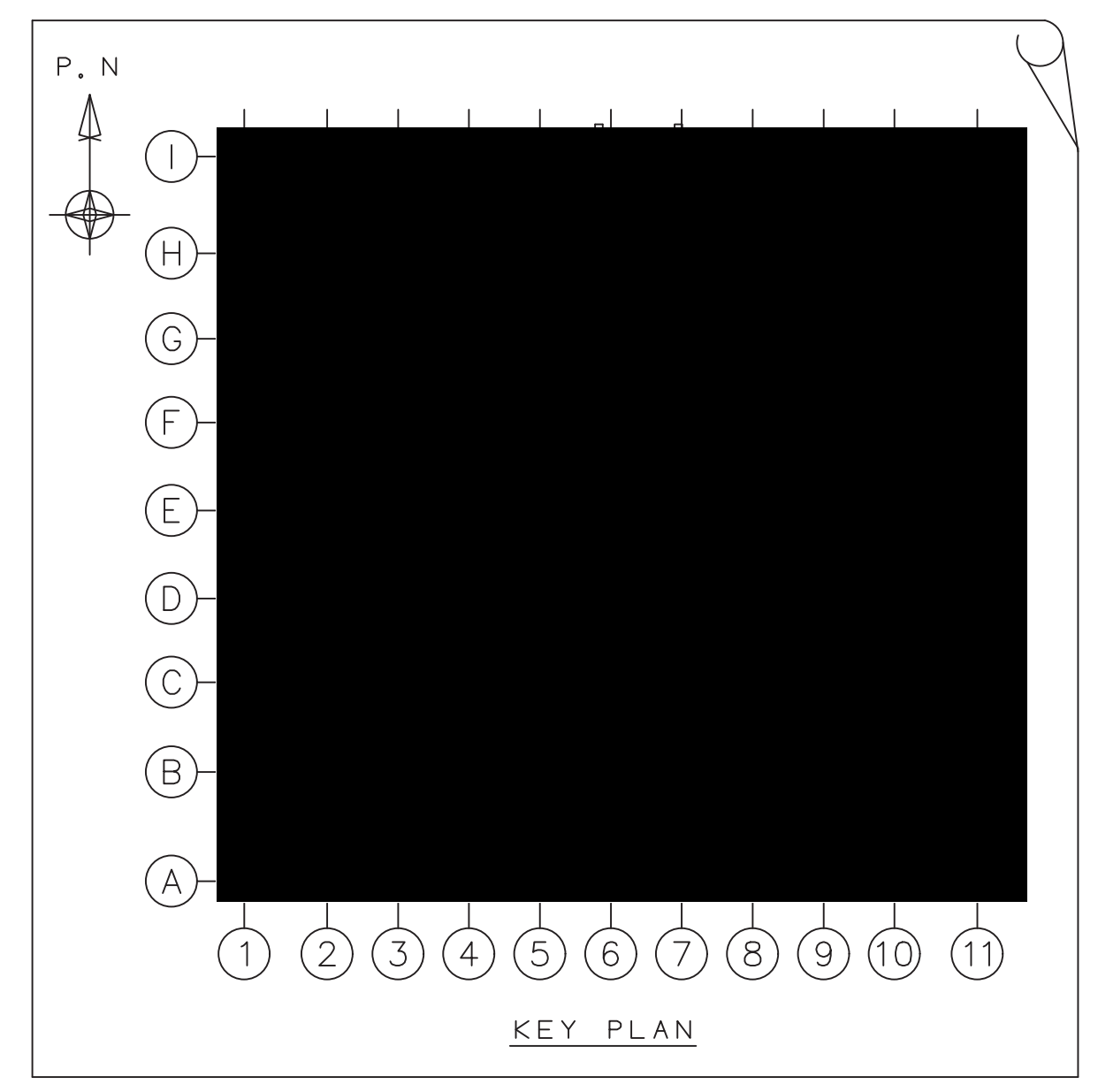
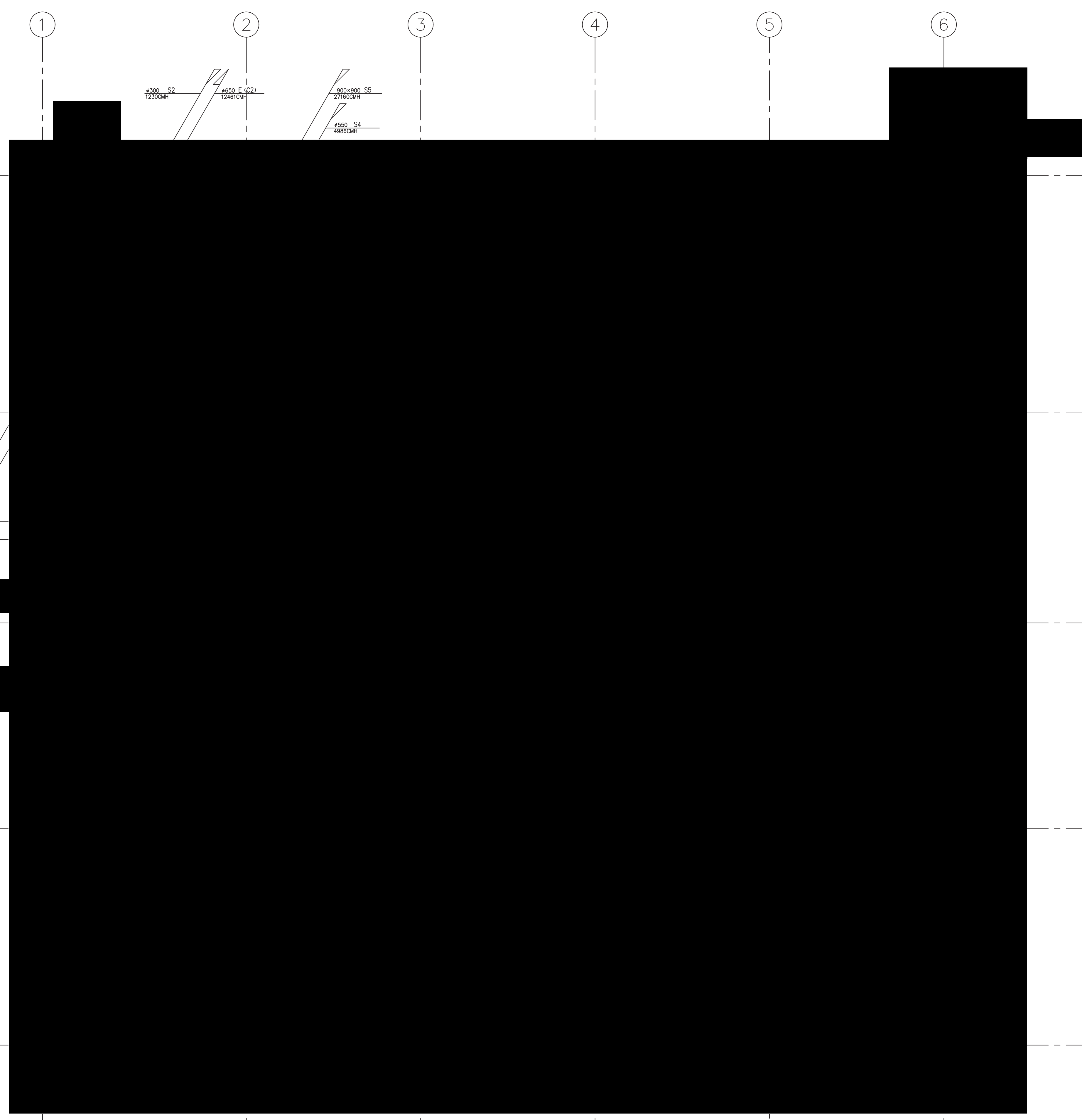
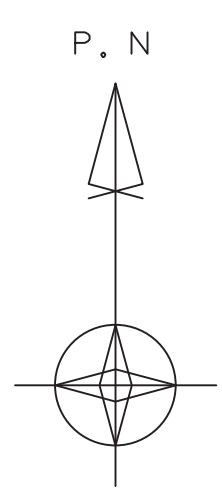
【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分	機器名称 (許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考										
3	放射線廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	—	—	—	—	—	—	—	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	系統_工程室排気設備_機器_3	0171-F-321 (工程室排気フィルタユニットA)	燃料加工建屋	11	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	—	単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
4																系統_工程室排気設備_機器_4	0171-F-322 (工程室排気フィルタユニットB)									単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
5																系統_工程室排気設備_機器_5	0171-F-323 (工程室排気フィルタユニットC)									単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
6																系統_工程室排気設備_機器_6	0171-F-324 (工程室排気フィルタユニットD)									単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
7																系統_工程室排気設備_機器_7	0171-F-325 (工程室排気フィルタユニットE)									単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
8																系統_工程室排気設備_機器_8	0171-F-326 (工程室排気フィルタユニットF)									単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
9																系統_工程室排気設備_機器_9	0171-F-327 (工程室排気フィルタユニットG)									単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
10																系統_工程室排気設備_機器_10	0171-F-328 (工程室排気フィルタユニットH)									単線ダクトルート図 地下1階4ブロック
11																系統_工程室排気設備_機器_11	0171-F-329 (工程室排気フィルタユニットI)									単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
12																系統_工程室排気設備_機器_12	0171-F-330 (工程室排気フィルタユニットJ)									単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
13																系統_工程室排気設備_機器_13	0171-F-331 (工程室排気フィルタユニットK)									単線ダクトルート図 地下1階4ブロック

抽出リスト（配管）（外部放出抑制設備）  
（4/4）

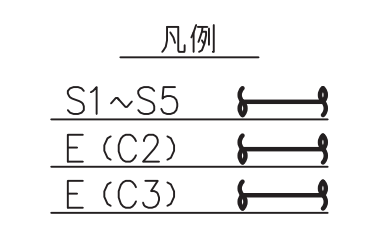
【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考	
10	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気ダクト	手動ダンパ(W5580, W5586, W5598, W5600) ～ 工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	
13	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気ダクト	工程室排気フィルタユニットA, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K ～ 工程室排風機入口手動ダンパ（W5142, W5143）	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	C/1.2Ss	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	
14	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気ダクト	工程室排風機入口手動ダンパ（W5142, W5143） ～ 工程室排気閉止ダンパ（PD W3084, W3085） ～ 工程室排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	常設	C/(C)※	主：工程室排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※工程室排風機入口手動ダンパから可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。



**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 ( , , ……)

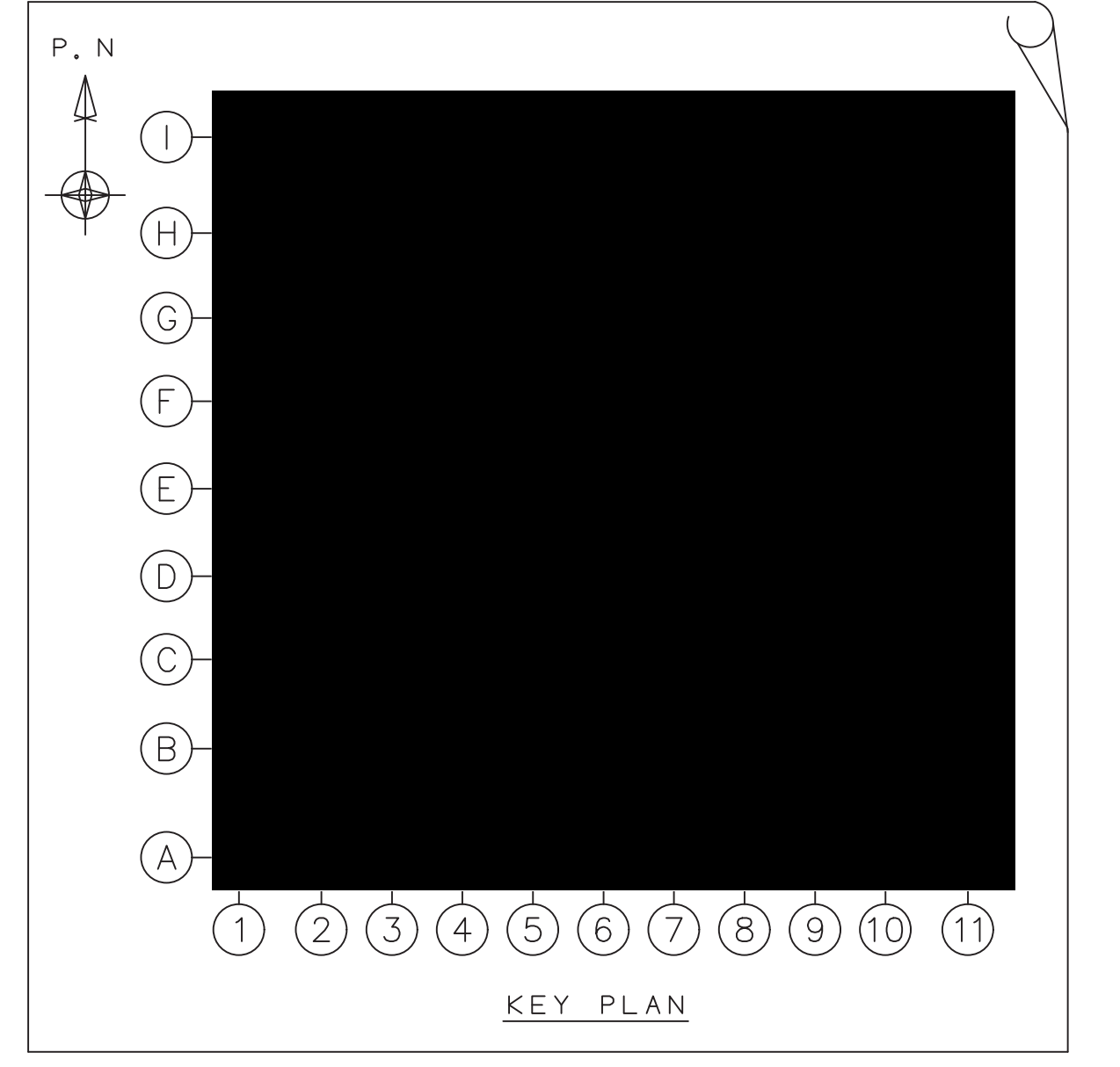
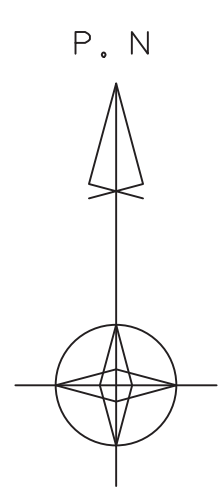
<引き出し線>  
 赤色：分岐部, 合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



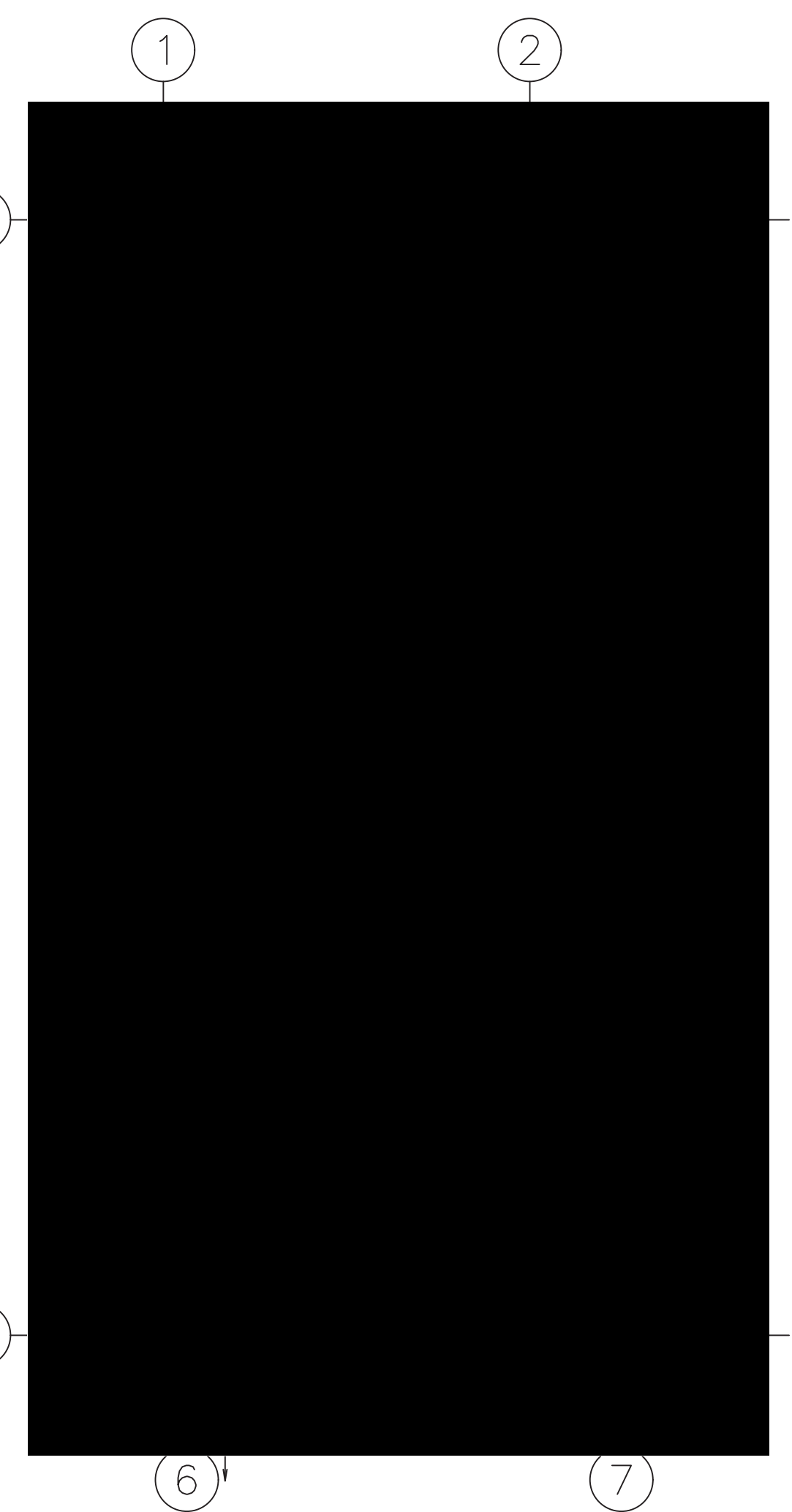
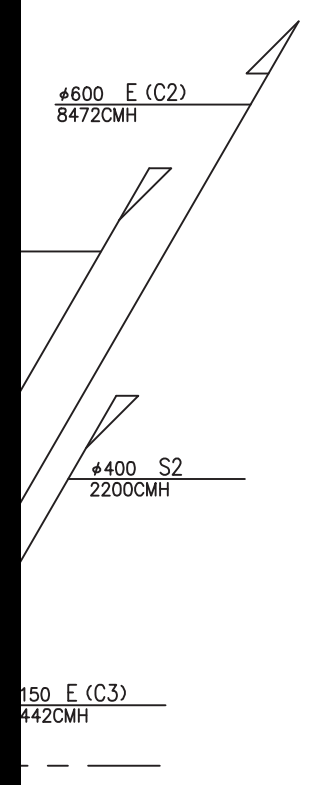
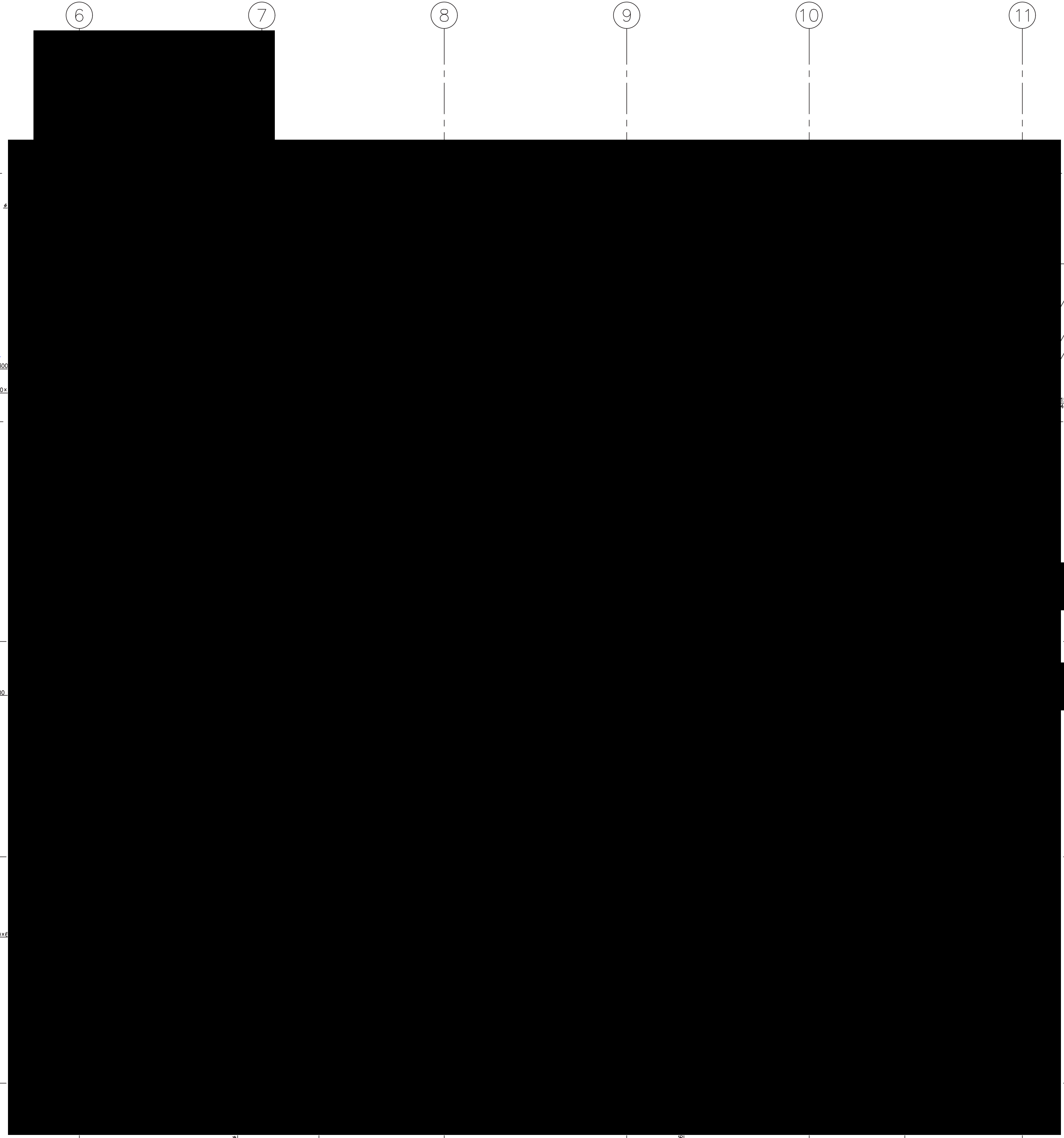
安全上重要な施設の範囲(青線)は耐震Sクラス  
 外部放出抑制設備との兼用範囲(緑線)は1.2Ss  
 それ以外は耐震Cクラス  
 (以下の頁では省略。)

については核不拡散の観点から公開できません

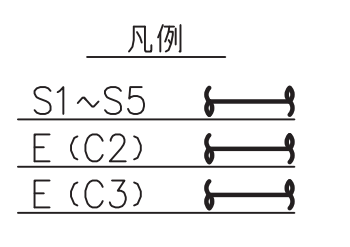
材料	標準	予備	単位	数量	記号	記事
日本原燃株式会社殿						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下3階 1ブロック (S1~S5, E (C2), C3)						



建屋排気設備であり建屋排気設備の色塗りにて主流路を設定する。



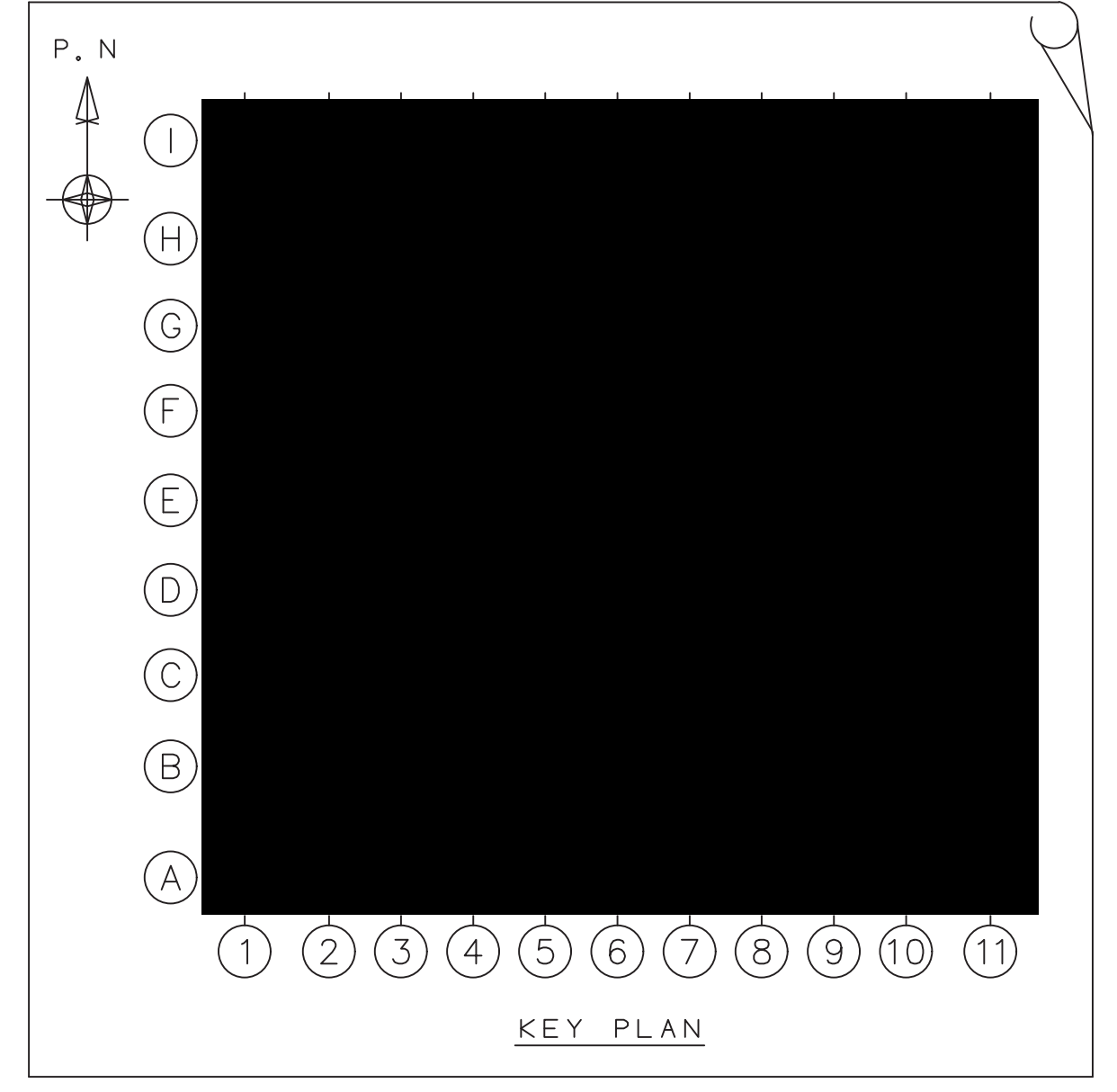
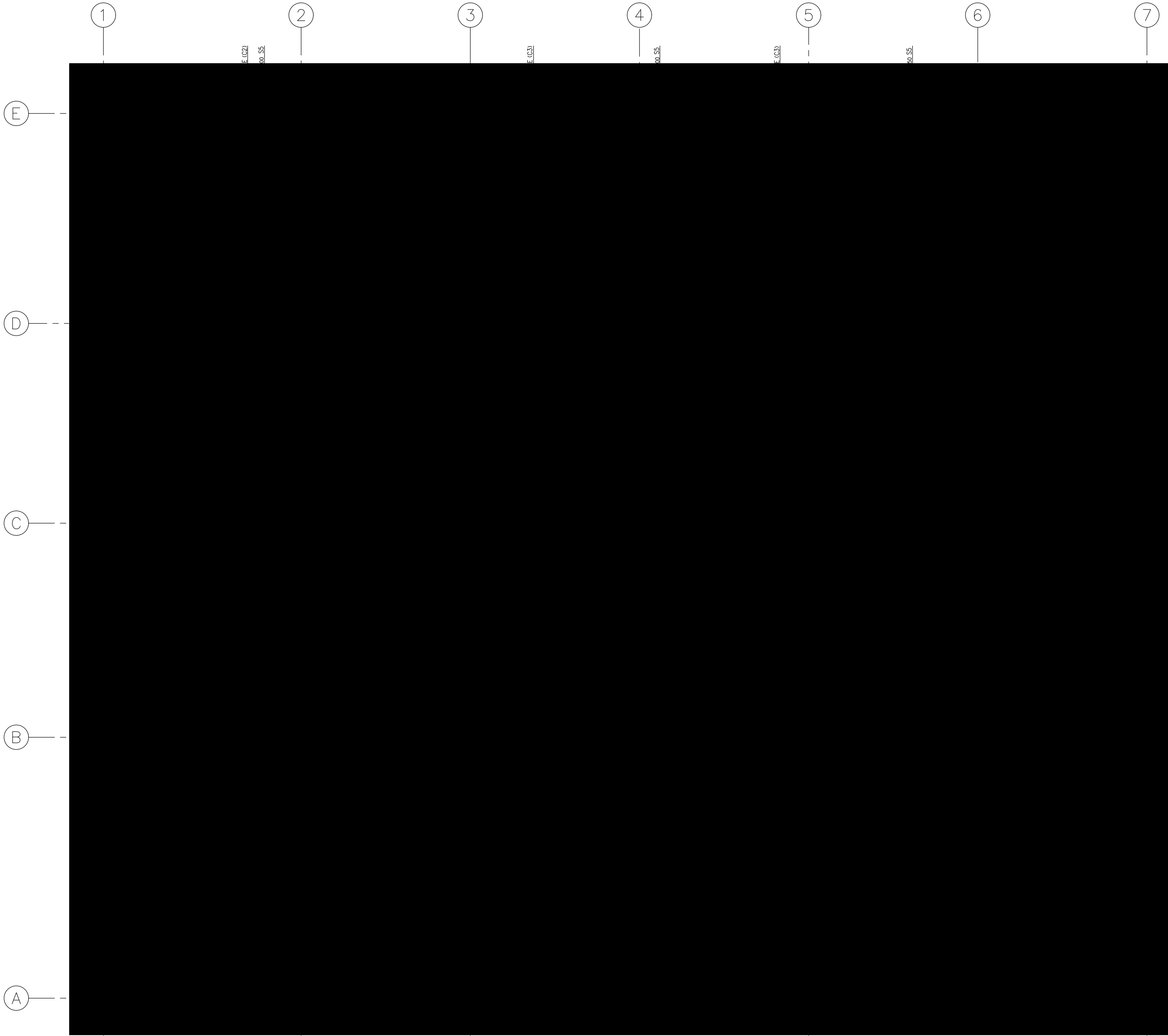
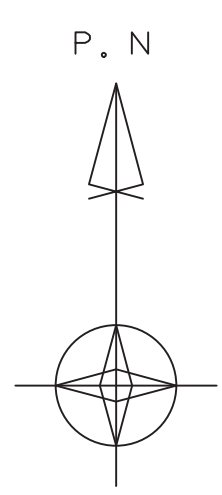
貯蔵容器搬送用洞道 平面図



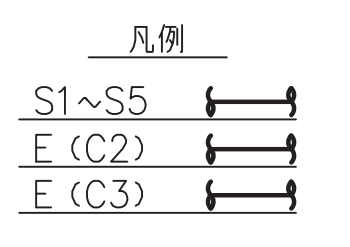
**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 □番号：機器等との紐付け番号（①, ②, ……）  
 ○番号：主配管との紐付け番号（①, ②, ……）  
 <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

■については核不拡散の観点から公開できません

材料	標準	寸法	単位	数量	備考	記 事
日本原燃株式会社 設						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下3階 2ブロック (S1~S5, E (C2), C3))						

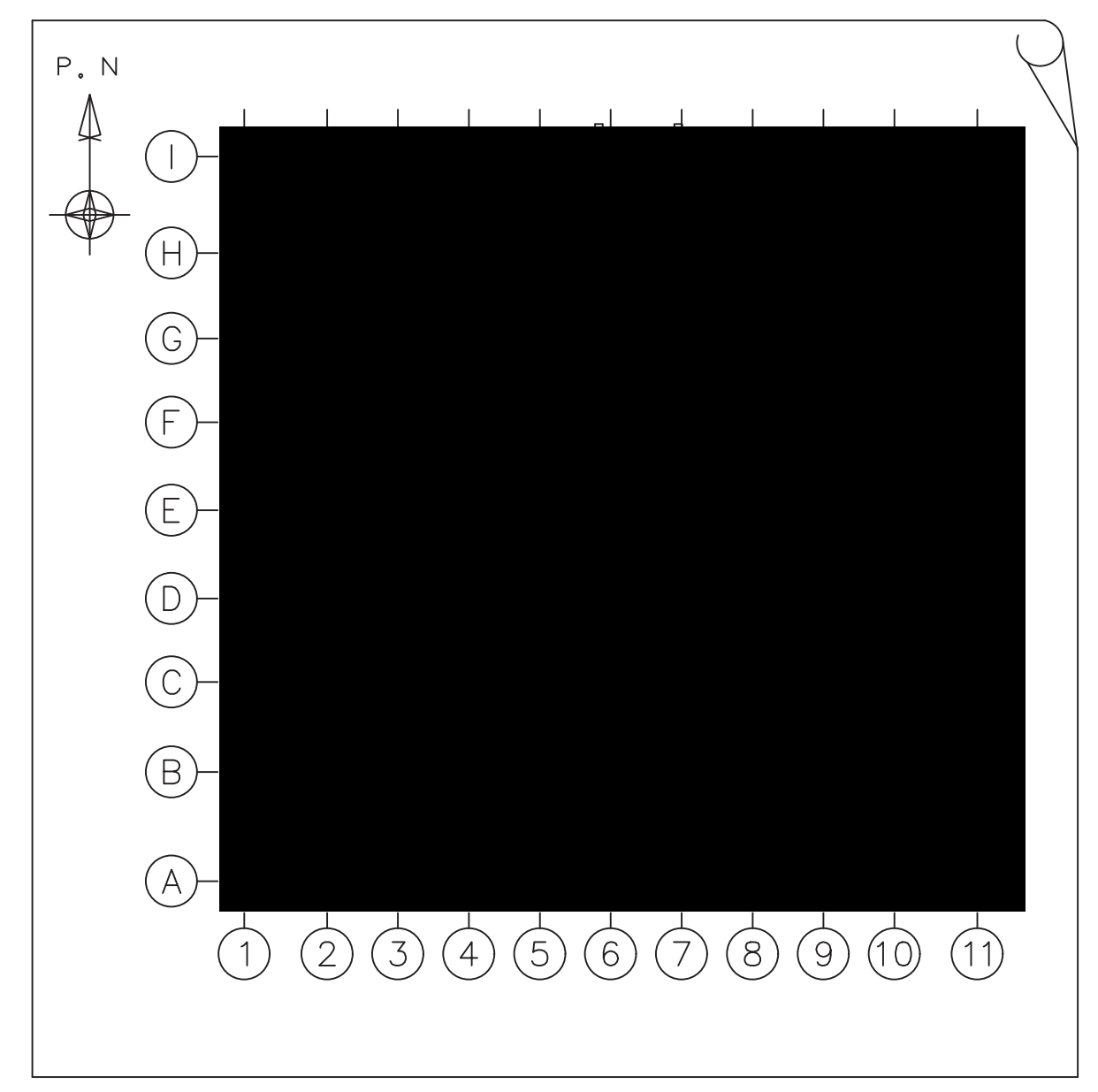
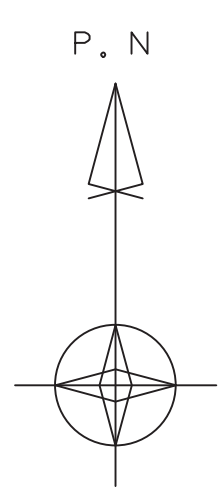


**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (1, 2, ……)  
 <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



材料	規格	寸法	単位	数量	備考
日本原燃株式会社 設					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 3Fブロック (S1~S5, E (C2), C3)					

については核不拡散の観点から公開できません

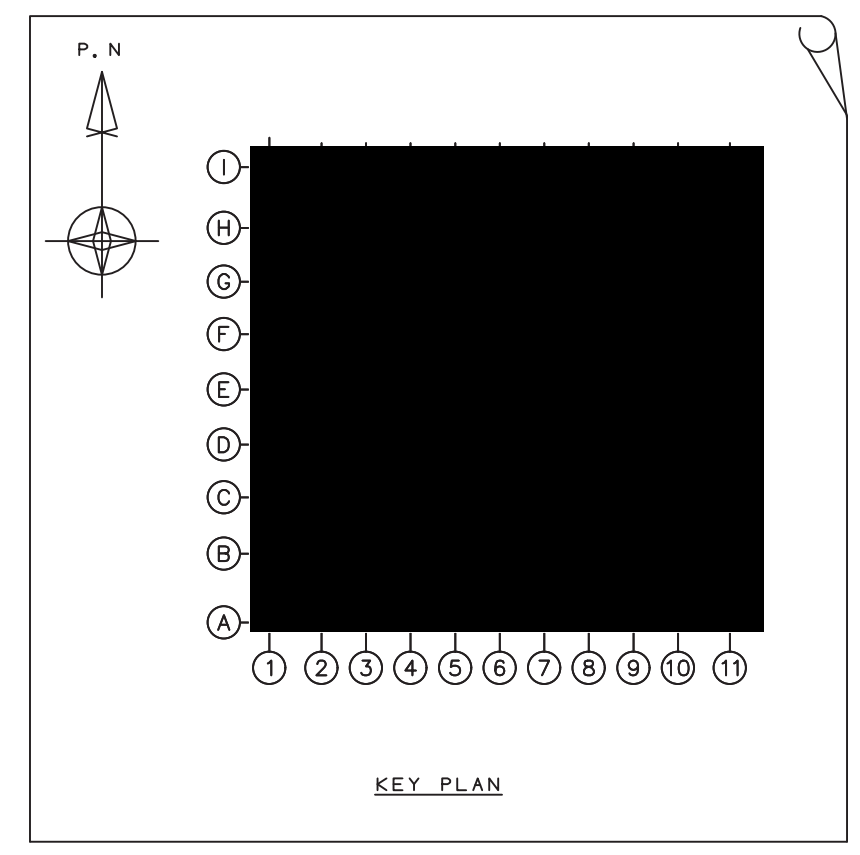
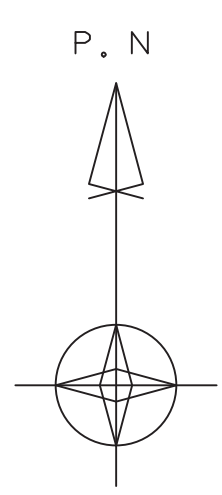


**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

凡例  
 S1~S5  
 E (C2)  
 E (C3)

■については核不拡散の観点から公開できません

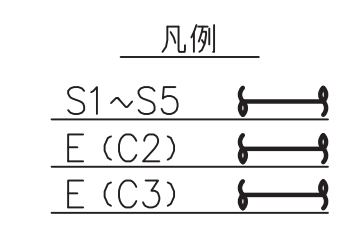
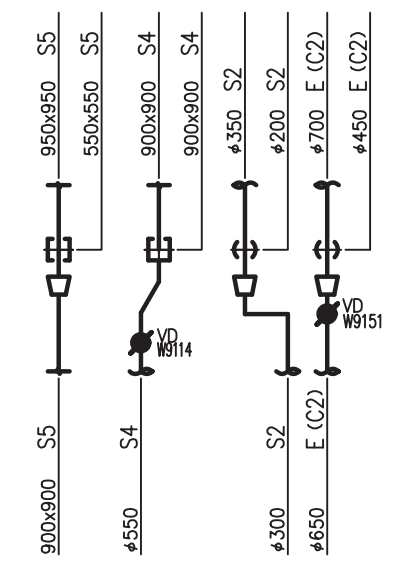
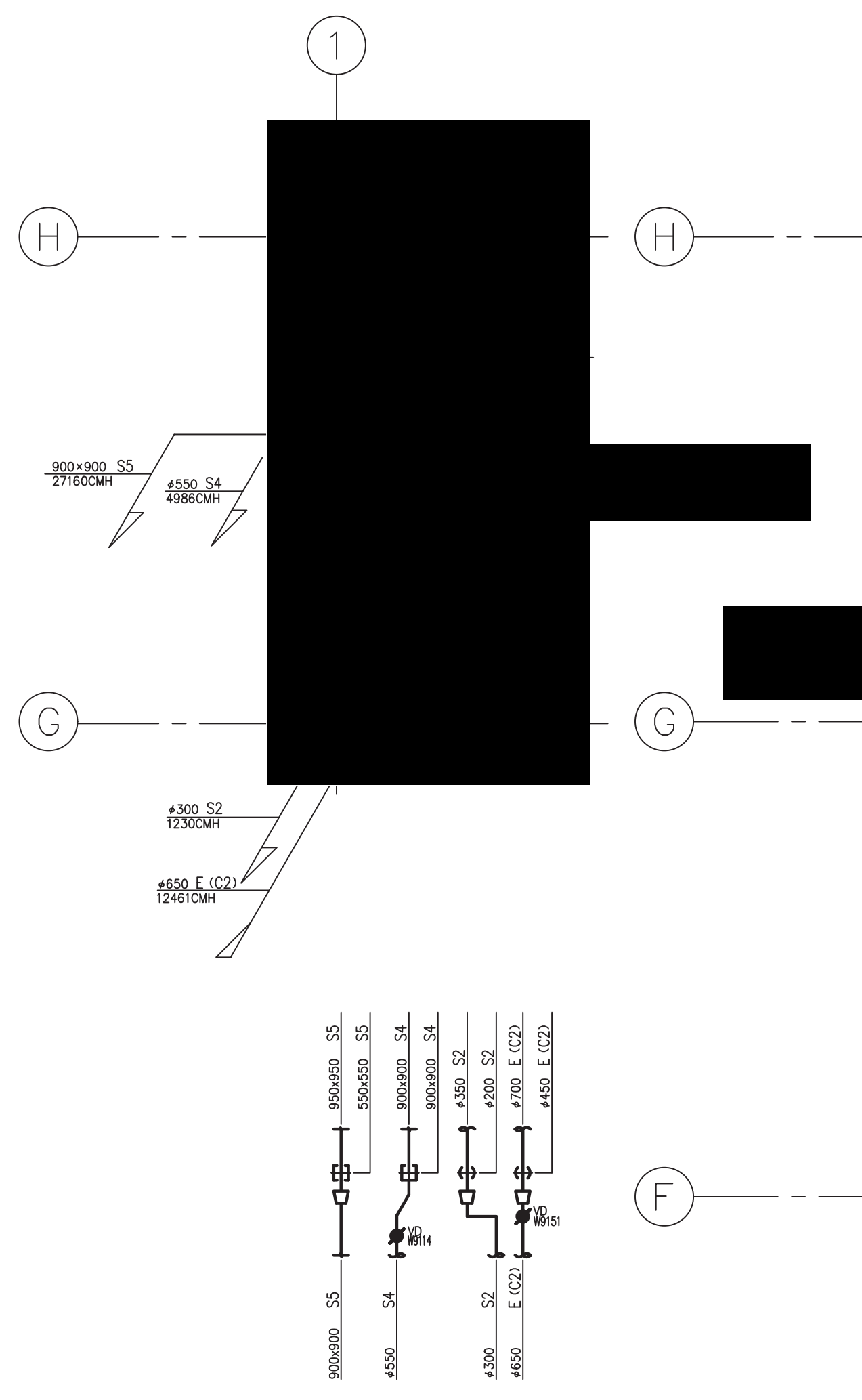
材料	長さ	直径	単位	数量	重量 (kg)	記事
日本原燃株式会社						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下3階 4ブロック (S1~S5, E (C2, C3))						



**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）

□番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)

<引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

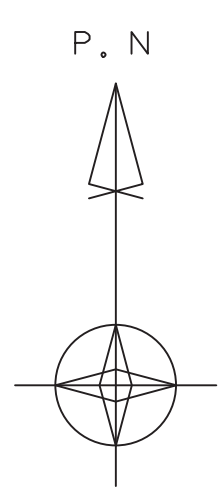


注記  
 ※1：PDを設置できるスペースを設けること。

■については核不拡散の観点から公開できません

材料	規格	単位	数量	質量 (kg)	記 事
日本原燃株式会社					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 1ブロック (S, E (C2, 3))					





⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

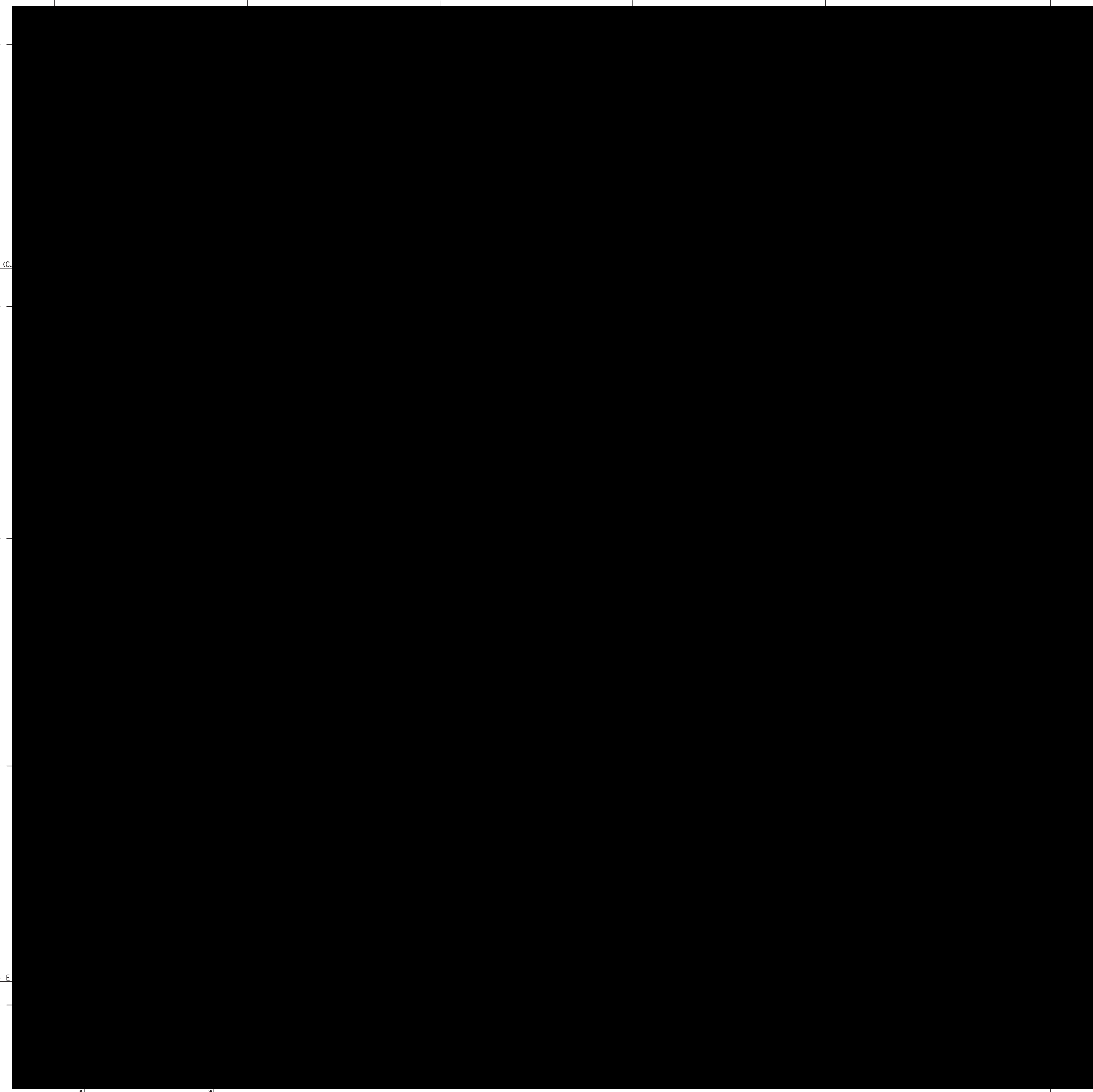
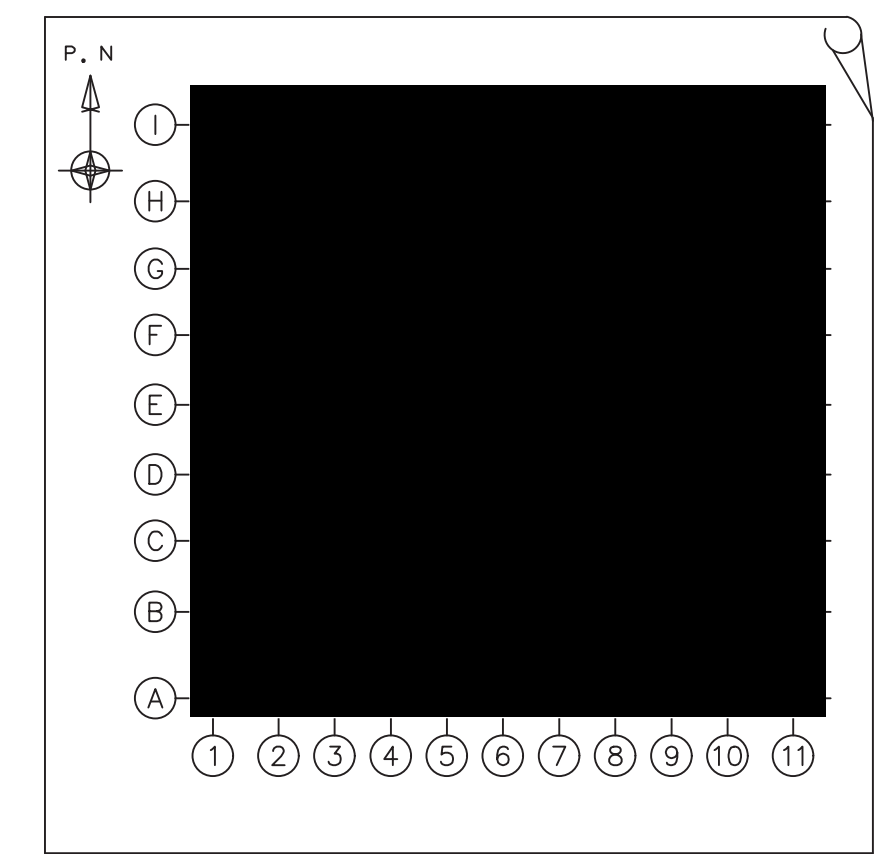
①

②

③

④

⑤



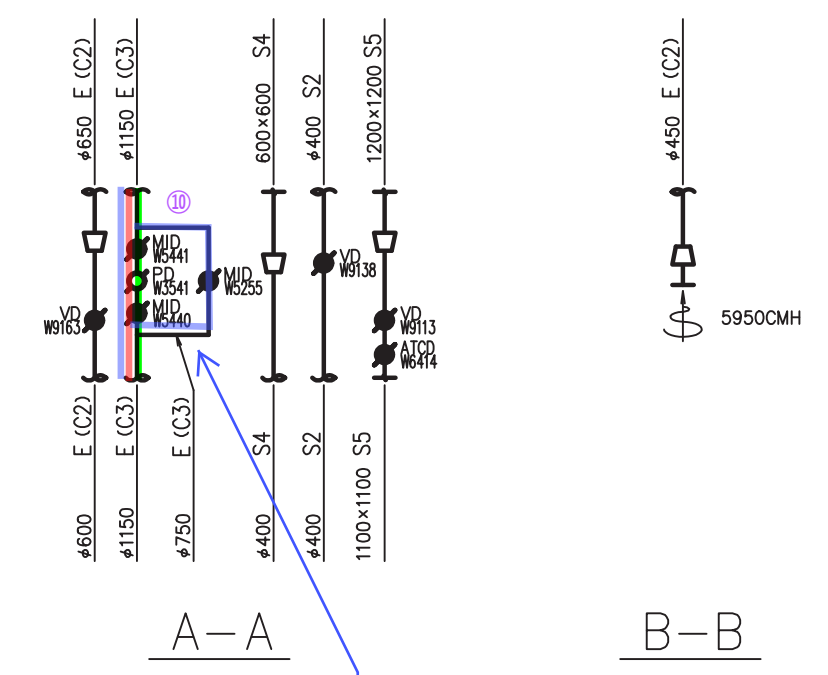
⑥

⑦

⑧

⑨

下部平面図



ピストンダンパのメンテナンス用のバイパスラインのため、主流路としない。

凡例  
 S1~S5  
 E (C2)  
 E (C3)

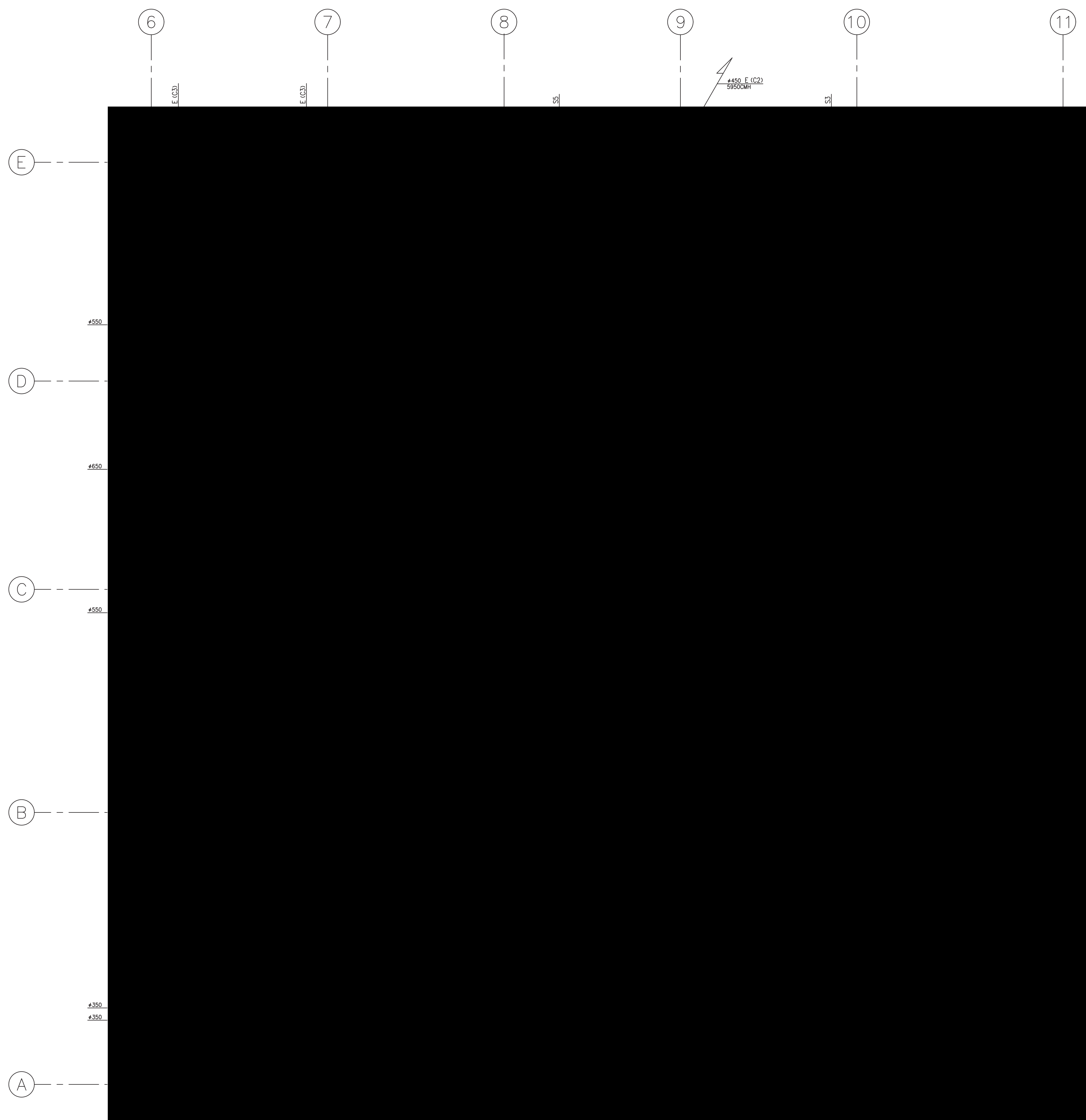
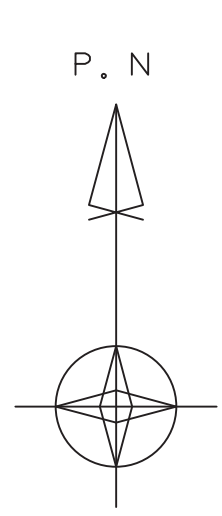
については核不拡散の観点から公開できません

上部平面図

【凡例】  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

材料	規格	標準	単位	数量	質量 (kg)	記事
日本原燃株式会社 設						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下2階 2ブロック (S, E (C2, 3))						



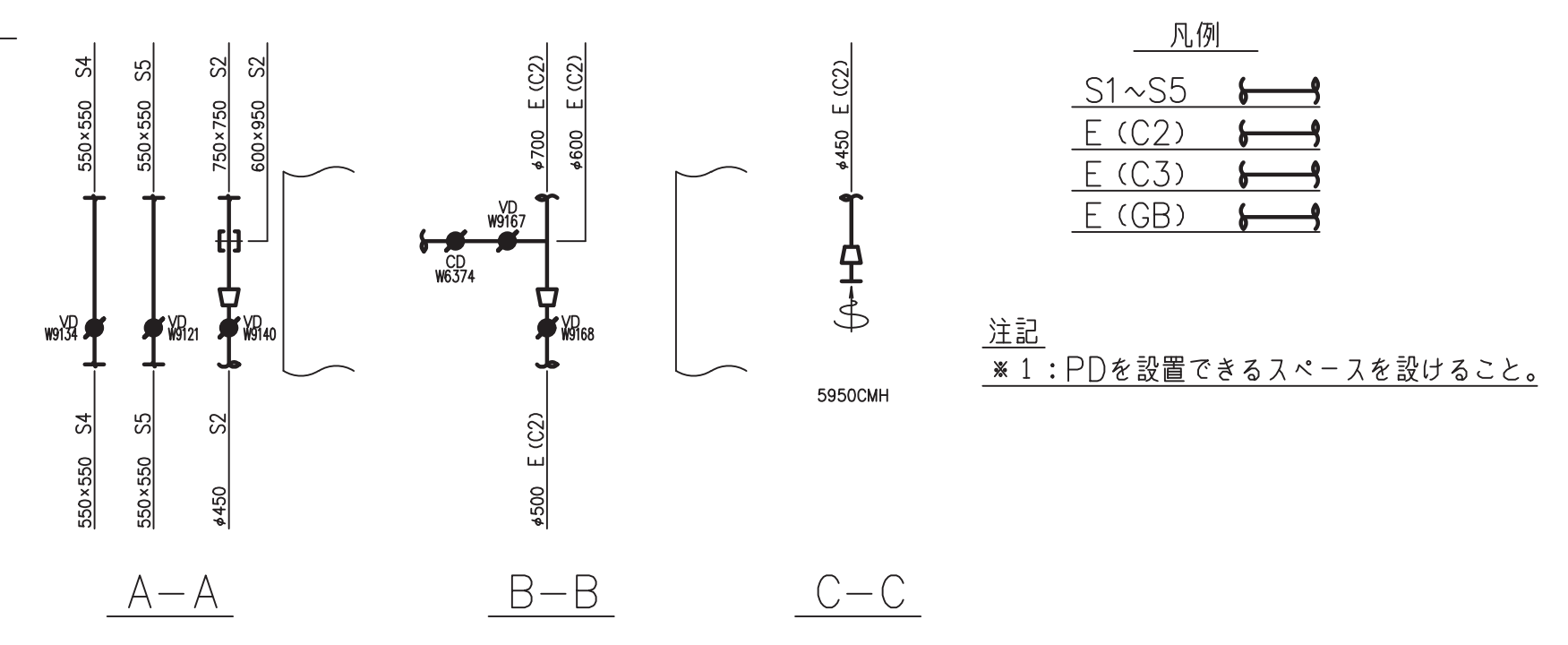
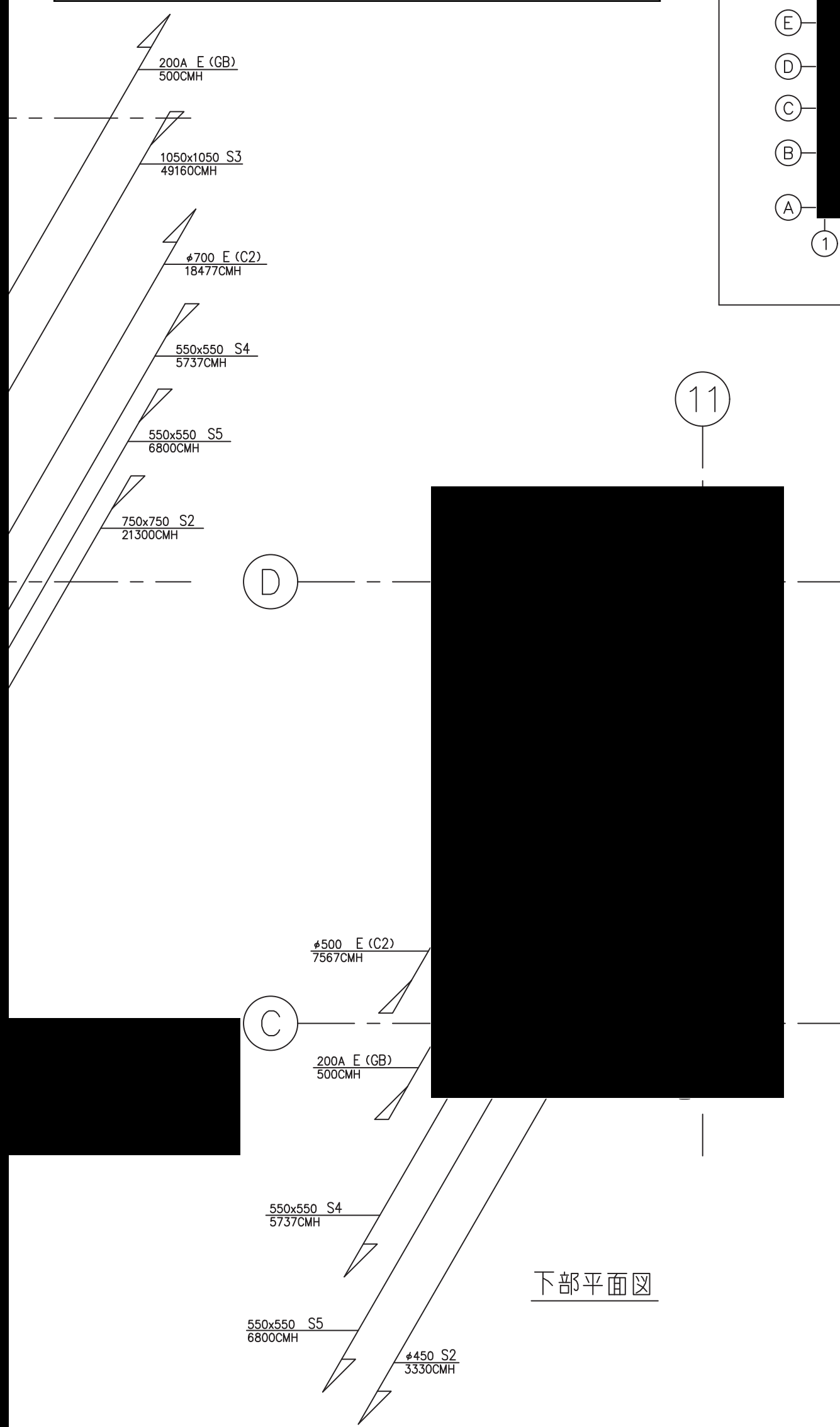
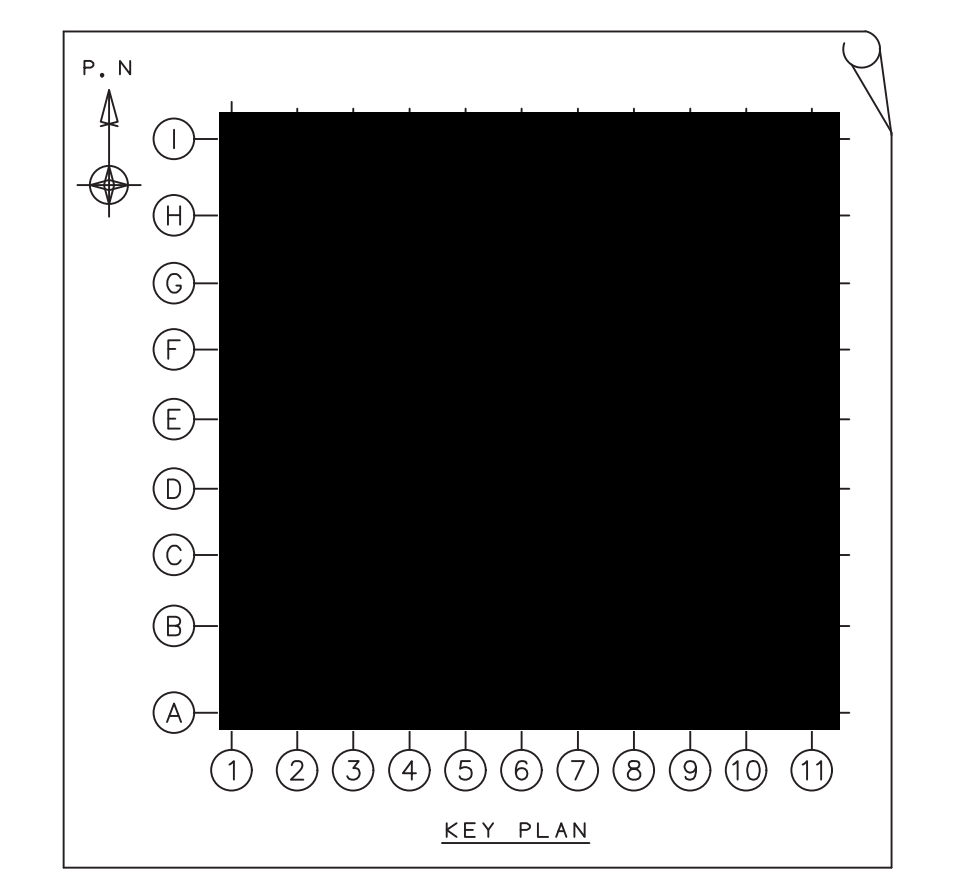


**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）

番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）  
 ○番号：主配管との紐付け番号（，，・・・）

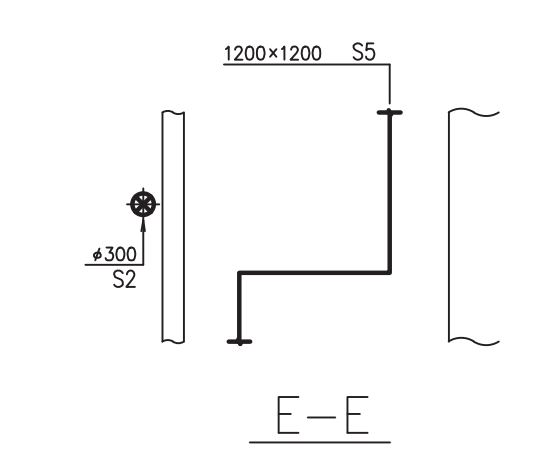
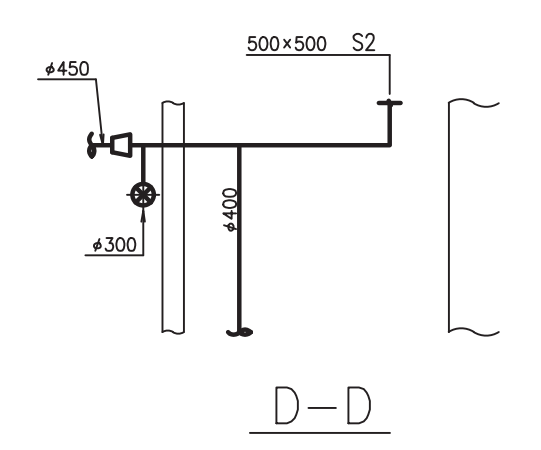
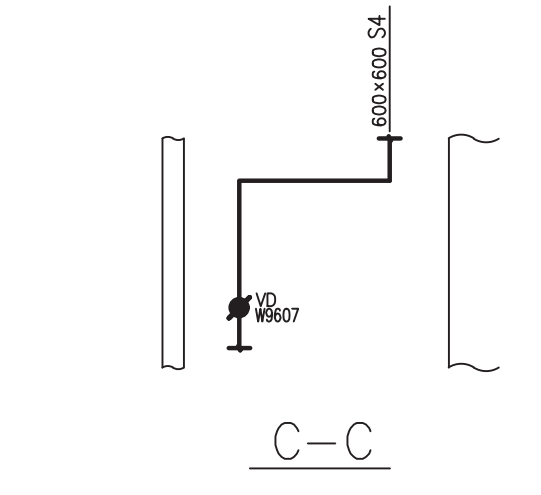
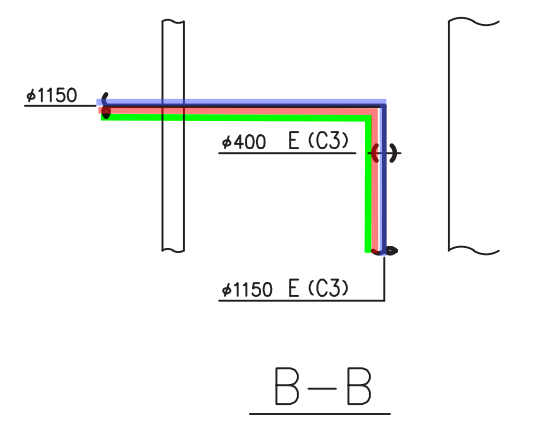
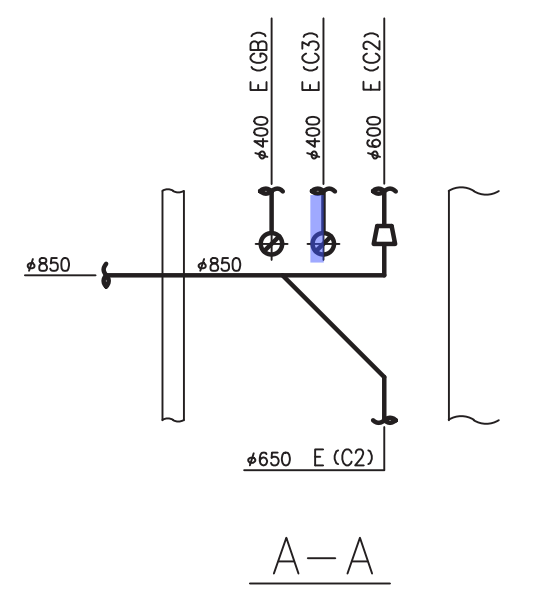
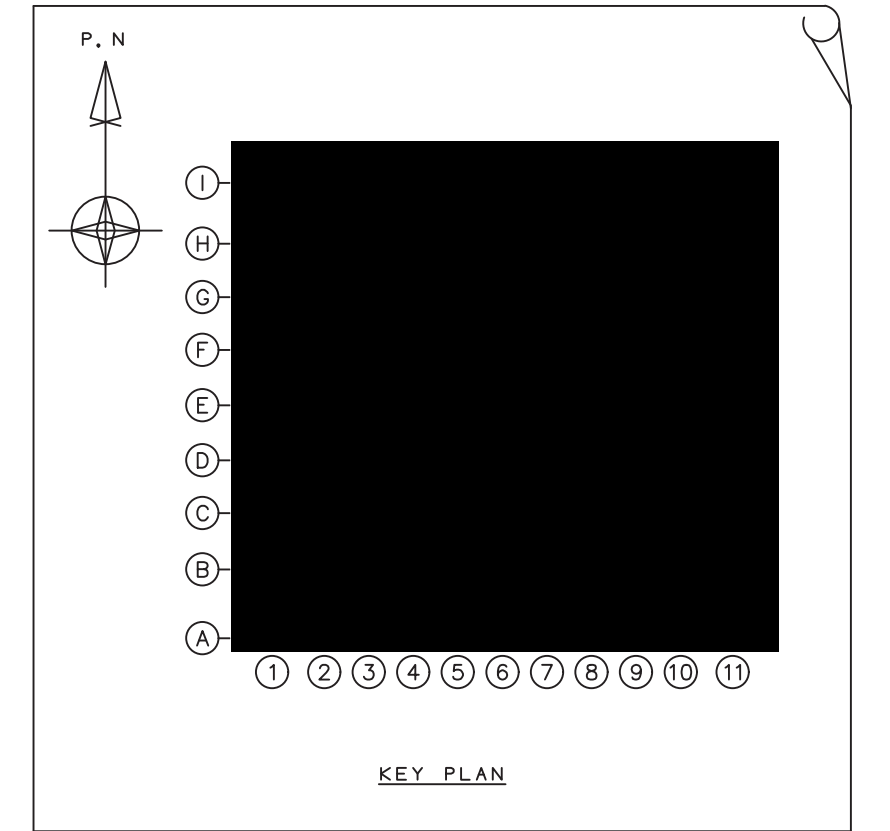
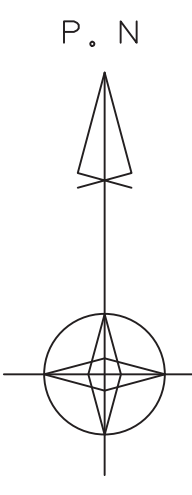
<引き出し線>  
 赤色：分岐部，合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

14 15 16  
 三角法 ISO M ねじ



材料	長さ	個数	重量	単位	重量 (kg)	記 事
日本原燃株式会社 設						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下2階 4ブロック						

■ については核不拡散の観点から公開できません



下部平面図

上部平面図

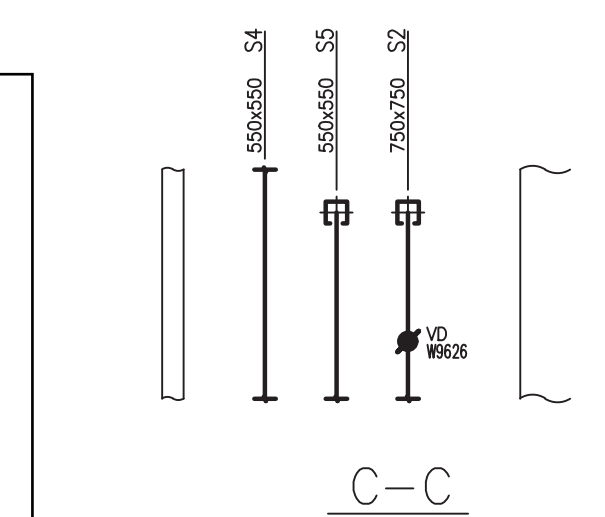
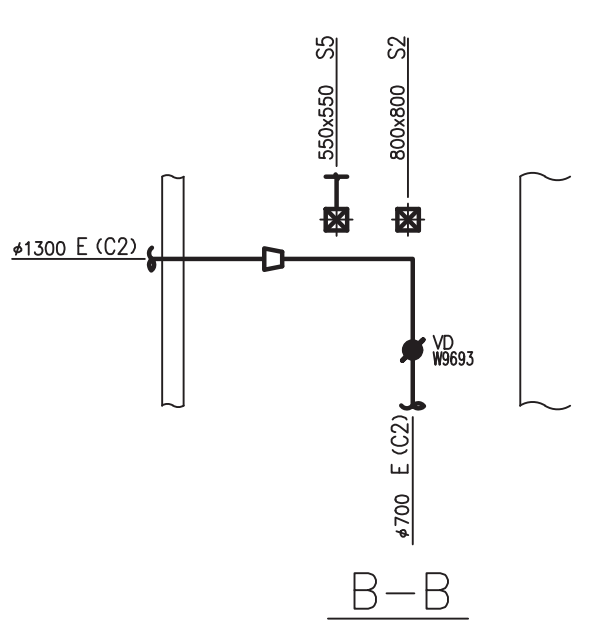
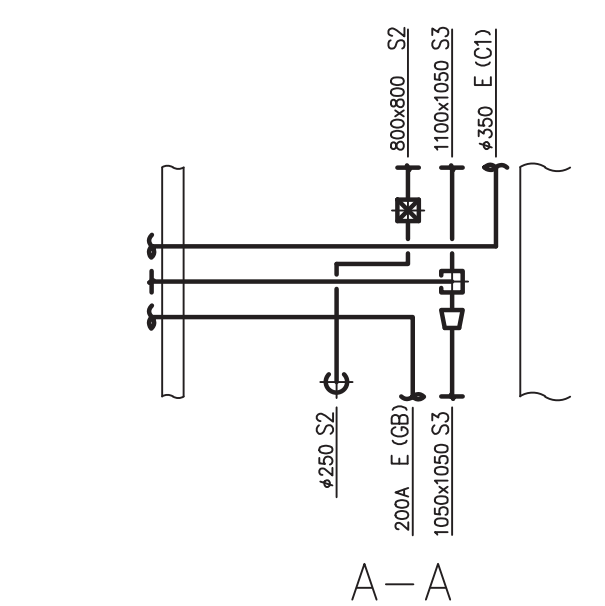
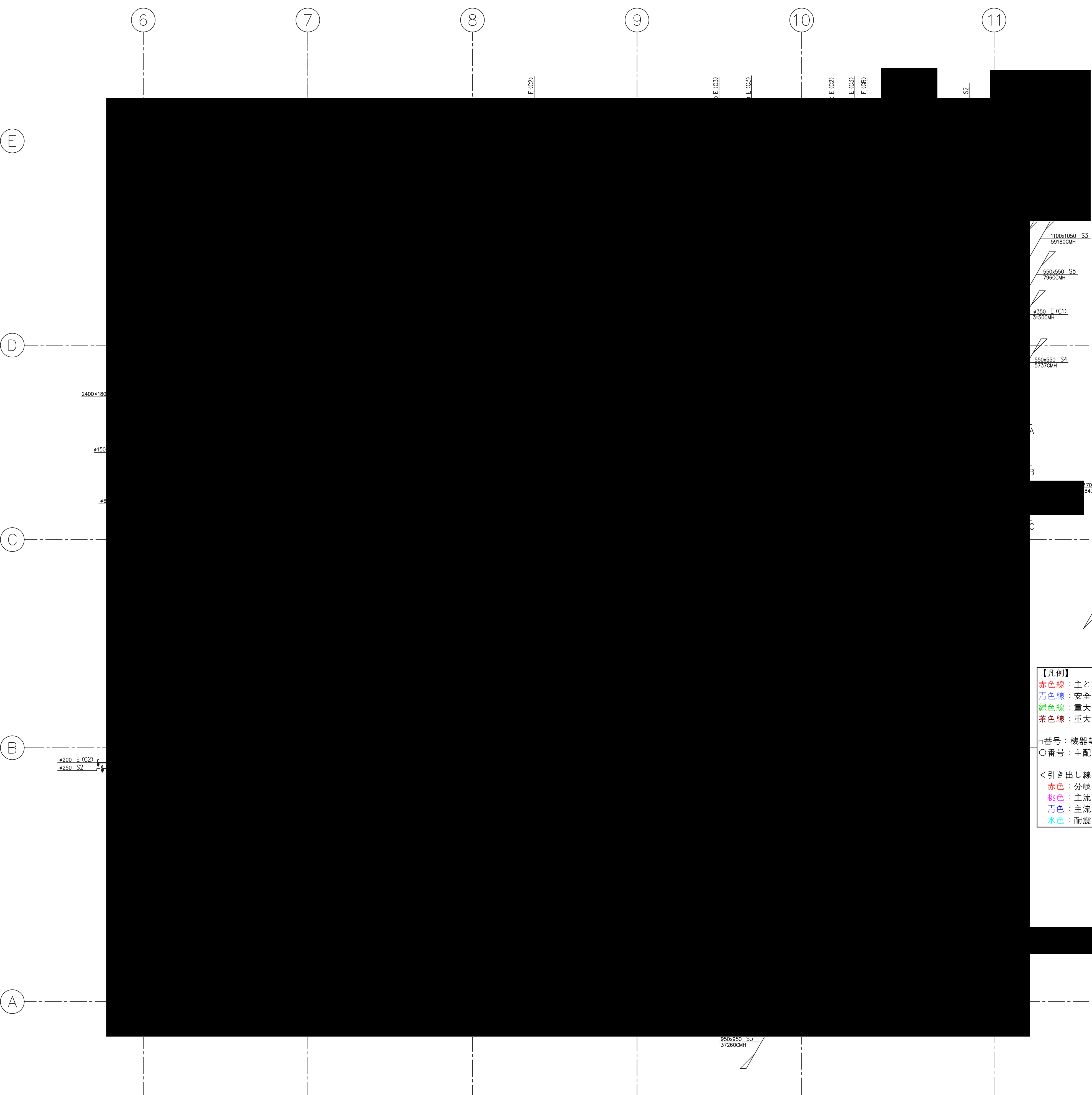
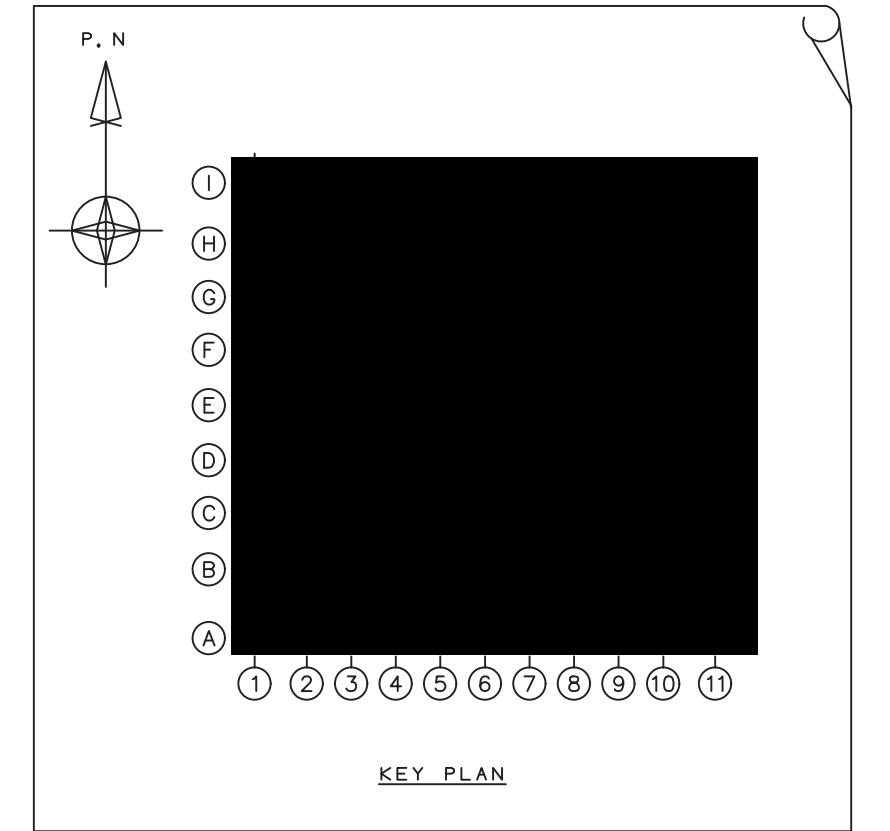
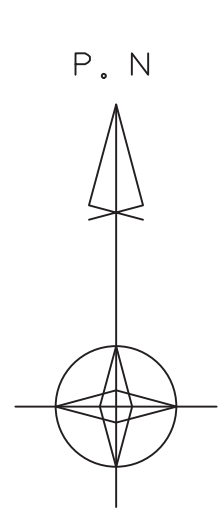
については核不拡散の観点から公開できません

**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ...)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ...)  
 <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

凡例

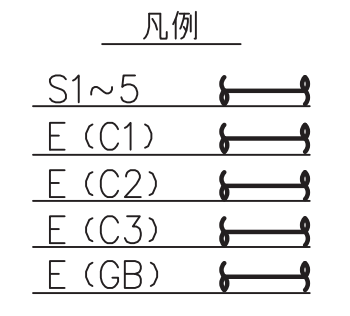
S1~5	≡
E (C1)	≡
E (C2)	≡
F (C3)	≡
E (GB)	≡

材料	規格	単位	数量	備註
日本原燃株式会社				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下1階 2ブロック				



**【凡例】**  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備）  
 茶色線：重大事故等対処設備（排気モニタリング設備）  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ...)  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (1, 2, ...)

**<引き出し線>**  
 赤色：分枝部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



上部平面図

■については核不拡散の観点から公開できません

材料	標準	子	個	単位	質量 (kg)	記事
日本原燃株式会社						
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下1階 4ブロック						





### (3) グローブボックス排気設備

(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備と  
兼用範囲含む)













































抽出リスト（機器）（グローブボックス排気設備）  
（15/37）

400	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気フィルタユニット	グローブボックス排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	常設	S/L 2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—
401																		単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—
402																		単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—
403																		単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—
404																		単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—
405																		単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—
406																		単線ダクトルート図 地下1階2ブロック	—

抽出リスト（機器）（グローブボックス排気設備）  
（16/37）

407	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排風機	グローブボックス排風機	ファン	0171-K-401 (グローブボックス排風機A)	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	S/—*	—	—	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック ※経路外放出を防止する観点で、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	—
408											0171-K-402 (グローブボックス排風機B)											





抽出リスト（配管）（グローブボックス排気設備）  
（18/37）

【主配管等の名称整理】

組付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考	
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1 (B3F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2 (B2F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点3 (B2F) ～ 可搬型排風機入口接続口分岐点	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—		
5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ グローブボックス排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ(W5144, W5145)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—		
5-1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ(W5144, W5145) ～ グローブボックス排気閉止ダンパ(PD W3086, W3087) ～ グローブボックス排風機A, B	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/(S)※	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※グローブボックス排風機入口手動ダンパからグローブボックス排風機までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	
6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	C/(C)※	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※グローブボックス排風機から可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	
7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部 ～ 排気筒	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/(C)※	主：グローブボックス排気設備 従：重大事故等対処設備 排気モニタリング設備	—	※可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部から排気筒（燃料加工建屋境界）までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	
8	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 手動ダンパ(W8591) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点4 (B1F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—		
9	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ (予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンベレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1 (B3F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—		
10	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 原料MOX粉末秤量・分取装置A, Bグローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス ～ 予備混合装置グローブボックス出口ダクト合流点1, 2, 3	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—		
11	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 調整粉末搬送装置-14, -16グローブボックス, 一次混合装置Bグローブボックス ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス出口ダクト合流点1, 2	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—		
12	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 調整粉末搬送装置-8グローブボックス ～ 造粒装置グローブボックス出口ダクト合流点	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—		
13	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ 調整粉末搬送装置-9グローブボックス ～ 均一化混合装置グローブボックス出口ダクト合流点	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—		
14	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト ～ (原料MOX粉末缶一時保管設備グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84201, F-84202, F-84203, F-84204)), (回収粉末微粉砕装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84205, F-84206, F-84207, F-84208)), 延焼防止ダンパ (SPD W3107, W3109, W3151) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点5 (B3F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	—	



抽出リスト (配管) (グローブボックス排気設備)  
(20/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
29	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト	手動ダンパ(W8588) ~ グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80221, F-80222) ~ 小規模焼結処理装置グローブボックス、資材保管装置グローブボックス、小規模プレス装置グローブボックス、容器移送装置グローブボックス-1, -2, -5, 小規模粉末混合装置グローブボックス、小規模研削検査装置グローブボックス、再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス、焼結ボート搬送装置グローブボックス-46-2	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
30	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト	室循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ(W8483, W8484, W8486, W8488, W8489, W8490, W8492, W8493, W8494, W8495, W8496, W8498, W8501, W8502, W8504, W8505), 吸込口 ~ (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80201)~原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80202)~回収粉末微粉砕装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80211, F-80212)~粉末一時保管装置グローブボックス-1, 調整粉末搬送装置-1, -3, -4, -11, -13, -14グローブボックス), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80203)~原料MOX分析試料採取装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-1, -3, -4, 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80206)~ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208), (グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80209, F-80210)~調整粉末搬送装置-6, -8, -9, -16, -19, -20グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1, 粉末一時保管装置グローブボックス-6), グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80323, F-80324, F-80325, F-80326, F-80339)~スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1, -2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80301, F-80302)~ペレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1, -4, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-48), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80314)~焼結ボート搬送装置グローブボックス-35, -37), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80303, F-80304)~焼結ボート搬送装置グローブボックス-7, -8, -10, -11, -13, -14, -18, -19, -20, -21, -33, -45, 46-1, 空焼結ボート取扱装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80305)~焼結ボート供給装置A, B, Cグローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80306, F-80307)~焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -25, -31, 焼結ボート取出装置A, B, Cグローブボックス)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
31	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214) ~ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 主: 代替グローブボックス排気設備	—	

抽出リスト（配管）（グローブボックス排気設備）  
（21/37）

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
32	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	回収粉末処理・混合装置グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 ～ 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-1, -3, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-49, 一次混合装置A, Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
33	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205) ～ 予備混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	
34	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	予備混合装置グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2, 3, 4, 5, 6 ～ ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス, 原料MOX粉末秤量・分取装置A, Bグローブボックス, 原料粉末搬送装置-6グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
35	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208) ～ 造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	
36	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	造粒装置グローブボックス入口ダクト分岐点 ～ 調整粉末搬送装置-8, -9グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
37	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216) ～ プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	
38	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	プレス装置A(プレス部)グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2 ～ プレス装置A(粉末取扱部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Aグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
39	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	プレス装置B(プレス部)グローブボックス入口ダクト分岐点1, 2, 3 ～ 添加剤混合粉末搬送装置-3グローブボックス, プレス装置B(粉末取扱部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	

抽出リスト (配管) (グローブボックス排気設備)  
(22/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分	機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考							
40	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	(グローブボックス給気フィルタ(PA0145-F-10802, F-10801)~燃料棒解体装置グローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0145-F-10843, F-10844)), (搬送装置-1グローブボックス-3~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-80841, F-80842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-31801)~γ線測定装置グローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-31841, F-31842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-45801)~質量分析装置Eグローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-45841, F-45842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-25801)~イオン交換装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-25802)~イオン交換装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-26801)~試料塗布装置グローブボックス)~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-25841, F-25842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-30801)~α線測定装置グローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-30841, F-30842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-44801)~質量分析装置Dグローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-44841, F-44842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-43801)~質量分析装置Cグローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-43841, F-43842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-24801)~スパイク装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-24802)~スパイク装置グローブボックス-2)~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-24841, F-24842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-23801)~スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-23802)~スパイク試料調製装置-3グローブボックス-2)~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-23841, F-23842)), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-42801)~質量分析装置Bグローブボックス-1~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-42841, F-42842)), (搬送装置-2グローブボックス-1~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-81841, F-81842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-22801)~スパイク試料調製装置-2グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-22802)~スパイク試料調製装置-2グローブボックス-2)~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-22841, F-22842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-21801)~スパイク試料調製装置-1グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ(PA0163-F-21802)~スパイク試料調製装置-1グローブボックス-2)~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-21841, F-21842)), (試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1, 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-20841, F-20842)), (プルトニウム含有率分析装置グローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-40841, F-40842)), (受払・分配グローブボックス, 蛍光X線分析装置グローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0163-F-10841, F-10842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0166-F-10801)~取去試料受払装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0166-F-20801)~取去試料調製装置グローブボックス)~グローブボックス排気フィルタ(PA0166-F-10841, F-10842)), 手動ダンパ(W8630, W8631), 302 分析第一室入口取合点~手動ダンパ(W8638)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—
41	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	(受払装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス~グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-10841, F-10842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-20803)~試料溶解・調製装置-2グローブボックス-3), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-20802)~試料溶解・調製装置-2グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-20801)~試料溶解・調製装置-2グローブボックス-1)~グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-20841, F-20842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-76801)~X線回析測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-52802)~炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-52801)~炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1)~グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-52841, F-52842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-53801)~塩素・フッ素分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-70801)~粉末物性測定装置グローブボックス)~グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-53841, F-53842)), ((グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-71802)~金相試験装置グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ(PA0164-F-71801)~金相試験装置グローブボックス-1)~グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-71841, F-71842))~手動ダンパ(W8537)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—
42	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	搬送装置-3グローブボックス-4~グローブボックス排気フィルタ(PA0164-F-80841, F-80842)~手動ダンパ(W8545)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/—	—	—				



抽出リスト（配管）（グローブボックス排気設備）  
（23/37）

【主配管等の名称整理】

組付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
43	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-54801) ～ EPMA分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-54841, F-54842) ～ 手動ダンパ(W8546)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
44	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-72801) ～ ブルトニウムスポット検査装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72841, F-72842) ～ 手動ダンパ(W8547)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
45	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	フードB ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0165-F-01843, F-01844) ～ 手動ダンパ(W8637)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—	—
46	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	ブルトニウムスポット検査装置オープンボック ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-72843, F-72844) ～ 手動ダンパ(W8632)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—	—
47	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	(グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-73801)～液浸密度測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-74801)～熱分析装置グローブボックス) ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-73841, F-73842) ～ 手動ダンパ(W8550)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
48	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	(グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-75801)～ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-75802)～ペレット溶解性試験装置グローブボックス-2) ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-75841, F-75842) ～ 手動ダンパ(W8551)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
49	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-55801) ～ ICP-発光分光分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-55841, F-55842) ～ 手動ダンパ(W8553)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
50	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-56801) ～ ICP-質量分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-56841, F-56842) ～ 手動ダンパ(W8554)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
51	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-57801) ～ 水素分析装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-57841, F-57842) ～ 手動ダンパ(W8555)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
52	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	水分分析装置グローブボックス, O/M比測定装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-50841, F-50842) ～ 手動ダンパ(W8556)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
53	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-58801) ～ 蒸発性不純物測定装置Aグローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0164-F-58841, F-58842) ～ 手動ダンパ(W8557)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—
54	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	(グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-50801, F-50802)～放射能濃度分析グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-10801, F-10802)～分析溶液中和固液分離グローブボックス) ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-10841, F-10842) ～ 手動ダンパ(W8558)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	—	—

抽出リスト (配管) (グローブボックス排気設備)  
(24/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
55	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	(スタック編成設備Aグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-11841, F-11842)), (スタック編成設備Bグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0141-F-21841, F-21842)), (パレット保管容器搬送装置グローブボックス-3, -14～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-10841, F-10842)) ～ 手動ダンパ(W8568)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	
56	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	(乾燥ボート取出装置A, Bグローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3, 挿入溶接装置(燃料棒溶接部)A, Bグローブボックス, スタック供給装置A, Bグローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0142-F-13841, F-13842, F-13843, F-13844)), ((グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-16801, F-16802)～除染装置Aグローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-26801, F-26802)～除染装置Bグローブボックス)～グローブボックス排気フィルタ (PA0143-F-16841, F-16842)), (乾燥ボート搬送装置グローブボックス-12～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20843, F-20844)), (乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11～グローブボックス排気フィルタ (PA0144-F-20841, F-20842), ピストンダンパ(PD W3522, W8579), 手動ダンパ(W8576, W8577, W8581) ～ 手動ダンパ(W8572)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	
57	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	手動ダンパ(W5230), 吸気口 ～ グローブボックス給気フィルタ (0142-F-13801) ～ 乾燥ボート取出装置A, Bグローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7, -9, -10, 挿入溶接装置(被覆管取扱部)A, Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	
58	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	(グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-30801, F-30802)～ろ過・第1活性炭処理グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-30841, F-30842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-40801, F-40802)～第2活性炭・吸着処理グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-40841, F-40842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0167-F-60802, F-60801)～放射能濃度分析グローブボックス-2～グローブボックス排気フィルタ (PA0167-F-60841, F-60842)) ～ 手動ダンパ(W5447)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	
59	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80337, F-80338) ～ パレット立会検査装置グローブボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84361, F-84362) ～ 手動ダンパ(W8589)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—	
60-1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	(吸着処理オープンボートボックス, ろ過処理オープンボートボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0172-F-10841, F-10842)), (フードA～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-61841, F-61842)), (フードB～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-62841, F-62842)), (フードA～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-63841, F-63842)), (フードB～グローブボックス排気フィルタ (PA0182-F-64841, F-64842)), (グローブボックス給気フィルタ (PA0173-F-80401, F-80402)～選別・保管グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0173-F-84401, F-84402)) ～ 気密逆止ダンパ(ATCD W6429)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
60-2	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排気ダクト	気密逆止ダンパ(ATCD W6429) ～ 手動ダンパ(W8591)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-**	—	—	※経路外放出を防止する観点で、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

抽出リスト (配管) (グローブボックス排気設備)  
(25/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分	機器名称 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
61	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	ウラン粉末払出装置オープンポートボックス ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0110-F-84103, F-84104) ～ 手動ダンパ(W8559)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
62	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-13 ～ グローブボックス排気フィルタ (PA0130-F-84359, F-84360) ～ 手動ダンパ(W8431)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
63	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7191) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-14801, F-14802) ～ 部材供給装置 (部材搬送部)Aオープンポートボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
64	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7195) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0143-F-24801, F-24802) ～ 部材供給装置 (部材搬送部)Bオープンポートボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
65	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7196) ～ 手動ダンパ(W5822)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
65-1	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	手動ダンパ(W5822) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-20801, F-20802) ～ 乾燥ポート搬送装置グローブボックス-11	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
66	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7192) ～ (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-10801, F-10802)～受払・分配グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-47801, F-47802)～蛍光X線分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-80801, F-80802)～搬送装置-1グローブボックス-1), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-40801, F-40802)～プルチウム含有率分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-20803, F-20804)～試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2), (グローブボックス給気フィルタ (PA0163-F-20801, F-20802)～試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
67	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7161) ～ (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-51801, F-51802)～水分分析装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-50801, F-50802)～O/M比測定装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-10801, F-10802)～受払装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス), (グローブボックス給気フィルタ (PA0164-F-80801, F-80802)～搬送装置-3グローブボックス-1)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
68	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給設備取合弁 (0192-W7173) ～ 新鮮窒素供給配管弁 (0171-W3917, W3918)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—
69	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給配管弁 (0171-W3917) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80315, F-80316) ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—
70	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	新鮮窒素供給配管弁 (0171-W3918) ～ グローブボックス給気フィルタ (PA0130-F-80327, F-80328) ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—
71	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-11801, F-11802) ～ 乾燥ポート供給装置Aグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
72	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0142-F-21801, F-21802) ～ 乾燥ポート供給装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
73	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10803, F-10804) ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8, -14	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
74	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	グローブボックス排気ダクト	グローブボックス給気フィルタ (PA0144-F-10805, F-10806) ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—



抽出リスト（配管）（グローブボックス排気設備）  
（26/37）

【主配管等の名称整理】

組付け番号	施設区分	設備区分	機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考	
75	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
76	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
77	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
78	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
79	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
82-1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
82-2	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※経路外放出を防止する観点で、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
82-3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
83	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
84	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
85	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
86	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

抽出リスト（配管）（グローブボックス排気設備）  
 (27/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
87	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト	手動ダンパ(W8395) ～ 排ガス処理装置Bグローブボックス(下部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
88	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気ダクト	手動ダンパ(W8920) ～ 手動ダンパ(W8399) ～ 排ガス処理装置Cグローブボックス(下部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	B-1/-	—	—
									手動ダンパ(W8926)										

抽出リスト（機器）（外部放出抑制設備）  
(28/37)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
221	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80204	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-8/15	
222	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80205	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-8/15	
224	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80207	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-11/15	
225	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80208	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-11/15	
230	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80213	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-6/15	
231	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80214	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-6/15	
232	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80215	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-12/15	
233	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80216	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローグアイケラム PA0120-12/15	

抽出リスト（機器）（外部放出抑制設備）  
(29/37)

297	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213)	フィルタ	0120-F-84213	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-8/15
298	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84214)	フィルタ	0120-F-84214	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-8/15
299	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84215)	フィルタ	0120-F-84215	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-8/15
300	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84216)	フィルタ	0120-F-84216	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-8/15
305	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221)	フィルタ	0120-F-84221	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-11/15
306	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84222)	フィルタ	0120-F-84222	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-11/15
307	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84223)	フィルタ	0120-F-84223	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-11/15
308	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84224)	フィルタ	0120-F-84224	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-11/15

抽出リスト（機器）（外部放出抑制設備）  
(30/37)

319	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235)	フィルタ	0120-F-84235	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-9/15
320	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84236)	フィルタ	0120-F-84236	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-9/15
321	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84237)	フィルタ	0120-F-84237	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-9/15
322	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84238)	フィルタ	0120-F-84238	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-9/15
323	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239)	フィルタ	0120-F-84239	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-12/15
324	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84240)	フィルタ	0120-F-84240	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-12/15
325	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84241)	フィルタ	0120-F-84241	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-12/15
326	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備		グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84242)	フィルタ	0120-F-84242	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローガイヤケラム PA0120-12/15
398										0171-F-421 (グローブボックス排気フィルタ ユニットA)									—	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
399										0171-F-422 (グローブボックス排気フィルタ ユニットB)									—	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック

抽出リスト（機器）（外部放出抑制設備）  
(31/37)

400	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑 制設備	—	—	グローブボックス排気フイ ルタユニット	グローブボックス排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボック ス排 気設 備 従：外 部放 出抑 制 設 備 従：代 替 グ ロー ブ ボ ッ ク ス 排 気 設 備	—	単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
401																				単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
402																				単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
403																				単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
404																				単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
405																				単線ダクトルート図 地下1階2ブロック
406																				単線ダクトルート図 地下1階2ブロック

抽出リスト（配管）（外部放出抑制設備）  
(32/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1(B3F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2(B2F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点3(B2F) ～ 可搬型排風機入口接続口分岐点	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—	
5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ 可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ グローブボックス排気フィルタユニット A, B, C, D, E, F, G, H, I ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ(W5144, W5145)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—	
5-1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス排風機入口手動ダンパ(W5144, W5145) ～ グローブボックス排気閉止ダンパ(PD W3086, W3087) ～ グローブボックス排風機A, B	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/(S)※	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※グローブボックス排風機入口手動ダンパからグローブボックス排風機までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス排風機A, B ～ 可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	C/(C)※	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備	—	※グローブボックス排風機から可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの範囲は、基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。
9	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ (予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンベレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ(PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1(B3F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—	
31	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80213, F-80214) ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—	
33	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80204, F-80205) ～ 予備混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—	
35	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	外部放出抑制設備	—	グローブボックス排気ダクト ～ グローブボックス給気フィルタ(PA0120-F-80207, F-80208) ～ 造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 ～ 代替グローブボックス排気設備	—	



抽出リスト（配管）（外部放出抑制設備）  
 (33/37)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
37	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気ダクト  グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216) ～ プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	

抽出リスト（機器）（代替グローブボックス排気設備）  
 (34/37)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
221	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80204	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-8/15	
222	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80205	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-8/15	
224	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	代替グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80207	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-11/15	
225	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	代替グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80208	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-11/15	
230	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	代替グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80213	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-6/15	
231	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	代替グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80214	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-6/15	
232	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	代替グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80215	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-12/15	
233	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等対処施設	代替グローブボックス排気設備	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	0120-F-80216	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジンブリンクフローゲイター PA0120-12/15	

抽出リスト（機器）（代替グローブボックス排気設備）  
(35/37)

297	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213)	フィルタ	0120-F-84213	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-8/15
298	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84214)	フィルタ	0120-F-84214	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-8/15
299	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84215)	フィルタ	0120-F-84215	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-8/15
300	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84216)	フィルタ	0120-F-84216	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-8/15
305	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221)	フィルタ	0120-F-84221	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-11/15
306	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84222)	フィルタ	0120-F-84222	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-11/15
307	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84223)	フィルタ	0120-F-84223	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-11/15
308	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84224)	フィルタ	0120-F-84224	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・ガ・イヤケ・ラム PA0120-11/15

抽出リスト（機器）（代替グローブボックス排気設備）  
(36/37)

319	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235)	フィルタ	0120-F-84235	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-9/15
320	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84236)	フィルタ	0120-F-84236	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-9/15
321	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84237)	フィルタ	0120-F-84237	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-9/15
322	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84238)	フィルタ	0120-F-84238	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-9/15
323	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239)	フィルタ	0120-F-84239	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-12/15
324	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84240)	フィルタ	0120-F-84240	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-12/15
325	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84241)	フィルタ	0120-F-84241	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-12/15
326	放射性廃棄物の廃棄施設		気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備			グローブボックス排気フィルタ	グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84242)	フィルタ	0120-F-84242	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グローブボックス排気設備 従：外部放出抑制設備 従：代替グローブボックス排気設備	—	エンジン・ブリンク・フロー・イヤーラム PA0120-12/15

抽出リスト（配管）（代替グローブボックス排気設備）  
（37/37）

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 （主従）	共用 （主従）	備考
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1 (B3F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点2 (B2F) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点3 (B2F) ～ 可搬型排風機入口接続口分岐点	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	
9	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  (予備混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84213, F-84214, F-84215, F-84216)), (回収粉末処理・混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84235, F-84236, F-84237, F-84238)), (造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84221, F-84222, F-84223, F-84224)), (添加剤混合装置A, Bグローブボックス, グリーンベレット積込装置A, Bグローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス～グローブボックス排気フィルタ (PA0120-F-84239, F-84240, F-84241, F-84242)) ～ グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点1 (B3F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	
31	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80213, F-80214) ～ 回収粉末処理・混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	
33	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80204, F-80205) ～ 予備混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	
35	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80207, F-80208) ～ 造粒装置グローブボックス, 均一化混合装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	
37	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  グローブボックス給気フィルタ (PA0120-F-80215, F-80216) ～ プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, 添加剤混合装置A, Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	常設	S/1.2Ss	主：グ ローブ ボックス 排気設備 従：外部 放出抑制 設備 従：代替 グローブ ボックス 排気設備	—	
89	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	重大事故等 対処施設	代替グローブ ボックス 排気設備	—	グローブボックス排気ダクト  可搬型排風機入口接続口分岐点 ～ 可搬型排風機入口接続口	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	—	常設	S/1.2Ss	—	—	SA専用

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分				機器名称 (許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	設計図書
1	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0101)	主要弁	0120-W0101	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-2/15
2	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0102)	主要弁	0120-W0102	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-3/15
3	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0103)	主要弁	0120-W0103	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-4/15
4	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0104)	主要弁	0120-W0104	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-6/15
5	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0106)	主要弁	0120-W0106	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-6/15
6	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0107)	主要弁	0120-W0107	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-6/15
7	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0108)	主要弁	0120-W0108	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-7/15
8	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0109)	主要弁	0120-W0109	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-7/15
9	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0110)	主要弁	0120-W0110	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-8/15
10	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0111)	主要弁	0120-W0111	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-8/15
11	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0112)	主要弁	0120-W0112	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-8/15
12	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0115)	主要弁	0120-W0115	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-11/15
13	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0116)	主要弁	0120-W0116	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-11/15
14	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0117)	主要弁	0120-W0117	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-12/15
15	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0118)	主要弁	0120-W0118	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-12/15
16	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0119)	主要弁	0120-W0119	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-14/15
17	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0120)	主要弁	0120-W0120	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-14/15
18	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0122)	主要弁	0120-W0122	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-7/15
19	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0123)	主要弁	0120-W0123	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-7/15
20	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0124)	主要弁	0120-W0124	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-2/15
21	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0125)	主要弁	0120-W0125	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-11/15
22	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0126)	主要弁	0120-W0126	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-8/15
23	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0127)	主要弁	0120-W0127	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-12/15
24	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備	火災影響軽減設備		延焼防止ダンパ	延焼防止ダンパ (PA0120-W0129)	主要弁	0120-W0129	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	S/-	—	—		PA0120-7/15







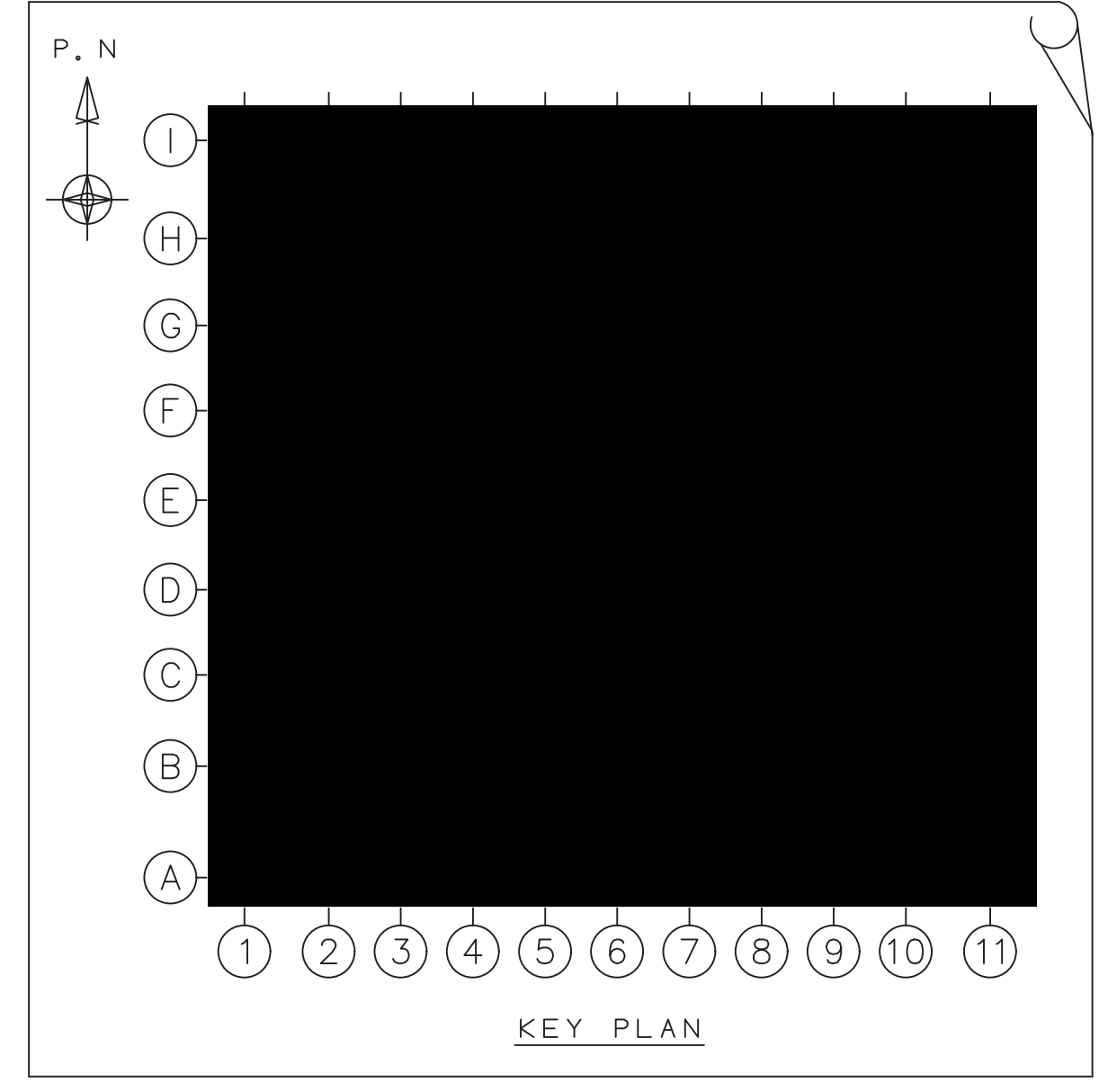
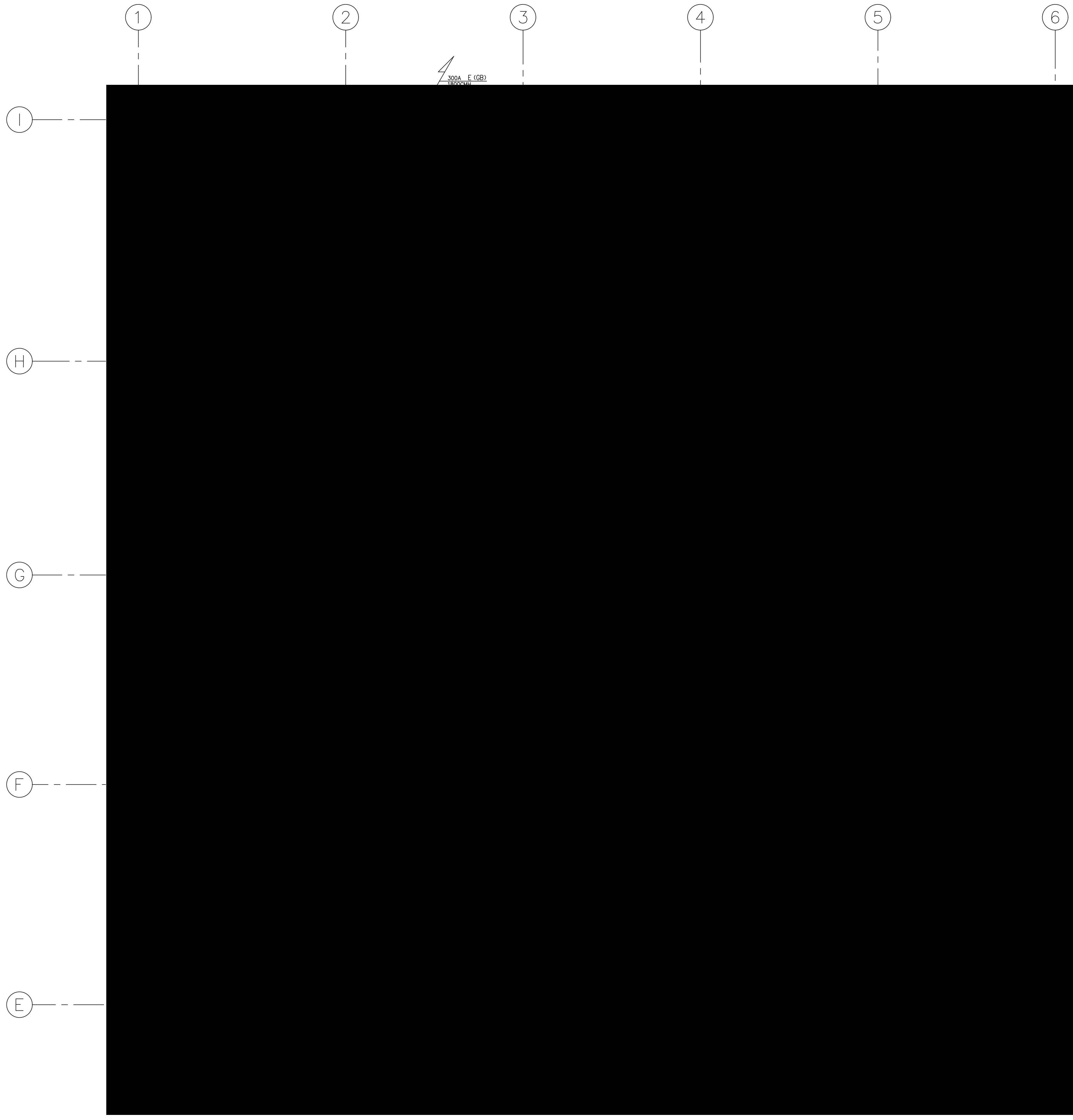
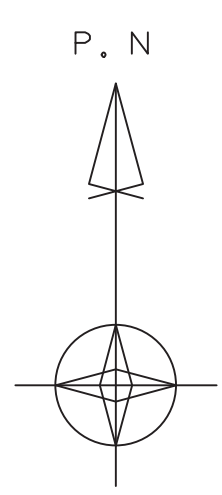












グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点7(B3F)

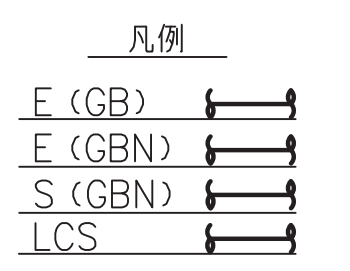
E (GB)

50 S (GBN)

50 E (GBN)

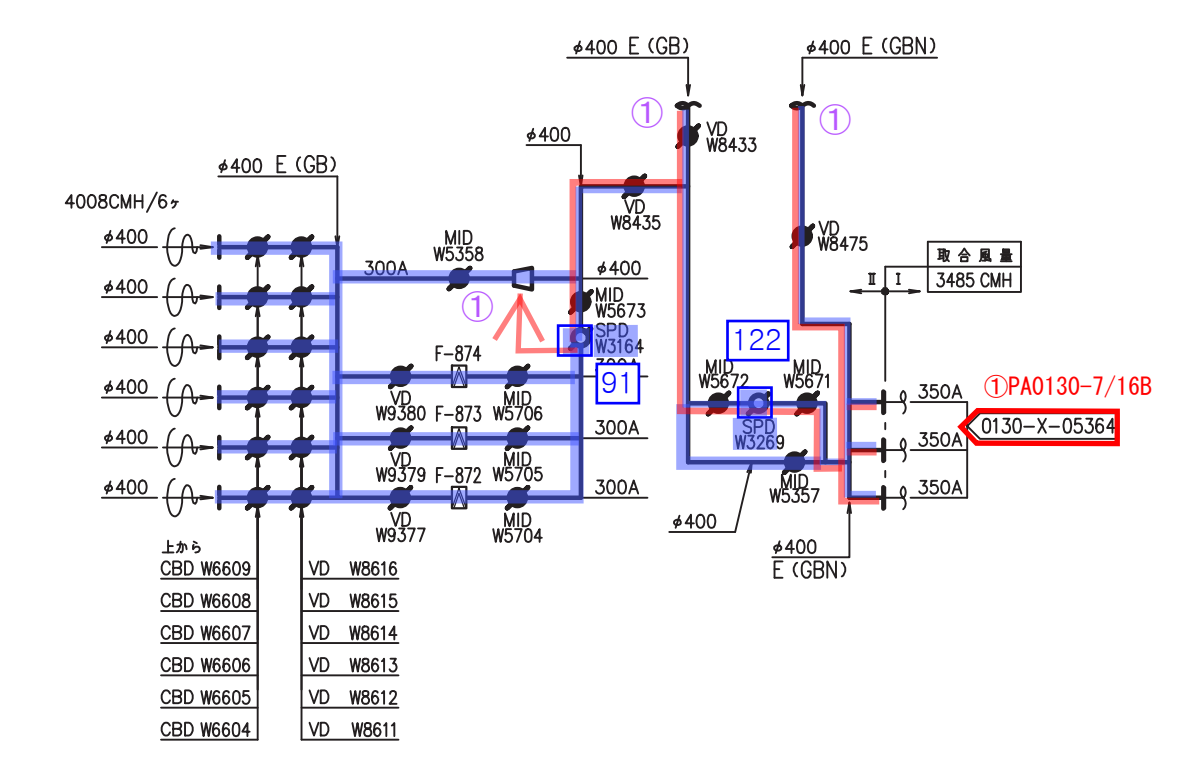
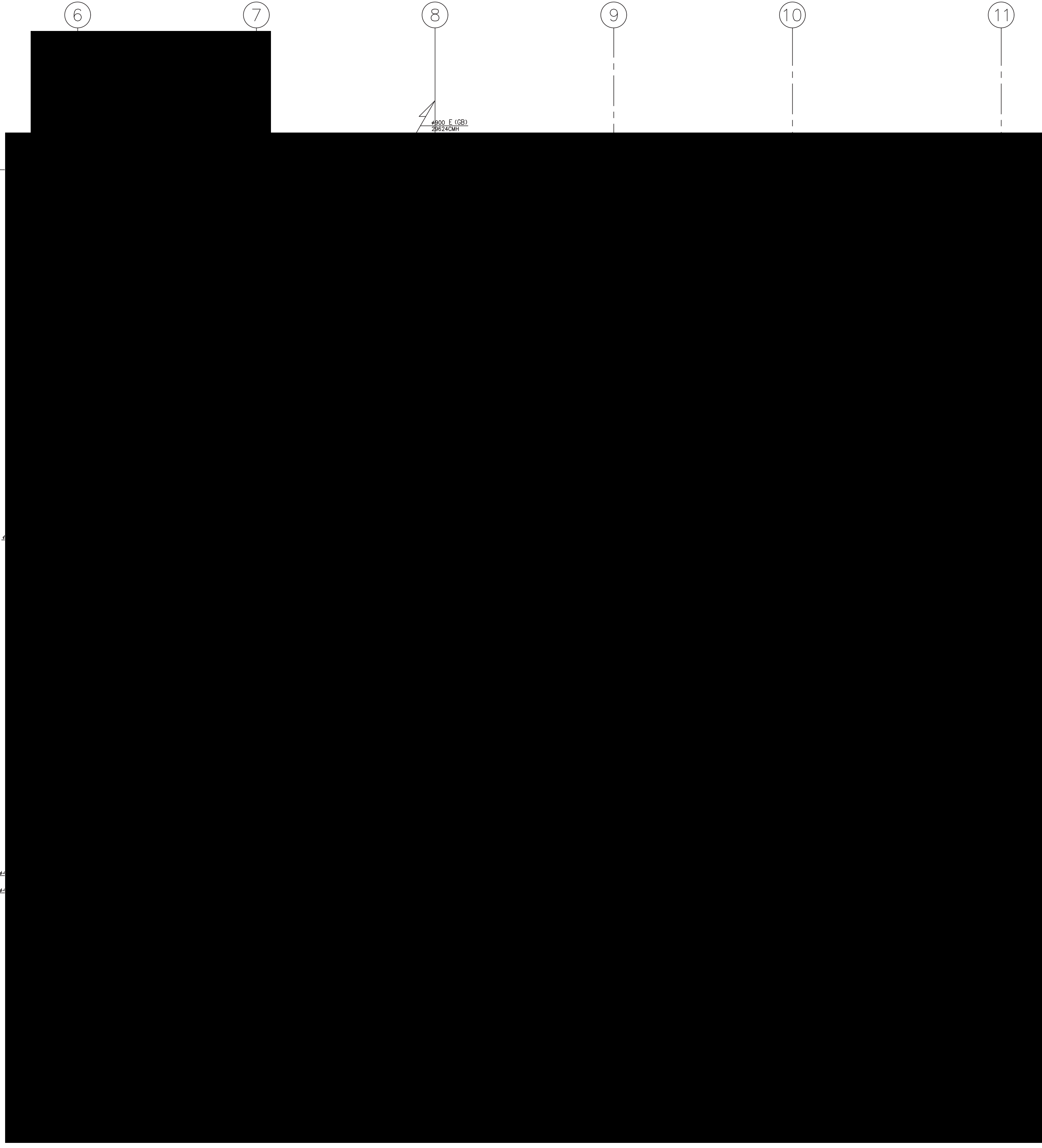
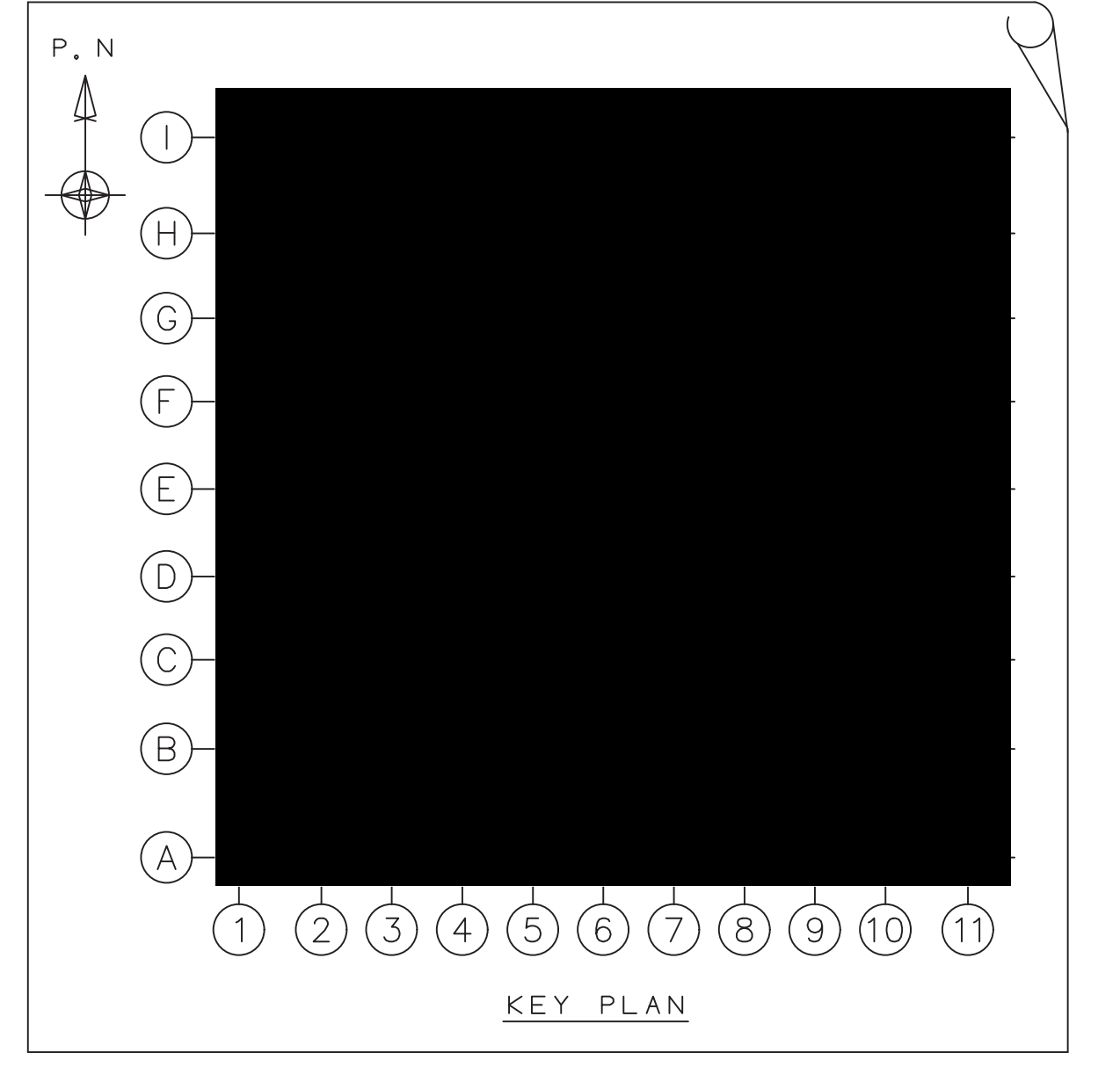
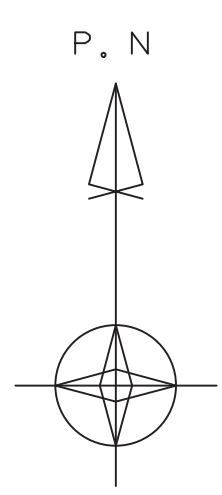
グローブボックス排気フィルタユニット入口ダクト合流点8(B3F)

- 【凡例】**
- <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- <機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

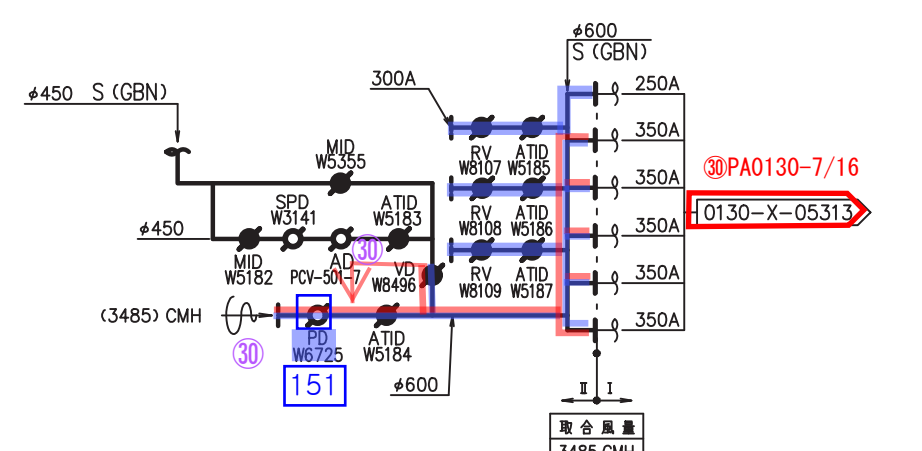


■ については核不拡散の観点から公開できません

材料	規格	寸法	単位	数量	備考
日本原燃株式会社					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 1ブロック (GB, GBN)					



X-05364接続部詳細



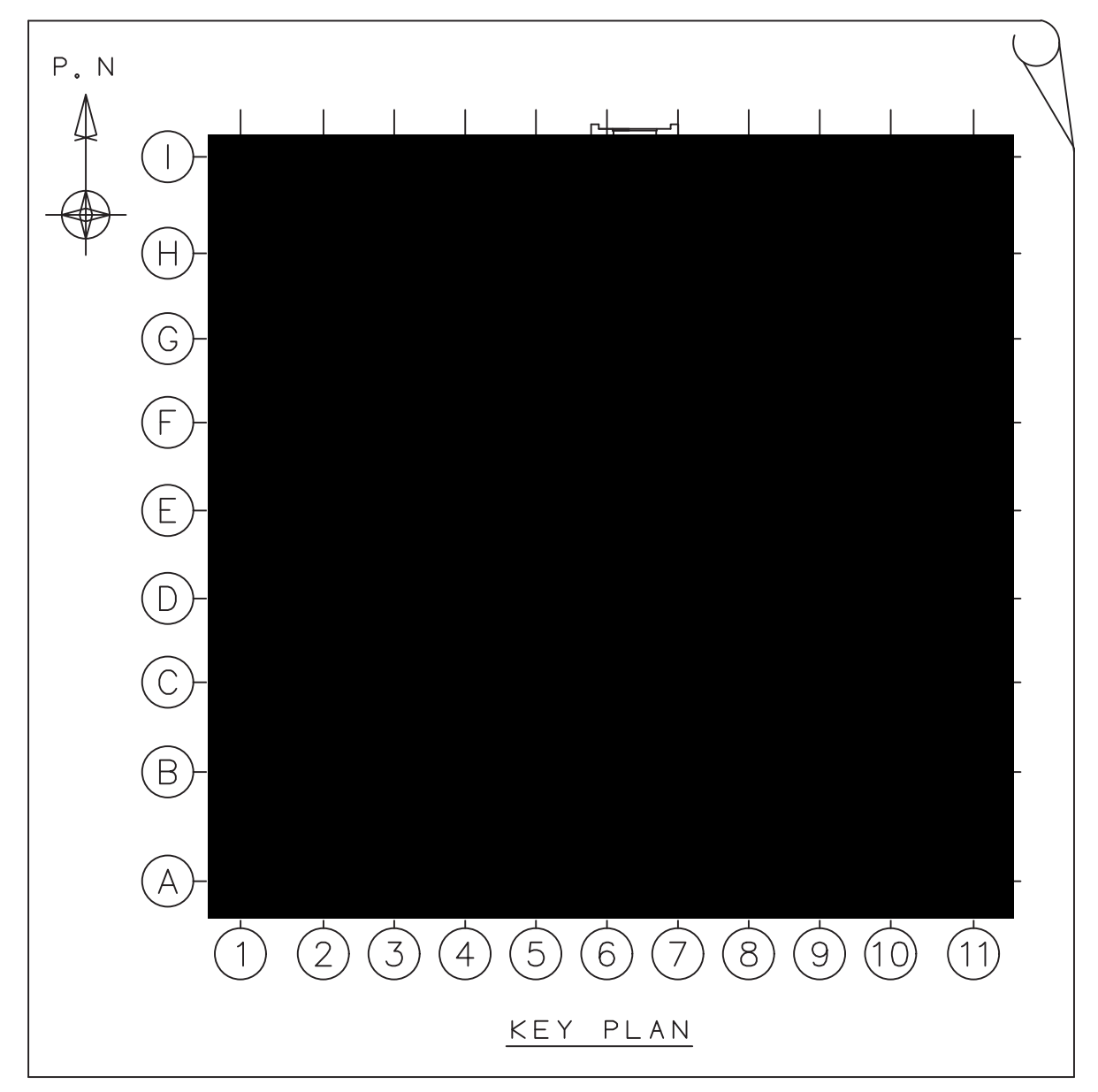
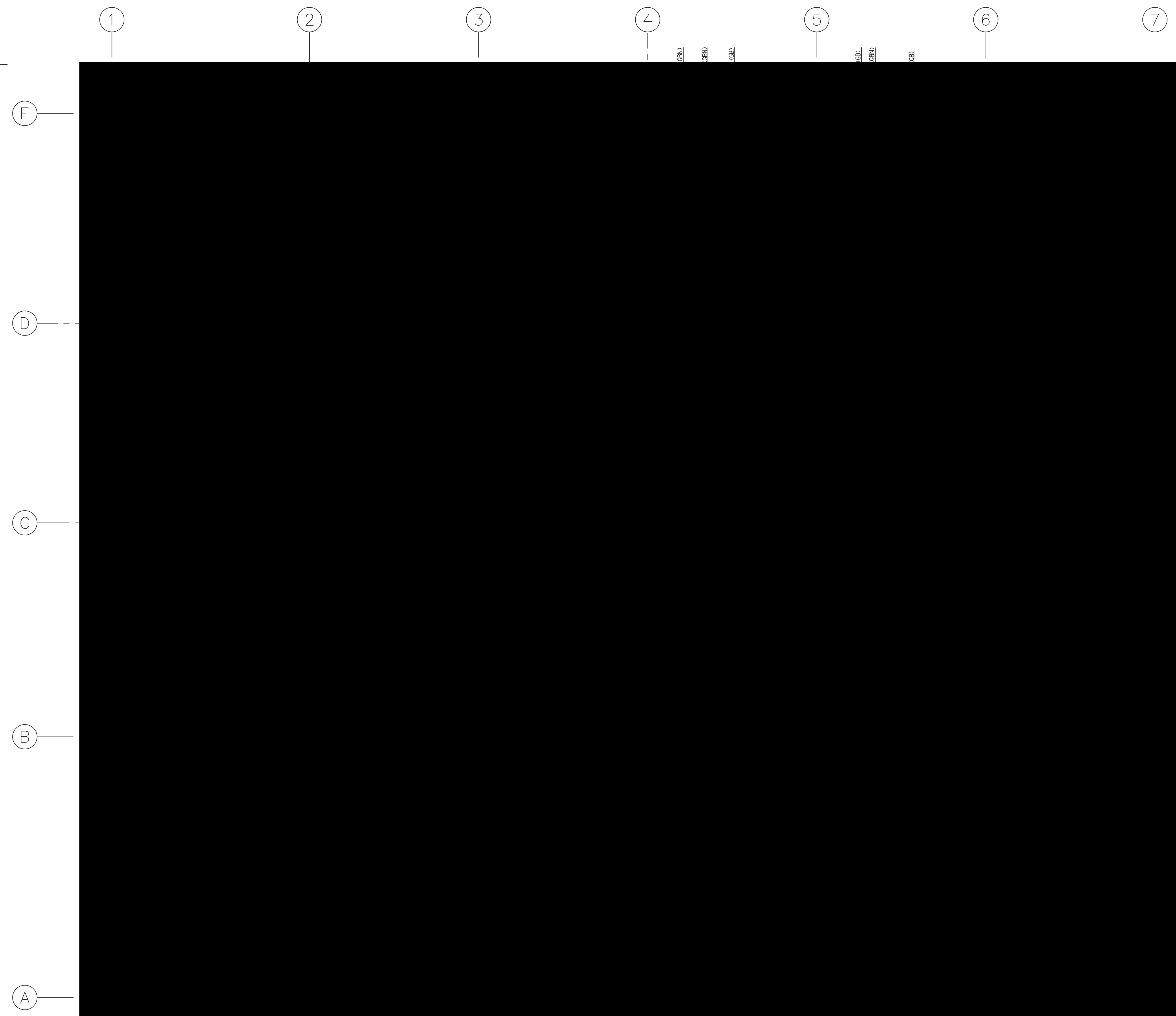
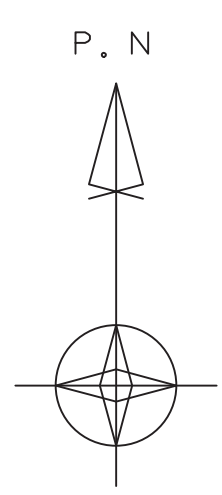
X-05313接続部詳細

- 【凡例】
- <配管等>
- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , . . . )
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- <機器等>
- 番号：機器等との紐付け番号 ( [1], [2], . . . )
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>
- 赤色：分岐部，合流部等
  - 桃色：主流路とする考え方の補足
  - 青色：主流路としない考え方の補足
  - 水色：耐震設計の考え方

- 凡例
- E (GB) [Symbol]
  - E (GBN) [Symbol]
  - S (GBN) [Symbol]
  - LCS [Symbol]

■については核不拡散の観点から公開できません

材料	仕様	数量	単位	計量	記事
日本原燃株式会社					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 2ブロック (GB, GBN)					



**【凡例】**

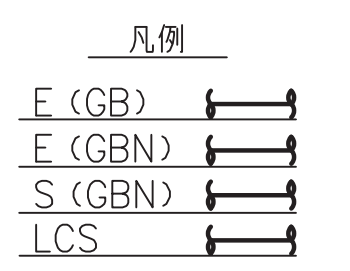
<配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)

<機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

<引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

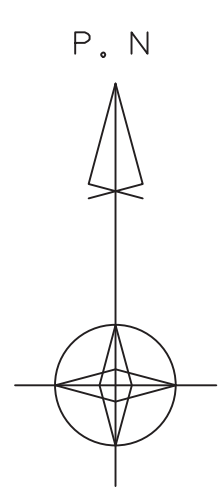
オープンポートボックスに係るグローブボックス排気設備は、耐震Cクラスとなるため、「C/」となる。

60A\_E (GB)  
 (60-1)



については核不拡散の観点から公開できません

材料	種別	数量	単位	質量 (kg)	記 事
日本原燃株式会社 設					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 3ブロック (GB, GBN)					



⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

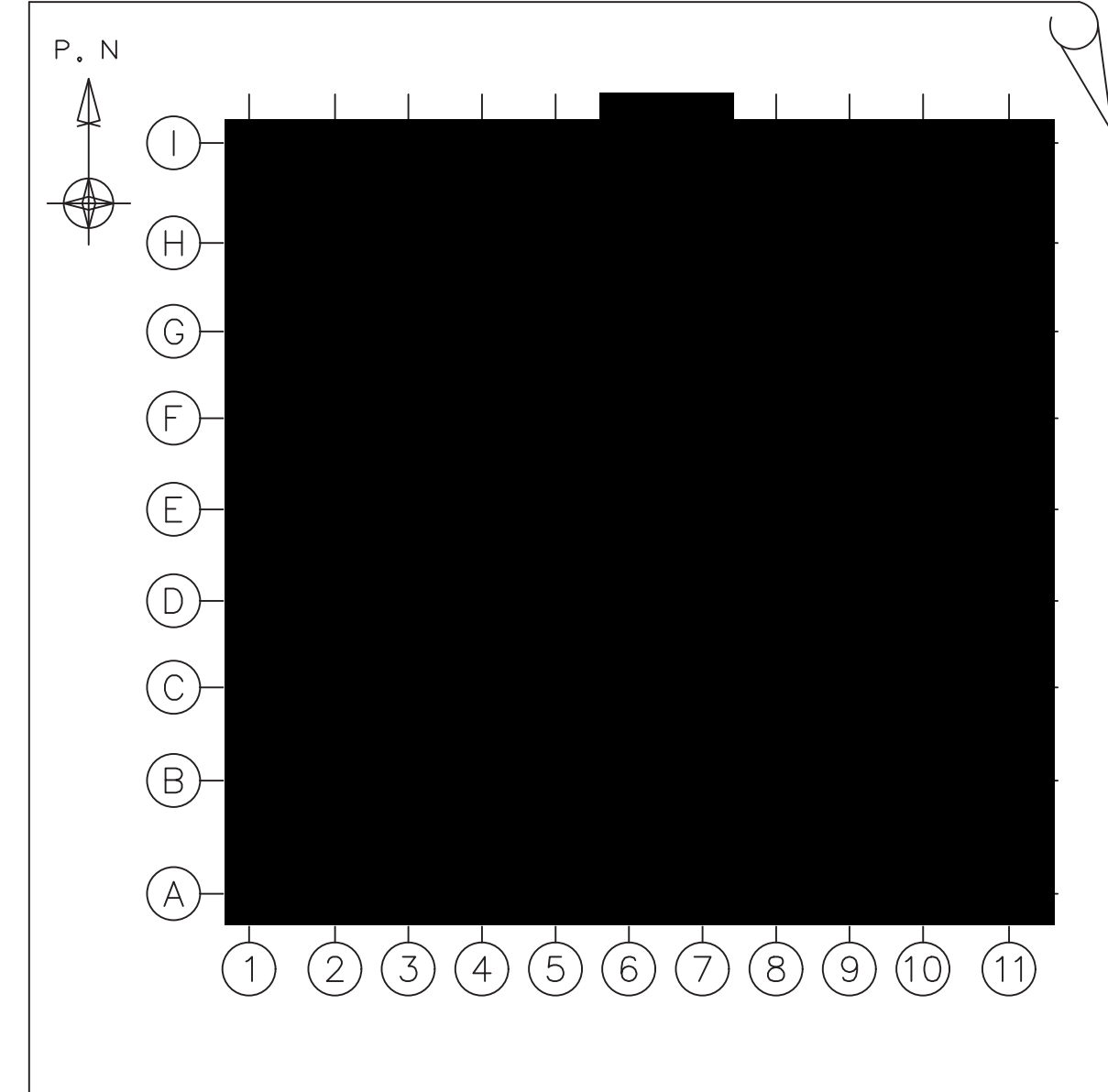
ⓔ

ⓓ

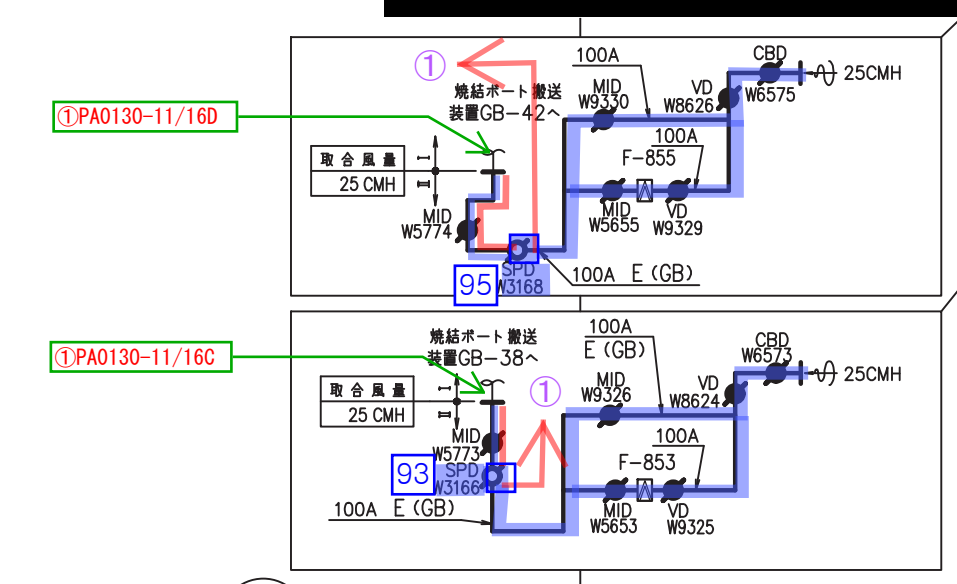
ⓐ

ⓑ

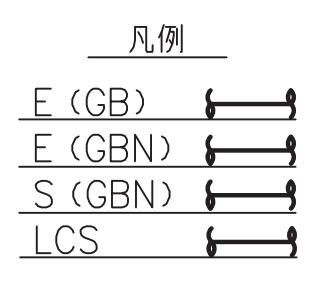
Ⓐ



200A E (GB)  
500CMH

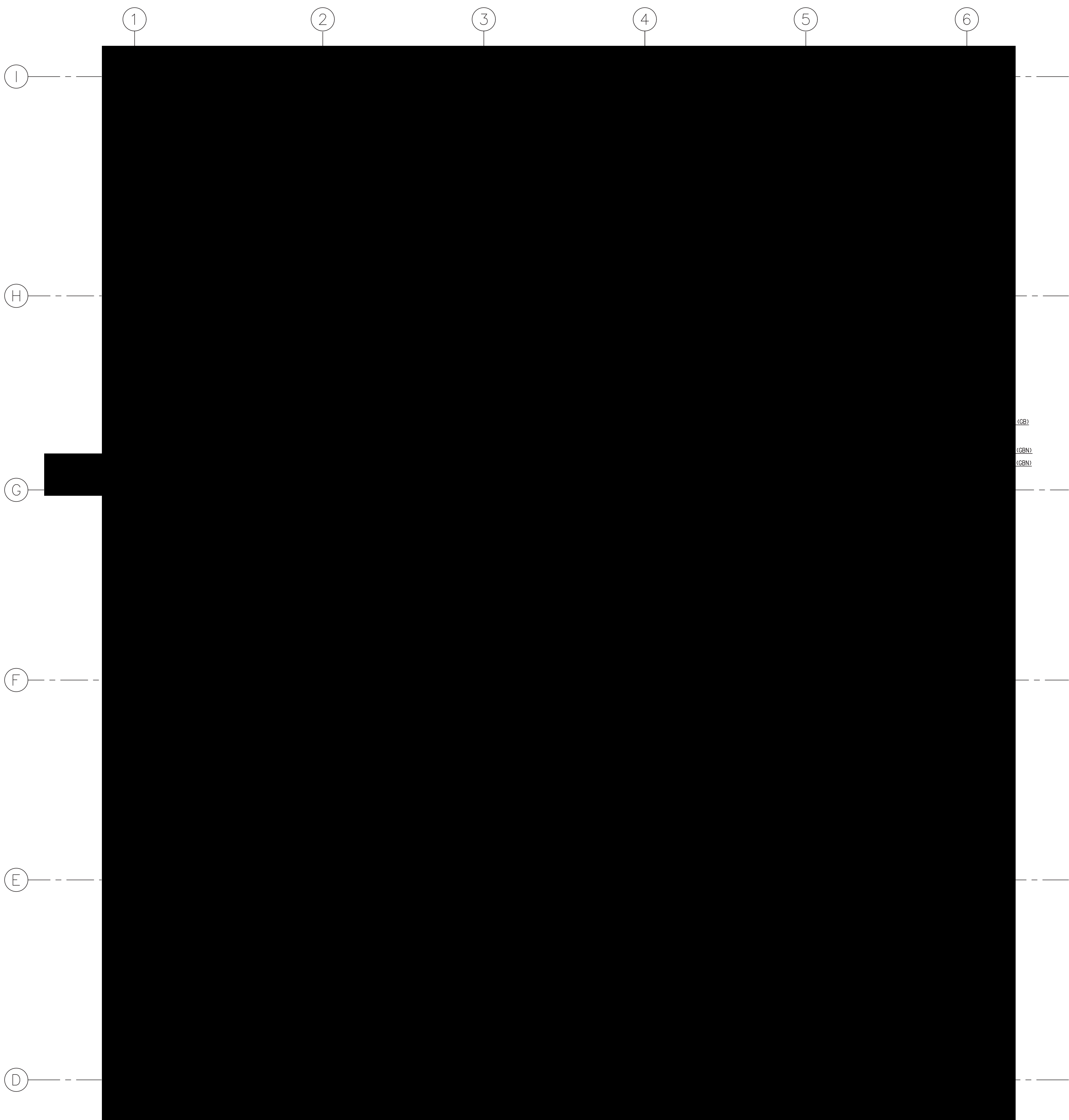
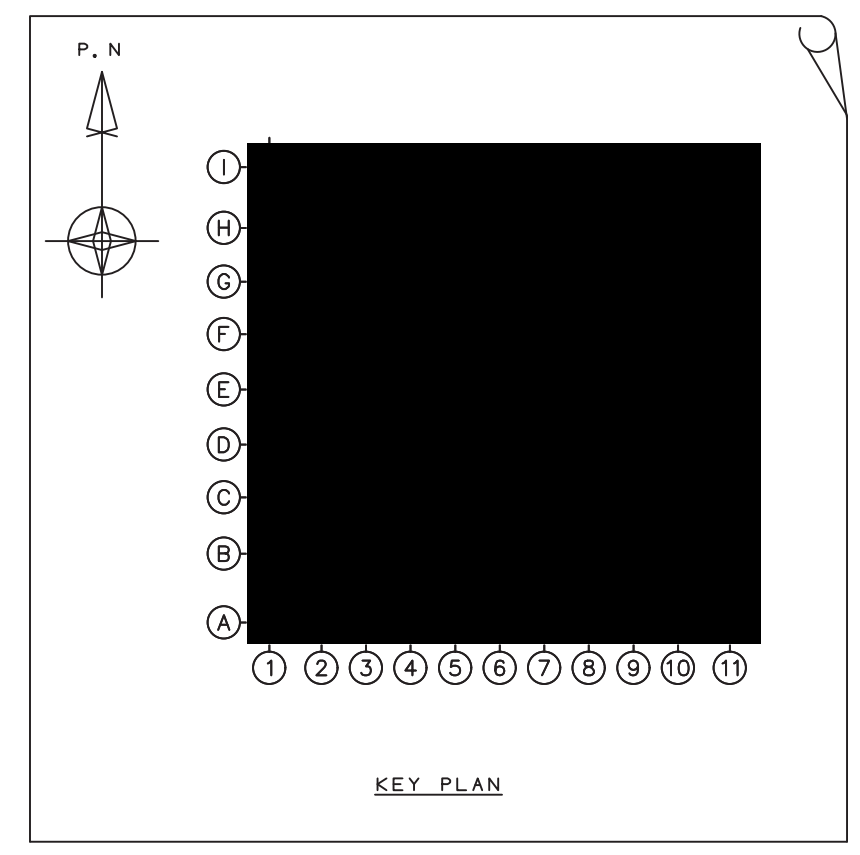
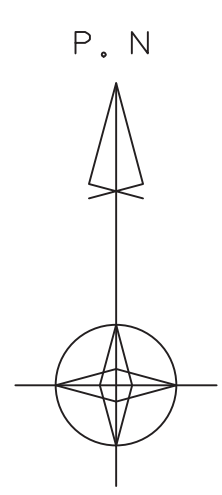


- 【凡例】**
- <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- <機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



材料	長さ	個数	重量	記事
日本原燃株式会社				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下3階 4ブロック (GB, GBN)				

■については核不拡散の観点から公開できません

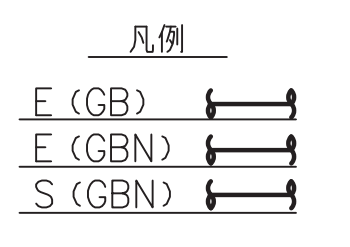


**【凡例】**

<配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)

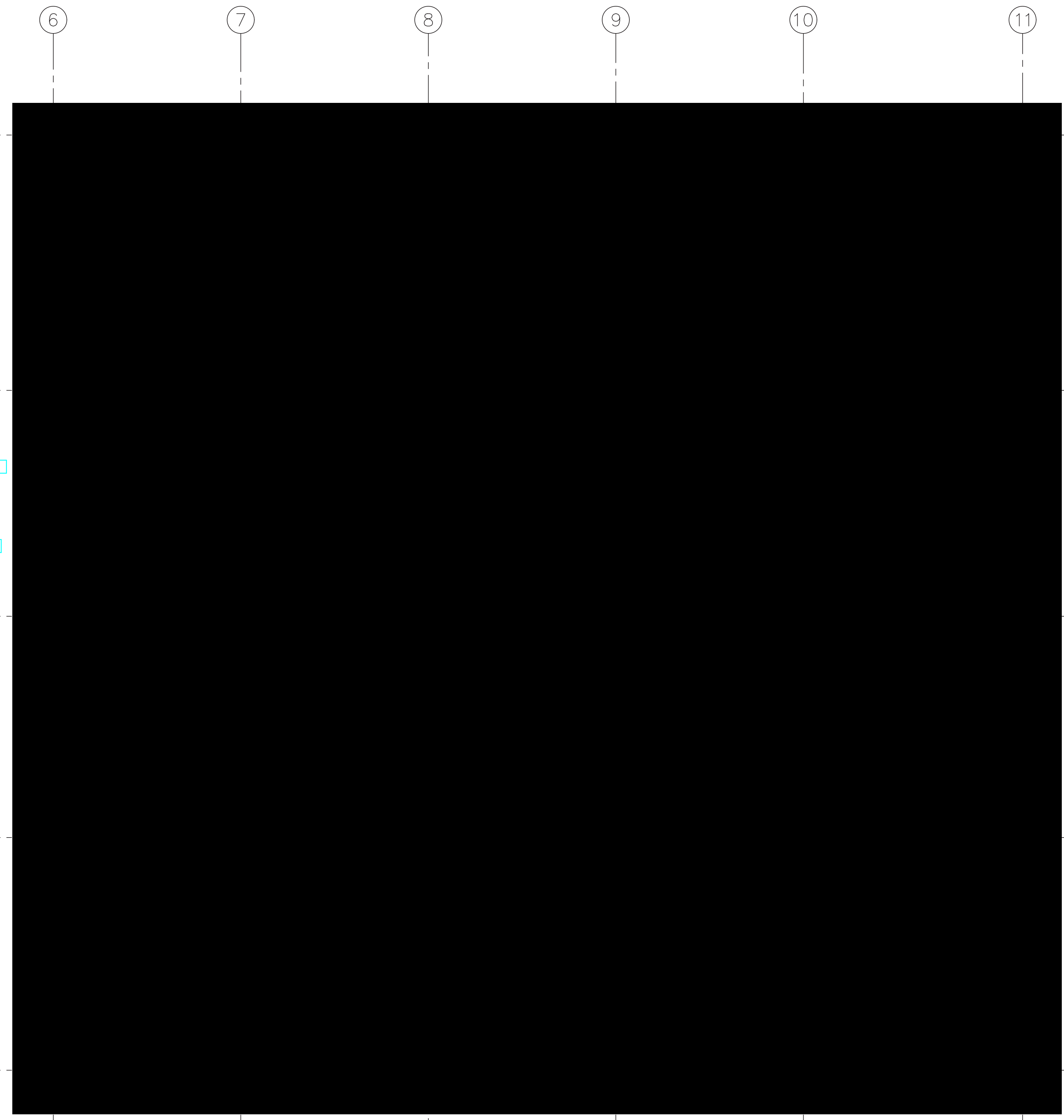
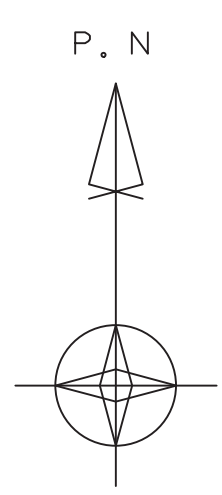
<機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

<引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

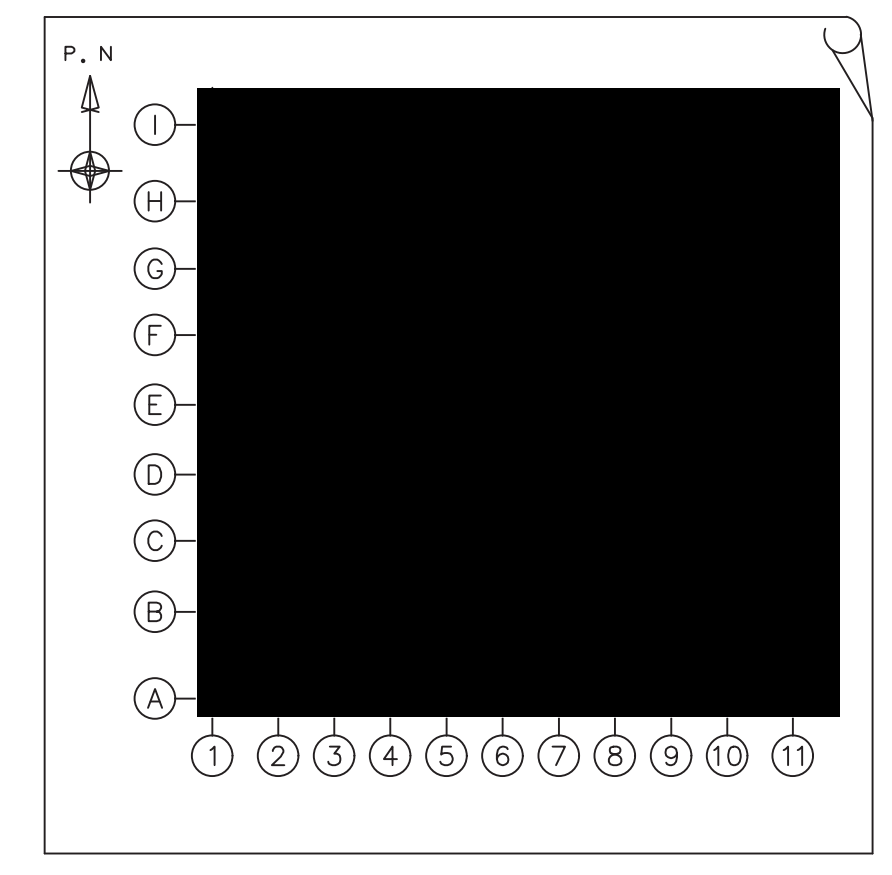


■ については核不拡散の観点から公開できません

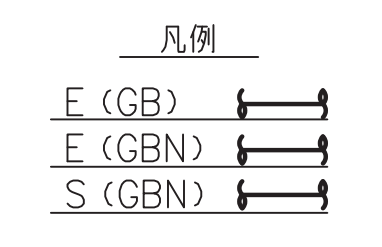
材料	種別	数量	単位	質量 (kg)	記 事
日本原燃株式会社					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 1ブロック (GB, GBN)					



耐震Bクラスに係るグローブボックス排気設備は、耐震Bクラスとなる。また、ダクトは、共振のおそれがあるため、「B-1/-」となる。(以下省略)



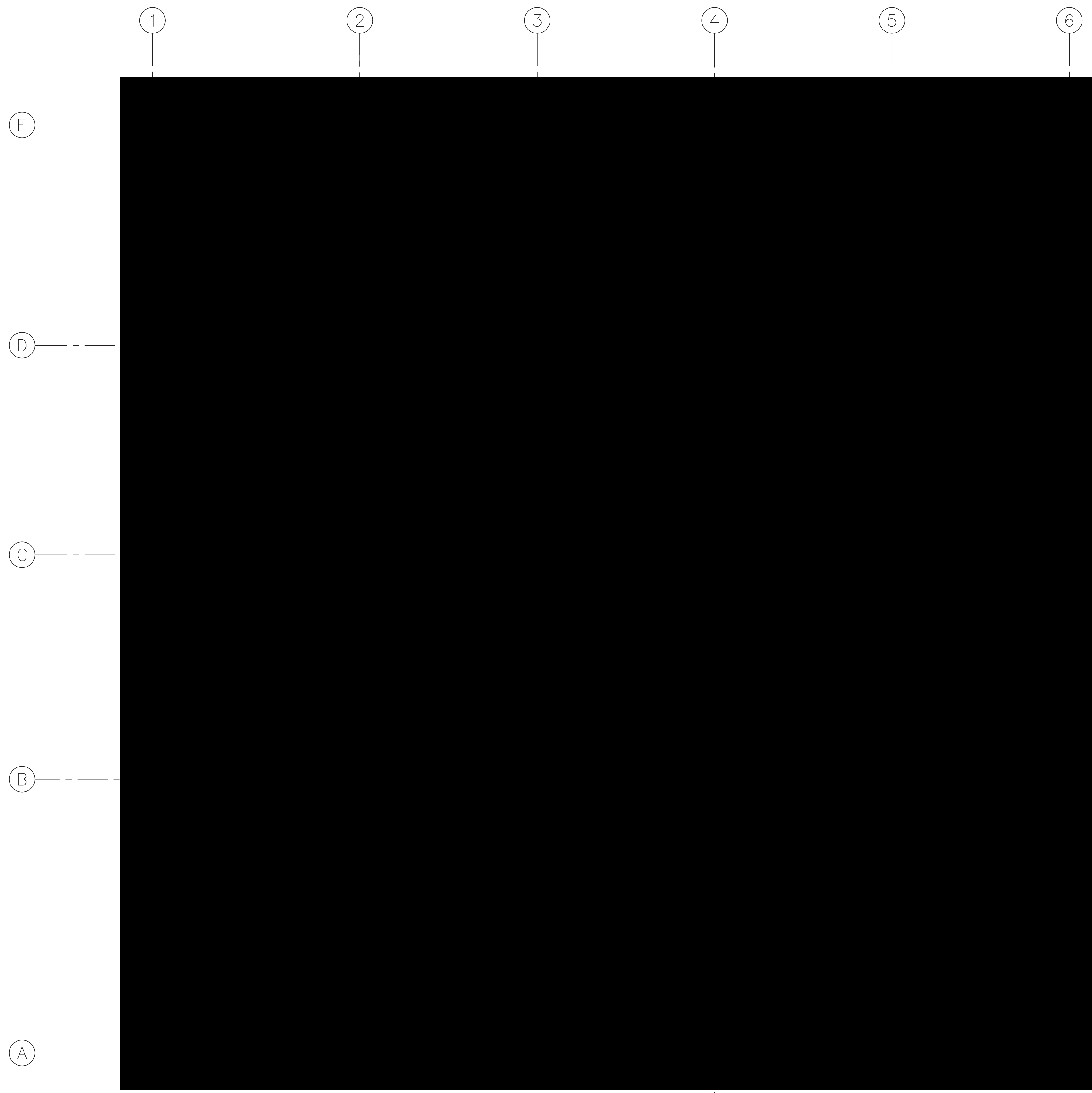
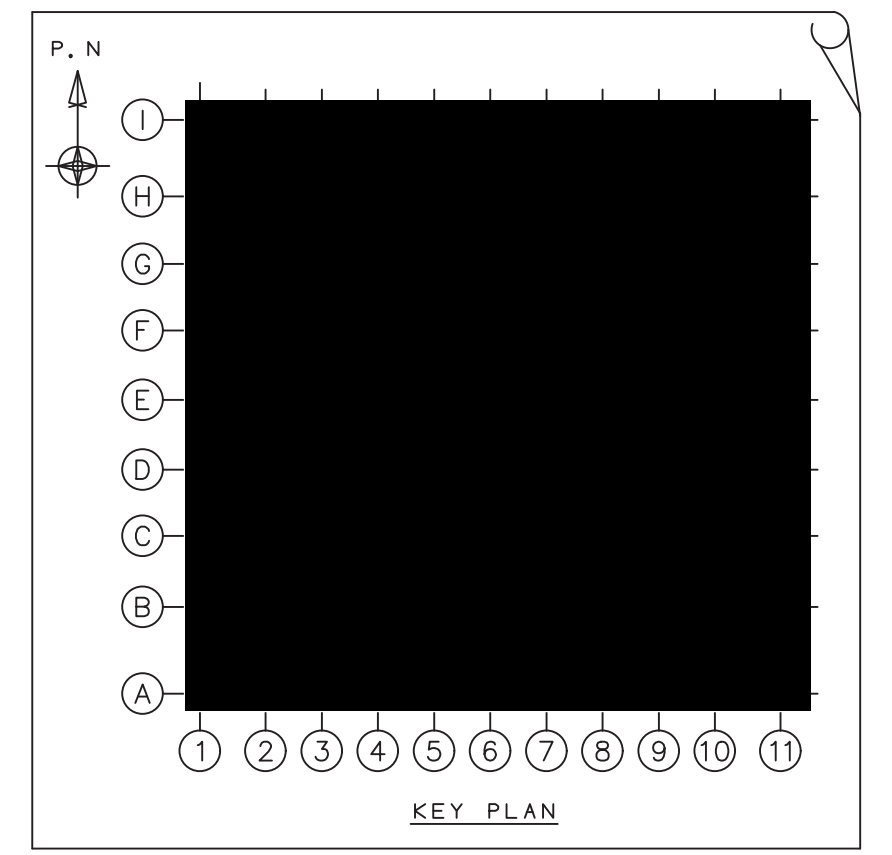
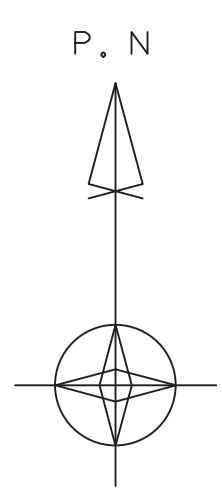
- 【凡例】**
- <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- <機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



材料	標準	寸法	単位	質量	備考
日本原燃株式会社 記					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 2ブロック (GB, GBN)					

については核不拡散の観点から公開できません



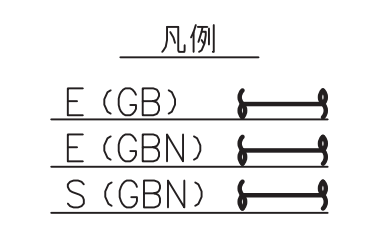


**【凡例】**

<配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)

<機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

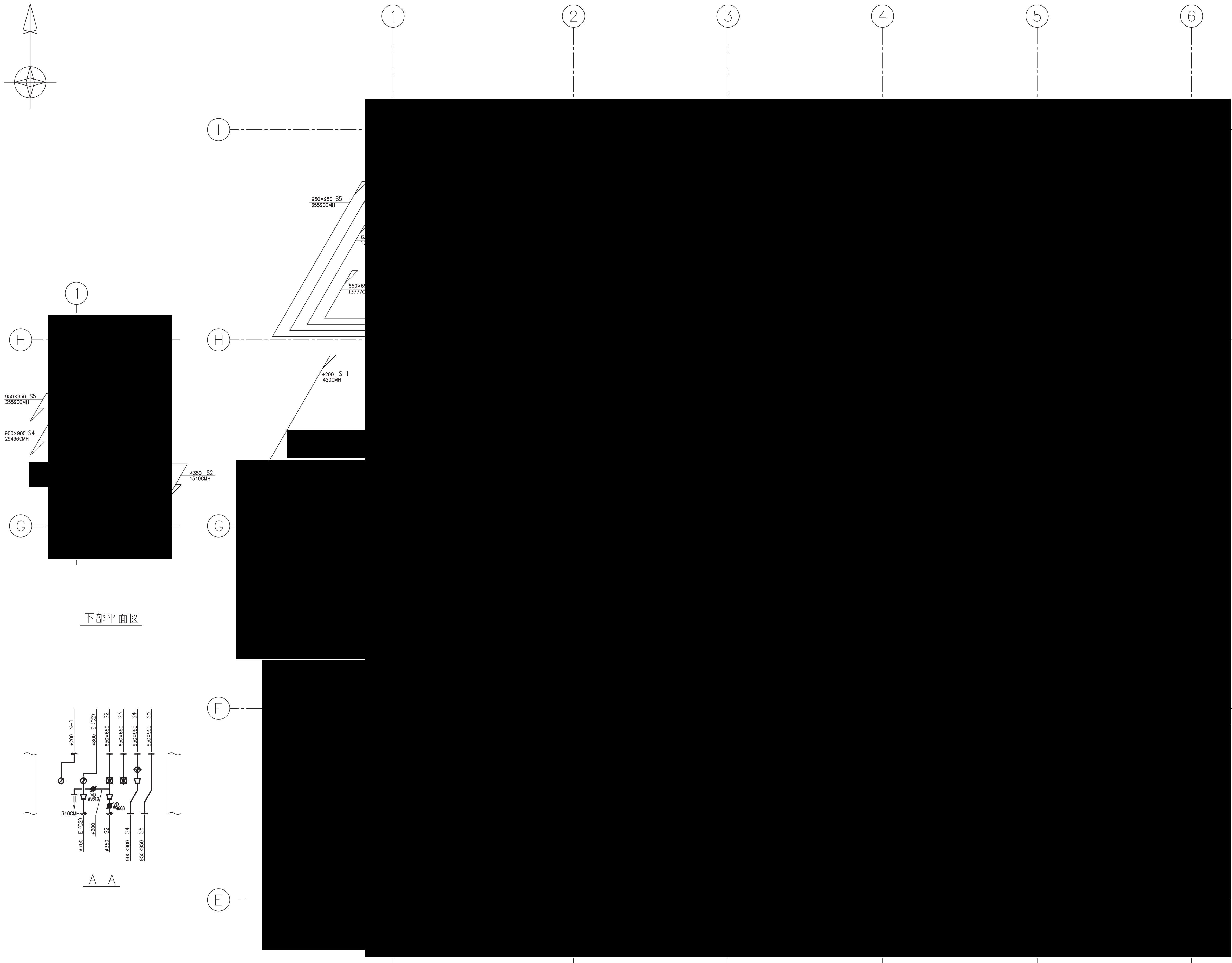
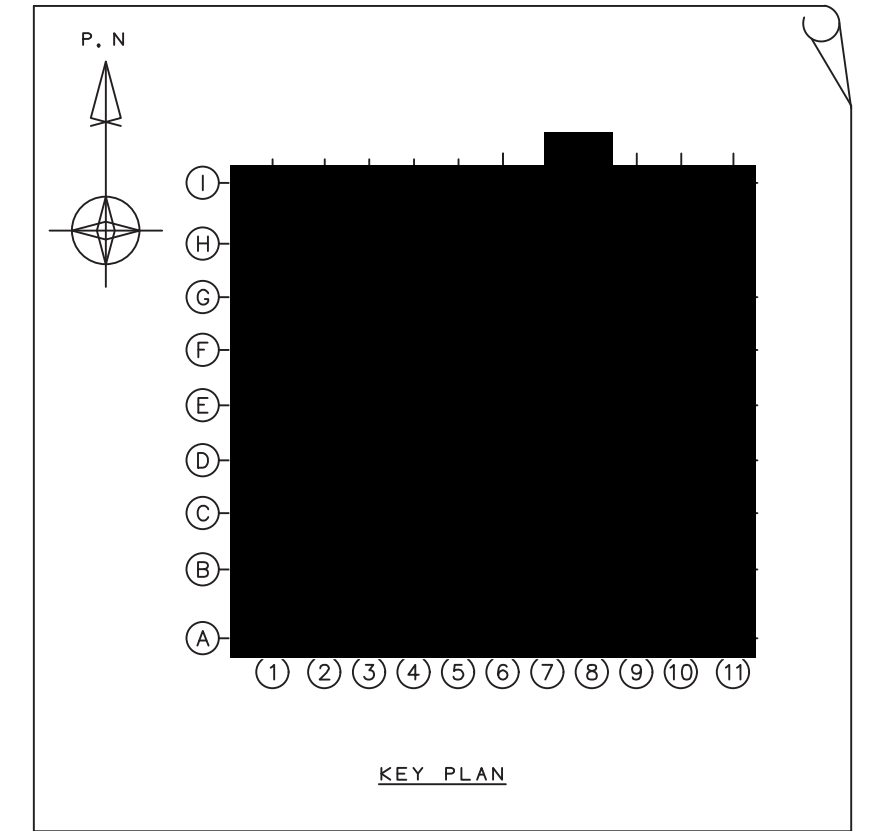
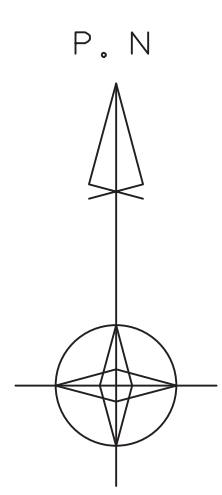
<引き出し線>  
 赤色：分枝部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



■については核不拡散の観点から公開できません

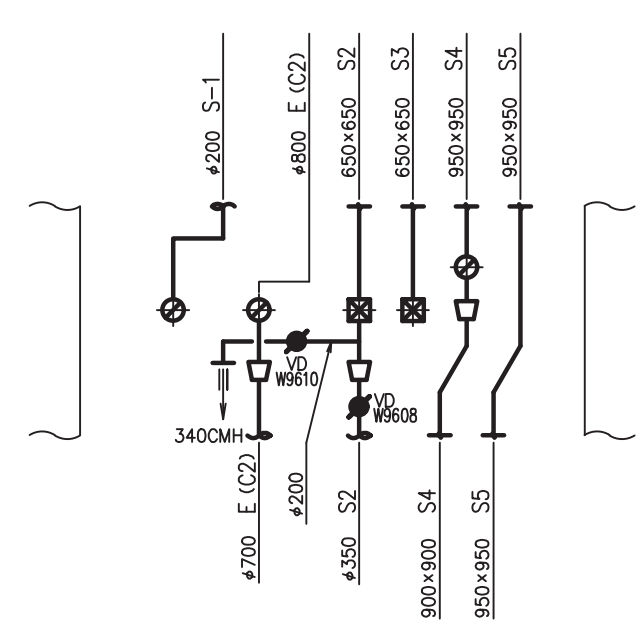
材料	規格	単位	数量	備考	記事
日本原燃株式会社					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 3ブロック (GB, GBN)					



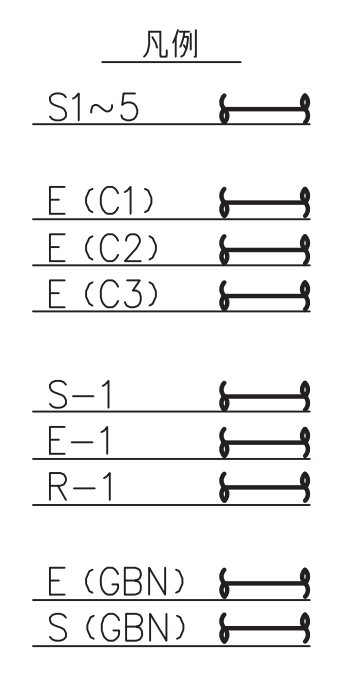


- 【凡例】**
- <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- <機器等>  
 □番号：機器等との紐付け番号 (1, 2, ……)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>  
 赤色：分岐部, 合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

下部平面図



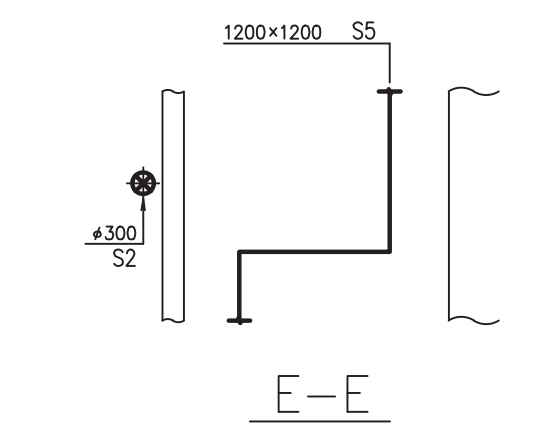
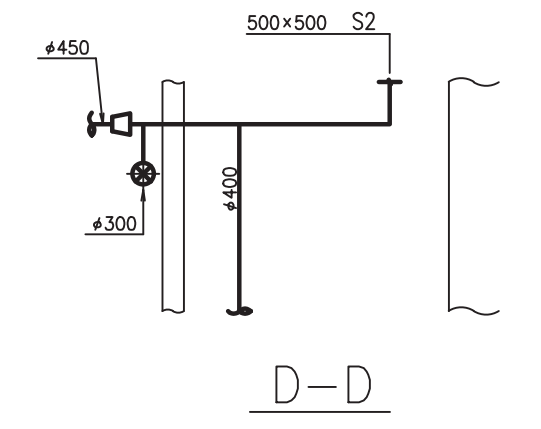
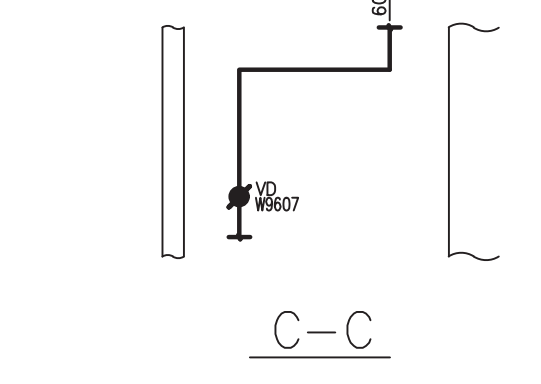
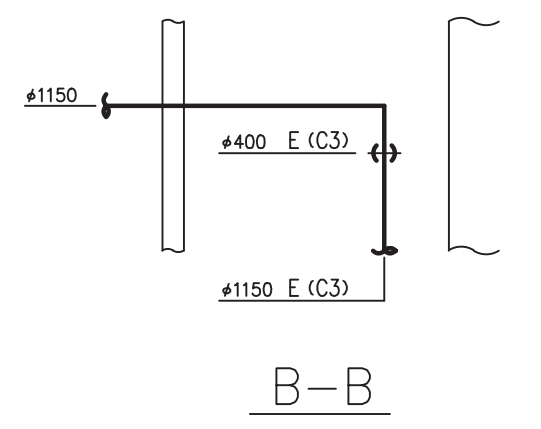
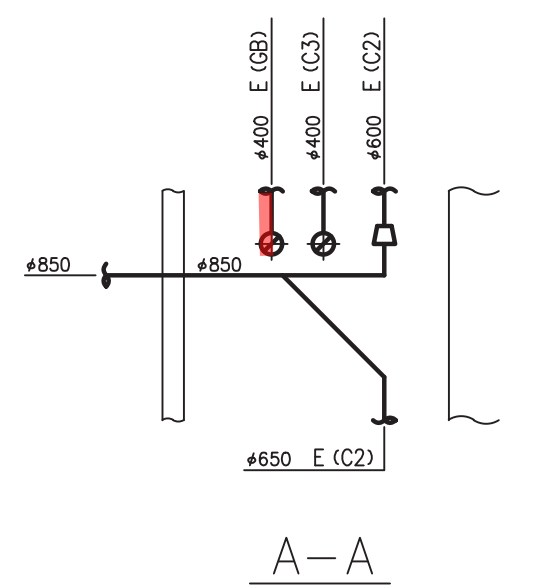
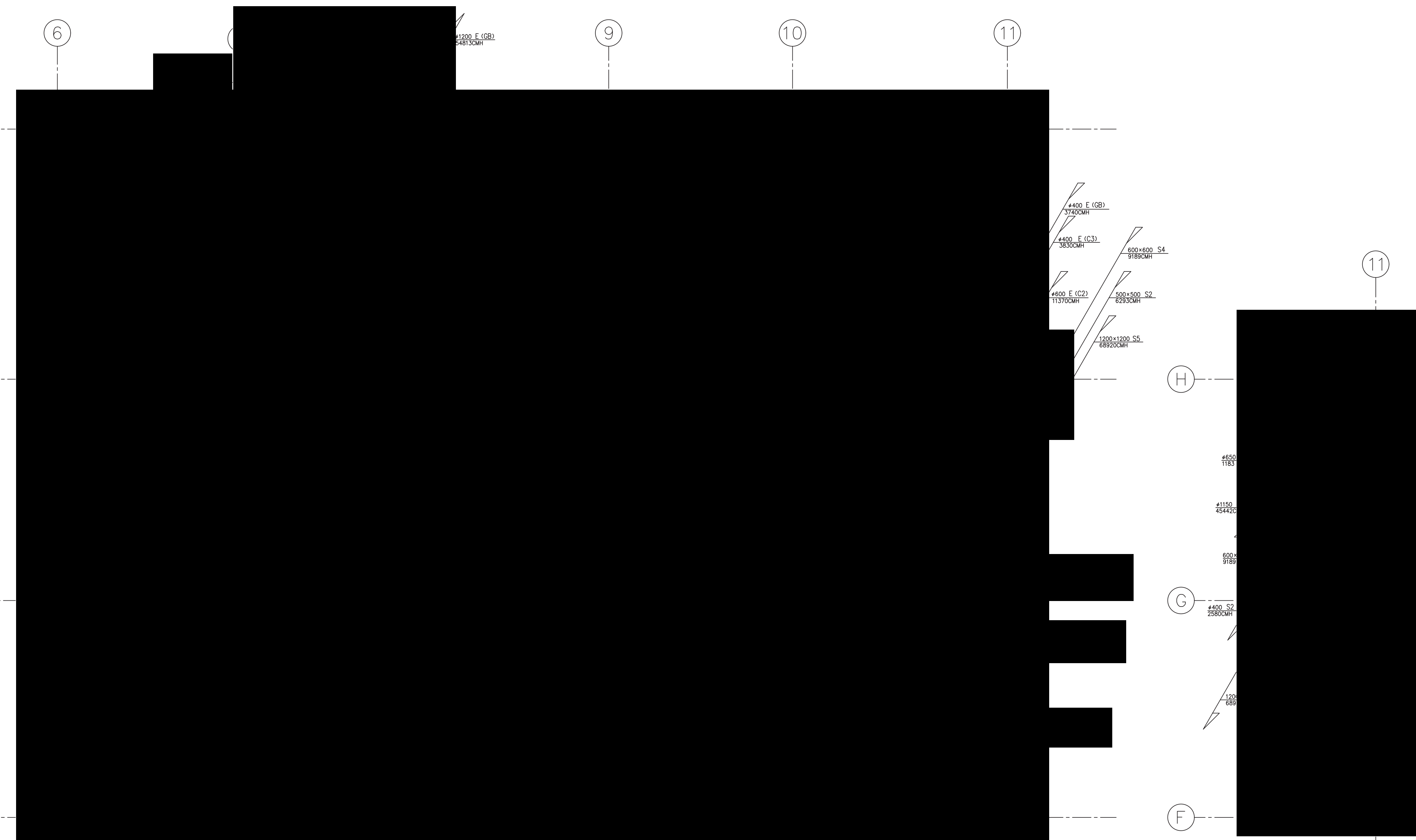
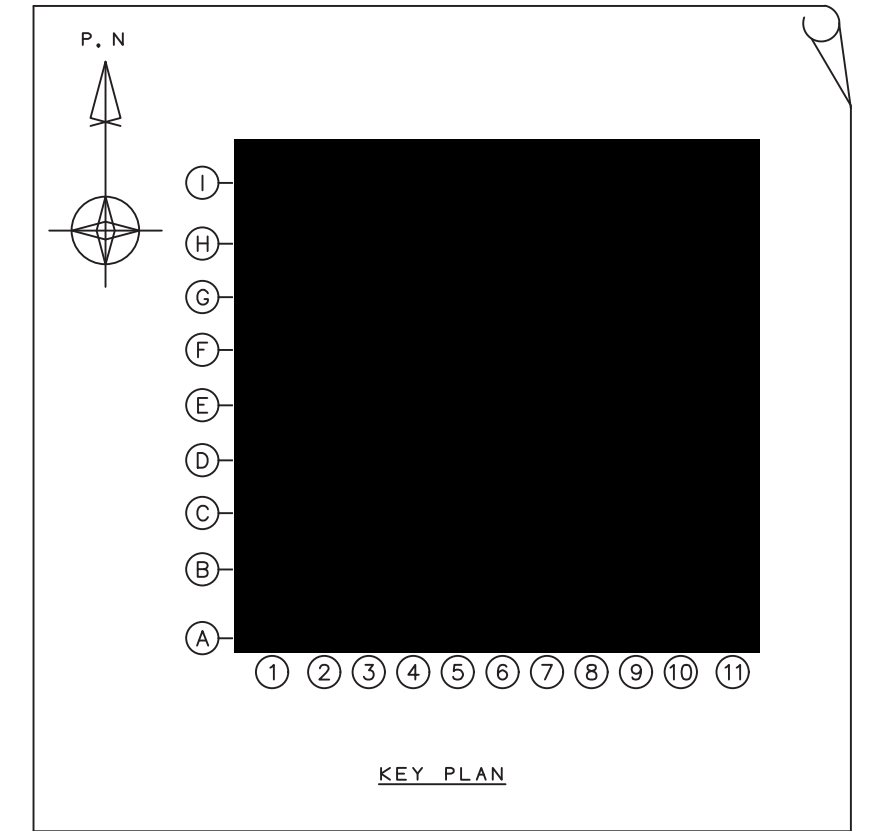
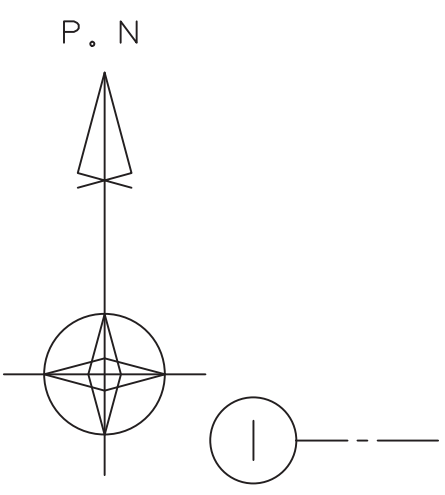
A-A



上部平面図

については核不拡散の観点から公開できません

材料	標準	単位	数量	質量 (kg)	記 事
日本原燃株式会社					
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下1階 1ブロック					



下部平面図

上部平面図

【凡例】  
 <機器等>  
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . . .)  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

<引き出し線>  
 赤色：分岐部、合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

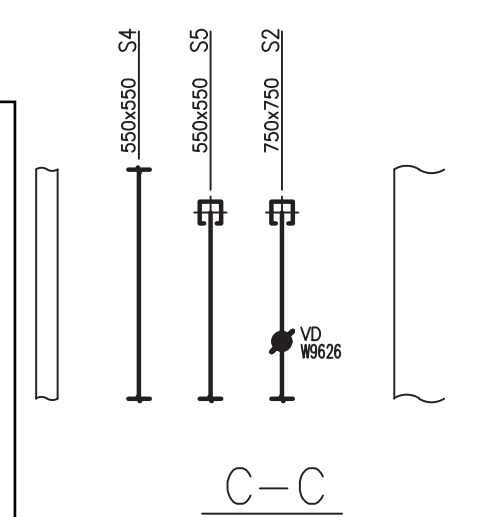
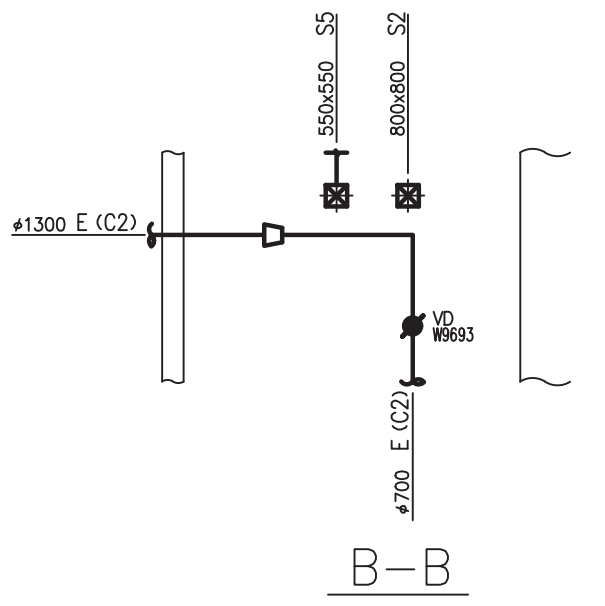
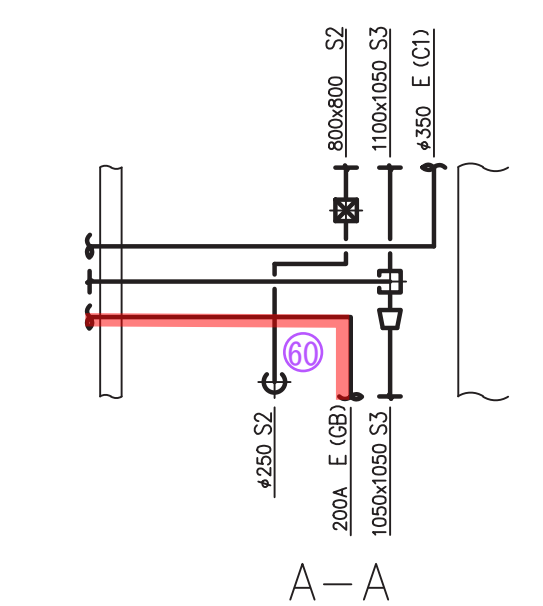
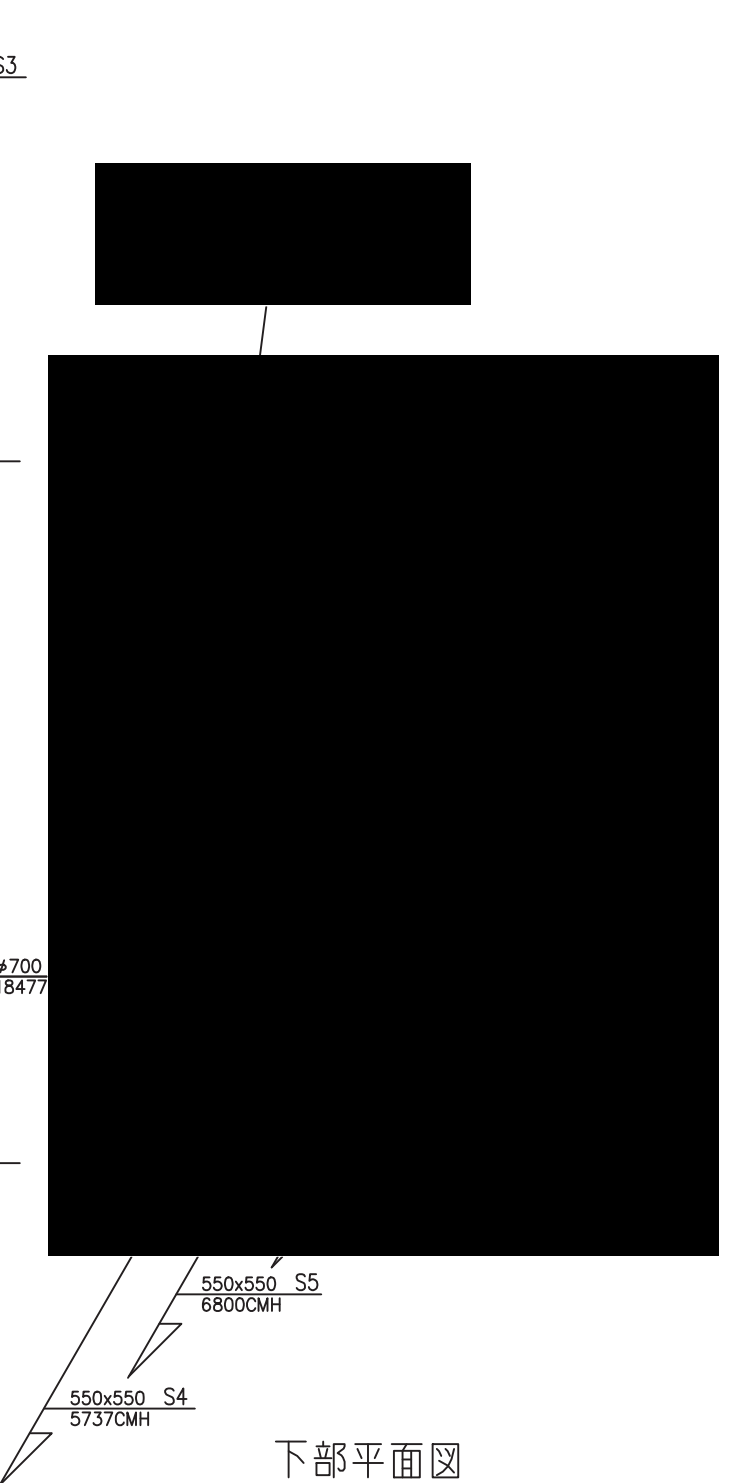
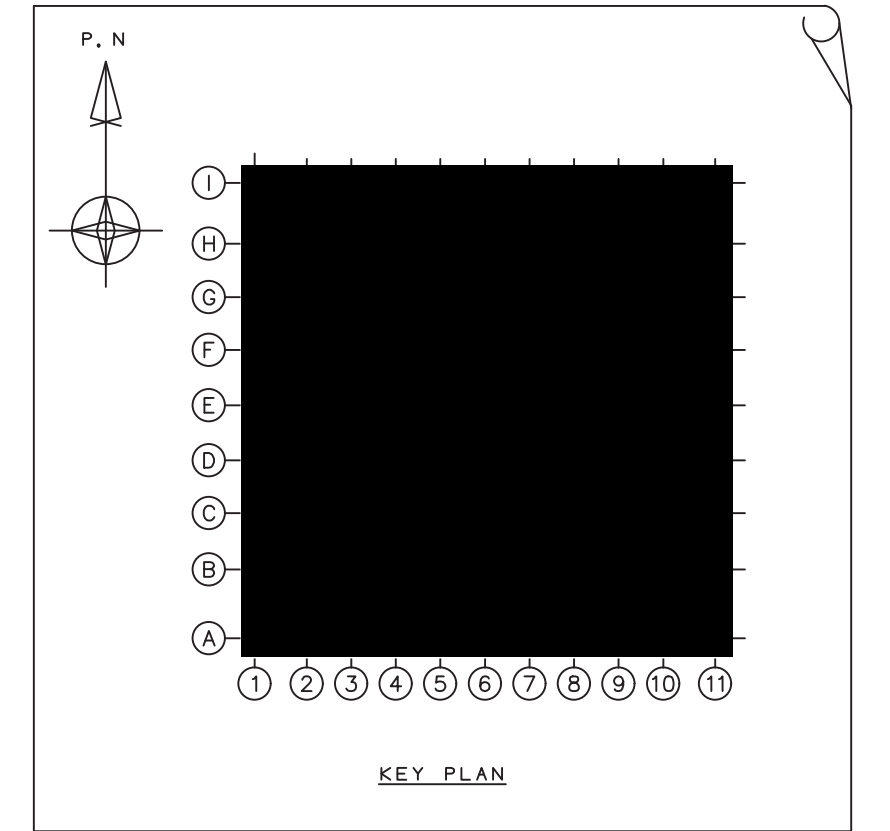
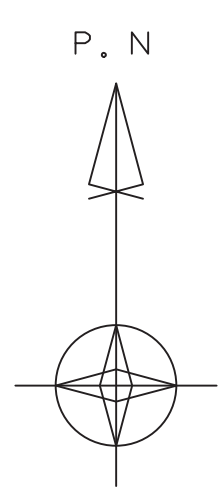
【凡例】  
 <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 ( . . . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 黄色線：重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備)  
 桃色線：重大事故等対処設備 (代替グローブボックス排気設備)  
 茶色線：重大事故等対処設備 (排気モニタリング設備)

凡例

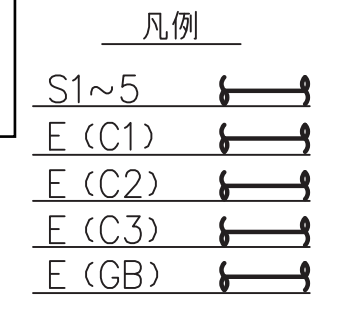
S1~5	≡≡≡
E (C1)	≡≡≡
E (C2)	≡≡≡
F (C3)	≡≡≡
E (GB)	≡≡≡

■ については核不拡散の観点から公開できません

材料	部材	単位	数量	計量	記事
					日本原燃株式会社 設
					MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)
					気体廃棄・換気空調設備 (H)
					単線ダクトルート図
					地下1階 2ブロック



- 【凡例】**
- <配管等>**  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- <機器等>**  
 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . . )  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>**  
 赤色：分岐部, 合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方



4200 E(C1)  
4250 S2

1100x1050 S3  
591800CMH  
550x550 S5  
79600CMH  
4350 E(C1)  
31500CMH  
550x550 S4  
57370CMH  
700  
18477  
550x550 S5  
68000CMH  
550x550 S4  
57370CMH

800x800 S2  
1100x1050 S3  
4350 E(C1)  
4250 S2  
200A E(GB)  
1050x1050 S3

550x550 S5  
800x800 S2  
41300 E(C2)  
VD W693  
4700 E(C2)

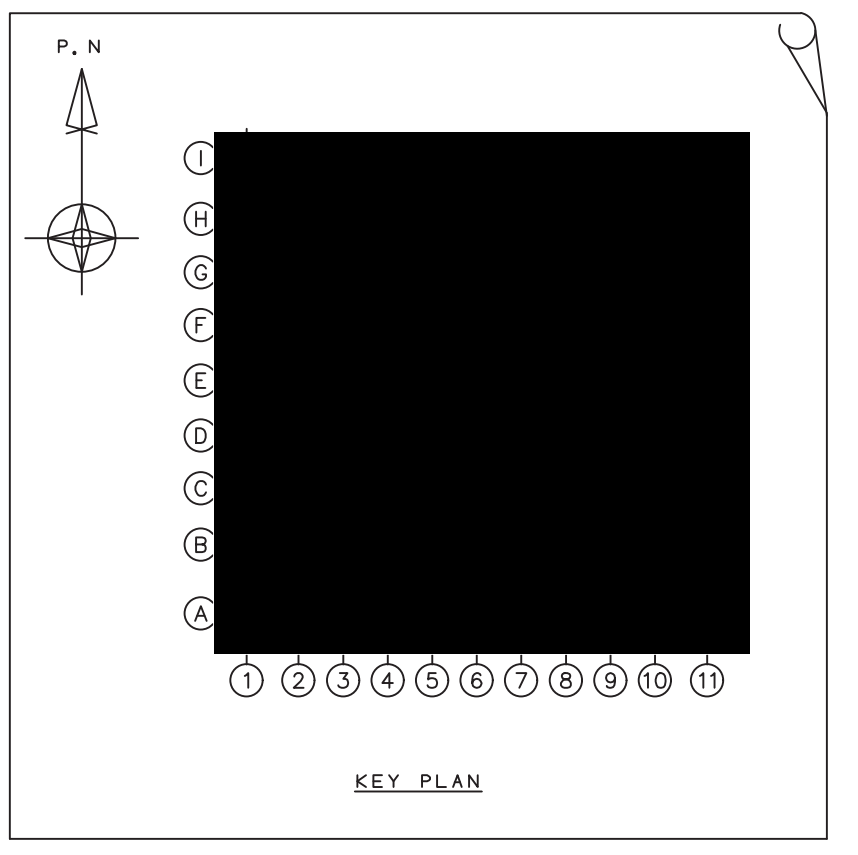
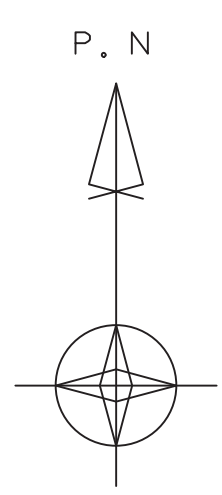
550x550 S4  
550x550 S5  
750x750 S2  
VD W693

850x950 S3  
37260CMH

上部平面図

については核不拡散の観点から公開できません

材料	標準	予備	単位	数量	備考
日本原燃株式会社					
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下1階 4ブロック					



■ については核不拡散の観点から公開できません



最上部平面図

A - A

B - B

C - C

【凡例】  
 <機器等>  
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ...) )  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

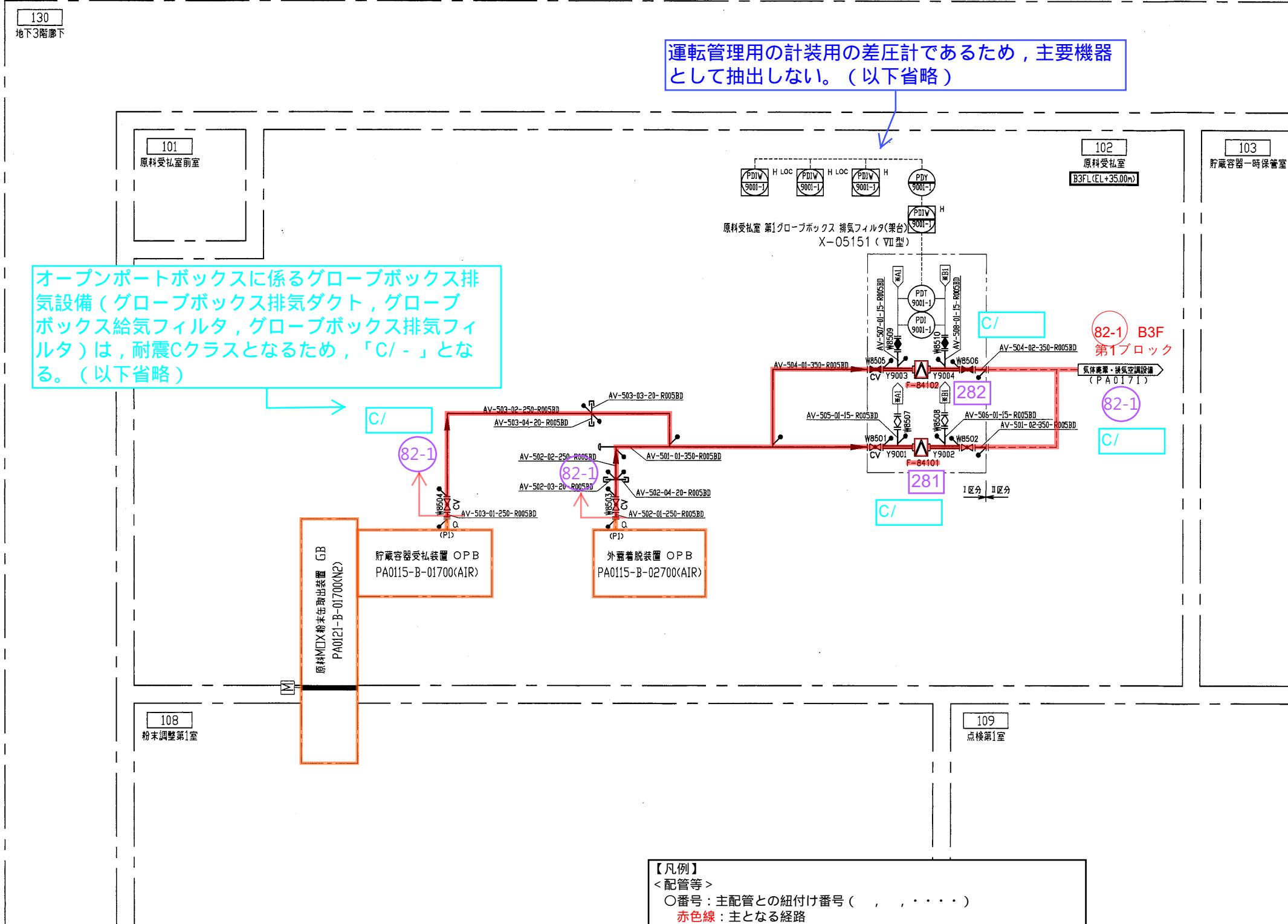
<引き出し線>  
 赤色：分岐部, 合流部等  
 桃色：主流路とする考え方の補足  
 青色：主流路としない考え方の補足  
 水色：耐震設計の考え方

凡例

S1~5	┌──┐
S-1~3	┌──┐
E-1,4,5	┌──┐
R-1	┌──┐
LCS	┌──┐
E (C2)	┌──┐
E (C3)	┌──┐
E (GB)	┌──┐
E	┌──┐

【凡例】  
 <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号 ( , , ... ) )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)

材料	種別	数量	単位	設計	記事
					日本原燃株式会社 設
					MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)
					気体廃棄・換気空調設備 (H)
					単線ダクトルート図
					地上1階 2ブロック



運転管理用の計装用の差圧計であるため、主要機器として抽出しない。(以下省略)

オープンポートボックスに係るグローブボックス排気設備(グローブボックス排気ダクト, グローブボックス給気フィルタ, グローブボックス排気フィルタ)は、耐震Cクラスとなるため、「C/-」となる。(以下省略)

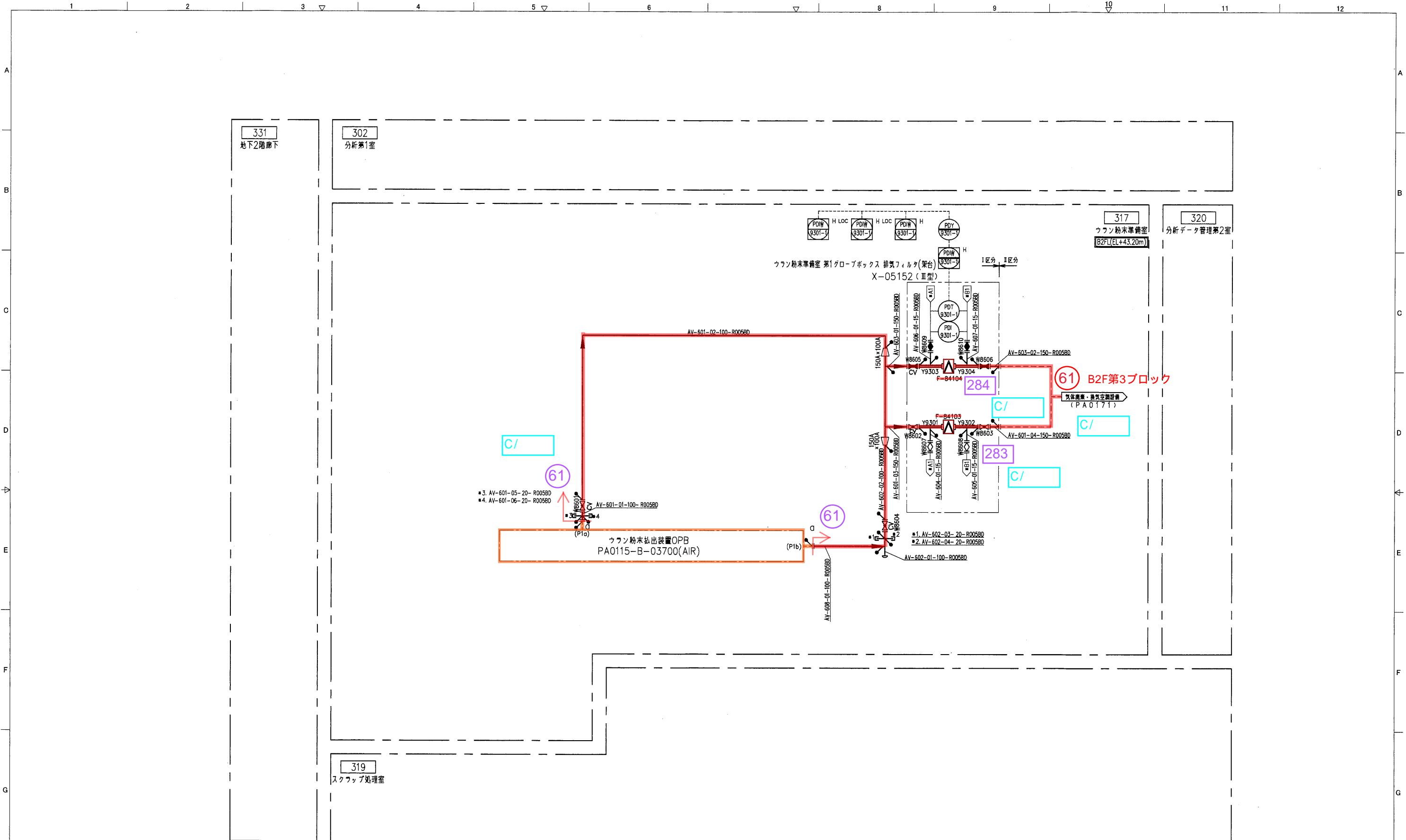
- 【凡例】
- <配管等>
- 番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . .)
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線：グローブボックス
- <機器等>
- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . .)
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ
- <引き出し線>
- 赤色：分岐部, 合流部等
  - 青色：主流路としない考え方の補足

特記事項  
 a: 原料粉末受払設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD)(原料MOX系) PF-0115-4122-001(NR205675)  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0110であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図書番号	PF-0110-4421-001	改訂	⑥
----------	---	------------	------------------	----	---

尺 寸	N.T.S	名	日本原燃株式会社 MOX燃料工場 原料粉末受入工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD)	エンジニアリングフローダイヤグラム PA0110-2/3
--------	-------	---	--	---------------------------------





特記事項

α: 原料粉末受払設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD)(原料ウラン系) PF-0115-4122-101(NR205677)

注記) 1.本セットの系統番号は全てPA0110であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

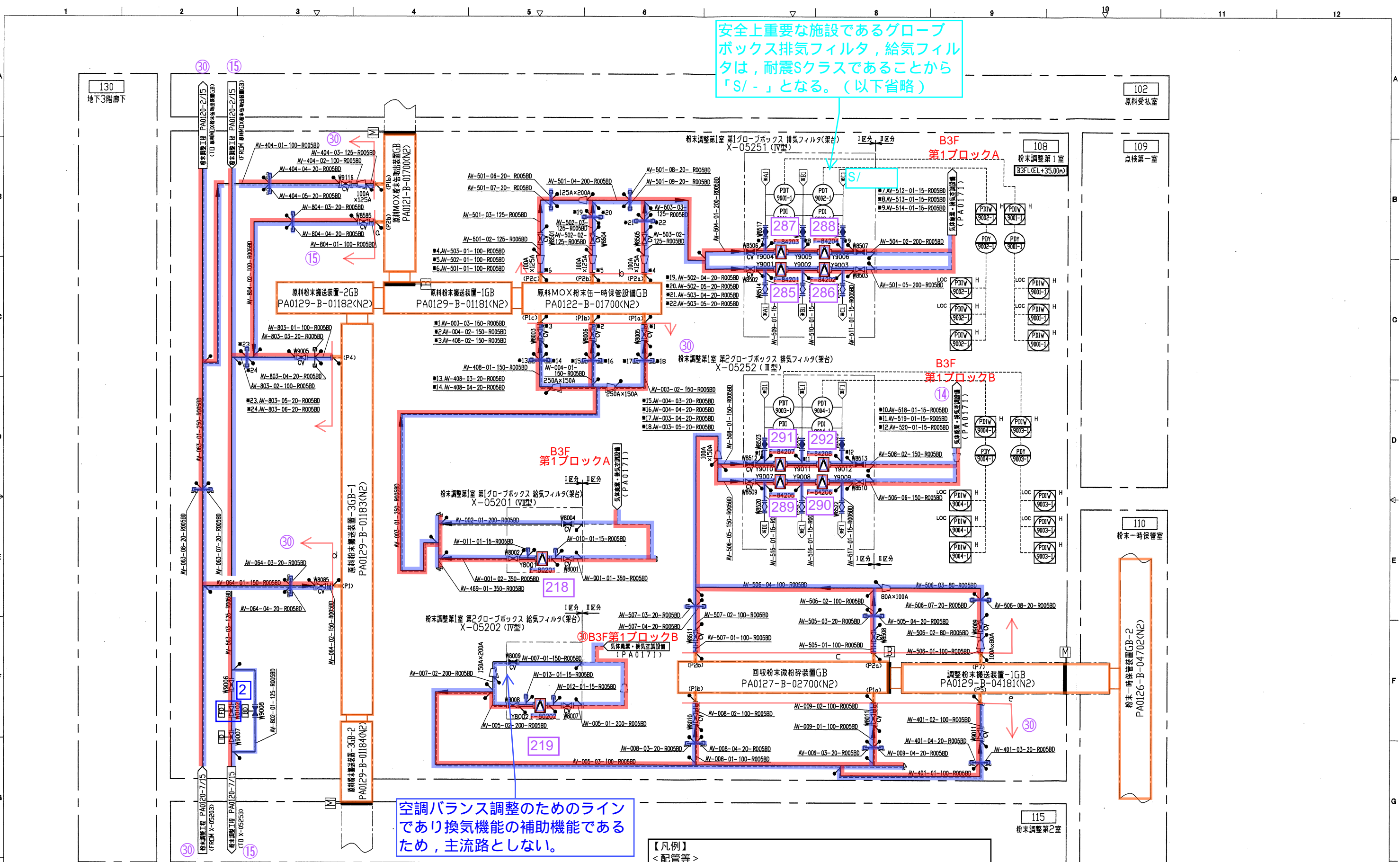
- 【凡例】
- < 配管等 >
- 番号: 主配管との紐付け番号 ( , , . . . )
  - 赤色線: 主となる経路
  - 青色線: 安全上重要な施設
  - 緑色線: 重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線: グローブボックス
- < 機器等 >
- 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . )
  - 紫色線: グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線: 延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計 区分	P	客先 図書番号	PF-0110-4421-001	改訂	⑥
----------	---	------------	------------------	----	---

尺 寸	N.T.S	名 称	日本原燃株式会社 燃料工場 原料粉末受入工程 グローブボックス排気システム エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)	エンジニアリングフローダイヤグラム PA0110-3/3
--------	-------	--------	---	---------------------------------







安全上重要な施設であるグローブボックス排気フィルタ，給気フィルタは，耐震Sクラスであることから「S/-」となる。(以下省略)

空調バランス調整のためのラインであり換気機能の補助機能であるため，主流路としない。

特記事項

- a: 原料MOX粉末缶取出装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
- b: 原料MOX粉末缶一時保管設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
- c: 回収粉末微粉砕装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
- d: 原料粉末搬送装置-1,2,3 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
- e: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)

注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり，配管番号，弁番号等の系統番号は省略する。

- PF-0121-4122-001
- PF-0122-4122-001
- PF-0127-4122-201
- PF-0129-4122-101
- PF-0129-4122-401

【凡例】

<配管等>

- 番号：主配管との紐付け番号( , , . . . )
- 赤色線：主となる経路
- 青色線：安全上重要な施設
- 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- オレンジ線：グローブボックス

<機器等>

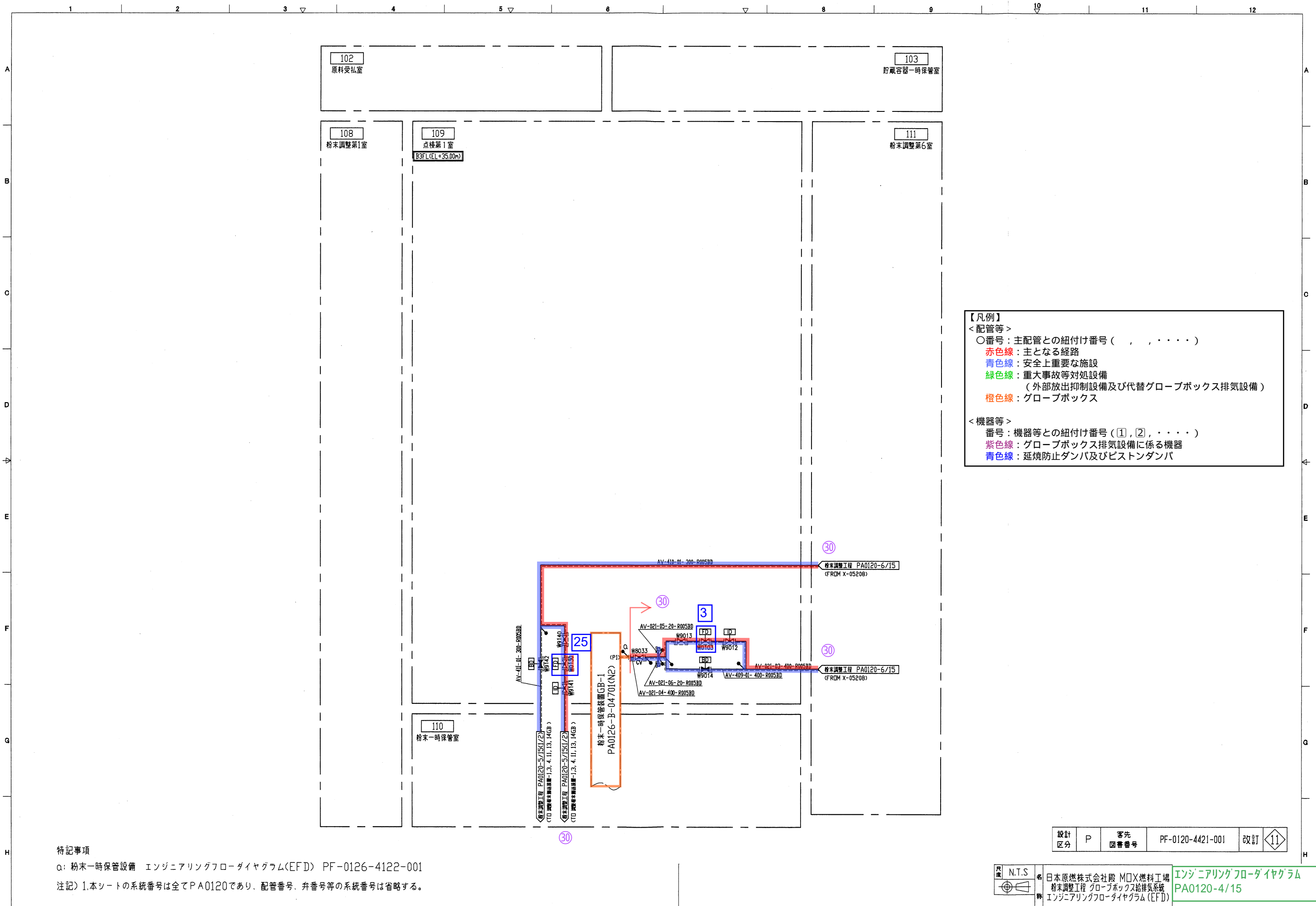
- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . )
- 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計区分	P	客先図書番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
------	---	--------	------------------	----	----

尺 N.T.S

日本原燃株式会社 燃料工場 粉末調整工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)

エンジニアリングフローダイアグラム PA0120-3/15



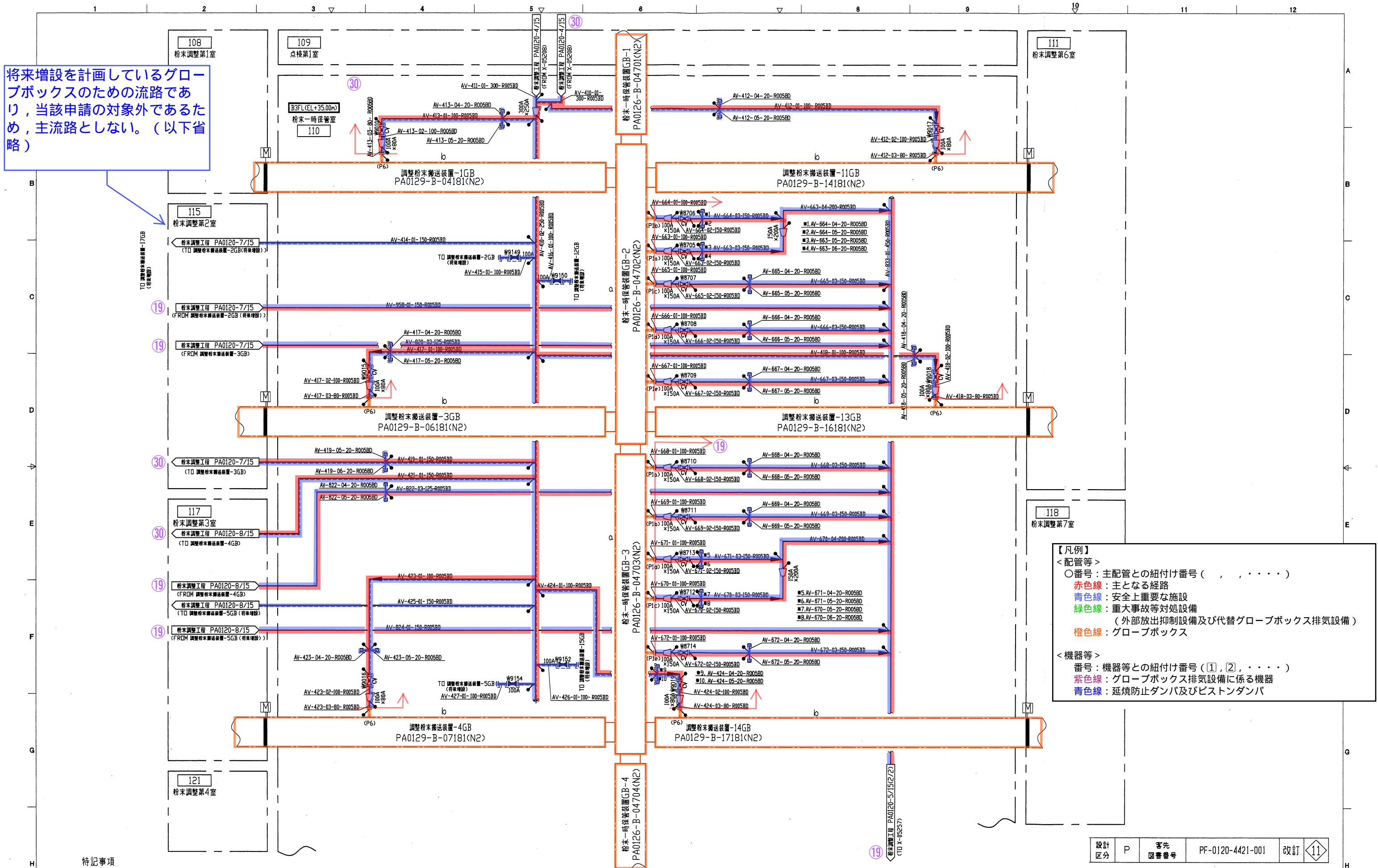
- 【凡例】**
- <配管等>
- 番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . .)
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線：グローブボックス
- <機器等>
- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . .)
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 α: 粉末一時保管設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0126-4122-001  
 注記) 1.本ソートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0120-4421-001	改訂	⑪
----------	---	------------	------------------	----	---

尺 寸	N.T.S	名 称	日本原燃株式会社 燃料工場 粉末調整工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD)	エンジニアリングフローダイヤグラム PA0120-4/15
--------	-------	--------	---	----------------------------------

将来増設を計画しているグローブボックスのための流路であり、当該申請の対象外であるため、主流路としない。(以下省略)



**【凡例】**

**< 配管等 >**

- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , . . . )
- 赤色線：主となる経路
- 青色線：安全上重要な施設
- 緑色線：重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- 橙色線：グローブボックス

**< 機器等 >**

- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . )
- 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項

a: 粉末一時保管設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0126-4122-001

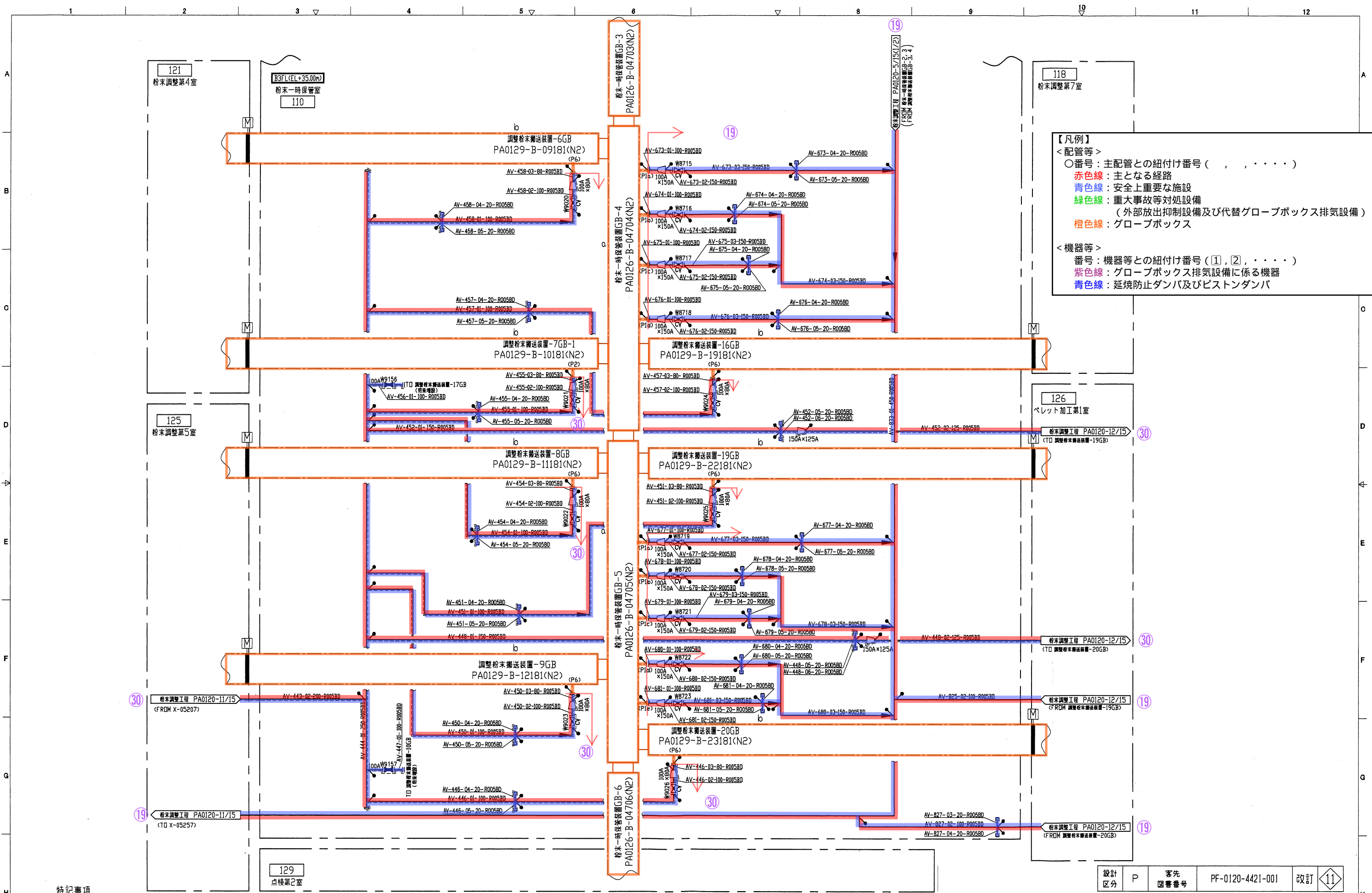
b: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0129-4122-401

注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
----------	---	------------	------------------	----	----

N.T.S.  
 名 日本原燃株式会社 燃料工場  
 粉未調整工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)  
 エンジニアリングフローダイヤグラム  
 PA0120-5/15(1/2)





**【凡例】**

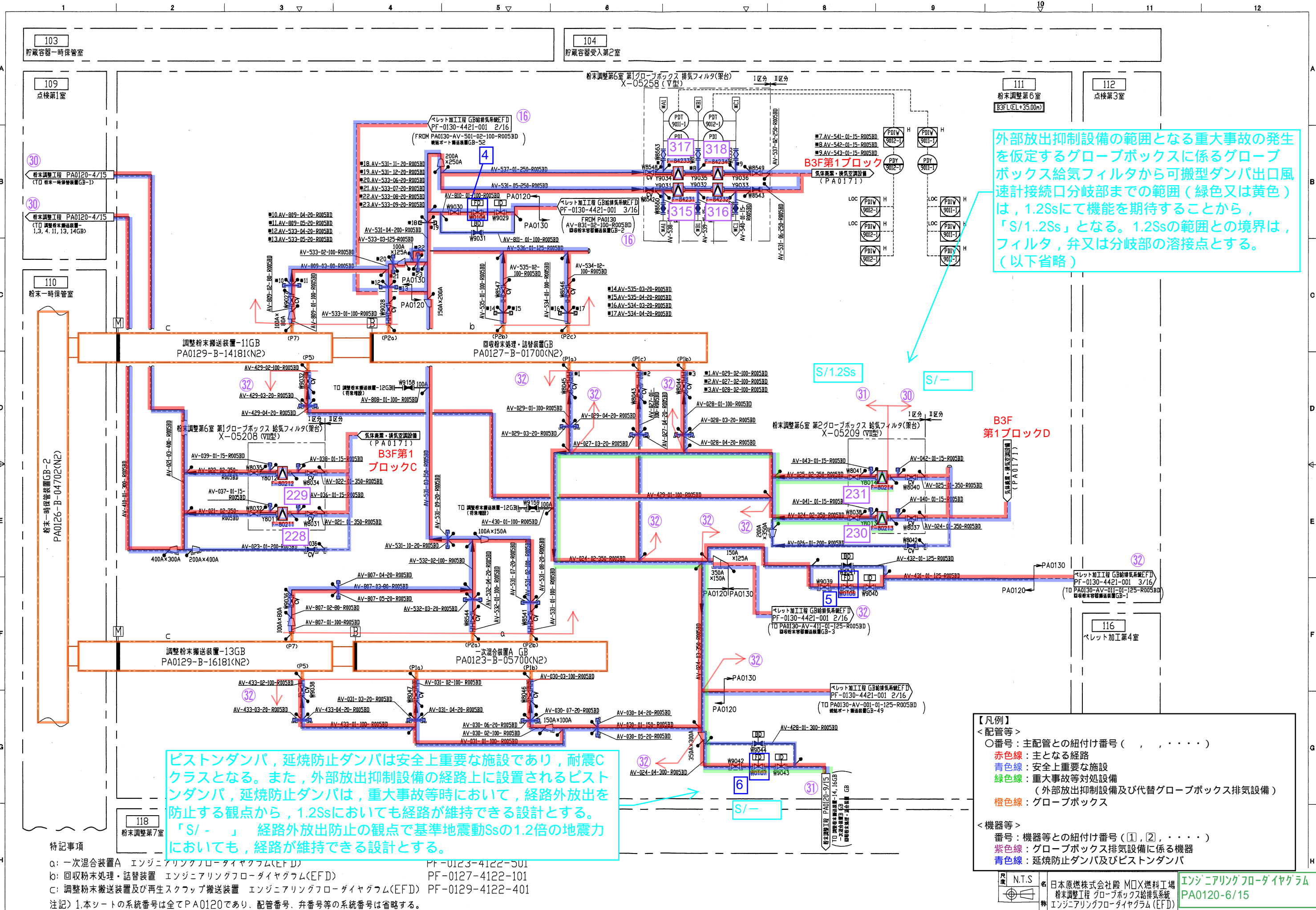
**<配管等>**  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローボックス排気設備)  
 橙色線：グローボックス

**<機器等>**  
 番号：機器等との紐付け番号( ①, ②, . . . . . )  
 紫色線：グローボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 a: 粉末一時保管設備 エンジニアリングフロアダイアグラム(EFD) PF-0126-4122-001  
 b: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフロアダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-401  
 注記) 1,本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計区分	P	客先図書番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
------	---	--------	------------------	----	----

尺 N.T.S. 名 日本原燃株式会社 燃料工場 粉末調整工程 グローボックス給排気系統 エンジニアリングフロアダイアグラム(EFD) 図 11



外部放出抑制設備の範囲となる重大事故の発生を仮定するグローブボックスに係るグローブボックス給気フィルタから可搬型ダンパ出口風速計接続口分岐部までの範囲（緑色又は黄色）は、1.2Ssにて機能を期待することから、「S/1.2Ss」となる。1.2Ssの範囲との境界は、フィルタ、弁又は分岐部の溶接点とする。（以下省略）

ピストンダンパ、延焼防止ダンパは安全上重要な施設であり、耐震Cクラスとなる。また、外部放出抑制設備の経路上に設置されるピストンダンパ、延焼防止ダンパは、重大事故等時において、経路外放出を防止する観点から、1.2Ssにおいても経路が維持できる設計とする。「S/-」経路外放出防止の観点で基準地震動Ssの1.2倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。

- 【凡例】**
- <配管等>
- 番号：主配管との紐付け番号（ , , . . . . .）
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備）
  - オレンジ線：グローブボックス
- <機器等>
- 番号：機器等との紐付け番号（①, ②, . . . . .）
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項

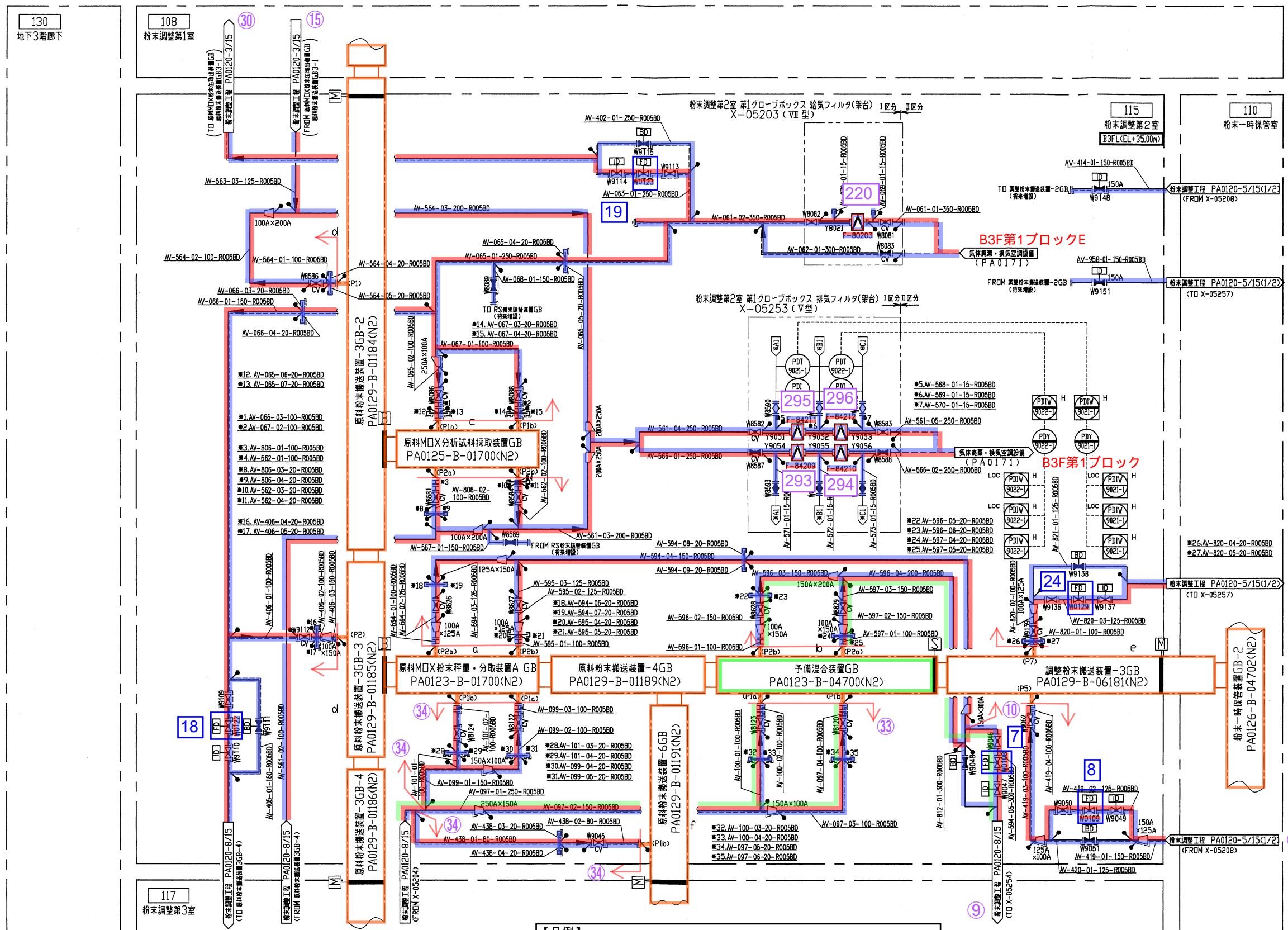
a: 一次混合装置A エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0123-4122-501  
 b: 回収粉末処理・詰替装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0127-4122-101  
 c: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0129-4122-401

注記) 1.本サイトの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

日本原燃株式会社 燃料工場 MOX燃料工場  
 粉末調整工程 グローブボックス給気系統  
 エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)

エンジニアリングフローダイヤグラム  
 PA0120-6/15





- 特記事項
- a: 原料MIX粉末秤量・分取装置A エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
  - b: 予備混合装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
  - c: 原料MIX分析試料採取装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
  - d: 原料粉末搬送装置-1,2,3 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
  - e: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
  - f: 原料粉末搬送装置-4,5,6 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)
- 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。
- PF-0123-4122-101
  - PF-0123-4122-401
  - PF-0125-4122-101
  - PF-0129-4122-101
  - PF-0129-4122-401
  - PF-0129-4122-201

【凡例】

< 配管等 >

- 番号：主配管との紐付け番号( , . . . . . )
- 赤色線：主となる経路
- 青色線：安全上重要な施設
- 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- 橙色線：グローブボックス

< 機器等 >

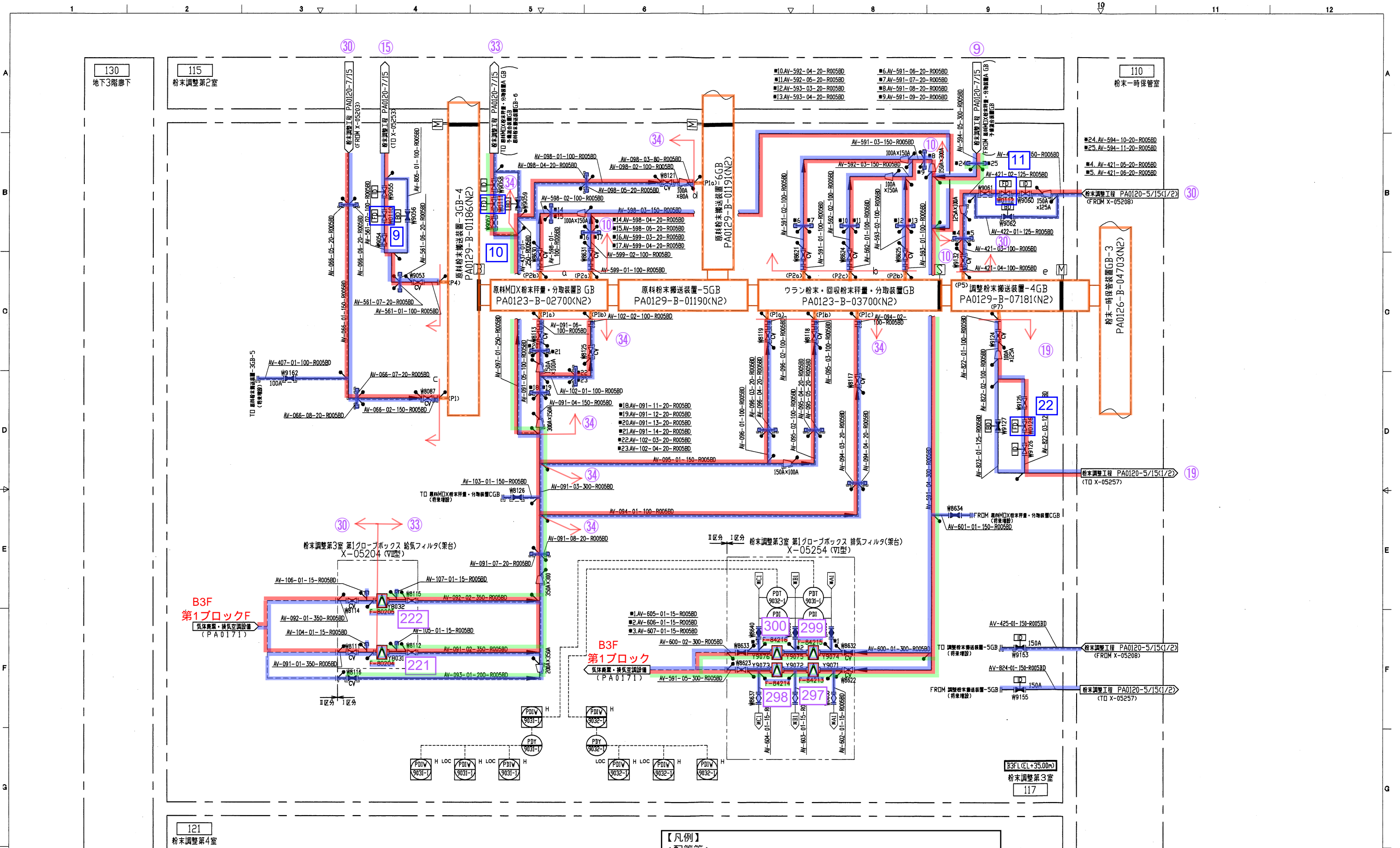
- 番号：機器等との紐付け番号( [1], [2], . . . . . )
- 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計	P	客先	PF-0120-4421-001	改訂	11
区分		図番			

系統番号：PA0120

設計者：N.T.S. 名：日本原燃株式会社 燃料工場 調整工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)

図番：PA0120-7/15



特記事項

- a: 原料MIX粉末秤量・分取装置B エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0123-4122-201
  - b: ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0123-4122-301
  - c: 原料粉末搬送装置-1,2,3 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-101
  - d: 原料粉末搬送装置-4,5,6 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-201
  - e: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-401
- 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

**【凡例】**

< 配管等 >

- 番号: 主配管との紐付け番号 ( , . . . )
- 赤色線: 主となる経路
- 青色線: 安全上重要な施設
- 緑色線: 重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- オレンジ線: グローブボックス

< 機器等 >

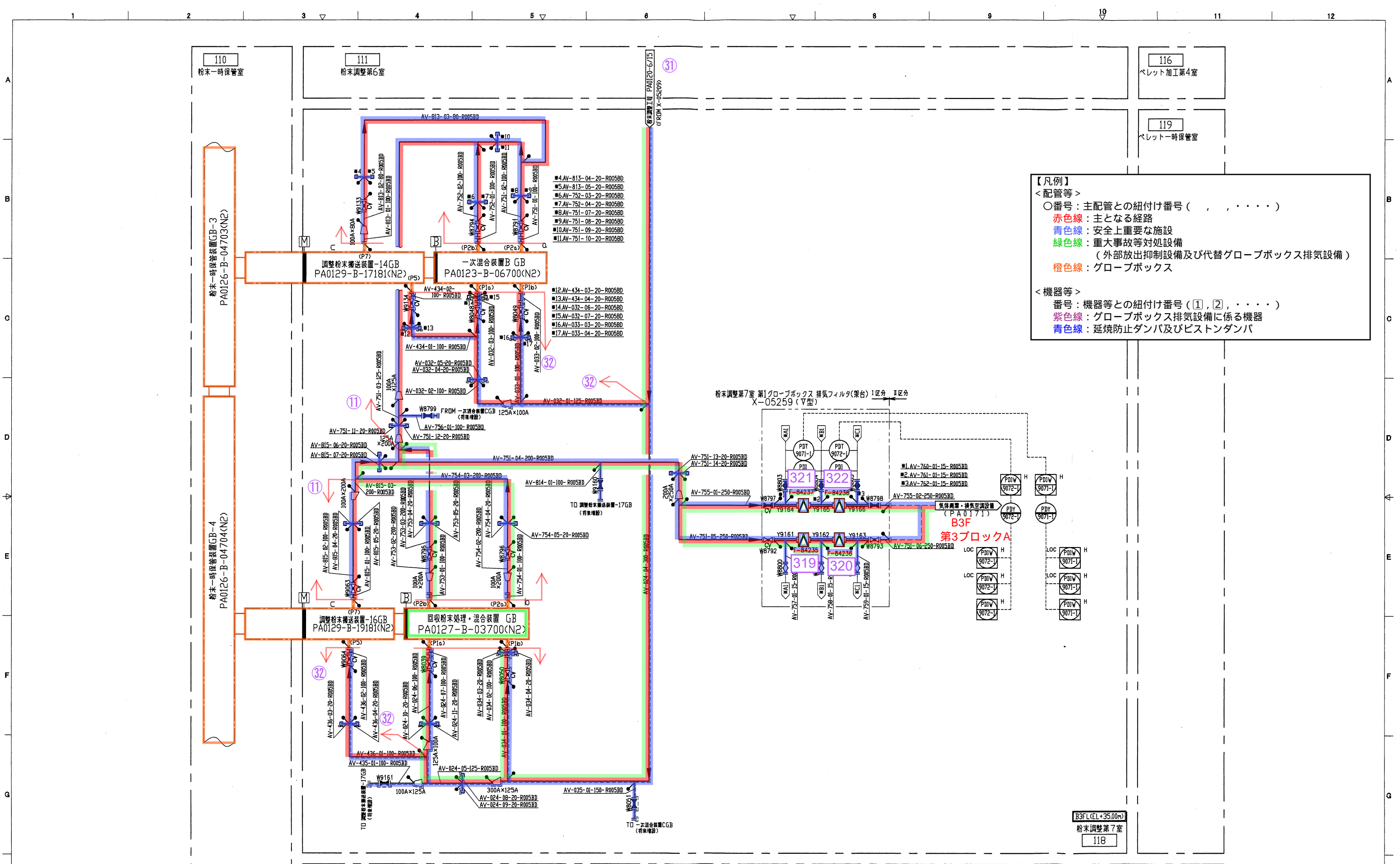
- 番号: 機器等との紐付け番号 ( [1], [2], . . . )
- 紫色線: グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線: 延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計	P	客先	PF-0120-4421-001	改訂	11
区分		図番			

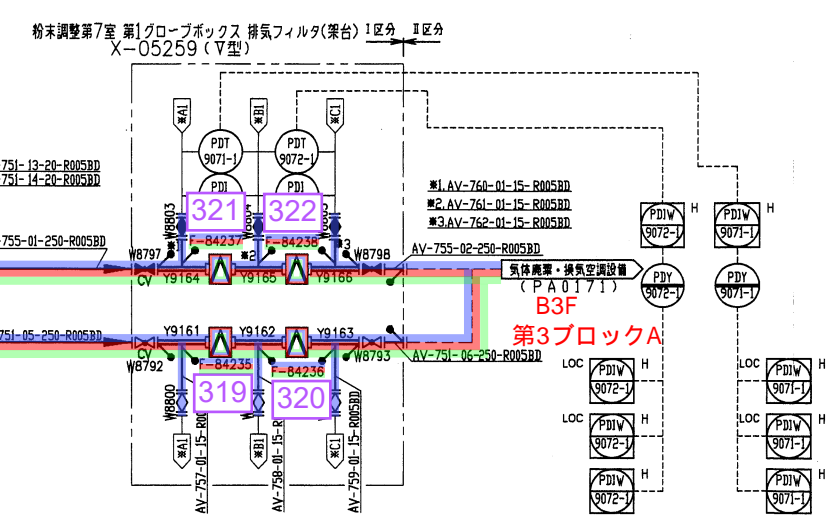
日本原燃株式会社 燃料工場  
 粉末調整工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)

エンジニアリングフローダイアグラム  
 PA0120-8/15





- 【凡例】**
- < 配管 >**
- 番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . .)
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線：グローブボックス
- < 機器等 >**
- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . .)
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ



特記事項

a: 一次混合装置B エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0123-4122-601

b: 回収粉末処理・混合装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0127-4122-301

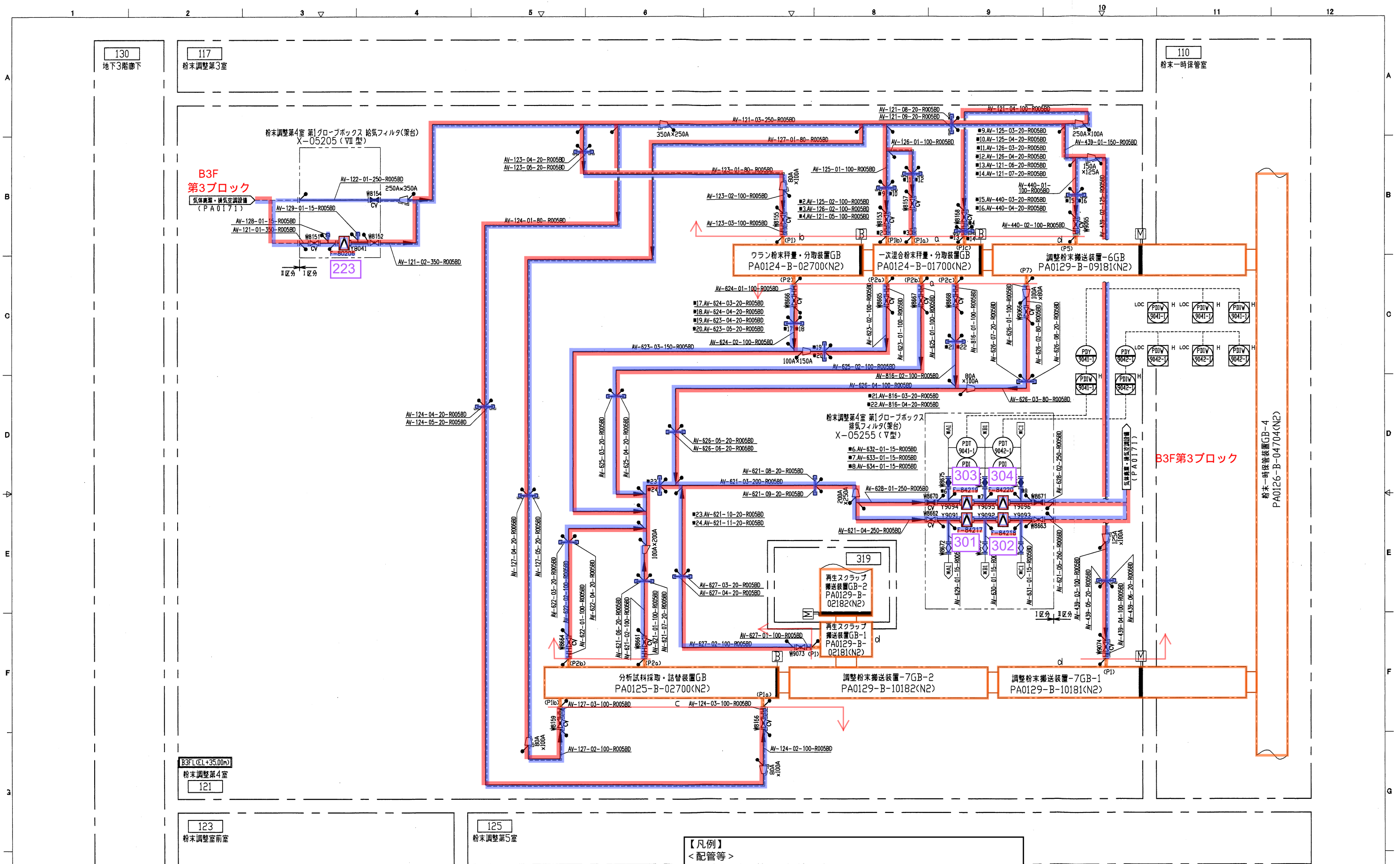
c: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0129-4122-401

注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
----------	---	------------	------------------	----	----

尺 日本原機株式会社 名 日本原機株式会社 名 日本原機株式会社  
 種 粉未調整工程-グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)  
 種 エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)

10 11 12



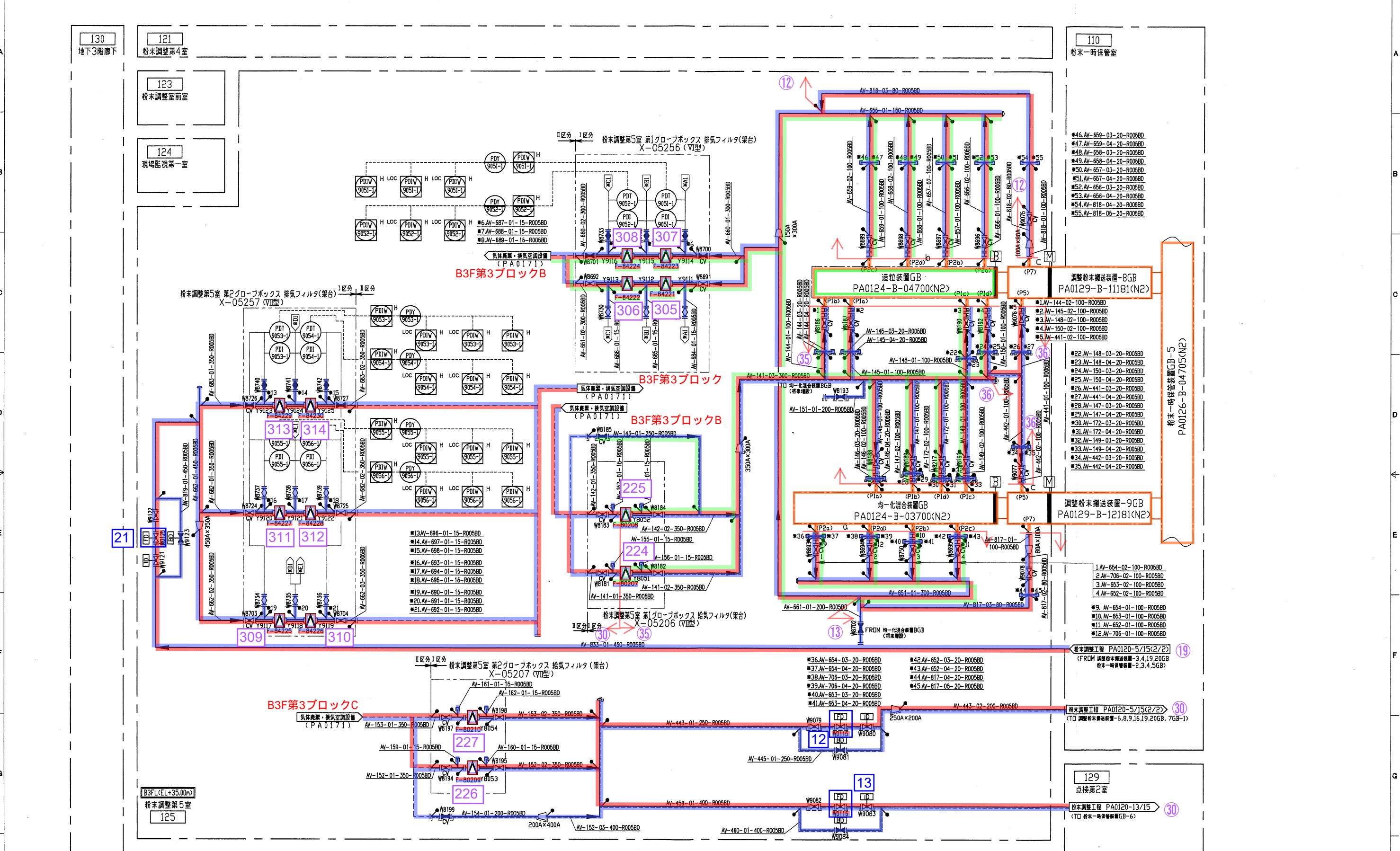
特記事項  
 a: 一次混合粉末秤量・分取装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0124-4122-101  
 b: ウラン粉末秤量・分取装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0124-4122-201  
 c: 分析試料採取・詰替装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0125-4122-201  
 d: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-401  
 注記) 1.本ソートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

【凡例】  
 <配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 橙色線：グローブボックス  
 <機器等>  
 番号：機器等との紐付け番号( [1], [2], . . . )  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計	P	客先	PF-0120-4421-001	改訂	11
区分		図番			

名 日本原燃株式会社 燃料工場  
 粉未調整工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)  
 エンジニアリングフローダイアグラム  
 PA0120-10/15





特記事項

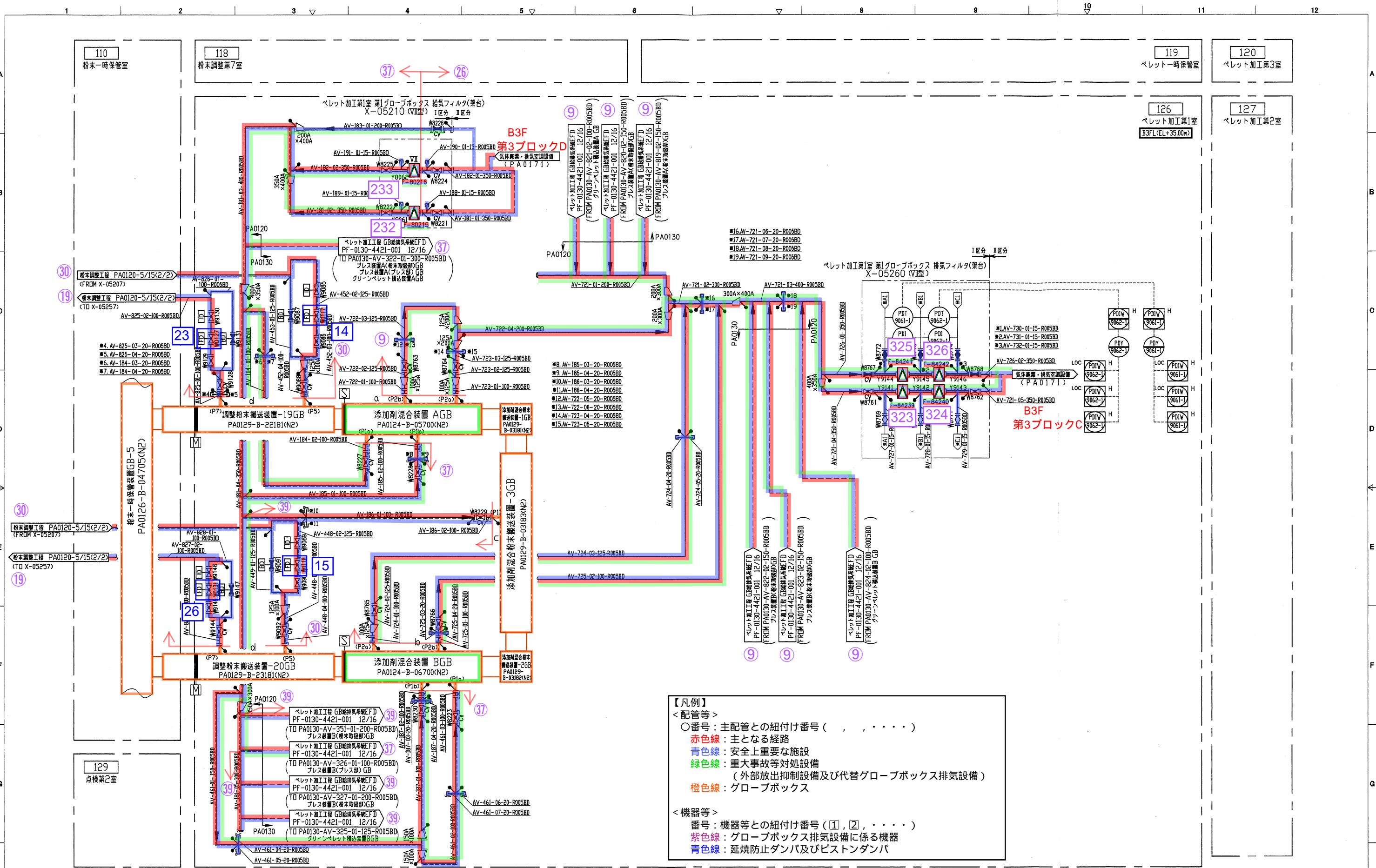
- a: 均一化混合装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0124-4122-301
  - b: 造粒装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0124-4122-401
  - c: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0129-4122-401
- 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

【凡例】

- < 配管等 >  
 ○番号: 主配管との紐付け番号 ( , , , . . . )  
 赤色線: 主となる経路  
 青色線: 安全上重要な施設  
 緑色線: 重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 橙色線: グローブボックス
- < 機器等 >  
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . )  
 紫色線: グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線: 延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

110	粉末一時保管室	#46.AV-659-03-20-RO05BD #47.AV-659-04-20-RO05BD #48.AV-658-03-20-RO05BD #49.AV-658-04-20-RO05BD #50.AV-657-03-20-RO05BD #51.AV-657-04-20-RO05BD #52.AV-656-03-20-RO05BD #53.AV-656-04-20-RO05BD #54.AV-818-04-20-RO05BD #55.AV-818-05-20-RO05BD
129	点検第2室	#22.AV-148-03-20-RO05BD #23.AV-148-04-20-RO05BD #24.AV-150-03-20-RO05BD #25.AV-150-04-20-RO05BD #26.AV-441-03-20-RO05BD #27.AV-441-04-20-RO05BD #28.AV-147-03-20-RO05BD #29.AV-147-04-20-RO05BD #30.AV-172-03-20-RO05BD #31.AV-172-04-20-RO05BD #32.AV-149-03-20-RO05BD #33.AV-149-04-20-RO05BD #34.AV-442-03-20-RO05BD #35.AV-442-04-20-RO05BD
125	粉末調整第5室	#13.AV-696-01-15-RO05BD #14.AV-697-01-15-RO05BD #15.AV-698-01-15-RO05BD #16.AV-693-01-15-RO05BD #17.AV-694-01-15-RO05BD #18.AV-695-01-15-RO05BD #19.AV-690-01-15-RO05BD #20.AV-691-01-15-RO05BD #21.AV-692-01-15-RO05BD

設計	P	客先	PF-0120-4421-001	改訂	11
図番		図番			
設計	N.T.S	名	日本原燃株式会社 燃工場	名	エンジニアリングフローダイヤグラム
設計		名	粉末調整工程 グローブボックス給排気系統	名	PA0120-11/15
設計		名	エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)	名	

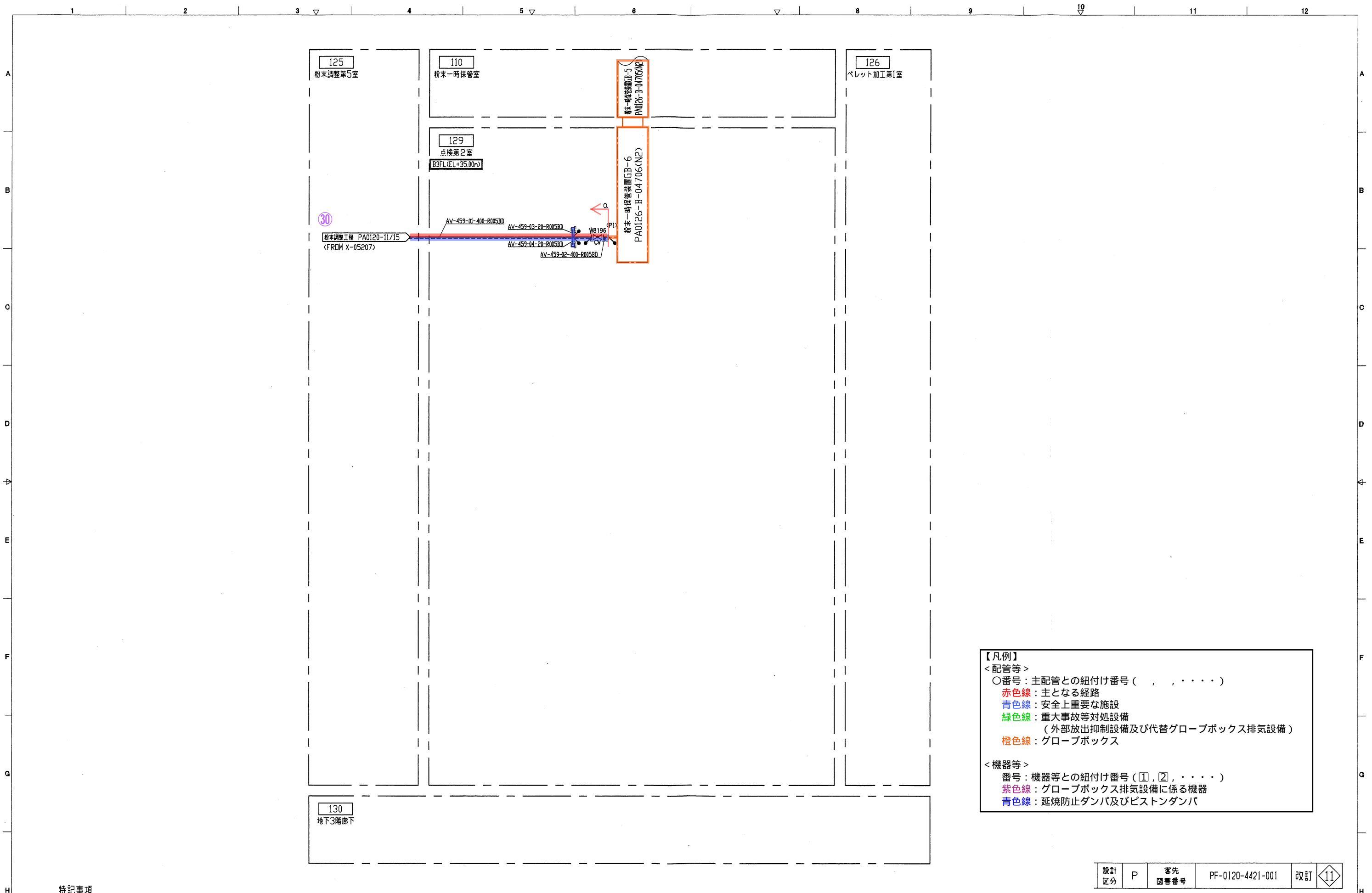


**【凡例】**  
**< 配管等 >**  
 ○ 番号：主配管との紐付け番号 ( , . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 橙色線：グローブボックス  
**< 機器等 >**  
 ○ 番号：機器等との紐付け番号 ( ① , ② , . . . )  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 a: 添加剤混合装置A エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0124-4122-501  
 b: 添加剤混合装置B エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0124-4122-601  
 c: 添加剤混合粉末搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-301  
 d: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-401  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
----------	---	------------	------------------	----	----

名 日本原燃株式会社 燃料工場  
 粉未調整工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)  
 エンジニアリングフローダイアグラム  
 PA0120-12/15



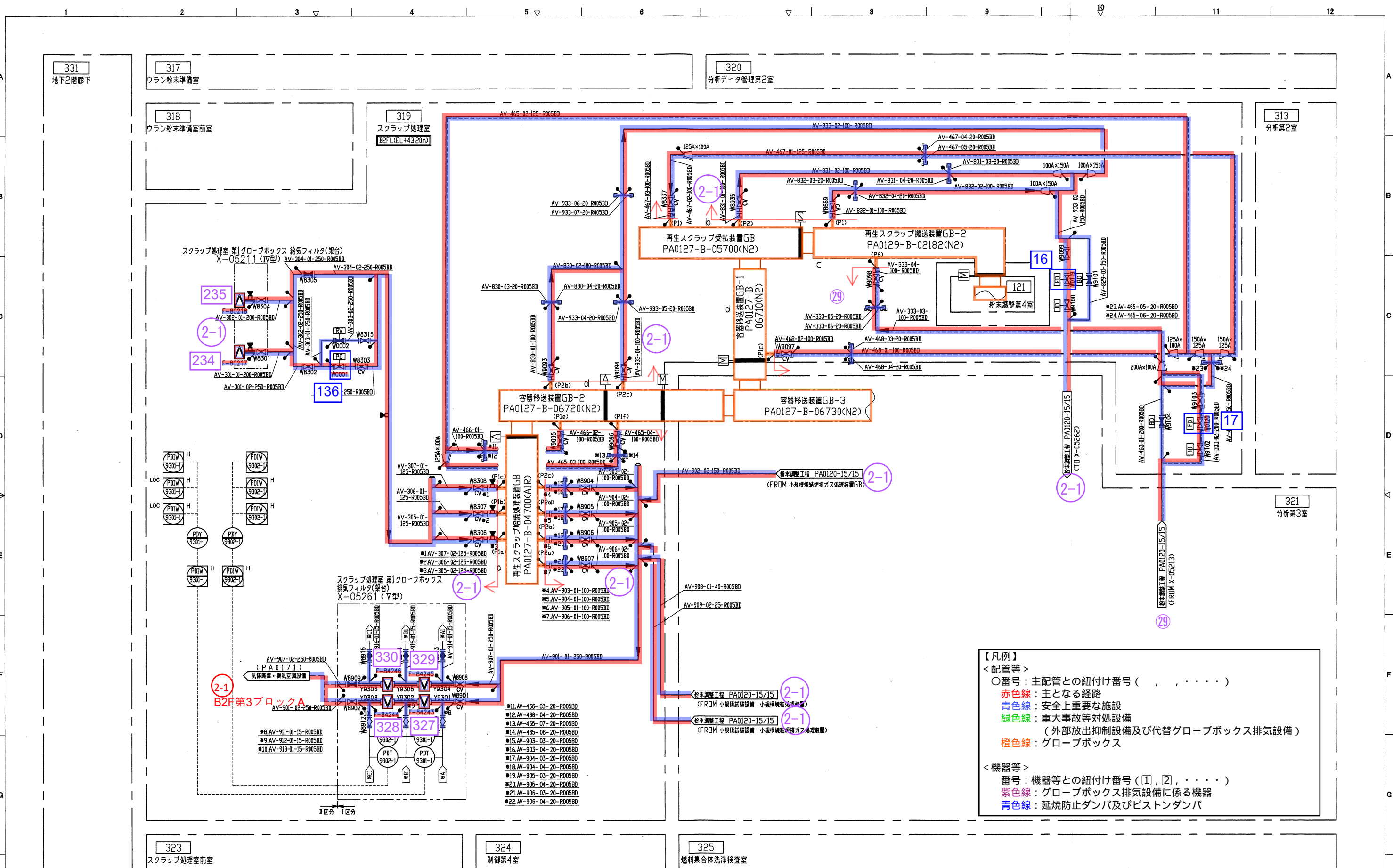
- 【凡例】**
- <配管等>
- 番号：主配管との紐付け番号（ , , . . . . . ）
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
（外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備）
  - 橙色線：グローブボックス
- <機器等>
- 番号：機器等との紐付け番号（①, ②, . . . . . ）
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 Q: 粉末一時保管設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0126-4122-001  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計区分	P	客先図書番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
------	---	--------	------------------	----	----

尺度	N.T.S	名	日本原燃株式会社 燃料工場	エンジニアリングフローダイヤグラム PA0120-13/15
種		種	粉末調整工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD)	





**【凡例】**

< 配管等 >

- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , , , )
- 赤色線：主となる経路
- 青色線：安全上重要な施設
- 緑色線：重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- 橙色線：グローブボックス

< 機器等 >

- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, , , )
- 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項

a: 再生スクラップ焙焼処理装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0127-4122-401

b: 再生スクラップ受払装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0127-4122-501

c: 調整粉末搬送装置及び再生スクラップ搬送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0129-4122-401

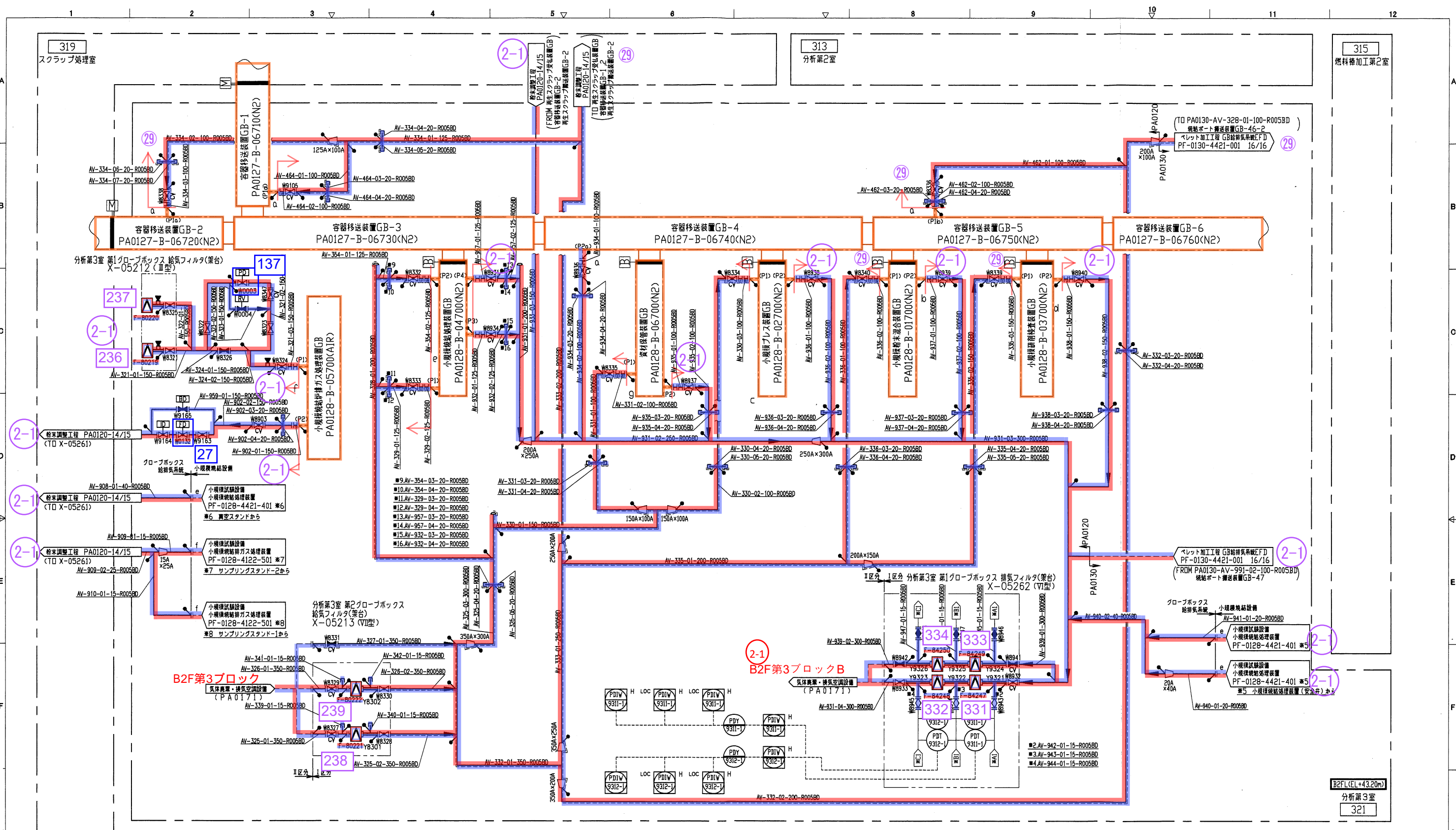
d: 容器移送装置 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0127-4122-601

注記) 1,本シートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図書番号	PF-0120-4421-001	改訂	11
----------	---	------------	------------------	----	----

日本原燃株式会社 燃料工場  
 粉末調整工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)  
 エンジニアリングフローダイアグラム  
 PA0120-14/15





- 特記事項
- a: 容器移送装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0127-4122-601
  - b: 小規模粉末混合装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0128-4122-101
  - c: 小規模プレス装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0128-4122-201
  - d: 小規模研削検査装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0128-4122-301
  - e: 小規模焼結処理装置 エンジニアリングフローダイヤグラム配管系統(EFD) PF-0128-4421-401
  - f: 小規模焼結炉排ガス処理装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0128-4122-501
  - g: 資材保管装置 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0128-4122-601
- 注記) 1.本ソートの系統番号は全てPA0120であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

【凡例】

<配管等>

- 番号: 主配管との紐付け番号( , . . . . .)
- 赤色線: 主となる経路
- 青色線: 安全上重要な施設
- 緑色線: 重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- 橙色線: グローブボックス

<機器等>

- 番号: 機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . .)
- 紫色線: グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線: 延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

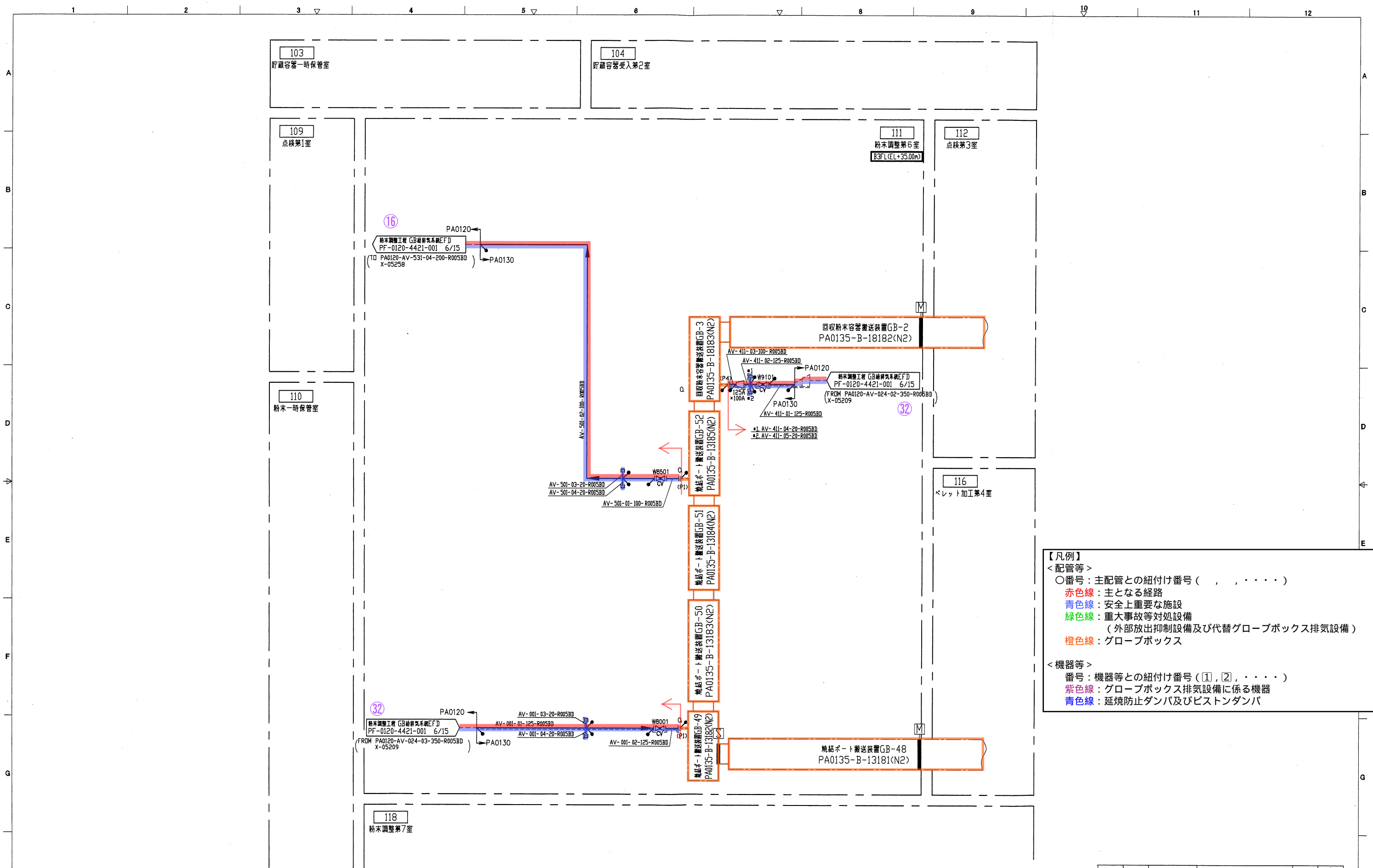
325	燃料集合体洗浄検査室
326	燃料集合体組立第2室
321	分析第3室

設計	P	客先	PF-0120-4421-001	改訂	11
区分		図書番号			

日本原燃株式会社 MOX燃料工場  
 粉末調整工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD)

エンジニアリングフローダイヤグラム  
 PA0120-15/15

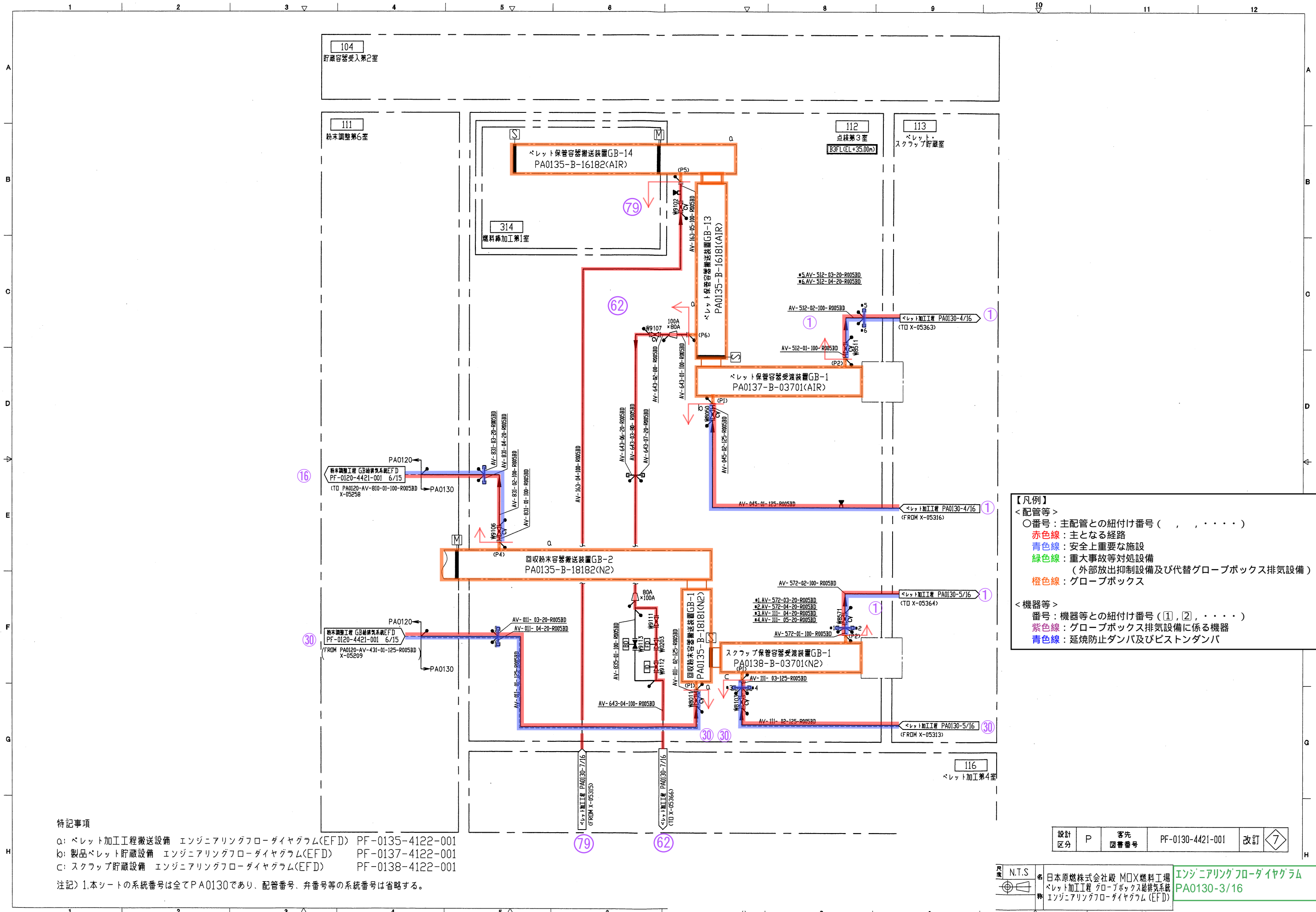


- 【凡例】**
- < 配管等 >
- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , . . . )
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線：グローブボックス
- < 機器等 >
- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . )
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 a: ベレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0135-4122-001  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図書番号	PF-0130-4421-001	改訂	7
----------	---	------------	------------------	----	---

	名	日本原燃株式会社 莫X燃料工場	エンジニアリングフローダイアグラム
	名	ベレット加工工程 グローブボックス給排気系統	PA0130-2/16
	名	エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)	



- 【凡例】**
- <配管等>**
- 番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . .)
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線：グローブボックス
- <機器等>**
- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . .)
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項

a: ベレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0135-4122-001  
 b: 製品ベレット貯蔵設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0137-4122-001  
 c: スクラップ貯蔵設備 エンジニアリングフローダイヤグラム(EFD) PF-0138-4122-001

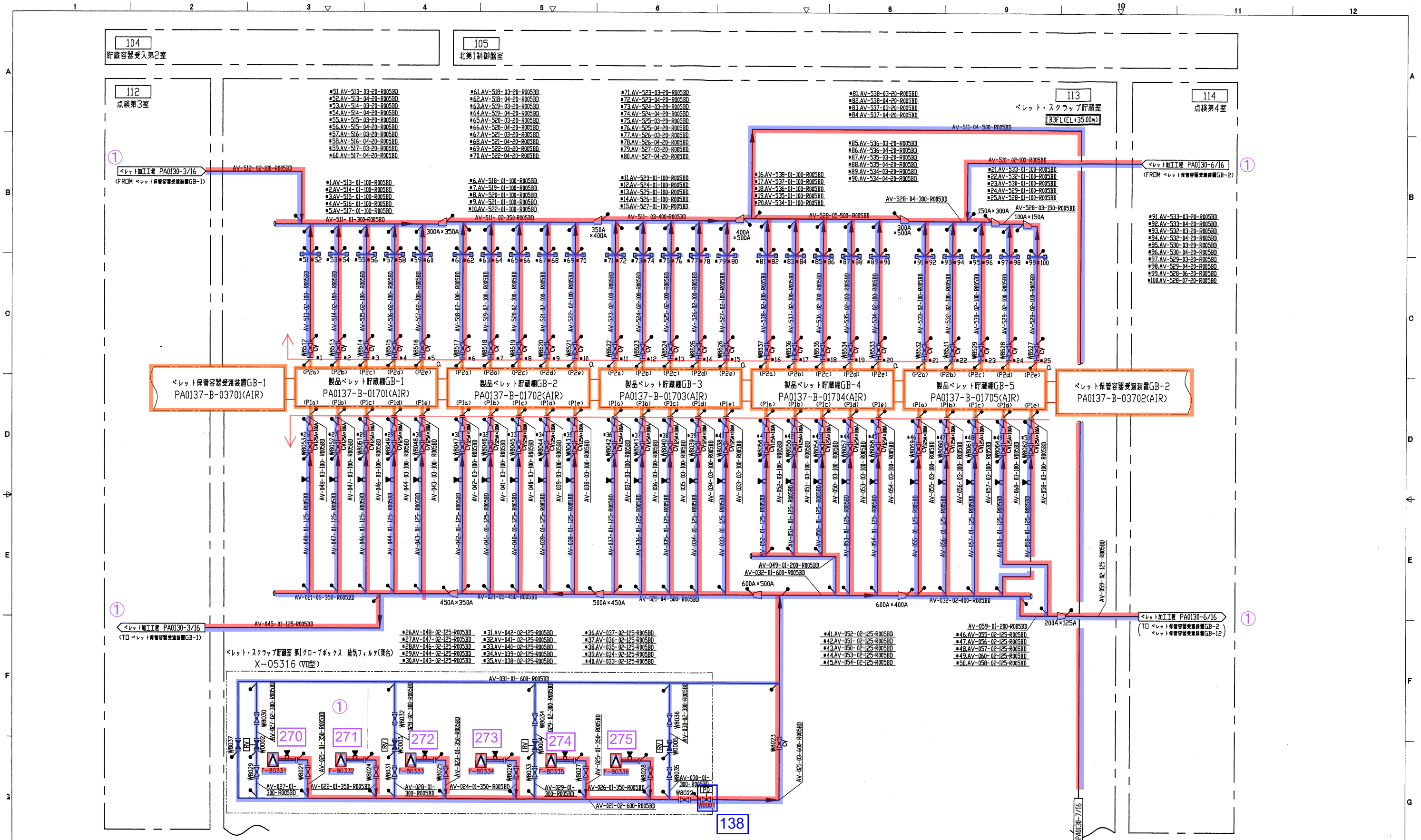
注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0130-4421-001	改訂	7
----------	---	------------	------------------	----	---

日本原燃株式会社 燃料工場  
 ベレット加工工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)

エンジニアリングフローダイヤグラム  
 PA0130-3/16





104  
貯蔵容器受入第2室

105  
北第1制御盤室

112  
点検第3室

113  
ペレット・スクラップ貯蔵室  
B3FL(EL+35.00m)

114  
点検第4室

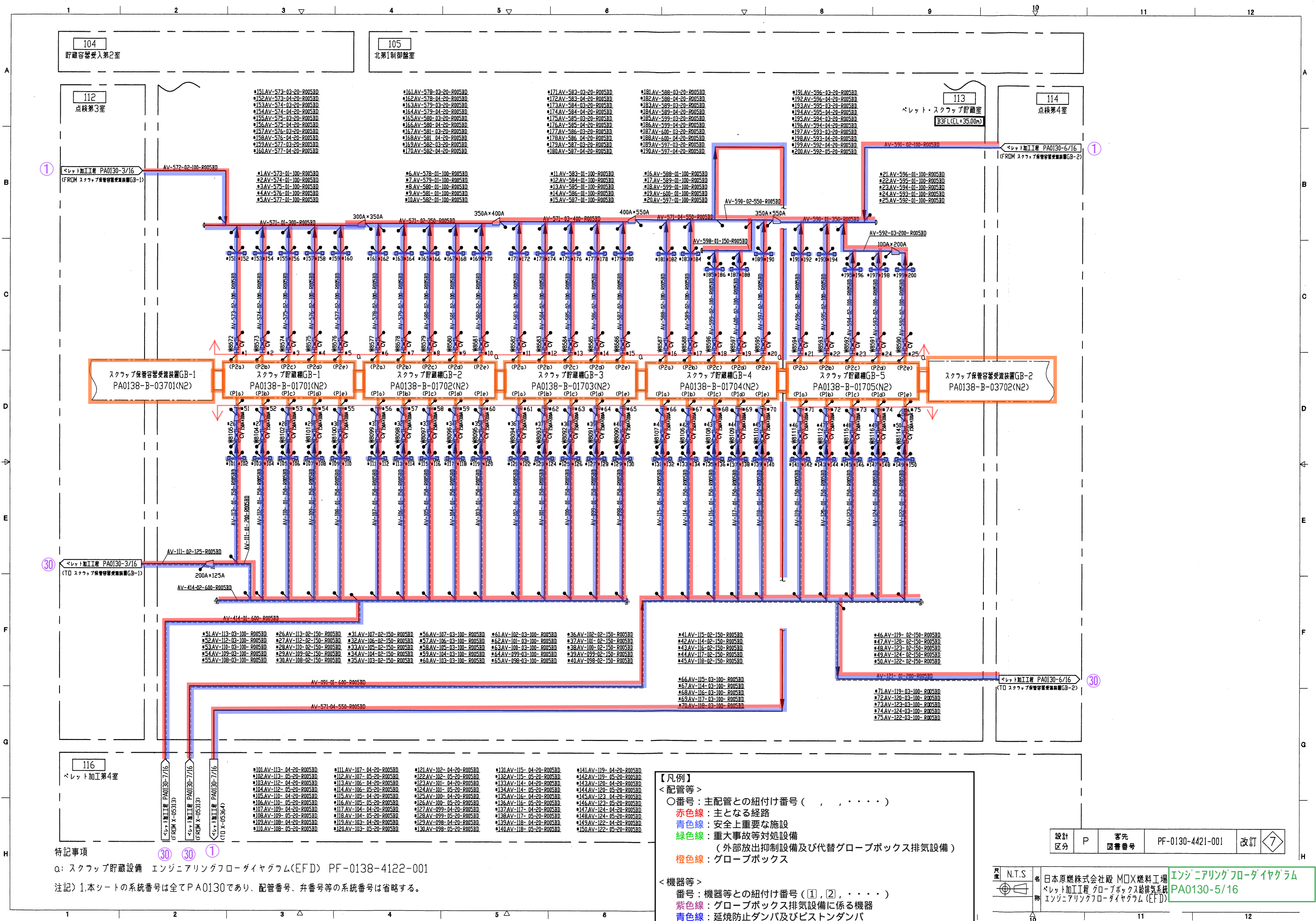
116  
ペレット加工第4室

- 【凡例】**
- <配管等>**
- 番号：主配管との紐付け番号( , , , . . . )
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - オレンジ線：グローブボックス
- <機器等>**
- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . )
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
α：製品ペレット貯蔵設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0137-4122-001  
注記) 1,本サイトの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0130-4421-001	改訂	⑦
----------	---	------------	------------------	----	---

N.T.S.  
 日本原燃株式会社 莫X燃料工場  
 ペレット加工工程 クロ-ボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)  
**PA0130-4/16**



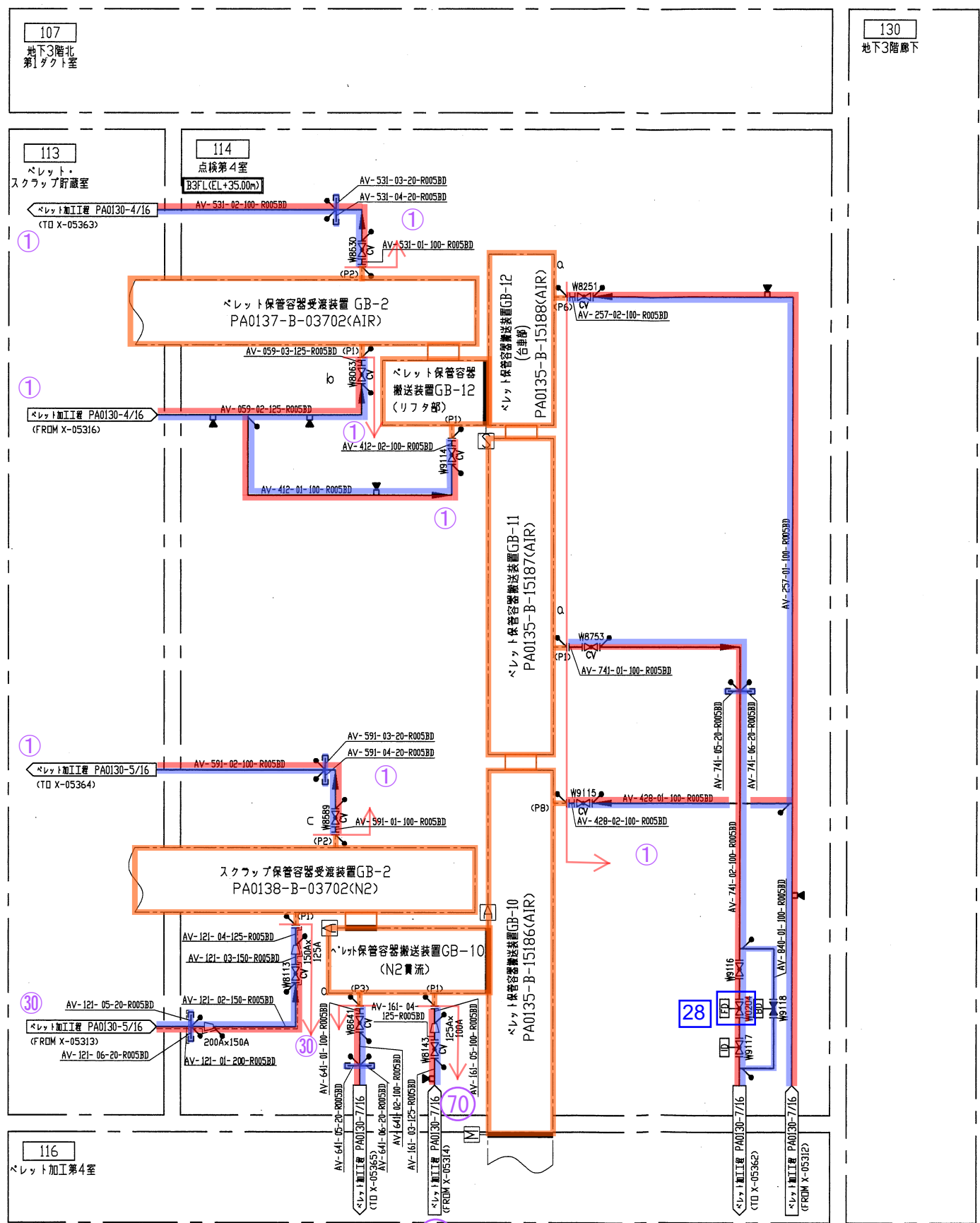
- 【凡例】**
- <配管等>
- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , , , )
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備  
( 外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備 )
  - オレンジ線：グローブボックス
- <機器等>
- 番号：機器等との紐付け番号 ( ① , ② , , , )
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 a: スクラップ貯蔵設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0138-4122-001  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計区分	P	客先図書番号	PF-0130-4421-001	改訂	7
------	---	--------	------------------	----	---

尺 N.T.S.  
 名 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 エンジニアリングフローダイアグラム  
 内容 ペレット加工工程 グローブボックス給排気系統 PA0130-5/16  
 備考 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)





**【凡例】**

<配管等>

- 番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . .)
- 赤色線：主となる経路
- 青色線：安全上重要な施設
- 緑色線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
- 橙色線：グローブボックス

<機器等>

- 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . .)
- 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
- 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項

a: ペレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0135-4122-001

b: 製品ペレット貯蔵設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0137-4122-001

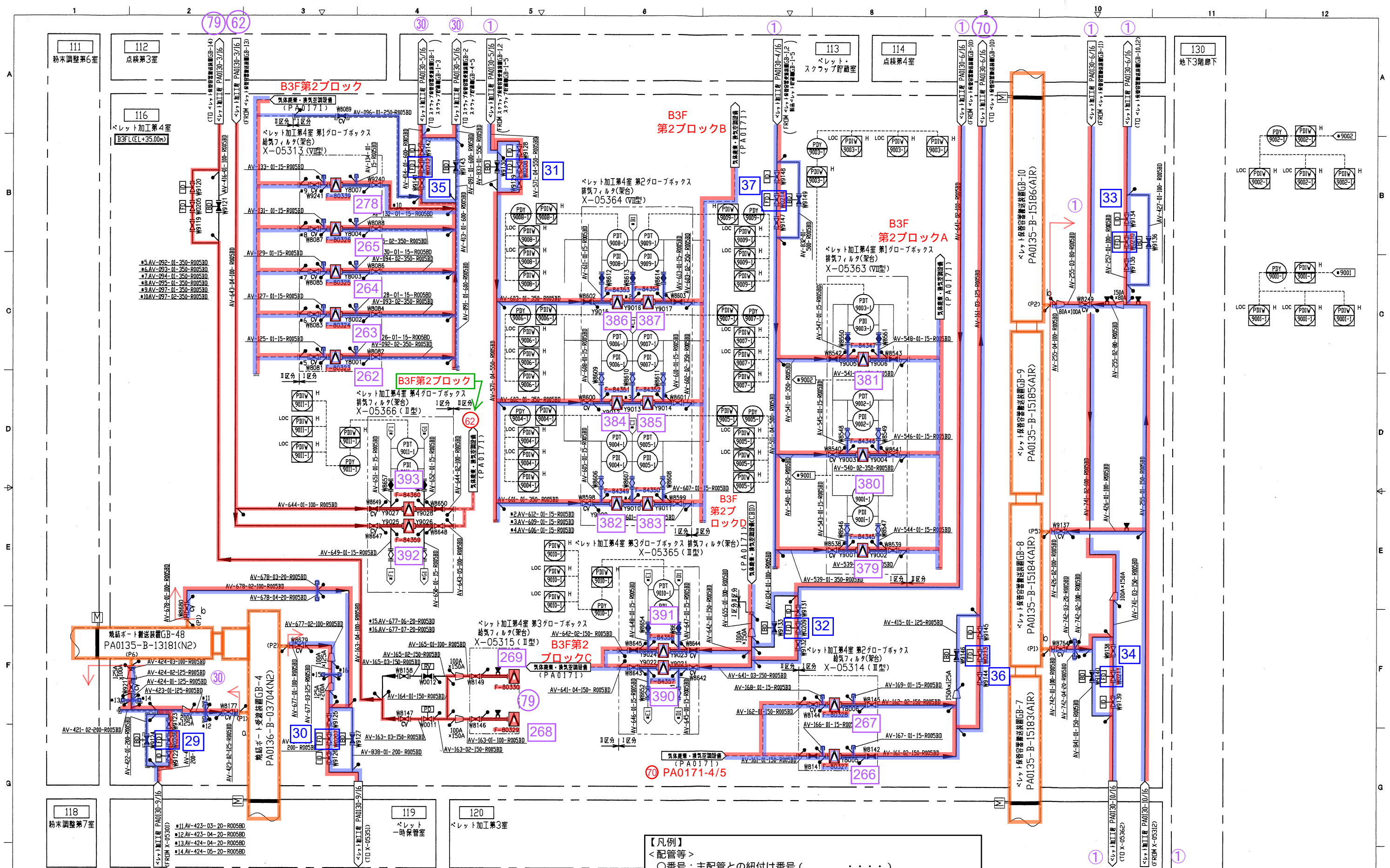
c: スクラップ貯蔵設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0138-4122-001

注記) 1,本ソートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図書番号	PF-0130-4421-001	改訂	7
----------	---	------------	------------------	----	---

尺 寸	N.T.S.	名	日本原燃株式会社 豊田MOX燃料工場	エンジニアリングフローダイアグラム
種		種	ペレット加工工程 グローブボックス給排気系統	PA0130-6/16
			エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)	



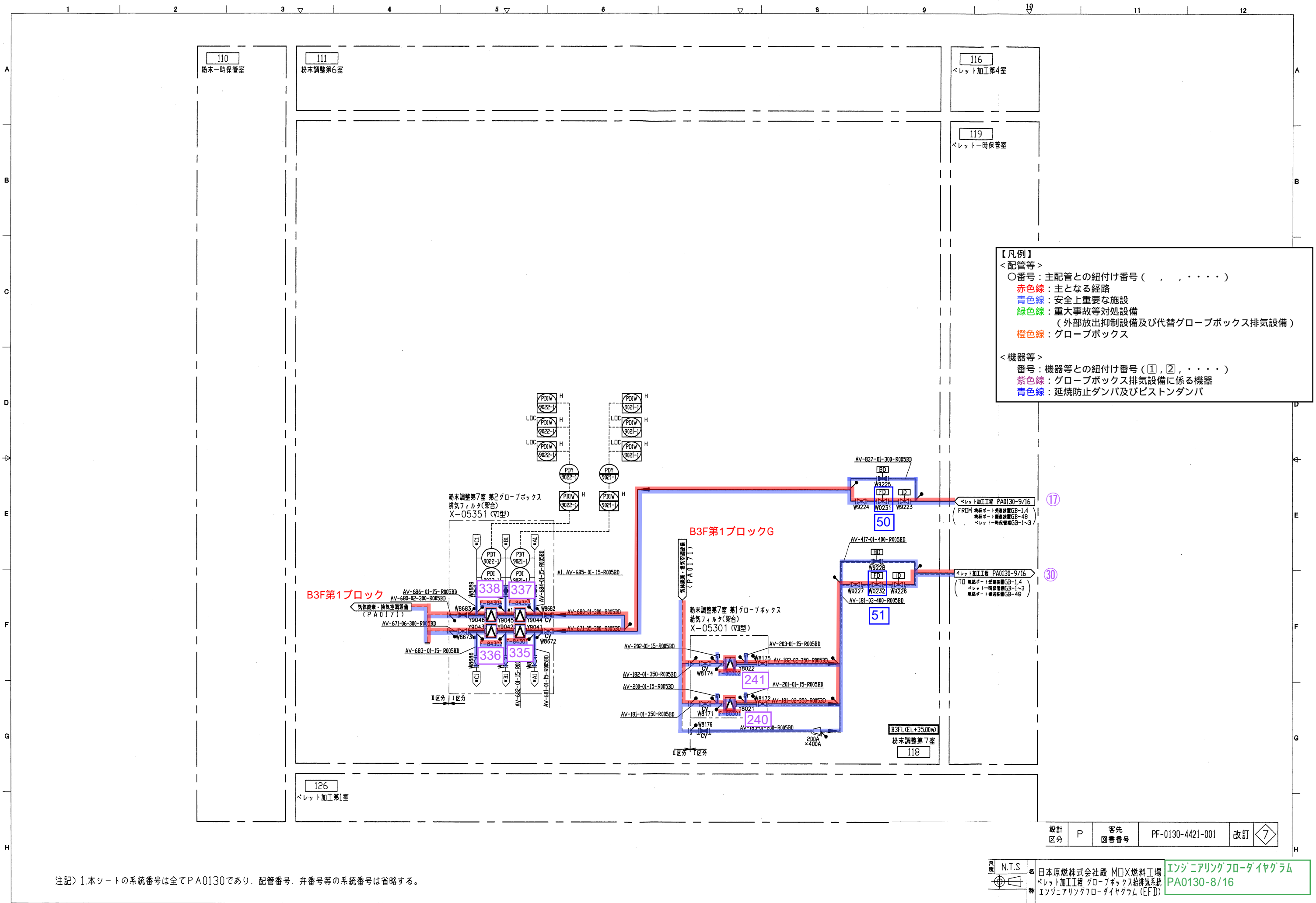


特記事項  
 a: ベレット一時保管設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0136-4122-001  
 b: ベレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0135-4122-001  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

- 【凡例】
- <配管等>  
 ○番号: 主配管との紐付け番号 ( , , . . . )  
 赤色線: 主となる経路  
 青色線: 安全上重要な施設  
 緑色線: 重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 橙色線: グローブボックス
- <機器等>  
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . )  
 紫色線: グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線: 延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0130-4421-001	改訂	7
----------	---	------------	------------------	----	---

N.T.S. 日本原燃株式会社 燃料工場 ベレット加工工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)	エンジニアリングフローダイアグラム PA0130-7/16
--	----------------------------------



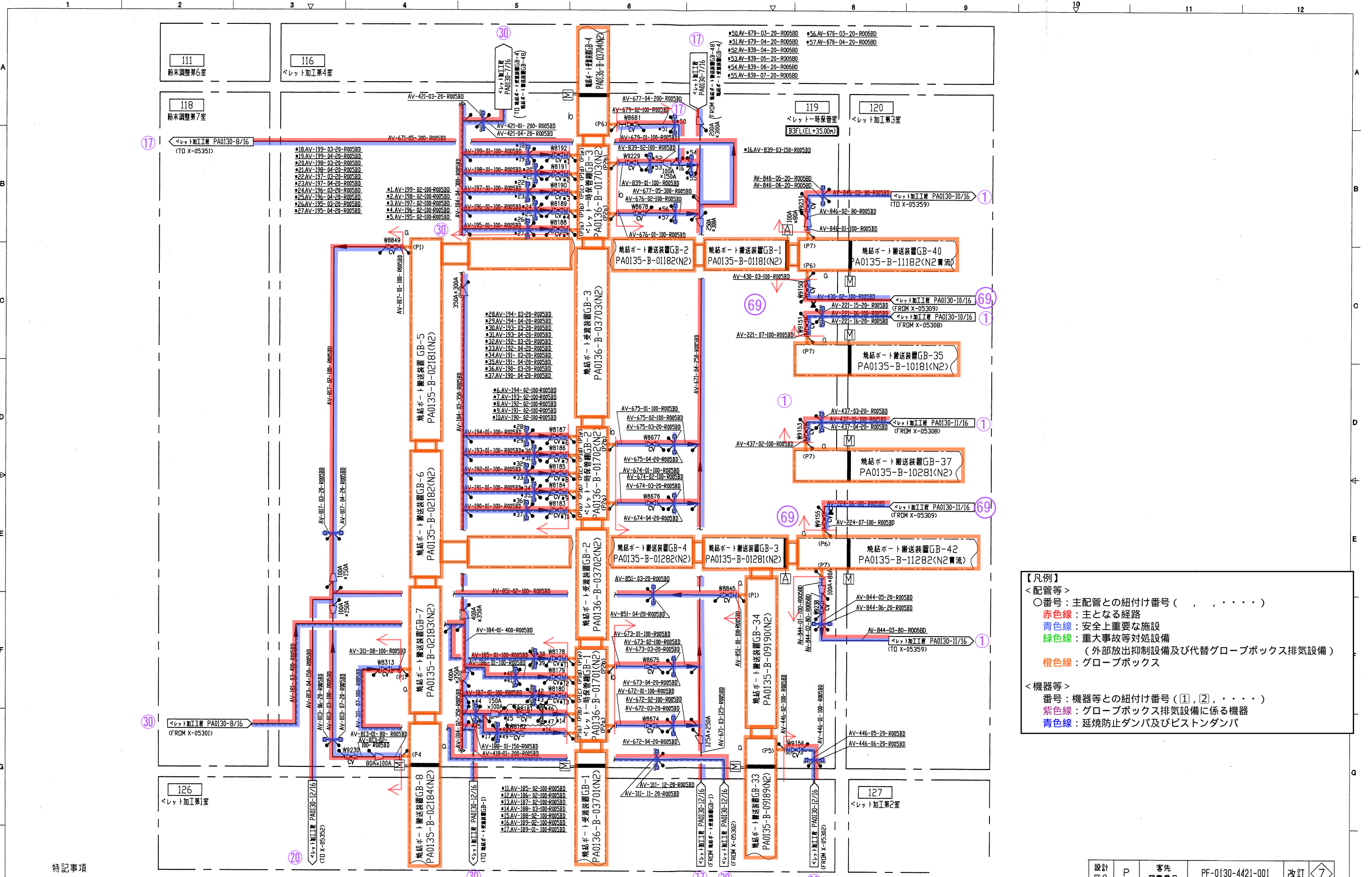
- 【凡例】**
- < 配管等 >
- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , . . . )
  - 赤色線：主となる経路
  - 青色線：安全上重要な施設
  - 緑色線：重大事故等対処設備 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - 橙色線：グローブボックス
- < 機器等 >
- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, . . . )
  - 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計 区分	P	客先 図番番号	PF-0130-4421-001	改訂	⑦
----------	---	------------	------------------	----	---

尺 寸	N.T.S	名 称	日本原燃株式会社 燃料工場 ペレット加工工程 グローブボックス給排気系統 エンジニアリングフローダイヤグラム (EFD)	エンジニアリングフローダイヤグラム PA0130-8/16
--------	-------	--------	--	----------------------------------





- 【凡例】**
- < 配管等 >**
- 番号：主配管との紐付け番号 ( , , , , )
  - 赤線：主となる経路
  - 青線：安全上重要な施設
  - 緑線：重大事故等対処設備  
(外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)
  - オレンジ線：グローブボックス
- < 機器等 >**
- 番号：機器等との紐付け番号 ( ① , ② , , , )
  - 紫線：グローブボックス排気設備に係る機器
  - 青線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項

a: ペレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0135-4122-001

b: ペレット一時保管設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0136-4122-001

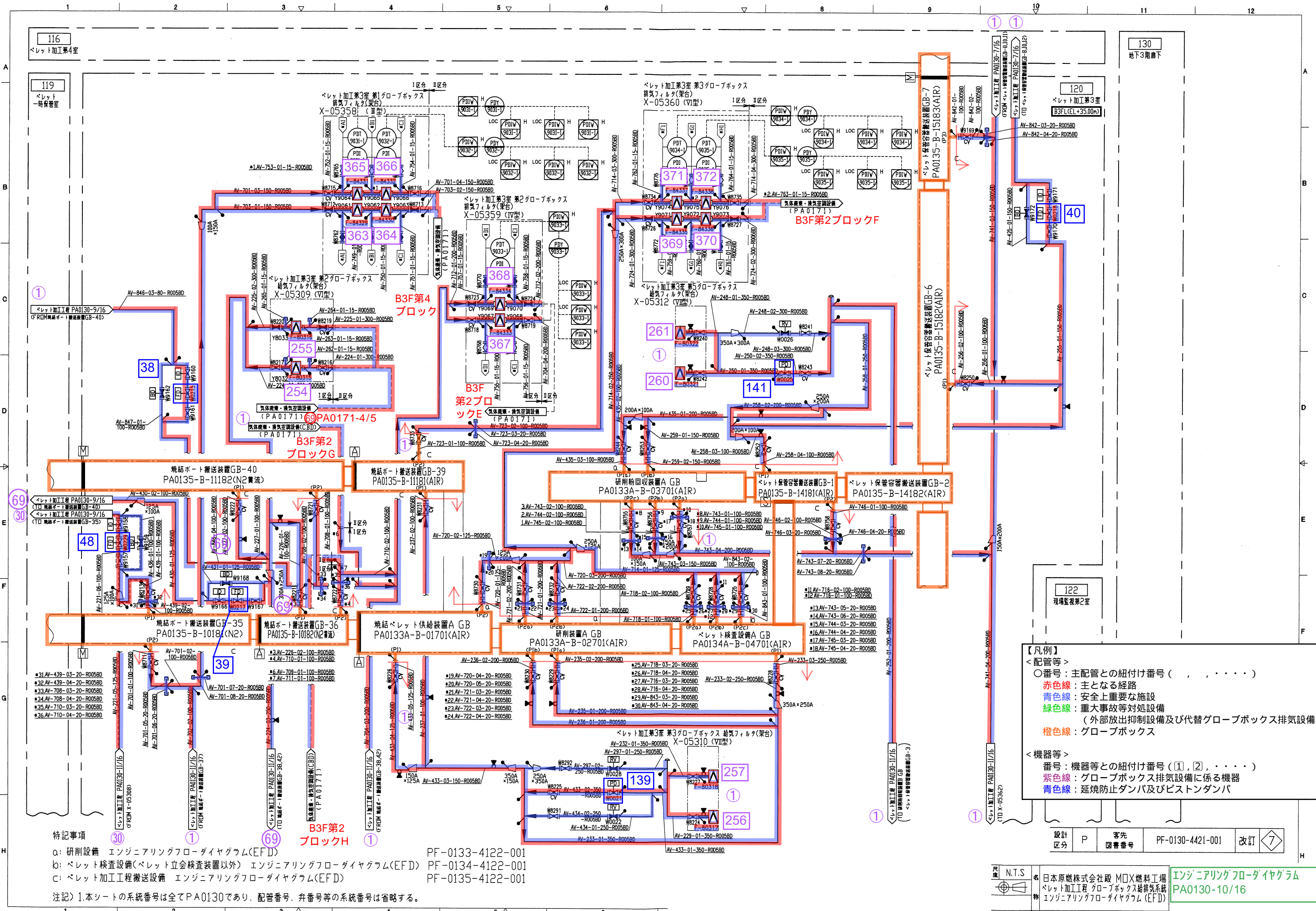
注記) 1.本ソートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

- 38.AV-185-03-20-R005BD
- 39.AV-185-04-20-R005BD
- 40.AV-186-03-20-R005BD
- 41.AV-186-04-20-R005BD
- 42.AV-187-03-20-R005BD
- 43.AV-187-04-20-R005BD
- 44.AV-188-04-20-R005BD
- 45.AV-188-05-20-R005BD
- 46.AV-188-06-20-R005BD
- 47.AV-188-07-20-R005BD
- 48.AV-189-03-20-R005BD
- 49.AV-189-04-20-R005BD

設計区分	P	客先図書番号	PF-0130-4421-001	改訂	7
------	---	--------	------------------	----	---

名 日本原燃株式会社 MOX燃料工場  
 内容 ペレット加工工程 グローブボックス給排気系統  
 備考 エンジニアリングフローダイアグラム (EFD)

**エンジニアリングフローダイアグラム**  
**PA0130-9/16**



**【凡例】**

<配管等>  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , . . . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 橙色線：グローブボックス

<機器等>  
 ○番号：機器等との紐付け番号( ①, ②, . . . . . )  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

設計	P	客先	PF-0130-4421-001	改訂	7
区分		図番			

特記事項

a: 研削設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)  
 b: ペレット検査設備(ペレット立会検査装置以外) エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)  
 c: ペレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)

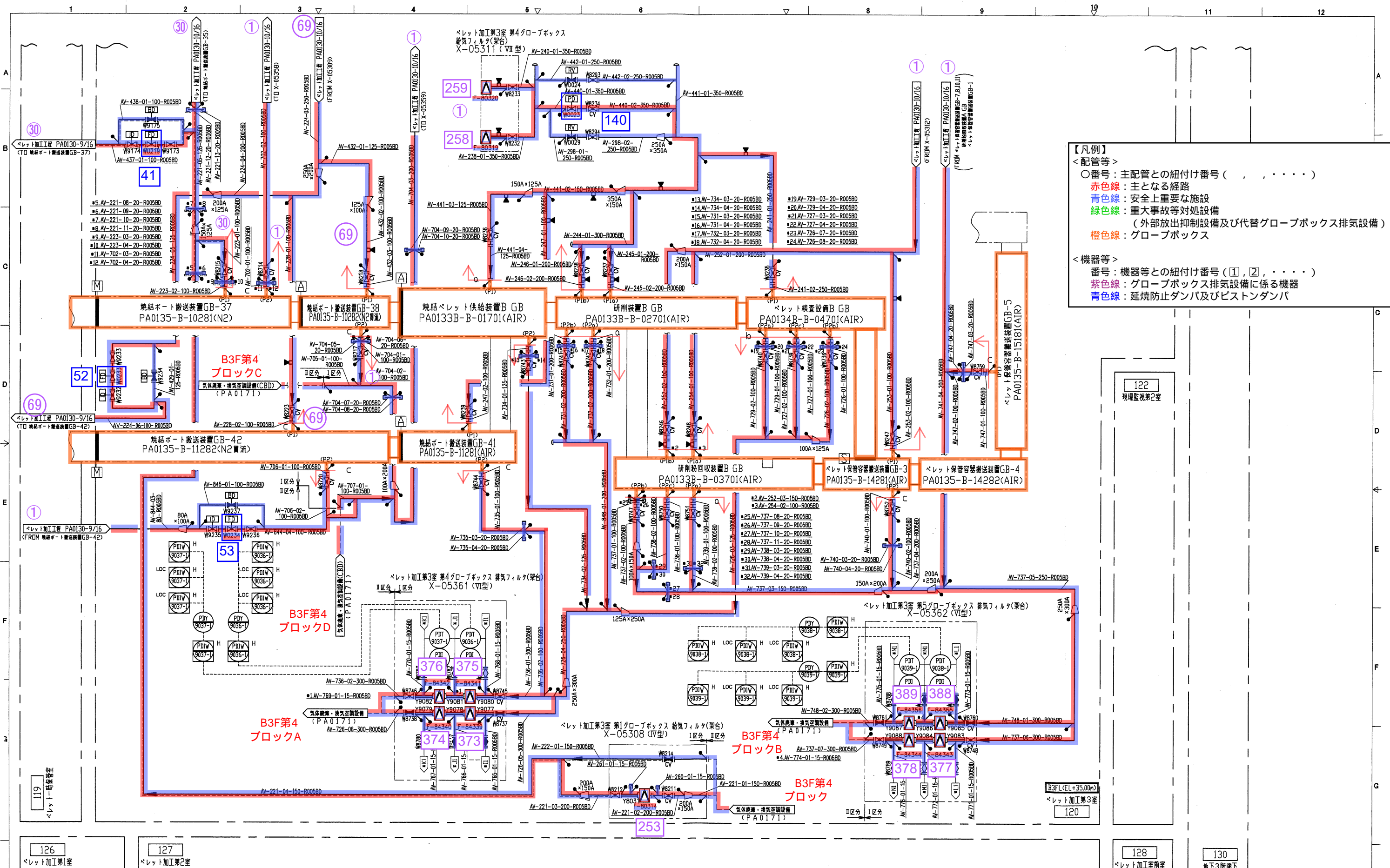
注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

PF-0133-4122-001  
 PF-0134-4122-001  
 PF-0135-4122-001

名 日本原燃株式会社 燃料工場  
 種 ペレット加工工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)

エンジニアリングフローダイアグラム  
 PA0130-10/16





**【凡例】**  
**<配管等>**  
 ○番号：主管管との紐付け番号( , , , . . . . . )  
 赤色線：主となる経路  
 青色線：安全上重要な施設  
 緑色線：重大事故等対処設備  
 (外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備)  
 橙色線：グローブボックス  
  
**<機器等>**  
 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, . . . . . )  
 紫色線：グローブボックス排気設備に係る機器  
 青色線：延焼防止ダンパ及びピストンダンパ

特記事項  
 a: 研削設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0133-4122-001  
 b: ベレット検査設備(ベレット立会検査装置以外) エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0134-4122-001  
 c: ベレット加工工程搬送設備 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD) PF-0135-4122-001  
 注記) 1.本シートの系統番号は全てPA0130であり、配管番号、弁番号等の系統番号は省略する。

設計区分 P 客先図書番号 PF-0130-4421-001 改訂 7

日本原燃株式会社 MOX燃料工場  
 ベレット加工工程 グローブボックス給排気系統  
 エンジニアリングフローダイアグラム(EFD)  
 エンジニアリングフローダイアグラム  
 PA0130-11/16